千葉市長沼原保育所新築工事

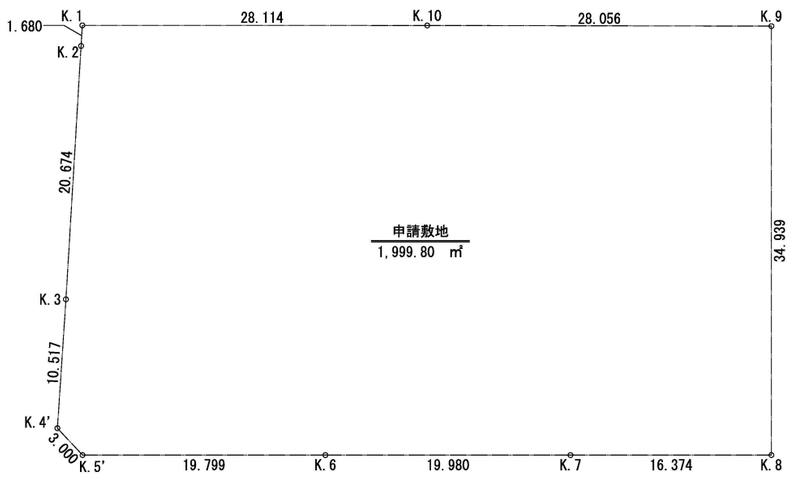
【意　匠】						【構　造】		
図面番号	図 面 名 称	縮　尺	図面番号	図 面 名 称	縮　尺	図面番号	図 面 名 称	縮　尺
Ａ－００	図面リスト	—	Ａ－３６	家具群細図（4）	A1 1/20 A3 1/40	Ｓ－０１	構造特記仕様書(1)	—
Ａ－０１	案内図・計画概要・敷地面積求積図	A1 1/250 A3 1/500	Ａ－３７	家具群細図（5）	A1 1/20 A3 1/40	Ｓ－０２	構造特記仕様書(2)	—
Ａ－０２	求積図・面積表	A1 1/150 A3 1/300	Ａ－３８	家具群細図（6）	A1 1/20 A3 1/40	Ｓ－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	—
Ａ－０３	仕上表	—	Ａ－３９	仕上キープラン	A1 1/20 A3 1/40	Ｓ－０４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	—
Ａ－０４	配置図（1）〈建築工事完了時〉	A1 1/100 A3 1/200	Ａ－４０	部分群細図（1）	A1 1/5・1/10 A3 1/10・1/20	Ｓ－０５	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	—
Ａ－０５	配置図（2）〈外構工事完了時〉（参考図）	A1 1/100 A3 1/200	Ａ－４１	部分群細図（2）	A1 1/5・1/10 A3 1/10・1/20	Ｓ－０６	鉄骨構造標準図(1)	—
Ａ－０６	法チェック図（1）	A1 1/75 A3 1/150	Ａ－４２	部分群細図（3）	A1 1/5 A3 1/10	Ｓ－０７	鉄骨構造標準図(2)	—
Ａ－０７	法チェック図（2）	A1 1/75 A3 1/150	Ａ－４３	部分群細図（4）	A1 1/5 A3 1/10	Ｓ－０８	地盤改良特記仕様書	—
Ａ－０８	全体平面図	A1 1/75 A3 1/150	Ａ－４４	部分群細図（5）	A1 1/5 A3 1/10	Ｓ－０９	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図［角形鋼管（1）］	—
Ａ－０９	屋根伏図	A1 1/75 A3 1/150	Ａ－４５	部分群細図（6）	A1 1/5・1/10 A3 1/10・1/20	Ｓ－１０	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図［角形鋼管（2）］	—
Ａ－１０	立面図	A1 1/75 A3 1/150	Ａ－４６	部分群細図（7）	A1 1/10 A3 1/20	Ｓ－１１	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図［円形鋼管（1）］	—
Ａ－１１	断面図	A1 1/75 A3 1/150	Ａ－４７	外廻り平面図・群細図キープラン	A1 1/75 A3 1/150	Ｓ－１２	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図［円形鋼管（2）］	—
Ａ－１２	矩計図	A1 1/25 A3 1/50	Ａ－４８	外廻り群細図（1）	A1 1/25 A3 1/50	Ｓ－１３	基礎伏図	A1 1/30 A3 1/60
Ａ－１３	平面群細図・展開図（1） 〈玄関、事務室、書庫〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－４９	外廻り群細図（2）	A1 1/5・1/10 A3 1/15・1/25 1/10・1/20 1/30・1/50	Ｓ－１４	基礎・地中梁リスト	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－１４	平面群細図・展開図（2） 〈調乳室、沐浴室、未満児ﾄｲﾚ、0、1歳児保育室〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５０	外廻り群細図（3）	A1 1/25 A3 1/50	Ｓ－１５	1階床梁伏図	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－１５	平面群細図・展開図（3） 〈1、2歳児保育室、3歳児以上保育室（1）〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５１	外廻り群細図（4）	A1 1/25 A3 1/50	Ｓ－１６	1階床梁伏図（ピット内配管投影図）	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－１６	平面群細図・展開図（4） 〈以上時児トイレ、3歳児以上保育室（2）〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５２	外廻り群細図（5）	A1 1/25 A3 1/50	Ｓ－１７	屋根伏図	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－１７	平面群細図・展開図（5） 〈遊戯室、プール（屋外）〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５３	外廻り群細図（6）	A1 1/5・1/10・1/25 A3 1/10・1/20・1/50	Ｓ－１８	Ｘ方向軸組図（1）	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－１８	平面群細図・展開図（6） 〈廊下〉	A1 1/50 A3 1/100	Ａ－５４	外廻り群細図（7）	A1 1/5・1/25 A3 1/10・1/50	Ｓ－１９	Ｘ方向軸組図（2）	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－１９	平面群細図・展開図（7）〈前室（2）、男性休憩・更衣室(2)、女性休憩・更衣室(2)、ﾄｲﾚ(1)、（2）〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５５	外廻り群細図（8）	A1 1/2・1/5・1/20 A3 1/4・1/10・1/40	Ｓ－２０	Ｙ方向軸組図	A1 1/75 A3 1/150
Ａ－２０	平面群細図・展開図（8） 〈調理室、検収室、食品室、前室（1）〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５６	調理室　機器配置図・機器表（参考図）	A1 1/30 A3 1/60	Ｓ－２１	鉄骨部材リスト	A1 1/30 A3 1/60
Ａ－２１	平面群細図・展開図（9） 〈休憩・更衣室、一時預かり室〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５７	サインキープラン・群細図	A1 1/75・1/5 A3 1/150・1/10	Ｓ－２２	鉄骨群細図	A1 1/30 A3 1/60
Ａ－２２	平面群細図・展開図（10）〈給湯室、教材庫(2) 女性休憩・更衣室(1)、男性休憩・更衣室(1)〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５８	小規模な倉庫1、倉庫2	A1 1/15 A3 1/30			
Ａ－２３	平面群細図・展開図（11）〈洗濯室、職員ﾄｲﾚ 多機能ﾄｲﾚ、教材庫(1)、倉庫〉	A1 1/30・1/50 A3 1/60・1/100	Ａ－５９	雨水浸透施設	A1 1/50・1/25 A3 1/100・1/50			
Ａ－２４	天井伏図（1）	A1 1/40 A3 1/80	Ａ－６０	仮設計画図（参考図）	A1 1/150 A3 1/300			
Ａ－２５	天井伏図（2）	A1 1/40 A3 1/80	Ａ－６１	外構図（参考図）				
Ａ－２６	建具キープラン（鋼製建具）	A1 1/150 A3 1/300						
Ａ－２７	建具表（1）	A1 1/50 A3 1/100						
Ａ－２８	建具表（2）	A1 1/50 A3 1/100						
Ａ－２９	建具キープラン（木製建具）	A1 1/150 A3 1/300						
Ａ－３０	建具表（3）	A1 1/50 A3 1/100						
Ａ－３１	建具表（4）	A1 1/50 A3 1/100						
Ａ－３２	家具キープラン	A1 1/150 A3 1/300						
Ａ－３３	家具群細図（1）	A1 1/20 A3 1/40						
Ａ－３４	家具群細図（2）	A1 1/20 A3 1/40						
Ａ－３５	家具群細図（3）	A1 1/20 A3 1/40						

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	図面リスト
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 ― A3 ―
								図面番号	Ａ－００

案内図

計画概要

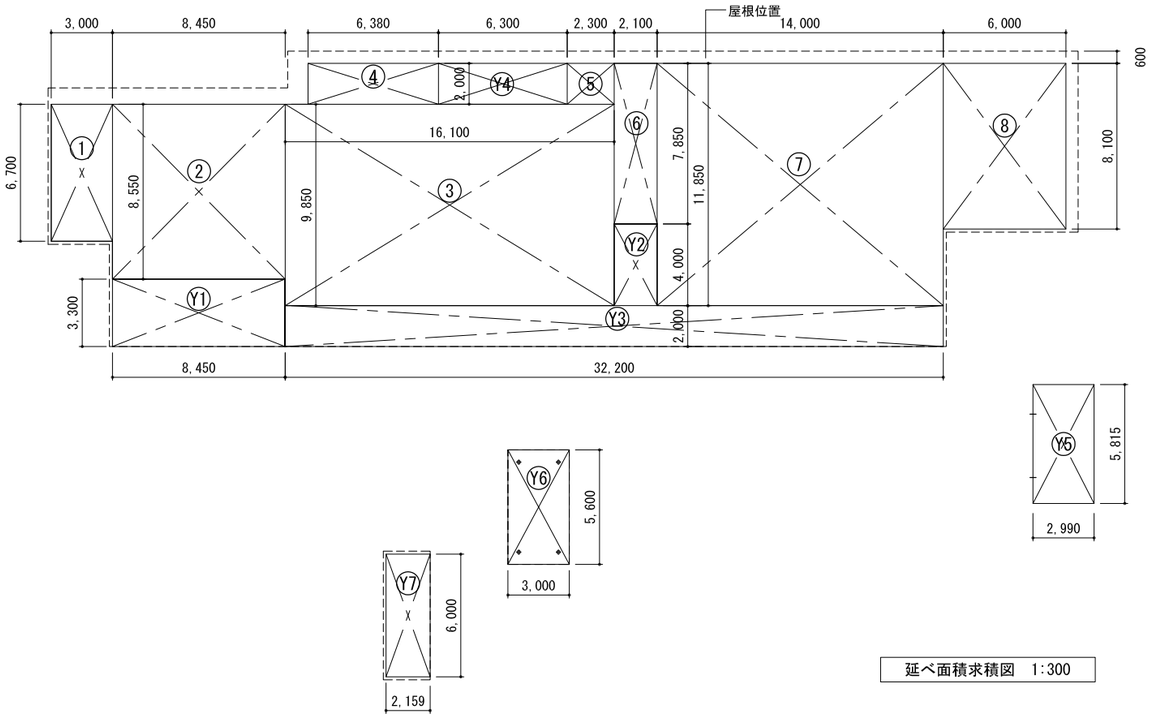
敷地	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事		
	工事場所	申請地：千葉市稲毛区長沼原町74番6の一部		
	用途地域	市街化調整区域		
	防火地域	指定なし		
	その他区域	第22条指定区域		
	法定建ぺい率	70%（角地緩和による）	法定容積率	200%
	道路幅員	南側：市道 長沼町128号線（法第42条1項1号道路） 幅員5.5m 西側：市道 長沼原町71号線（法第42条1項1号道路） 幅員5.0m		
面積	敷地面積	1,999.80 ㎡ （開発区域面積 2,000.14 ㎡）		
	建築面積	599.42 ㎡		
	延べ面積	659.69 ㎡		
	容積率対象延べ面積	646.74 ㎡		
	保育所1階床面積	612.56 ㎡		
	建ぺい率	599.42 ／ 1,999.80 × 100 = 29.9739… 29.98% ＜ 70%		
	容 積 率	646.74 ／ 1,999.80 × 100 = 32.3402… 32.35% ＜ 200%		
工事概要	工事種別	新築工事		
	建 築 物	規模・構造	平家建て・鉄骨造	
		主要用途	保育所	
		消防法上用途	第6項（ハ）3児童福祉施設等	



申請敷地　座標求積表

点 目	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_n(X_{n+1}-X_{n-1})$	標 識
K.1	486.422	449.909	-26.201000	-11,788.065709	既設コンクリート杭
K.2	485.609	451.380	-10.788000	-4,869.487440	新設市金属標
K.3	475.634	469.489	-15.108000	-7,093.039812	新設市金属標
K.4'	470.501	478.668	-4.222000	2,020.936296	計算点
K.5'	471.412	481.527	18.792000	9,048.855384	計算点
K.6	489.293	490.029	35.927000	17,605.271883	新設市金属標
K.7	507.339	498.606	32.836000	16,372.226616	既設市コンクリート杭
K.8	522.129	505.633	29.789000	15,062,301437	既設市コンクリート杭
K.9	537.128	474.077	-10.319000	-4,892.000563	既設コンクリート杭
K.10	511.810	461.987	-50.706000	-23,425.512822	既設コンクリート杭
			倍 面 積	3,999.612678	
			面 積	1,999.806339	
			地 積	1,999.80 ㎡	

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	案内図・計画概要 敷地面積求積図	縮尺	A1 1/250 A3 1/500	図面番号	A－01
		特記事項		特記事項		特記事項							



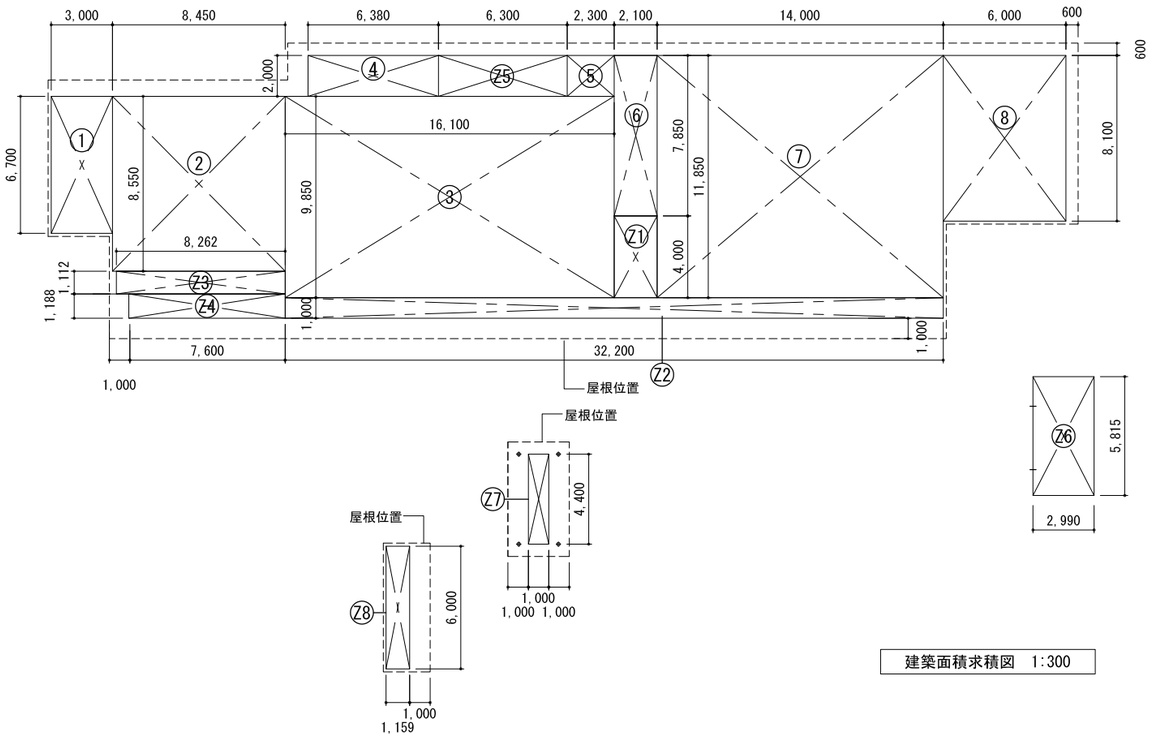
延べ面積求積図　1:300

延べ面積

名称	記号	計算式	床面積
保育所	①	3.000 × 6.700 = 20.1000	
	②	8.450 × 8.550 = 72.2475	
	③	16.100 × 9.850 = 158.5850	
	④	6.380 × 2.000 = 12.7600	
	⑤	2.300 × 2.000 = 4.6000	
	⑥	2.100 × 7.850 = 16.4850	
	⑦	14.000 × 11.850 = 165.9000	
	⑧	6.000 × 8.100 = 48.6000	
	Y1	8.450 × 3.300 = 27.8850	
	Y2	2.100 × 4.000 = 8.4000	
	Y3	32.200 × 2.000 = 64.4000	612.5625㎡
	Y4	6.300 × 2.000 = 12.6000	≒ 612.56
遊具倉庫	Y5	2.990 × 5.815 = 17.3868	17.38
ﾊﾟｰｺﾞﾗ（砂場）	Y6	3.000 × 5.600 = 16.8000	16.80
駐輪場	Y7	2.159 × 6.000 = 12.9540	12.95
合計			659.69 ㎡

容積率算定床面積：①～Y6 の合計　＝　646.74　㎡

※Y1～Y4 は、「屋内的用途に供する部分」として床面積に算入する。



建築面積求積図　1:300

建築面積

名称	記号	計算式	面積
保育所	①	3.000 × 6.700 = 20.1000	
	②	8.450 × 8.550 = 72.2475	
	③	16.100 × 9.850 = 158.5850	
	④	6.380 × 2.000 = 12.7600	
	⑤	2.300 × 2.000 = 4.6000	
	⑥	2.100 × 7.850 = 16.4850	
	⑦	14.000 × 11.850 = 165.9000	
	⑧	6.000 × 8.100 = 48.6000	
	Z1	2.100 × 4.000 = 8.4000	
	Z2	32.200 × 1.000 = 32.2000	
	Z3	8.262 × 1.112 = 9.1873	
	Z4	7.600 × 1.188 = 9.0288	570.6936㎡
	Z5	6.300 × 2.000 = 12.6000	≒ 570.69
遊具倉庫	Z6	2.990 × 5.815 = 17.3868	17.38
ﾊﾟｰｺﾞﾗ（砂場）	Z7	1.000 × 4.400 = 4.4000	4.40
駐輪場	Z8	1.159 × 6.000 = 6.9540	6.95
合計			599.42 ㎡

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	求積図・面積表
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/150 A3 1/300
								図面番号	A－02

外部仕上表

部　分	
屋根	金属屋根縦ハゼ葺き（フッ素樹脂塗装SGL鋼板t=0.4） 改質アスファルトルーフィングt=1.0　断熱材：高性能フェノールフォームt=45複合高圧木毛セメント板t=20
軒裏	木目調アルミスパンドレルt=0.8 アルミ見切(スパンドレル同色)
庇	アルミ押出形材
外壁1	スパンドレル（フッ素樹脂塗装鋼板t=0.4） 透湿防水シート　断熱材：フェノールフォームt=30　土台水切り
外壁2	外壁：窯業系サイディングt=16　　木製胴縁18×45（通気ルート確保　外壁材の目地部は2本使用） 透湿防水シート　断熱材：フェノールフォームt=30　土台水切り
外壁3	外壁：窯業系サイディングt=16　透湿防水シート　強化石膏ボードt=15×2（小屋裏野地板まで施工） 断熱材：グラスウール高性能10K　t=100）　土台水切り
外部巾木	コンクリート打放し(A種)上、防水形複層塗材E（ゆず肌）
竪樋	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 75φ(掴み金物)
軒樋	塩ﾋﾞ製角型（200×150）
外部サッシ	アルミ製サッシ
テラス	床：ウッドデッキ 人工木材(遮熱仕様)　ベビーゲート　未満児保育室側：足洗い　下足入れ　　以上児保育室側：手洗い　下足入れ
換気ガラリ	外壁用ステンレス製換気口　防虫・防鳥金網付き　100・150・200・250・300φ

内外装材リスト

屋　根	フッ素樹脂塗装SGL鋼板t=0.4	NM-8697
外　壁1	フッ素樹脂塗装鋼板t=0.4	NM-8697（同等品）
外　壁2	窯業系サイディング	NM-9744
外　壁3	窯業系サイディング（耐火構造壁）	FP060NE-0251-1 (3)
軒　天	アルミスパンドレルt=0.8	NM-4474
内　装	石膏ボードt=9.5	QM-9828
	石膏ボードt=12.5	NM-8619
	シージング石膏ボード（不燃）t=12.5	NM-9639
	ケイ酸カルシウム板t=6.0	NM-8578（同等品）
	化粧石膏ボードt=9.5	NM-1864（同等品）
	ロックウール化粧吸音板t=9.0	NM-8599（同等品）
	木毛セメント板t=25.0	QM-0922（同等品）
	ビニルクロス（基材不燃材料）	NM-3991（同等品）

内　装	EP-G塗装	不燃NM-8585 準不燃QM-9816
	腰壁天然木突板不燃壁材（クリア塗装）	NM-4389
令114条区画	両面石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地	H12建告1358第１一号ヘ

天井裏等を含む内装材に使用する材料（下地ボード・合板類・接着剤・塗装剤・断熱材等含む）は、すべて告示対象外又は、F☆☆☆☆（規制対象外）を使用する。
クロルピリホス規制 クロルピリホス及び、同材料が添加された材料は使用しない。
石綿含有建築材料の使用禁止（法28条の2第1号及び2号への適合） 石綿等をあらかじめ添加した建築材料を使用しない。 建築材料に石綿等を添加しない。

内部仕上表

：居室を示す

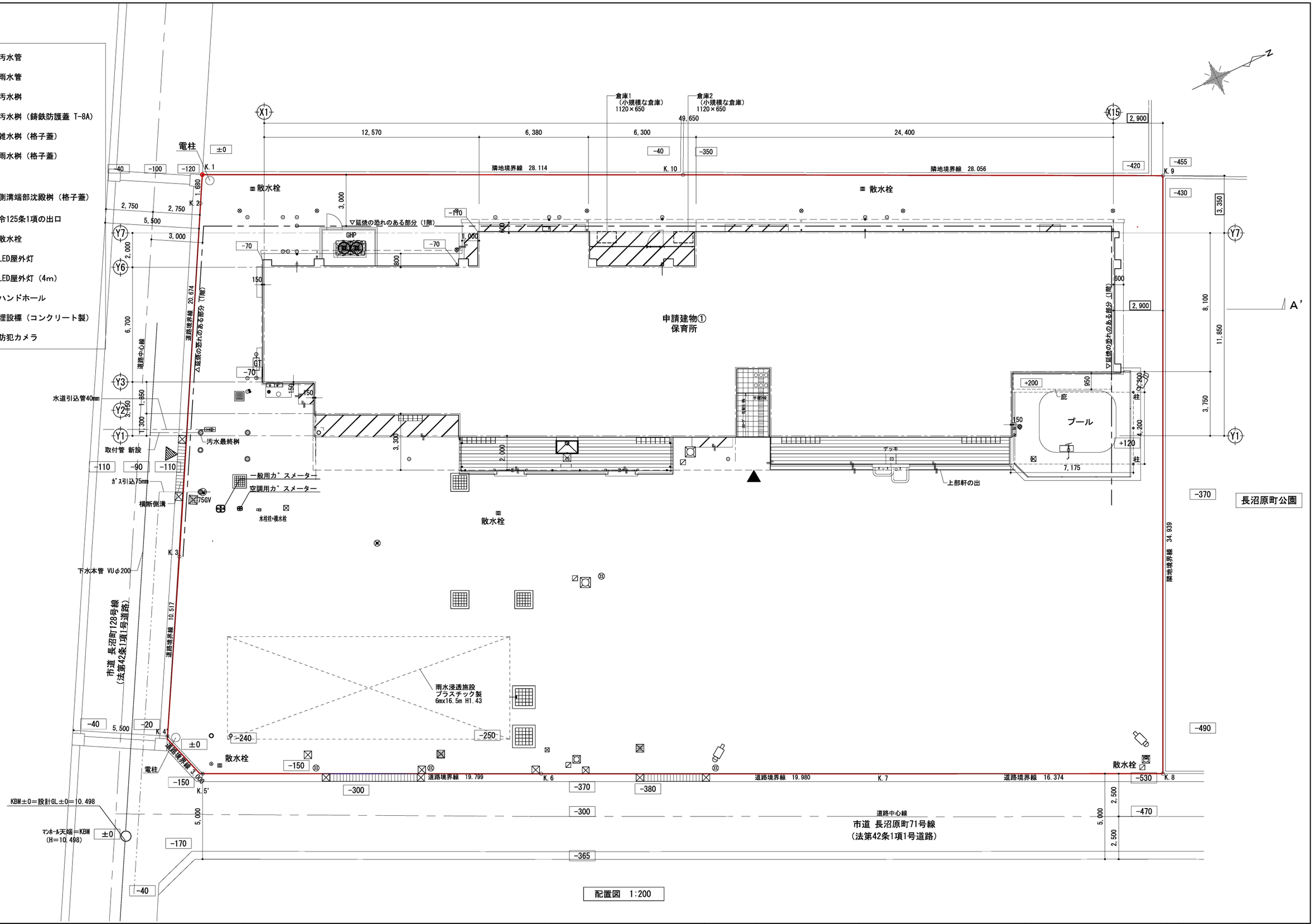
※記号は部分詳細図No.を示す

階	室　名	記号	床	床レベル	巾　木	記号	壁	記号	天　井	廻縁	CH	備　考
1階	玄　関	F3	ビニル床シートt=2.0　一部磁器質タイルt=9.0　300□ 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0　H=1.0m	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	職員用下足入、傘立て、受付カウンター 外部：視覚障害者誘導ブロック、手摺
	事務室	F3	ビニル床シートt=2.0貼り 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W2 BW2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 一部　ビニルクロス　（強化石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	受付カウンター、収納、ライニングカウンター カーテンボックス、カーテンレール（S）、床下点検口600角
	書庫	F3	ビニル床シートt=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W6 BW6	石膏ボードt=12.5　EP-G塗（石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	
	0、1歳児保育室	F2	クッションフロアシートt=3.5　一部床暖房敷置　　一部置き畳（床暖房対応用） 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0	C1	ロックウール化粧吸音板t=9.0（石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	幼児用ﾛｯｶｰ、吊戸棚、掃除用具入、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ﾀｵﾙﾌｯｸ、収納、耐水鏡 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、天井点検口600角、床下点検口600角
	1、2歳児保育室	F2	クッションフロアシートt=3.5　一部床暖房敷置　　一部置き畳（床暖房対応用） 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0	C1	ロックウール化粧吸音板t=9.0（石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	幼児用ﾛｯｶｰ、吊戸棚、掃除用具入、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ﾀｵﾙﾌｯｸ、収納、耐水鏡 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、天井点検口600角、床下点検口600角
	調乳室	F3	ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ミニキッチン
	沐浴室	F3	ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ライニングカウンター、床下点検口600角
	未満児トイレ	F3	ビニル床シート（抗菌・消臭）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、吊戸棚、耐水鏡
	3歳児以上保育室（1）	F1	複合フローリング（塗装品）t=15　一部置き畳　一部ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 一部　ビニルクロス　（強化石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）　腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0	C1	ロックウール化粧吸音板t=9.0（石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	幼児用ﾛｯｶｰ、吊戸棚、掃除用具入、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ﾀｵﾙﾌｯｸ、収納、耐水鏡 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、天井点検口600角、床下点検口600角
	3歳児以上保育室（2）	F1	複合フローリング（塗装品）t=15　一部置き畳　一部ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0	C1	ロックウール化粧吸音板t=9.0（石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	幼児用ﾛｯｶｰ、吊戸棚、掃除用具入、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ﾀｵﾙﾌｯｸ、収納、耐水鏡 ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、天井点検口600角、床下点検口600角
	以上児トイレ	F3	ビニル床シート（抗菌・消臭）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞｶｳﾝﾀｰ、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、掃除用具入、吊戸棚、耐水鏡、床下点検口600角
	遊戯室	F1	複合フローリング（塗装品）t=15 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0	C1	ロックウール化粧吸音板t=9.0（石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	収納、吊戸棚、カーテンボックス、カーテンレール（W）、天井点検口600角
	廊　下	F3	ビニル床シートt=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0　H=1.0m	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ﾌﾞｯｸｼｪﾙﾌ、管理区画ｼｬｯﾀｰ、消火器BOX埋込型×2、床下点検口600角×2 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（S）、天井点検口600角×5
	トイレ（1） トイレ（2）	F3	ビニル床シート（抗菌・消臭）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W3 BW3	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+GW（24K）t=50+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+石膏ﾎﾞｰﾄt=12.5+GW（24K）t=50+LGS下地）	C3	化粧石膏ボードt=9.5+GW（24K）t=100（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	吊戸棚、ライニングカウンター
	男性休憩・ 更衣室（2）	F4	畳敷き　踏込床部：ビニル床シートt=2.0貼り 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0 1FL+60	塩ビ製　H=60 畳寄せ	W2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボード（木目調）t=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,440 2,500	収納、カーテンレール（S）、天井点検口600角
	女性休憩・ 更衣室（2）	F4	畳敷き　踏込床部：ビニル床シートt=2.0貼り 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0 1FL+60	塩ビ製　H=60 畳寄せ	W2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボード（木目調）t=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,440 2,500	収納、カーテンレール（S）、天井点検口600角、床下点検口600角
	調理室	F5	ビニル床シート（耐剥用）t=2.5 下地：コンクリート	1FL±0	床材立ち上げ H=60 ｱﾙﾐ見切	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	厨房機器、消火器BOX埋込型 天井点検口600角
	前　室（1）	F3	ビニル床シート（耐剥用）t=2.5 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ライニングカウンター、ハンガーパイプ 天井点検口600角
	前　室（2）	F3	ビニル床シートt=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W2 BW2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ライニングカウンター、耐水鏡、床下点検口600角
	食品室	F3	ビニル床シート（耐剥用）t=2.5 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	シェルフ、床下点検口600角
	検収室	F3	ビニル床シート（耐剥用）t=2.5 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+耐水合板t=12.0	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4 BW4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地） 114条区画：（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード（不燃）t=12.5+石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	
	一時預かり室	F1	複合フローリング（塗装品）t=15　一部ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）	1FL±0	木製 H=60	W1 BW1	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 腰壁：天然木突板不燃壁材（クリア塗装）t=6.0	C1	ロックウール化粧吸音板t=9.0（石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	ライニングカウンター、収納、掃除用具入、ホワイトボード、耐水鏡 カーテンボックス、カーテンレール（S）、床下点検口600角
	休憩・更衣室	F4	畳敷き　踏込床部：ビニル床シートt=2.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0 1FL+60	塩ビ製　H=60 畳寄せ	W2 BW2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地） 114条区画：（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボード（木目調）t=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,440 2,500	
	多機能トイレ	F5	ビニル床シート（抗菌・消臭）t=2.0 下地：コンクリート	1FL±0	塩ビ製 H=60	W5	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+GW（24K）t=50+LGS下地）	C5	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+GW24K　t=100+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ライニングカウンター 耐水鏡、天井点検口600角
	職員トイレ	F5	ビニル床シート（抗菌・消臭）t=2.0 下地：コンクリート	1FL±0	塩ビ製 H=60	W3	ビニルクロス（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5+GW（24K）t=50+LGS下地）	C3	化粧石膏ボードt=9.5+GW（24K）t=100（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ライニングカウンター、収納、耐食鏡、天井点検口600角
	教材庫（1） 教材庫（2）	F5	ビニル床シートt=2.0 下地：コンクリート	1FL±0	塩ビ製 H=60	W6	石膏ボードt=12.5　EP-G塗　（石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	固定棚、天井点検口600角（教材庫（1）） 倉　庫
	倉　庫	F5	ビニル床シートt=2.0 下地：コンクリート	1FL±0	塩ビ製 H=60	W6	石膏ボードt=12.5　EP-G塗　（石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,800	固定棚、天井点検口600角
	男性休憩・ 更衣室（1）	F4	ビニル床シートt=2.0　一部畳敷 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0 1FL+60	塩ビ製　H=60 畳寄せ	W2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボード（木目調）t=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,440 2,500	収納、カーテンレール（S）
	女性休憩・ 更衣室（1）	F4	ビニル床シートt=2.0　一部畳敷 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=12.0	1FL±0 1FL+60	塩ビ製　H=60 畳寄せ	W2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボード（木目調）t=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,440 2,500	収納、カーテンレール（S）
	洗濯室	F5	ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	
	給湯室	F5	ビニル床シート（耐水）t=2.0 下地：コンクリート	1FL±0	塩ビ製 H=60	W4	ケイ酸カルシウム板t=6　EP-G塗（シージング石膏ボードt=12.5+LGS下地）	C4	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　EP-G塗（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（不燃）t=12.5+LGS下地）	塩ビ 目透かし型	2,500	ミニキッチン
	各収納	F6	ｼﾅ合板 t=9.0 下地：コンクリート+鋼製二重床（構造用合板t=12+断熱材t=25）+合板t=5.0		雑巾摺	W2	ビニルクロス（石膏ボードt=12.5+12.5+LGS下地）	C2	化粧石膏ボードt=9.5（LGS下地）	塩ビ 目透かし型		

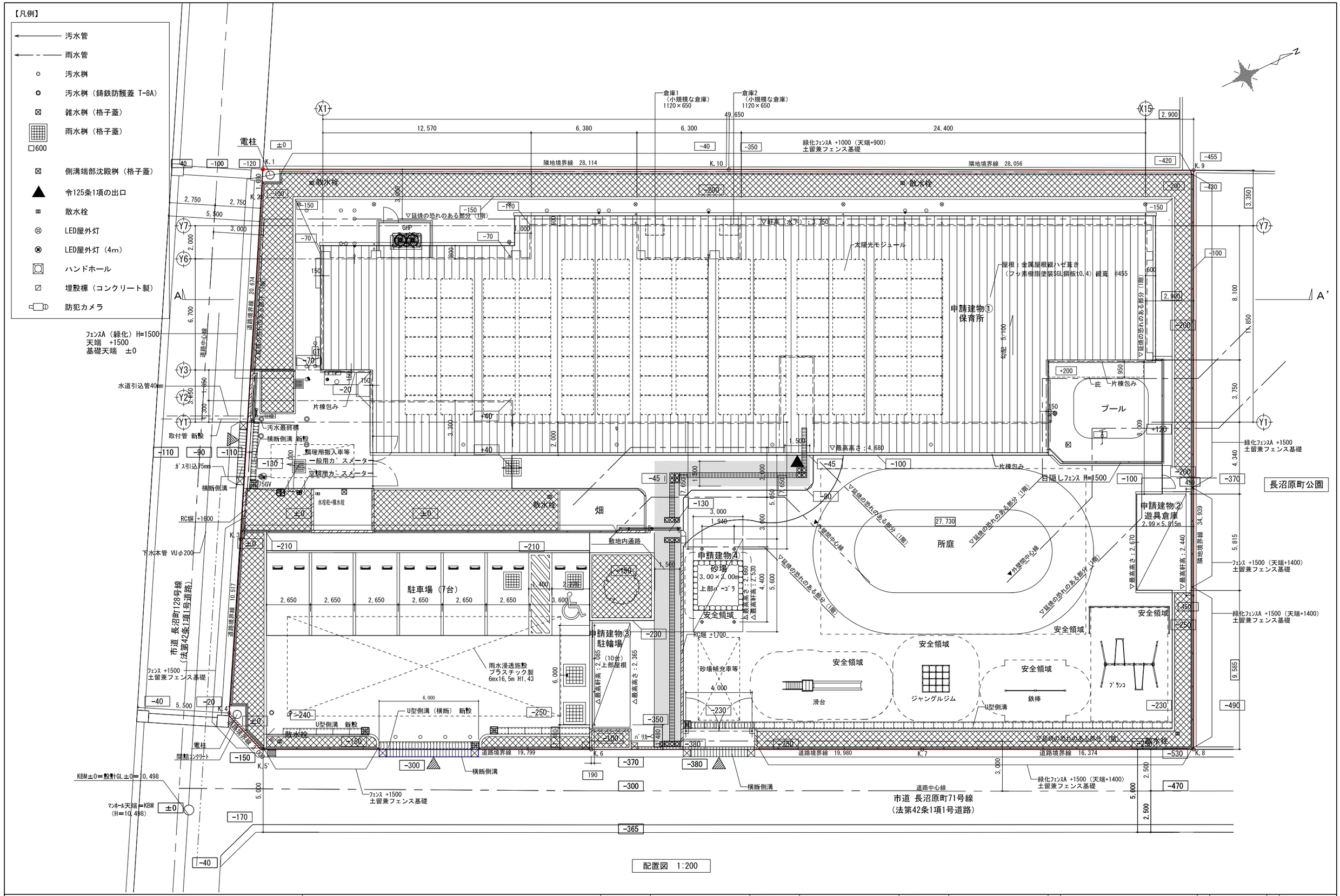
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日　令和　8年　1月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	仕上表	縮尺	A1　－ A3　－	図面番号　A－03

【凡例】

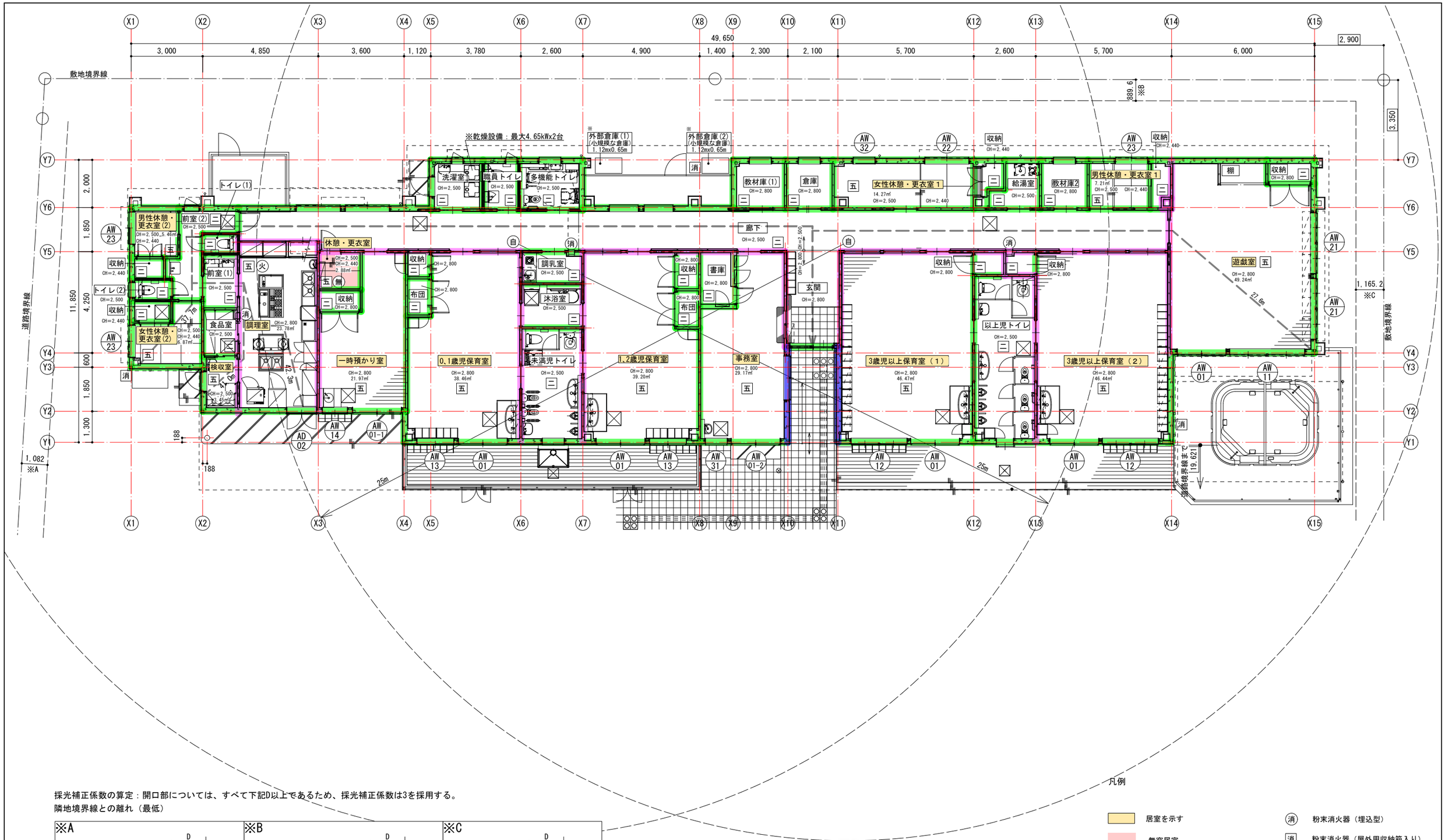
- 汚水管
- 雨水管
- 汚水桝
- 汚水桝（鋳鉄防護蓋 T-8A）
- 雑水桝（格子蓋）
- 雨水桝（格子蓋） □600
- 側溝端部沈殿桝（格子蓋）
- 令125条1項の出口
- 散水栓
- LED屋外灯
- LED屋外灯（4m）
- ハンドホール
- 埋設標（コンクリート製）
- 防犯カメラ



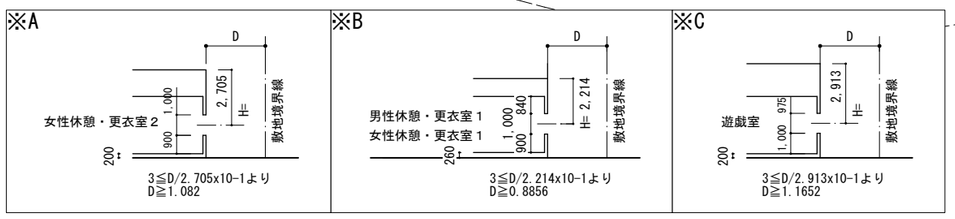
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	配置図（1）〈建築工事完了時〉	縮尺	A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A－04
		特記事項	特記事項	特記事項					



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	配置図（2）〈外構工事完了時〉（参考図）	縮尺	A1 1/100 A3 1/200	図面番号	A－05
		特記事項	特記事項	特記事項						



採光補正係数の算定：開口部については、すべて下記D以上であるため、採光補正係数は3を採用する。
隣地境界線との離れ（最低）



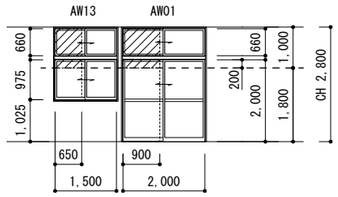
※　小規模な倉庫は建築物ではない

凡例

- 居室を示す
- 無窓居室
- 令114条による区画
- 耐火構造壁
- 防煙区画
- 避難階における居室の各部分から屋外への出口の一に至る歩行経路（30mx2=60m以下）
- 消　粉末消火器（埋込型）
- 消　粉末消火器（屋外用収納箱入り）
- 火　火気使用室
- 自　自動火災報知設備
- 無　無窓居室
- 二　H12建告第1436号第4号ヘ(2)
- 五　H12建告第1436号第4号ヘ(5)

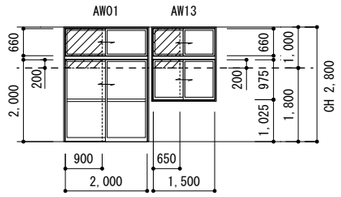
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	法規チェック図(1)	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	A-06
		特記事項		特記事項		特記事項							

0,1歳児保育室



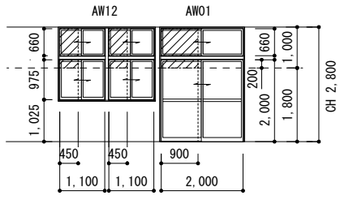
室面積		38.46㎡	
採光	必要面積	38.46×1/5= 7.692	
採光	有効面積	2.0x(2.0+0.66)x3+1.5x(0.975+0.66)x3= 23.31	適
換気	必要面積	38.46×1/20= 1.923	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)+0.65x(0.975+0.66)= 3.45	適
排煙	必要面積	38.46×1/50= 0.7692	
排煙	有効面積	0.65x(0.66+0.2)+0.9x(0.66+0.2)= 1.333	適

1,2歳児保育室



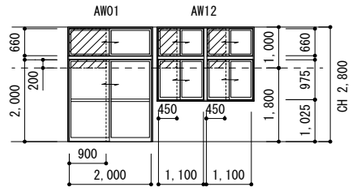
室面積		39.20㎡	
採光	必要面積	39.20×1/5= 7.84	
採光	有効面積	2.0x(2.0+0.66)x3+1.5x(0.975+0.66)x3= 23.31	適
換気	必要面積	39.20×1/20= 1.96	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)+0.65x(0.975+0.66)= 3.45	適
排煙	必要面積	39.20×1/50= 0.784	
排煙	有効面積	0.65x(0.66+0.2)+0.9x(0.66+0.2)= 1.333	適

3歳児以上保育室(1)



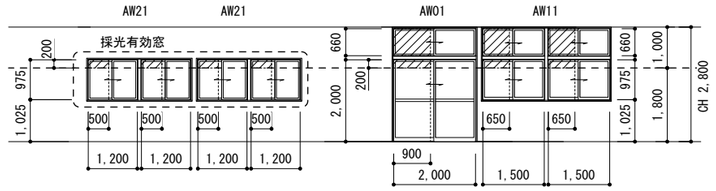
室面積		46.47㎡	
採光	必要面積	46.47×1/5= 9.294	
採光	有効面積	2.0x(2.0+0.66)x3+1.1x(0.975+0.66)x2x3= 26.75	適
換気	必要面積	46.47×1/20= 2.3235	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)+0.45x(0.975+0.66)x2= 3.86	適
排煙	必要面積	46.47×1/50= 0.93	
排煙	有効面積	0.9x(0.66+0.2)+0.45x(0.66+0.2)x2= 1.548	適

3歳児以上保育室(2)



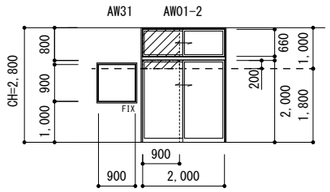
室面積		46.44㎡	
採光	必要面積	46.44×1/5= 9.288	
採光	有効面積	2.0x(2.0+0.66)x3+1.1x(0.975+0.66)x2x3= 26.75	適
換気	必要面積	46.44×1/20= 2.322	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)+0.45x(0.975+0.66)x2= 3.86	適
排煙	必要面積	46.44×1/50= 0.93	
排煙	有効面積	0.9x(0.66+0.2)+0.45x(0.66+0.2)x2= 1.548	適

遊戯室



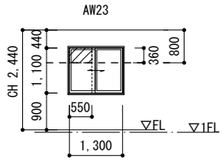
室面積		49.24㎡	
採光	必要面積	49.24×1/5= 9.848	
採光	有効面積	1.2x0.975x4x3= 14.04	適
換気	必要面積	49.24×1/20= 2.462	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)+0.65x(0.975+0.66)x2+0.5x0.975x4= 6.46	適
排煙	必要面積	49.24×1/50= 0.9848	
排煙	有効面積	0.9x(0.66+0.2)+0.65x(0.66+0.2)x2+0.5x0.2x4= 2.292	適

事務室



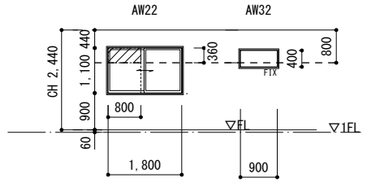
室面積		29.17㎡	
採光	必要面積	29.17×1/20= 1.46	
採光	有効面積	2.0x(2.0+0.66)x3+0.9x0.9x3= 18.39	適
換気	必要面積	29.17×1/20= 1.46	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)= 2.39	適
排煙	必要面積	29.17×1/50= 0.5834	
排煙	有効面積	0.9x(0.66+0.2)= 0.774	適

男性休憩・更衣室(1)



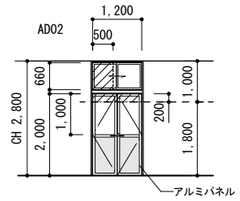
室面積		7.21㎡	
採光	必要面積	7.21×1/20= 0.3605	
採光	有効面積	1.3x1.1x3= 4.29	適
換気	必要面積	7.21×1/20= 0.3605	
換気	有効面積	0.55x1.1= 0.605	適
排煙	必要面積	7.21×1/50= 0.1442	
排煙	有効面積	0.55x0.36= 0.19	適

女性休憩・更衣室(1)



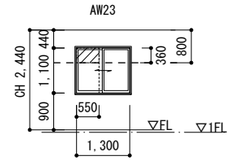
室面積		14.27㎡	
採光	必要面積	14.27×1/20= 0.7135	
採光	有効面積	1.8x1.1x3+0.9x0.4x3= 7.02	適
換気	必要面積	14.27×1/20= 0.7135	
換気	有効面積	0.8x1.1= 0.88	適
排煙	必要面積	14.27×1/50= 0.2854	
排煙	有効面積	0.8x0.36= 0.288	適

調理室



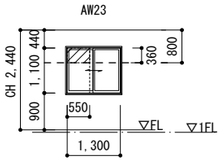
室面積		23.78㎡	
採光	必要面積	23.78×1/20= 1.189	
採光	有効面積	1.2x(1.0+0.66)x3x0.7= 4.179	適
換気	必要面積	23.78×1/20= 1.189	
換気	有効面積	1.2x2.0+0.5x0.66= 2.73	適
排煙	必要面積	23.78×1/50= 0.4756	
排煙	有効面積	0.5x0.66+1.2x0.2= 0.57	適

男性休憩・更衣室(2)



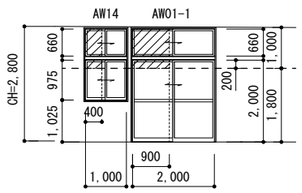
室面積		5.46㎡	
採光	必要面積	5.46×1/20= 0.273	
採光	有効面積	1.3x1.1x3= 4.29	適
換気	必要面積	5.46×1/20= 0.273	
換気	有効面積	0.55x1.1= 0.605	適
排煙	必要面積	5.46×1/50= 0.11	
排煙	有効面積	0.55x0.36= 0.19	適

女性休憩・更衣室(2)



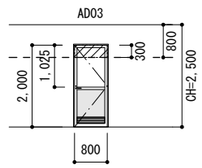
室面積		6.87㎡	
採光	必要面積	6.87×1/20= 0.3435	
採光	有効面積	1.3x1.1x3= 4.29	適
換気	必要面積	6.87×1/20= 0.3435	
換気	有効面積	0.55x1.1= 0.605	適
排煙	必要面積	6.87×1/50= 0.1374	
排煙	有効面積	0.55x0.36= 0.19	適

一時預かり室



室面積		21.97㎡	
採光	必要面積	21.97×1/5= 4.394	
採光	有効面積	2.0x(2.0+0.66)x3x0.7+1.0x(0.975+0.66)x3x0.7= 14.602	適
換気	必要面積	21.97×1/20= 1.0985	
換気	有効面積	0.9x(2.0+0.66)+0.4x(0.975+0.66)= 3.04	適
排煙	必要面積	21.97×1/50= 0.4394	
排煙	有効面積	0.9x(0.66+0.2)+0.4x(0.66+0.2)= 1.118	適

検収室



室面積		3.45㎡	
採光	必要面積	3.45×1/20= 0.1725	
採光	有効面積	0.8x1.025x3= 2.46	適
換気	必要面積	3.45×1/20= 0.1725	
換気	有効面積	0.8x2.0= 1.60	適
排煙	必要面積	3.45×1/50= 0.069	
排煙	有効面積	0.8x0.3= 0.24	適

更衣休憩室

令2国交告249第一号イ及び第二号ヘに該当

室面積		2.88㎡	
採光	必要面積	2.88×1/20= 0.144	
採光	有効面積	- 0.00	採光無窓
換気	必要面積	機械換気による	
換気	有効面積		適
排煙	必要面積	2.88×1/50= 0.0576	
排煙	有効面積	- 0.00	排煙無窓

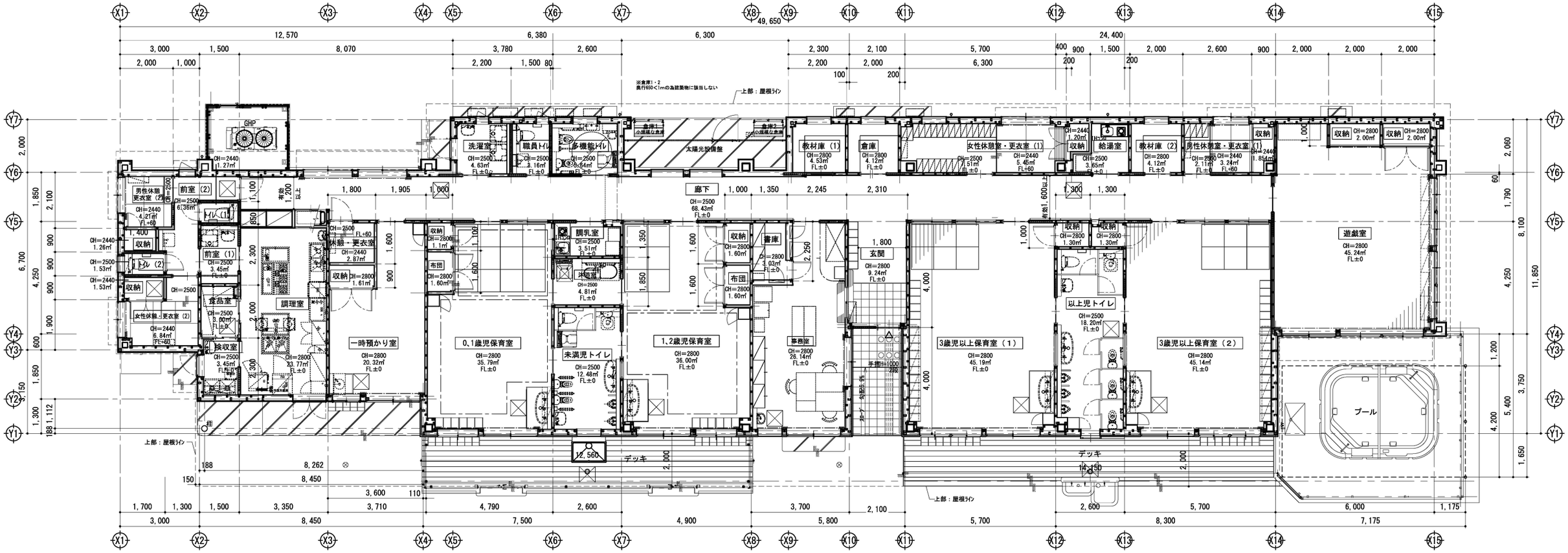
凡例

無窓居室

排煙有効開口

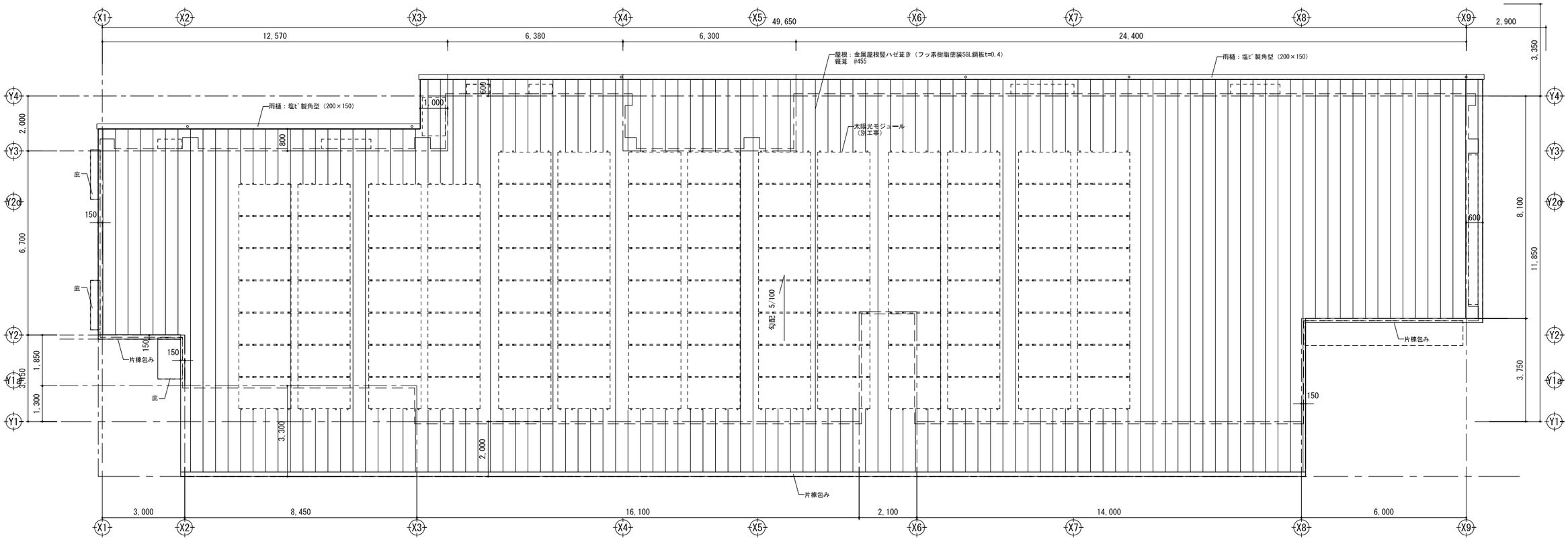
室面積			
採光	必要面積		
採光	有効面積		
換気	必要面積		
換気	有効面積		
排煙	必要面積		
排煙	有効面積		

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 法規チェック図(2)	縮尺 A1 1/75 A3 1/150	図面番号 A-07
		特記事項	特記事項	特記事項			



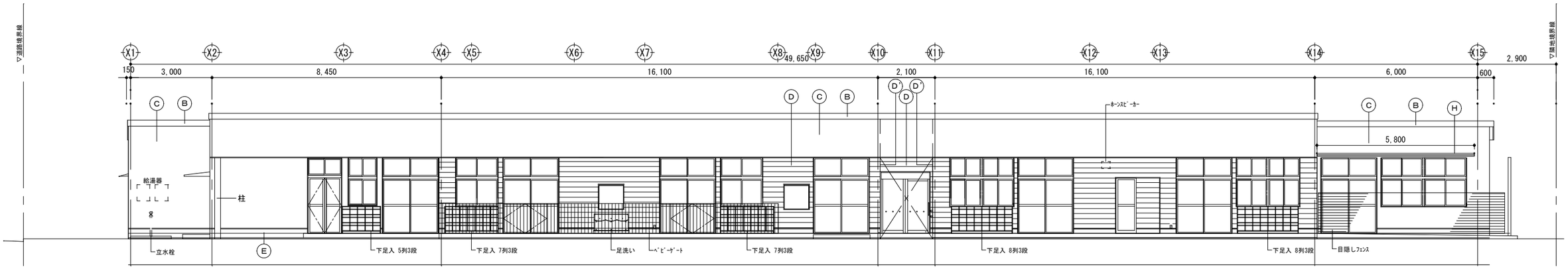
全体平面図　1：150

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	全体平面図	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	A－08
		特記事項	特記事項	特記事項						

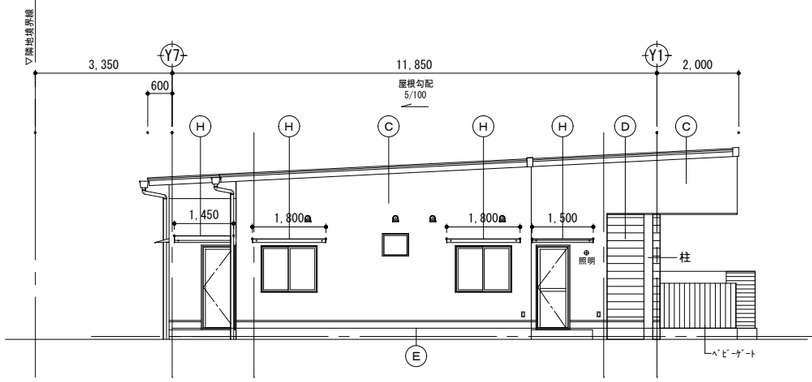


屋根伏図

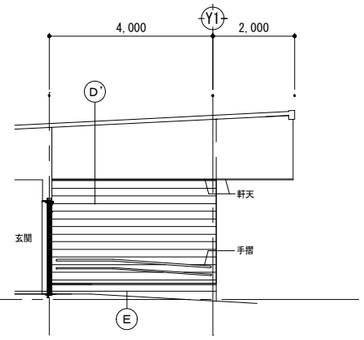
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	屋根伏図	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	A－09
		特記事項		特記事項		特記事項							



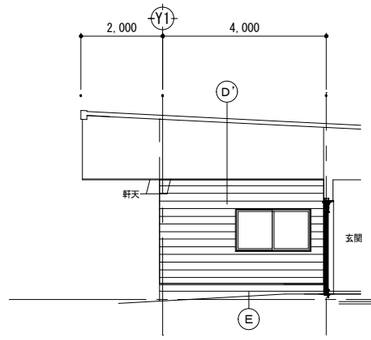
東側立面図



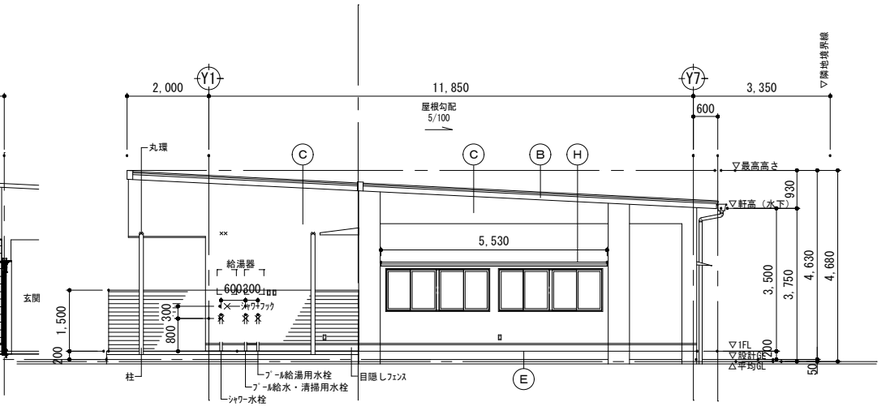
南側立面図



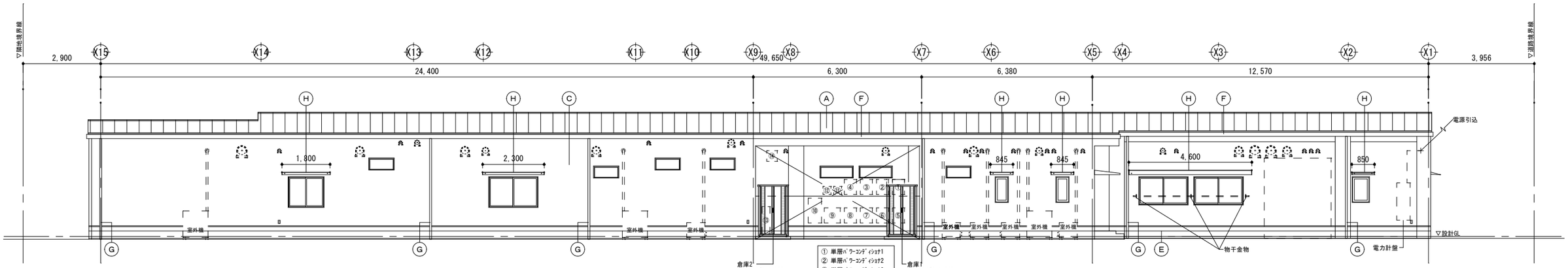
X11通り立面図



X10通り立面図



北側立面図



西側立面図

① 単層ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ1
② 単層ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ2
③ 単層ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ3
④ 単層ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ4
⑤ 単層ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ5
⑥ PVﾕﾆｯﾄ
⑦ ﾄﾗﾝｽﾕﾆｯﾄ
⑧ ﾏﾙﾁ蓄電ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ
⑨ ｽﾏｰﾄﾒｰﾀ盤
⑩ 交流集電箱
⑪ ｴｺめがね盤
⑫ ｹﾞｰﾄｳｪｲ盤
⑬ 蓄電池ﾕﾆｯﾄ
⑭ ブルボックス

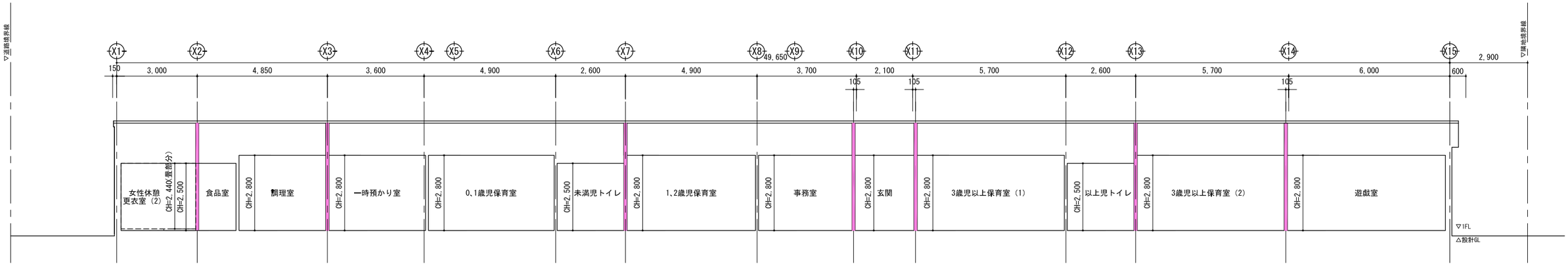
※各斜線制限については、下記により明らかに適合
・道路斜線　5m×1.5≧4.68　→　適合
・隣地斜線　20m≧4.68　→　適合

平均GL＝設計GL-50
設計GL＝KBM±0
平均地盤面からの最高高さ：4,680mm

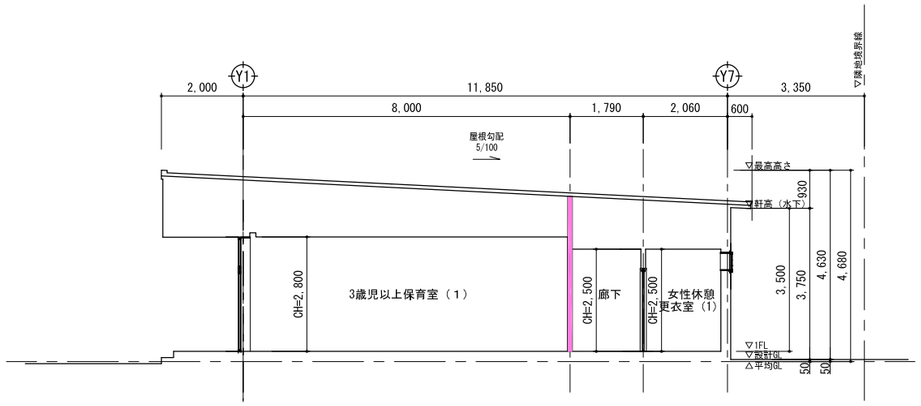
凡　例

A	屋根：金属屋根竪ハゼ葺き（フッ素樹脂塗装SGL鋼板t0.4）	E	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(A種)の上 防水形複層塗材E（ゆず肌）
B	ケラバ包み：屋根同材	F	軒樋：塩ﾋﾞ製角型（200×150）
C	外壁①：金属サイディング	G	竪樋：塩ﾋﾞ製ｶﾗｰVU75φ
D	外壁②：窯業系サイディング	H	庇：アルミ製
D'	外壁③：窯業系サイディング（耐火構造壁）		給気、排気、換気　外部ﾌｰﾄﾞ（設備工事）100、150、200、250、300φ

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	立面図	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	A－10
	千葉市長沼原保育所新築工事	特記事項		特記事項		特記事項							



Ａ－Ａ’断面図

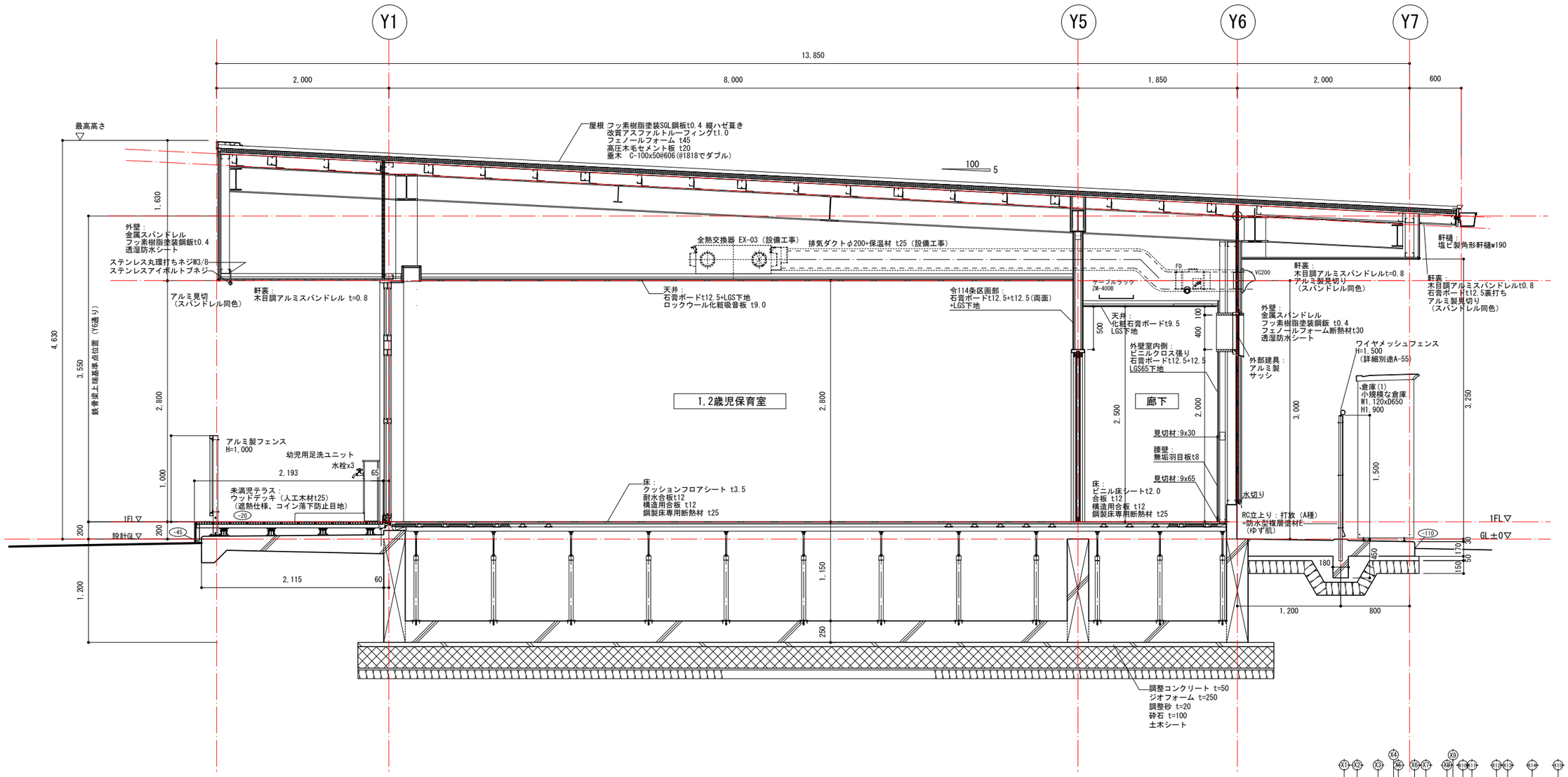


Ｂ－Ｂ’断面図

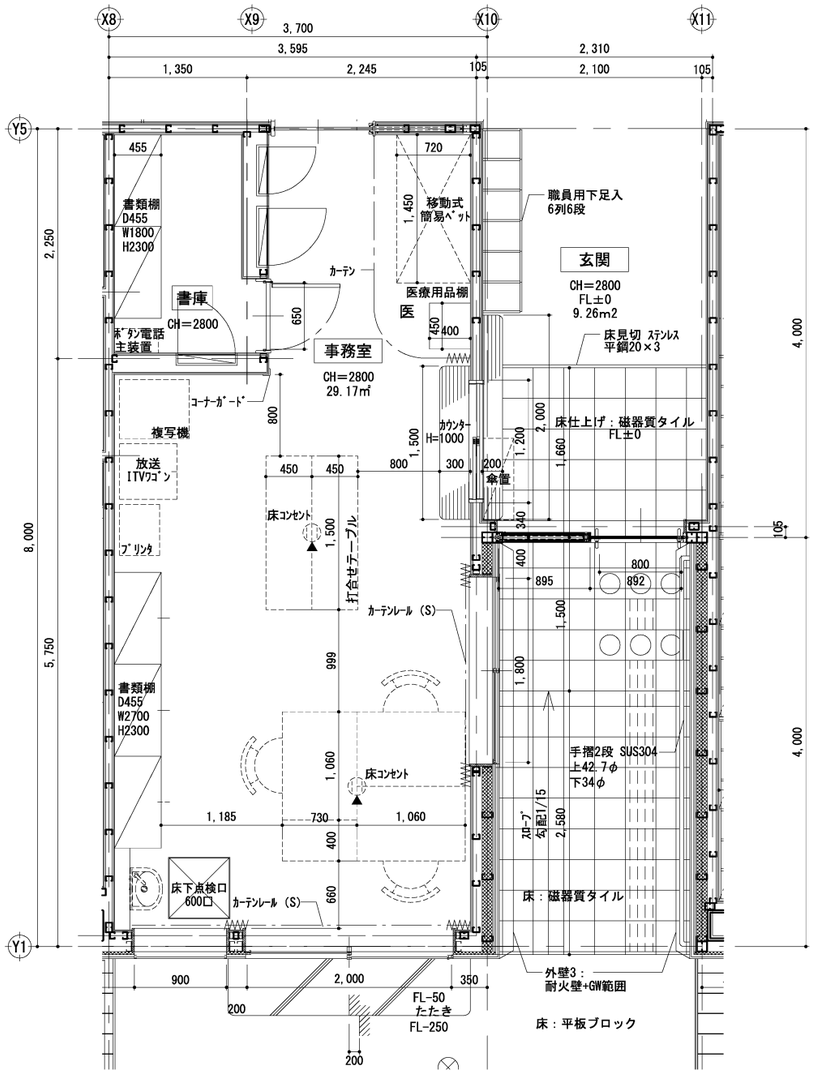
【凡例】

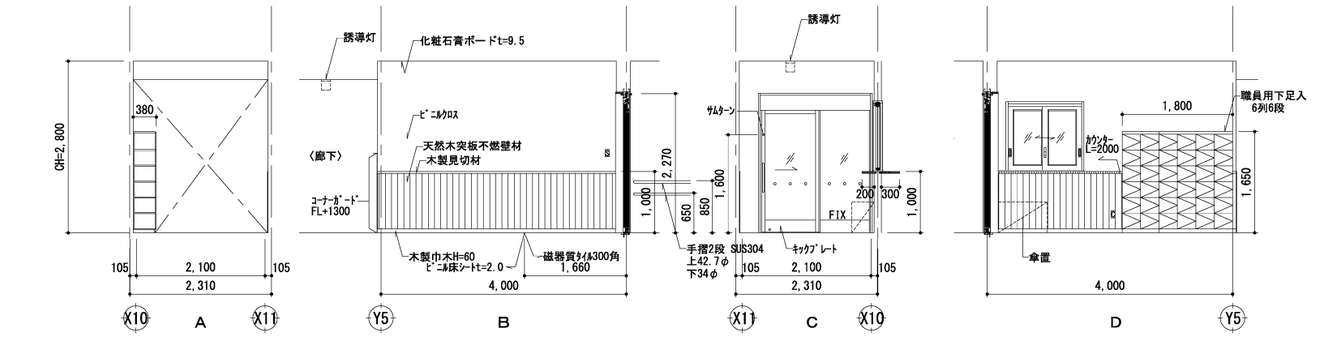
114条区画線

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	断面図
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/75 A3 1/150
								図面番号	Ａ－１１

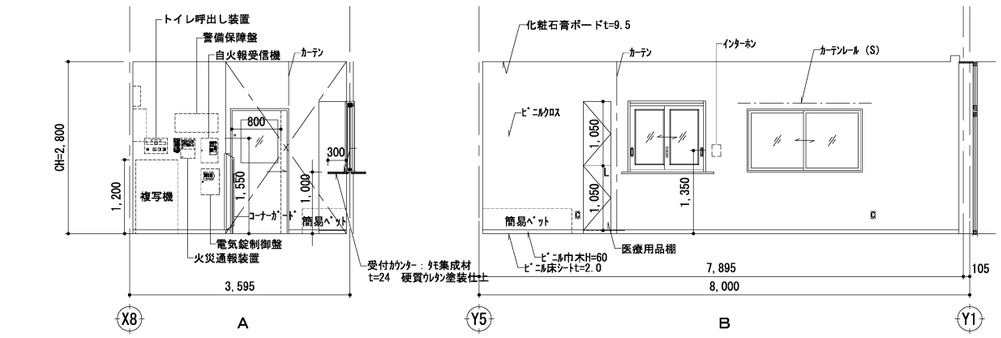


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	矩計図	縮尺 A1 1/25 A3 1/50	図面番号 A－12
			特記事項		特記事項		特記事項					

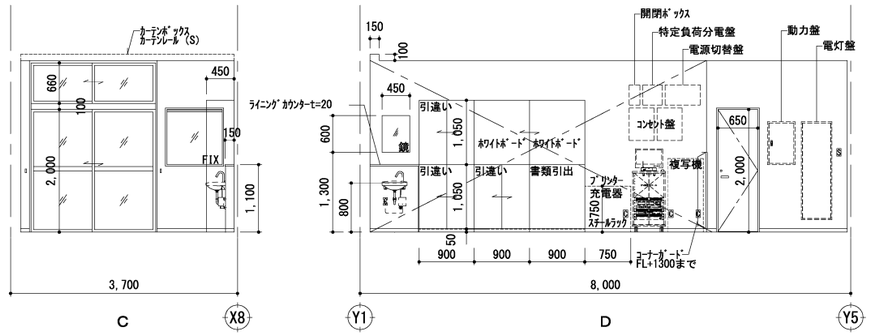


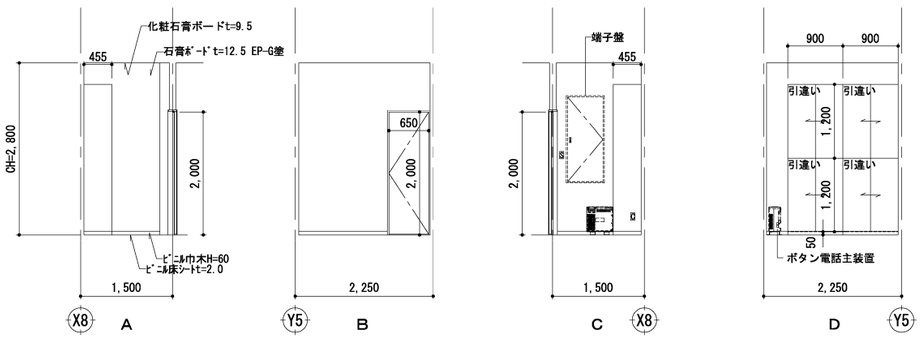


玄　関　1/50



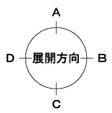
事務室　1/50



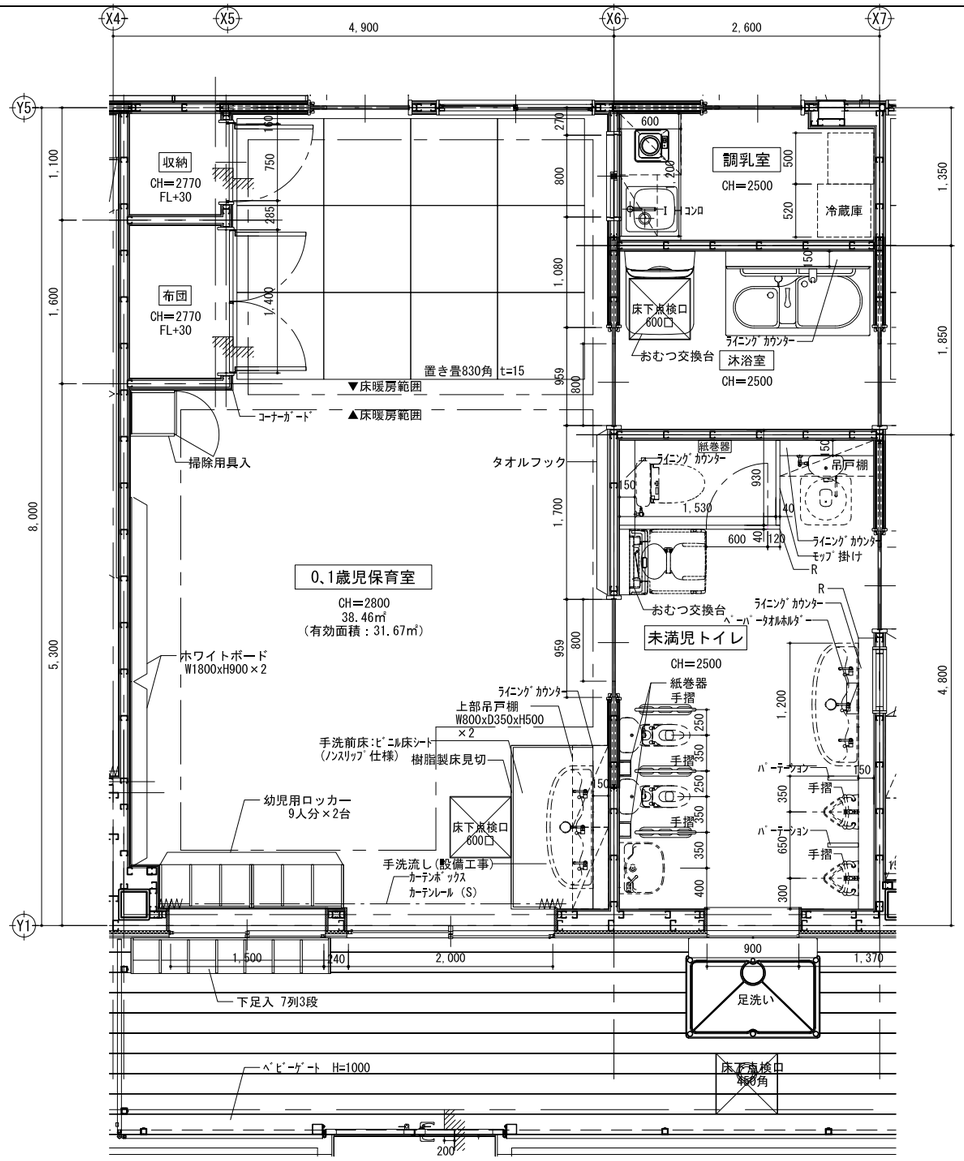


書　庫　1/50

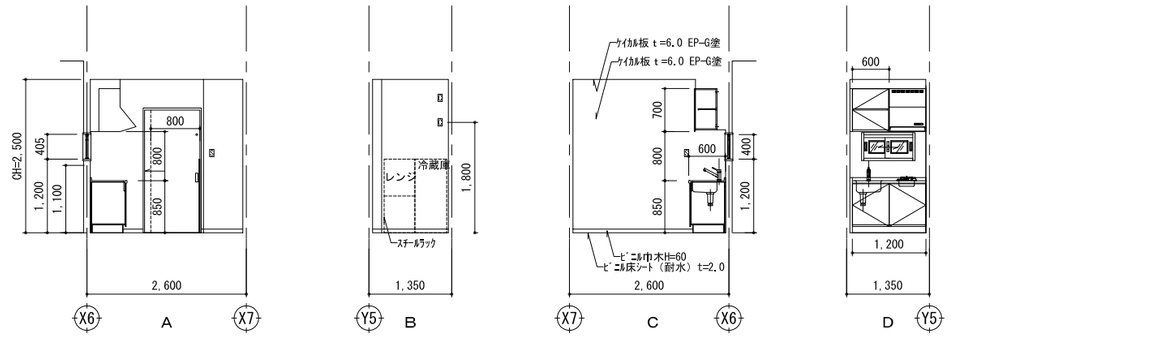
玄関、事務室、書庫 平面詳細図　1/30



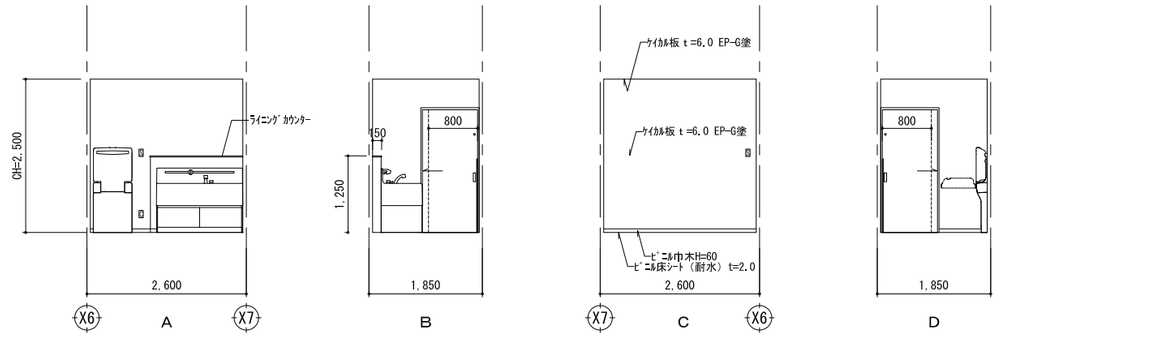
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（1）〈玄関、事務室、書庫〉
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100
								図面番号	A－13



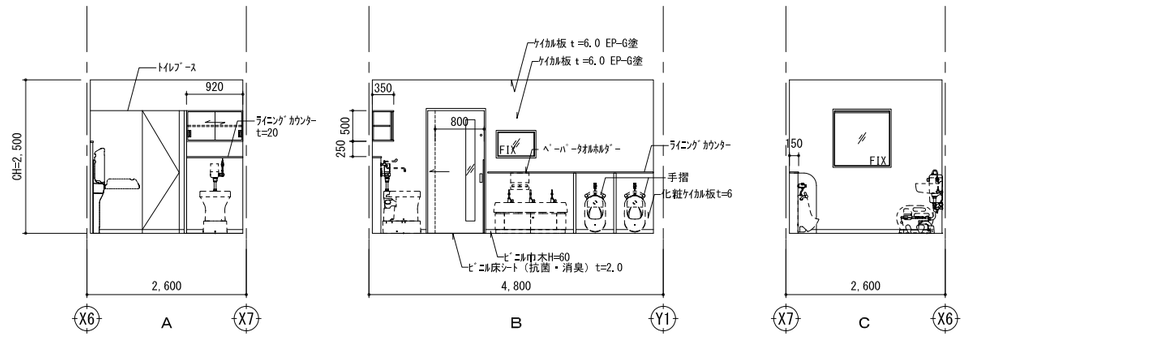
調乳室、沐浴室、未満児トイレ
0，1歳児保育室　平面詳細図　1/30



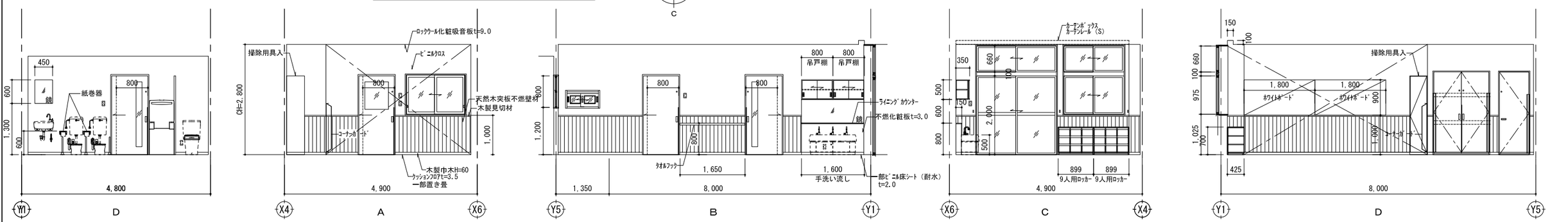
調乳室　1/50



沐浴室　1/50

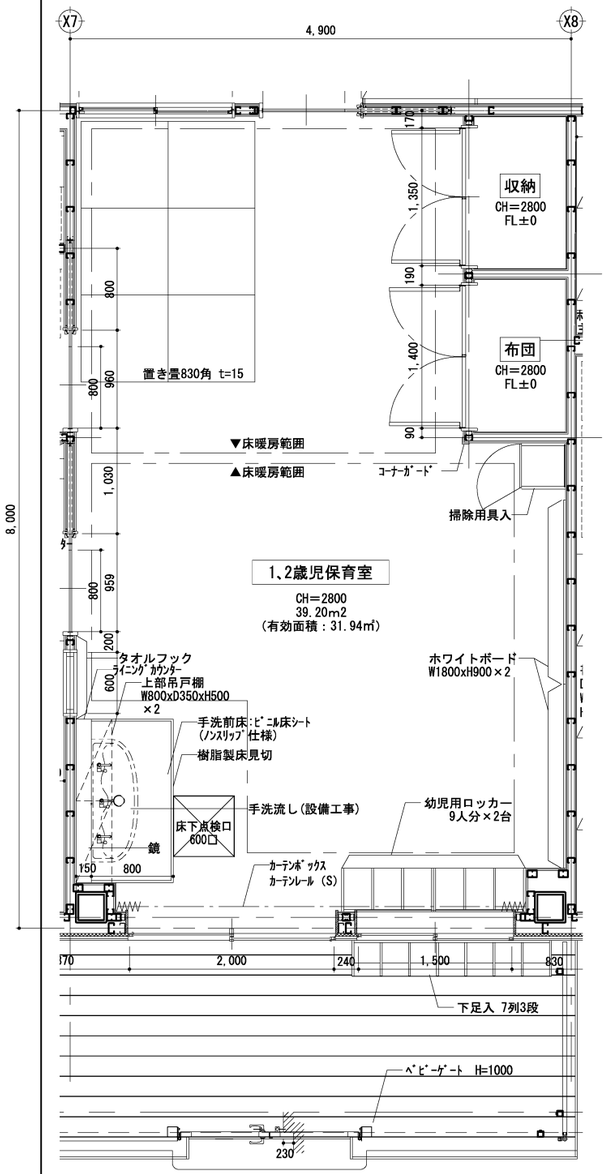


未満児トイレ　1/50

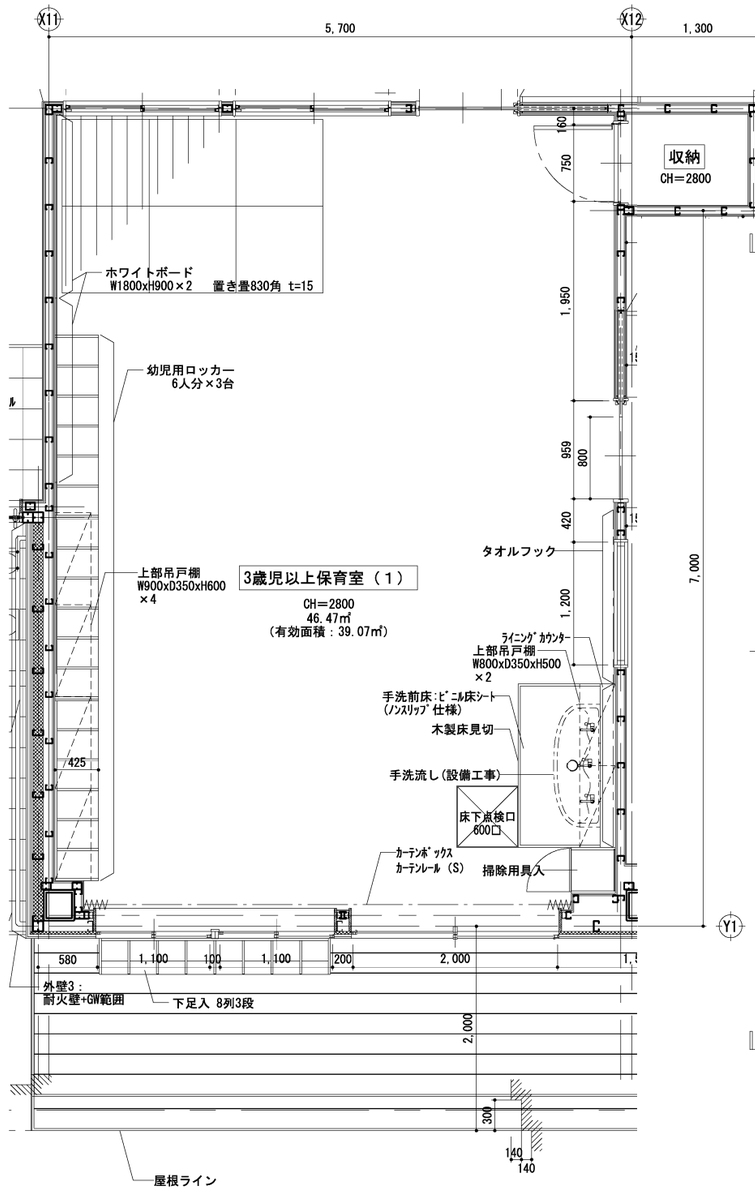


0、1歳児保育室　1/50

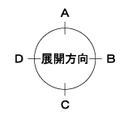
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	平面詳細図・展開図（2）〈調乳室、沐浴室、未満児トイレ 0、1歳児保育室〉	縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100	図面番号	A－14

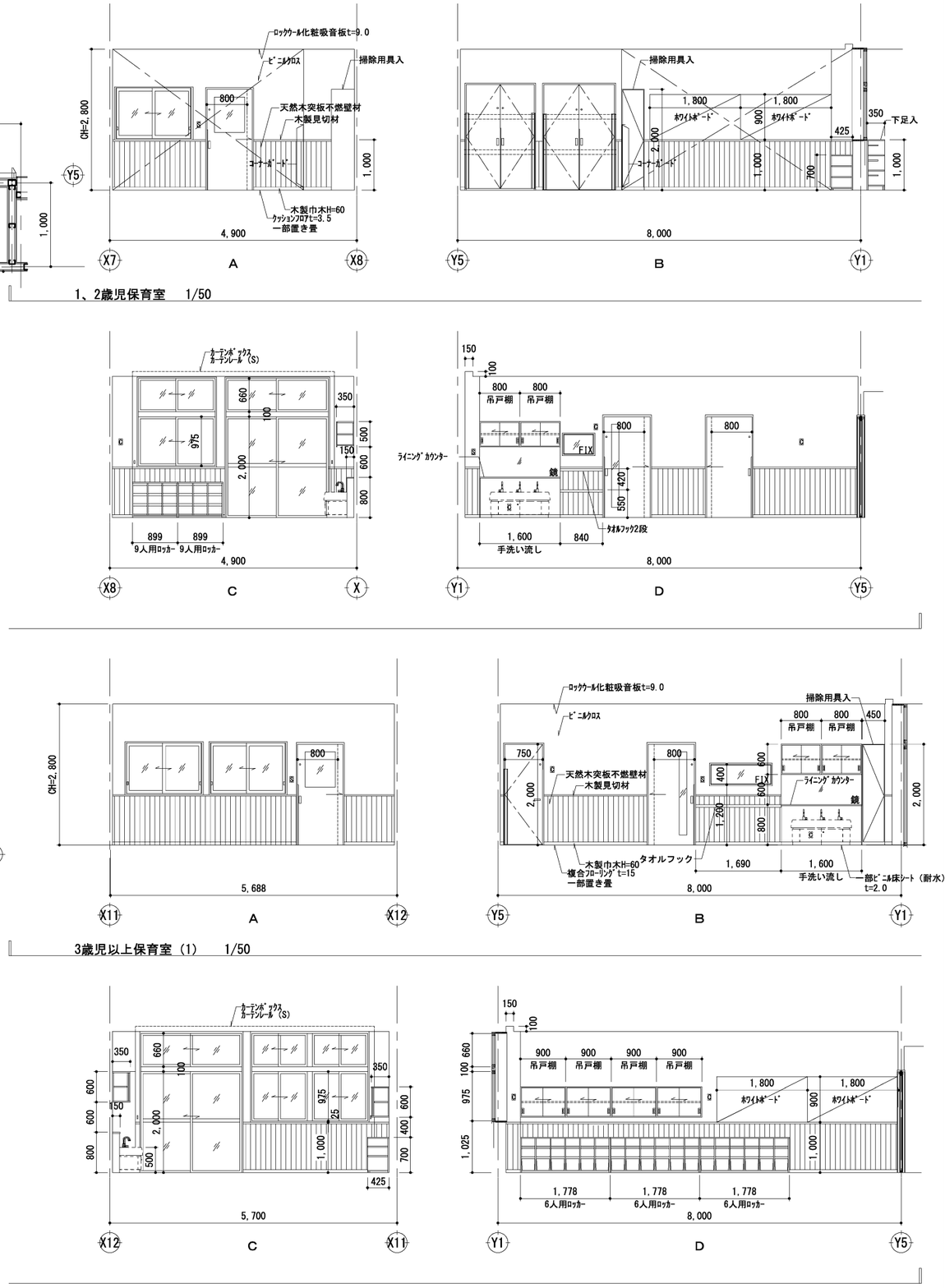


1，2歳児保育室 平面詳細図 1/30



3歳児以上保育室（1） 平面詳細図 1/30

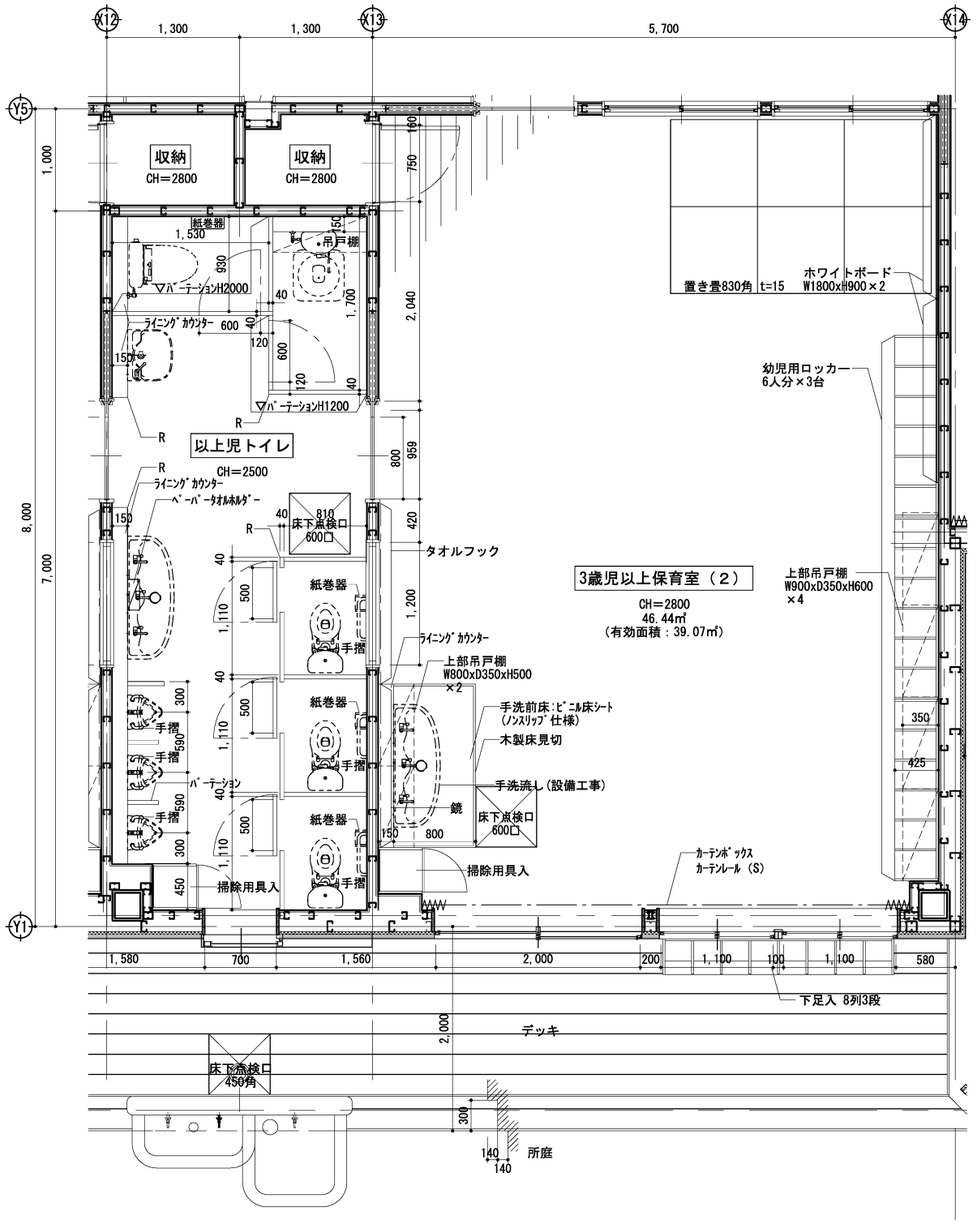




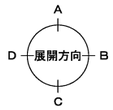
1、2歳児保育室 1/50

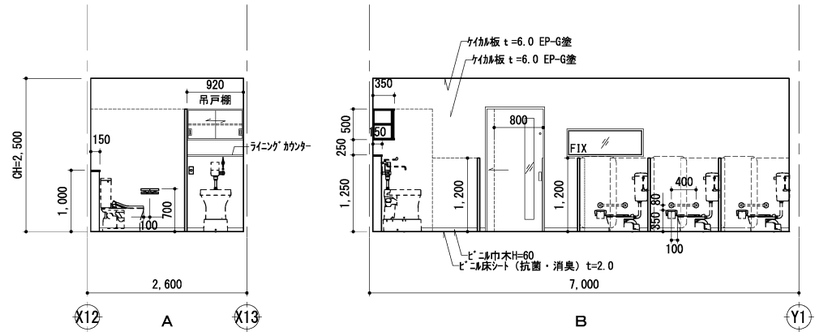
3歳児以上保育室（1） 1/50

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（3）〈1、2歳児保育室、3歳児以上保育室（1）〉
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100
								図面番号	A－15

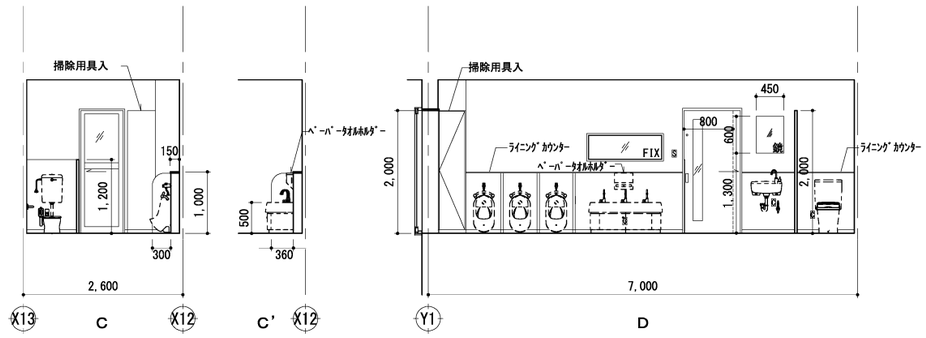


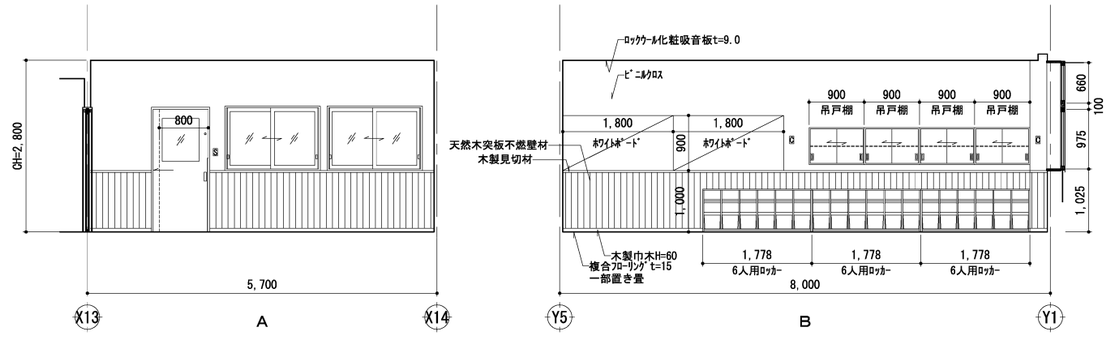
以上児トイレ
3歳児以上保育室（2） 平面詳細図 1/30



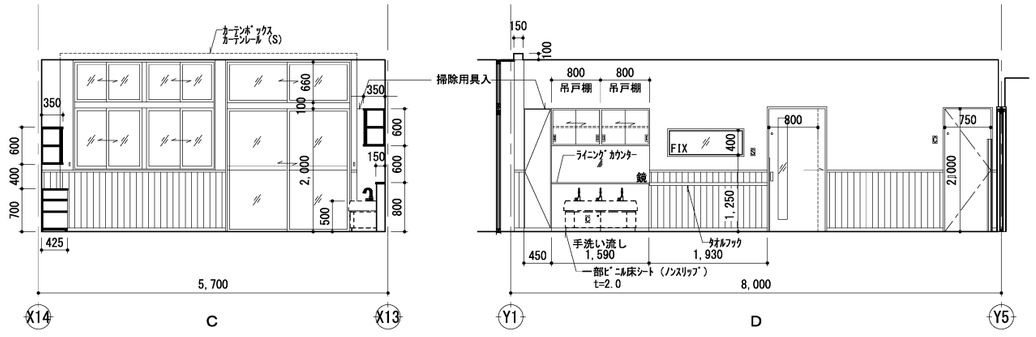


以上児トイレ 1/50

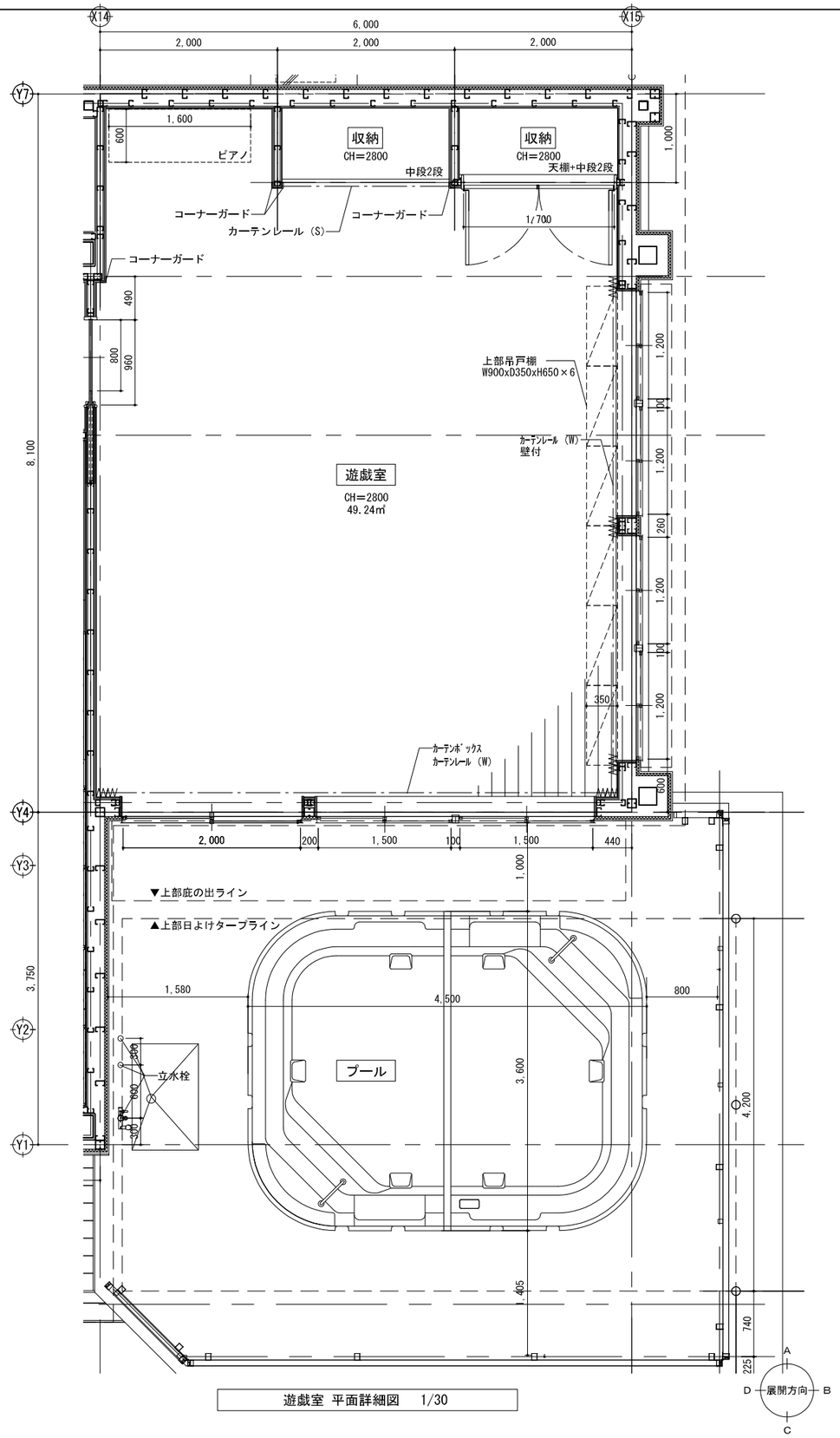




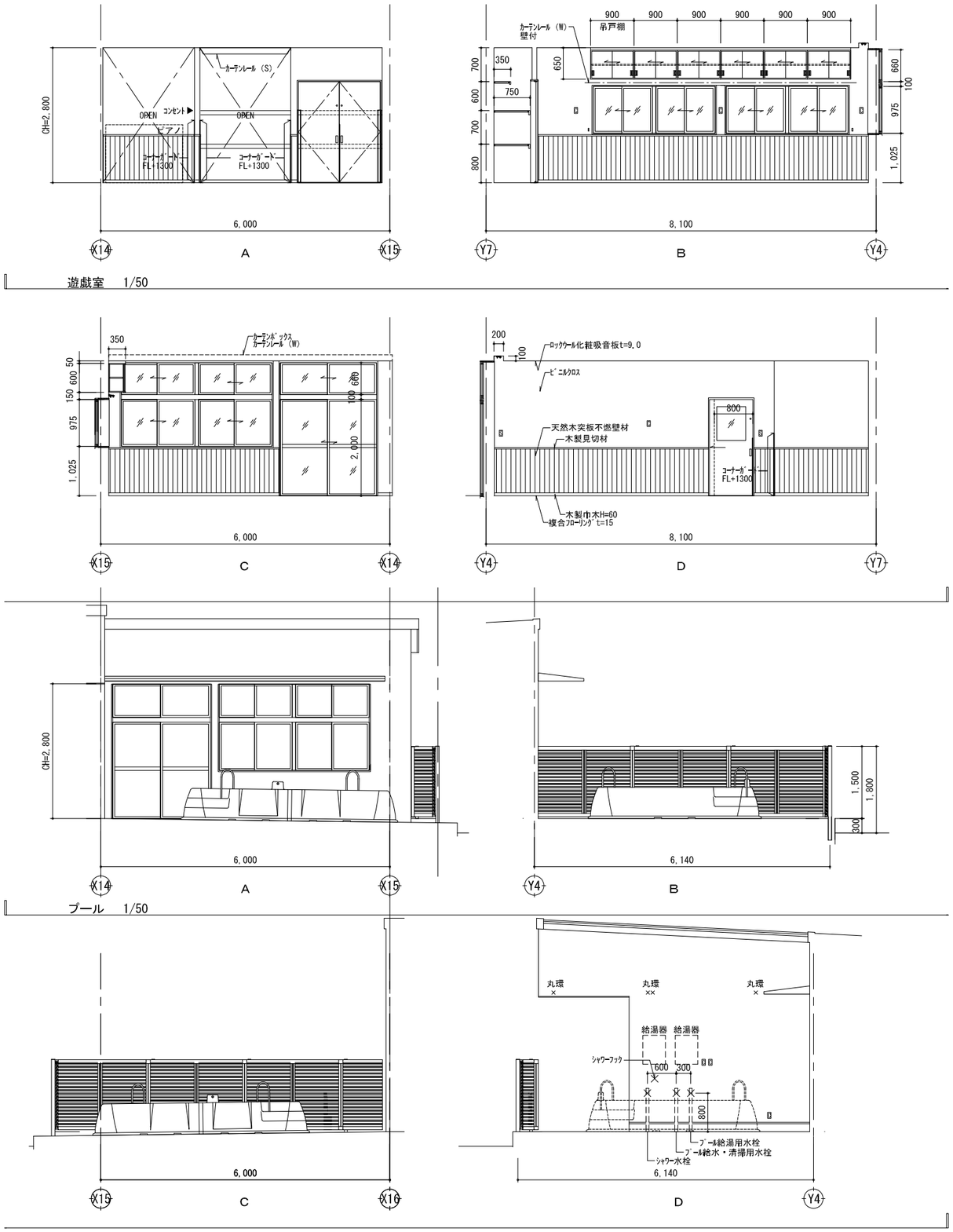
3歳児以上保育室（2） 1/30



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（4）〈以上児トイレ、3歳児以上保育室（2）〉
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100
								図面番号	A－16



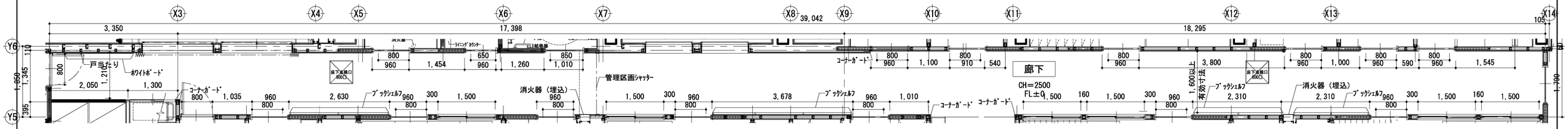
遊戯室 平面詳細図 1/30

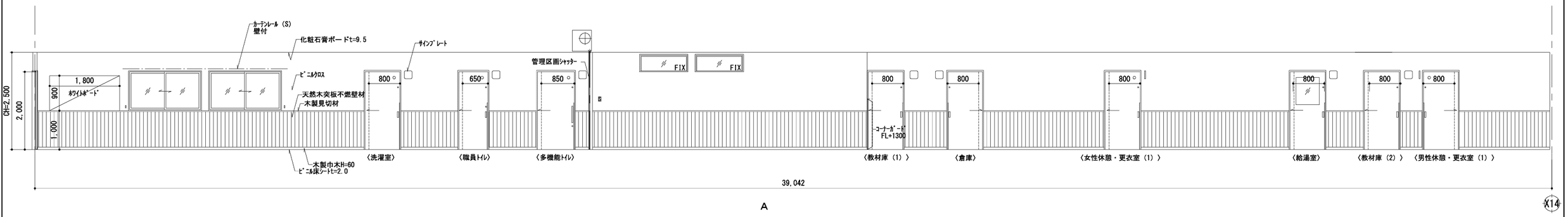


遊戯室 1/50

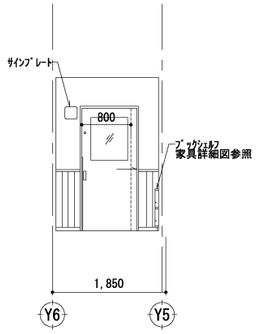
プール 1/50

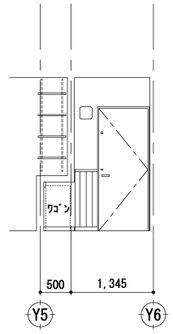
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（5） 〈遊戯室、プール（屋外）〉	縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100	図面番号	A－17
		特記事項		特記事項		特記事項							

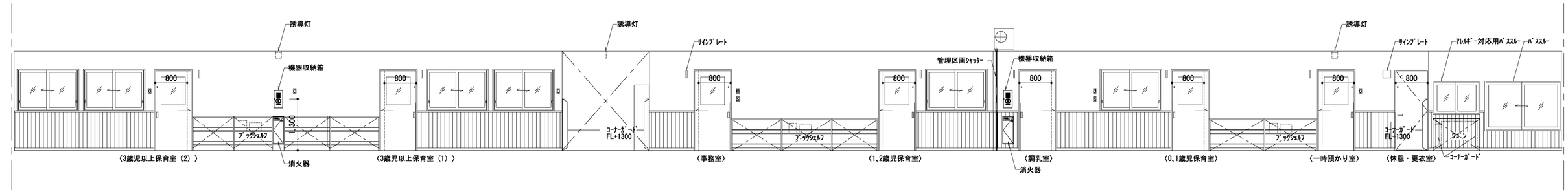




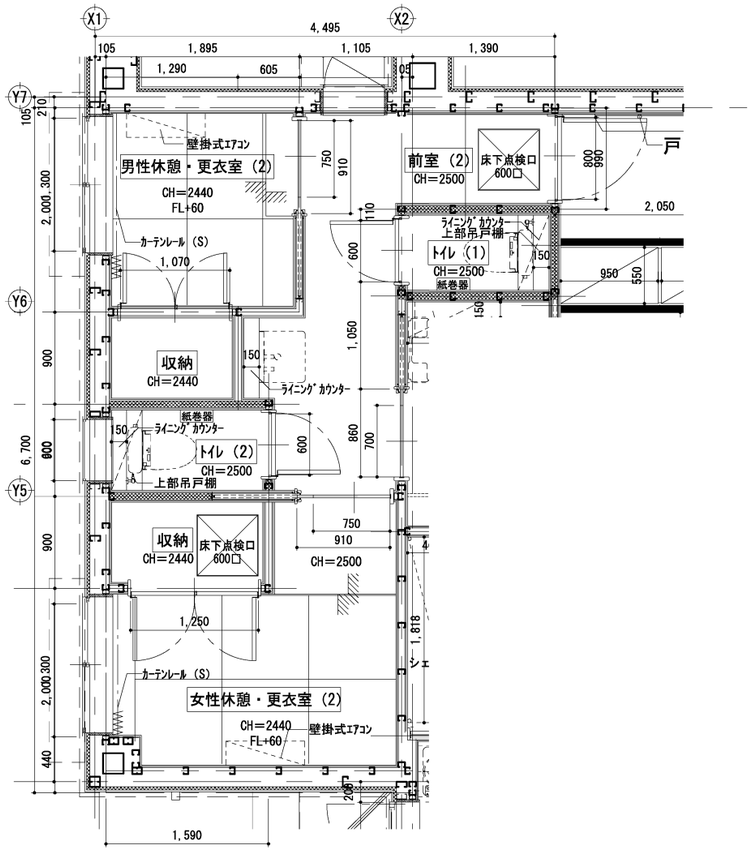
廊 下 1/50





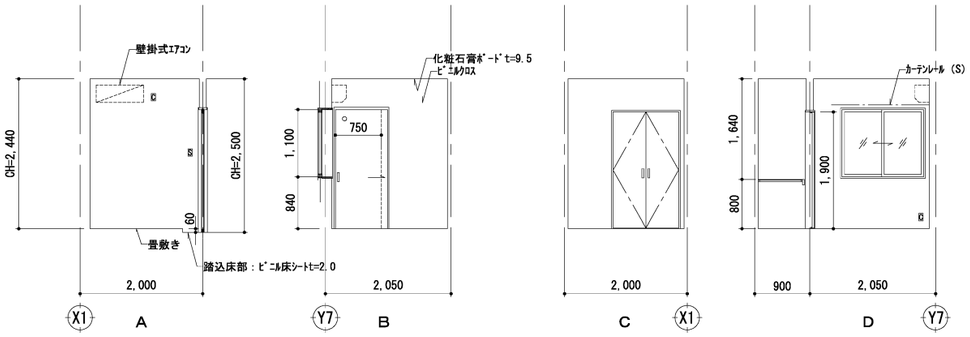


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（6）〈廊下〉
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/50 A3 1/100
								図面番号	A－18

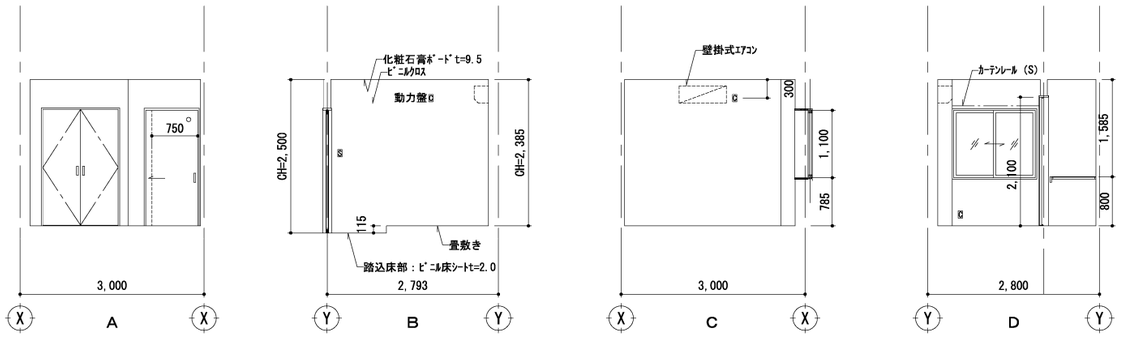


男性休憩・更衣室（2）、女性休憩・更衣室（2）
前室（2）、トイレ（1）、（2）　平面詳細図　1/30

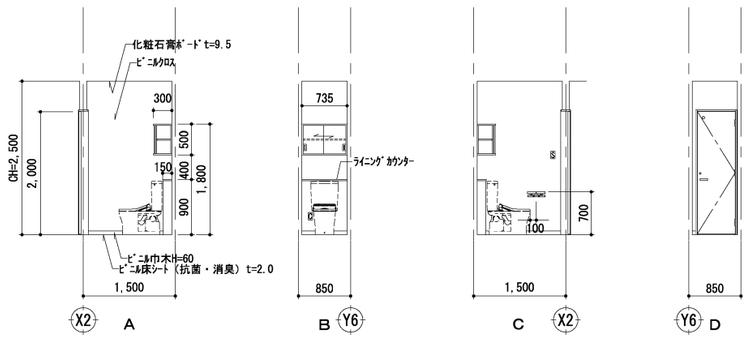
前　室（2）　1/50



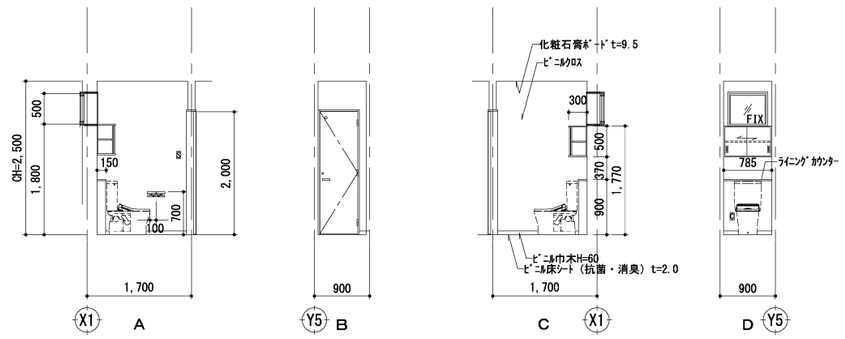
男性休憩・更衣室（2）　1/50



女性休憩・更衣室（2）　1/50

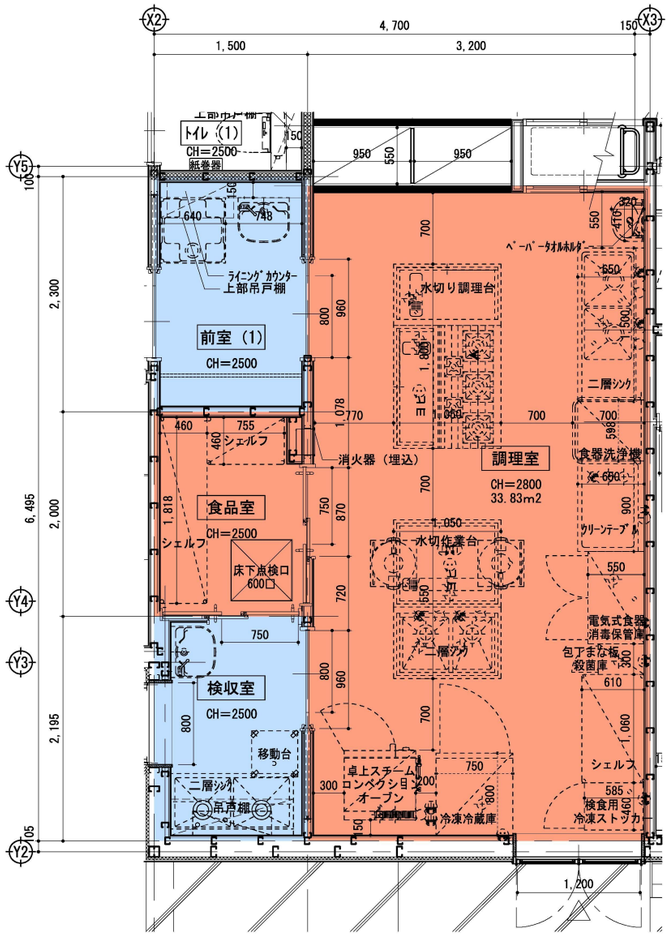


トイレ（1）　1/50

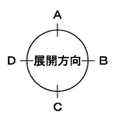


トイレ（2）　1/50

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	平面詳細図・展開図（7） 〈前室（2）、男性休憩、更衣室（2） 女性休憩、更衣室（2）、トイレ（1）、（2）〉	縮尺 A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100	図面番号	A－19

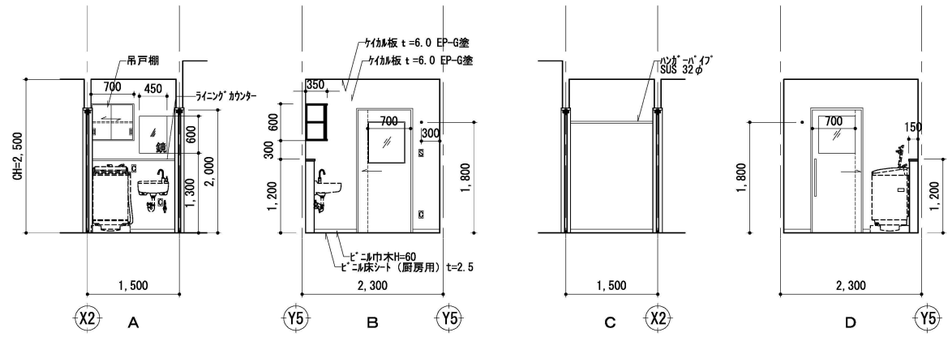


調理室、検収室、食品庫、前室（1） 平面詳細図 1/30

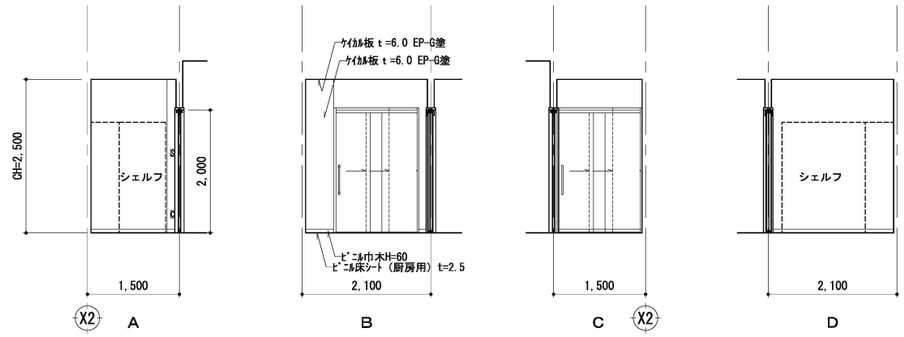


非汚染作業区域

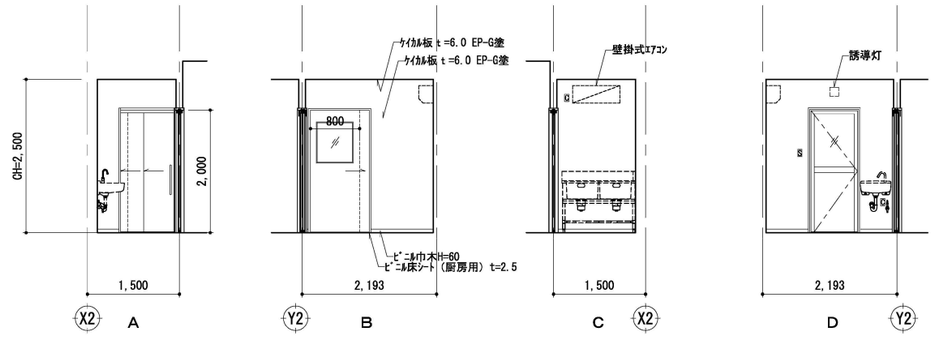
汚染作業区域



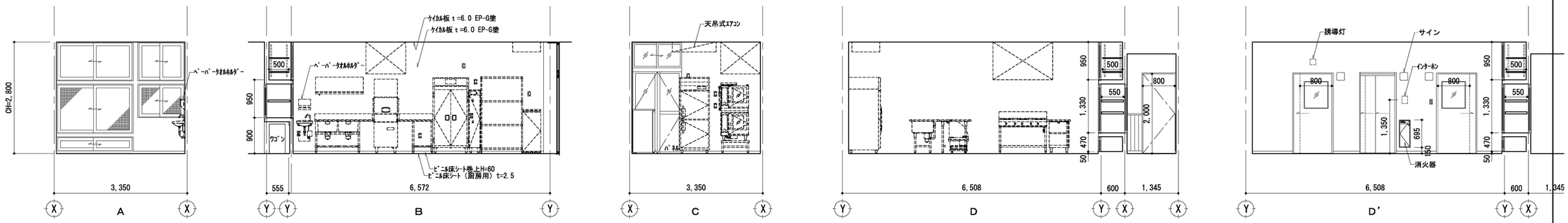
前 室（1） 1/50



食品室 1/50

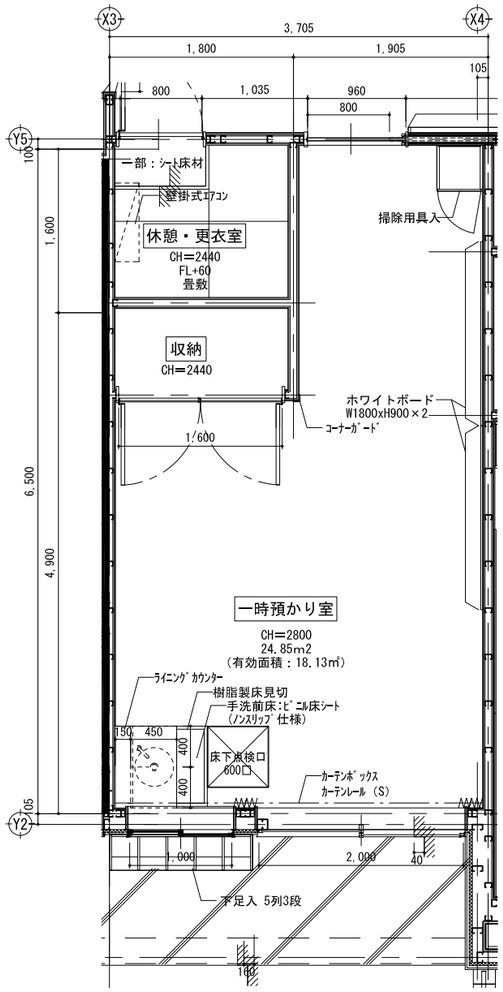


検収室 1/50

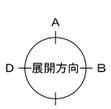


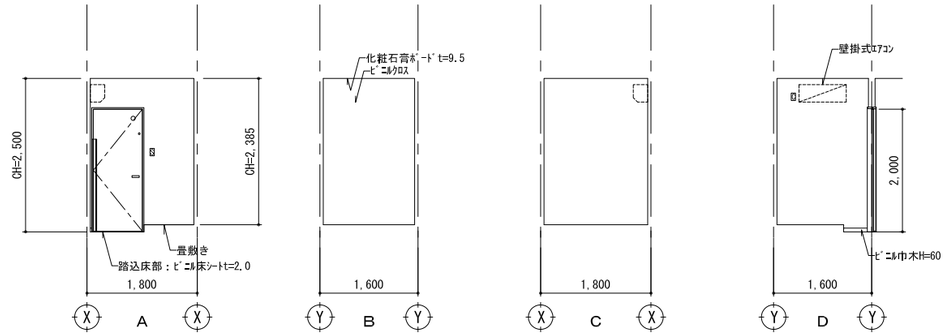
調理室 1/50 （設備詳細は別紙参照）

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（8）〈調理室、検収室、食品室、前室（1）〉	縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100	図面番号 A－20
		特記事項	特記事項	特記事項					

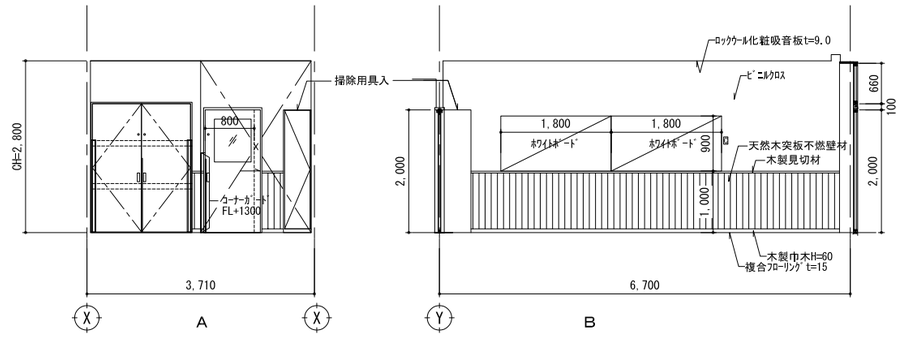


休憩・更衣室、一時預かり室 平面詳細図　1/30

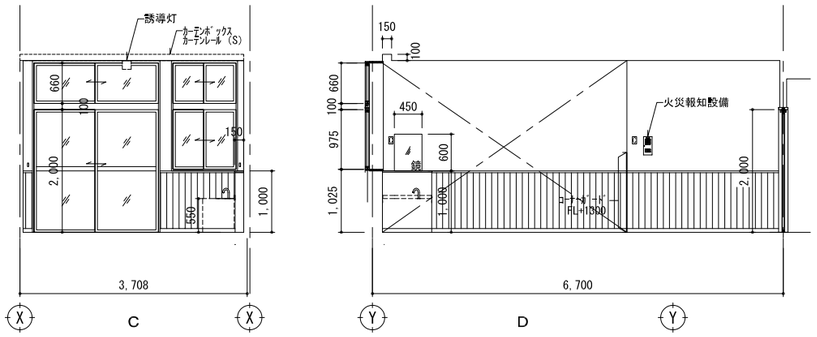




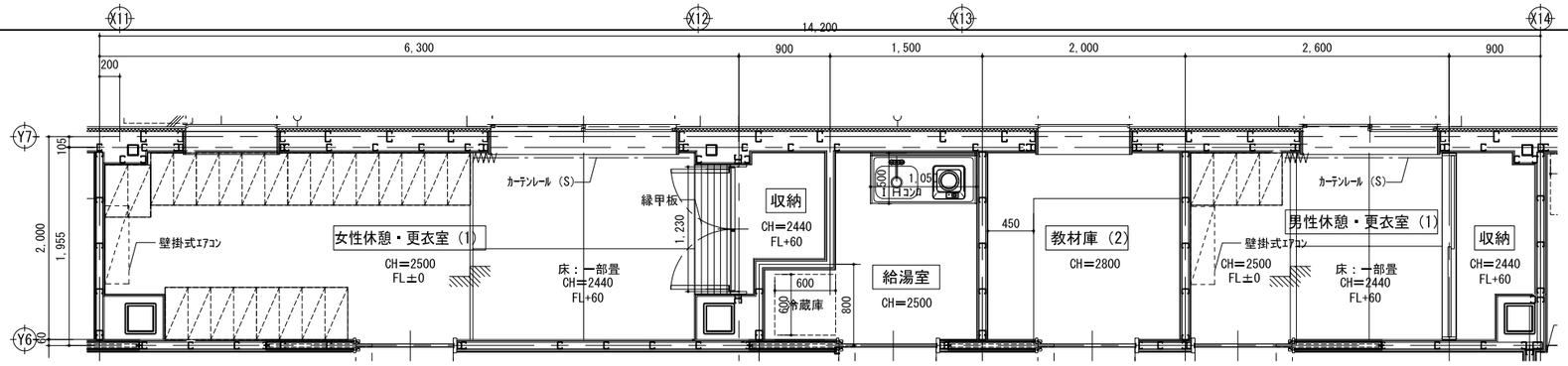
休憩・更衣室　1/50

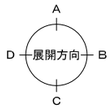


一時預かり室　1/50

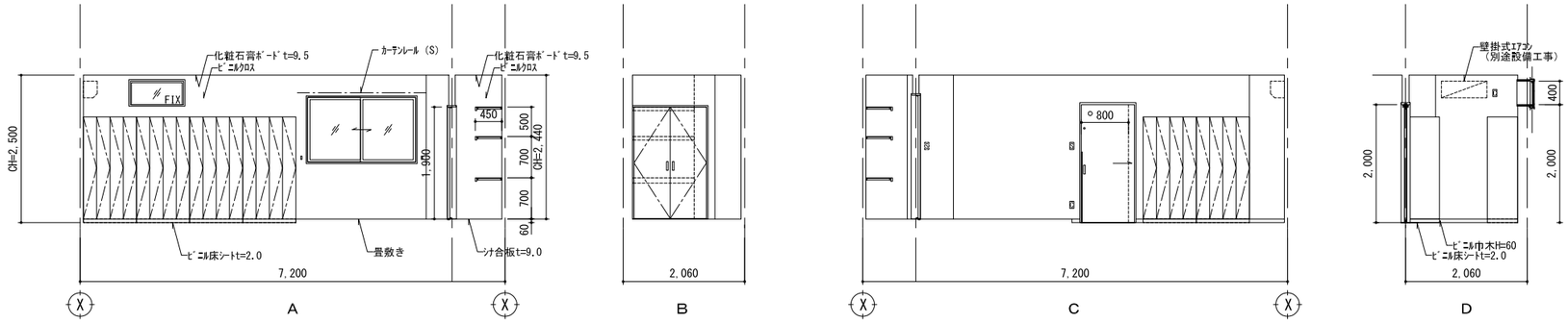


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（9）〈休憩、更衣室、一時預かり室〉	縮尺	A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100	図面番号	A－21
		特記事項	特記事項	特記事項						

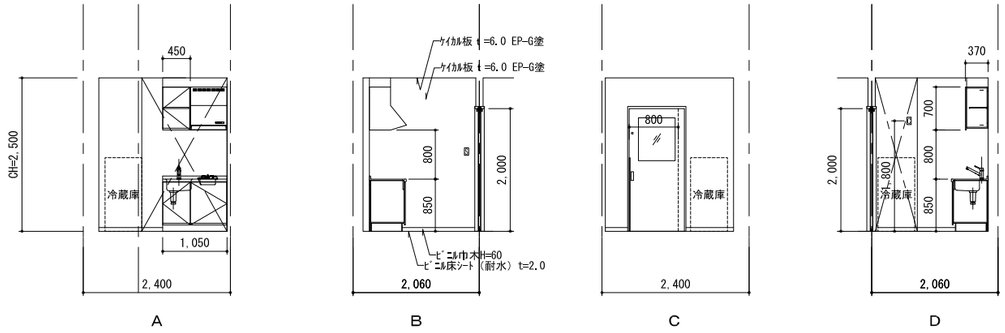




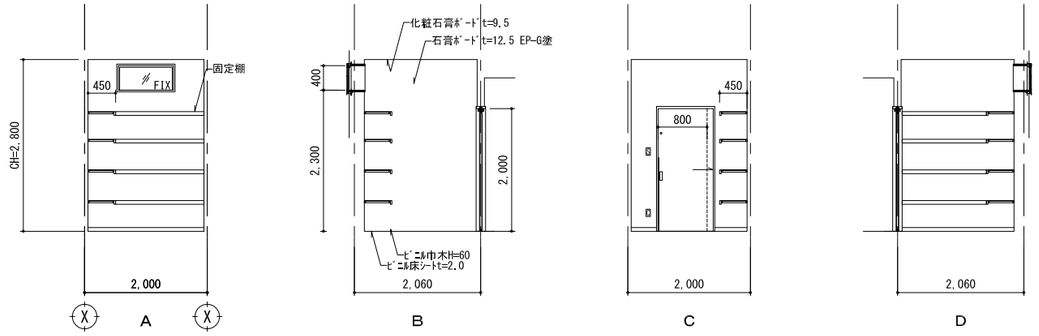
女性休憩・更衣室（1）、給湯室
教材庫（2）、男性休憩・更衣室（1）　平面詳細図　1/30



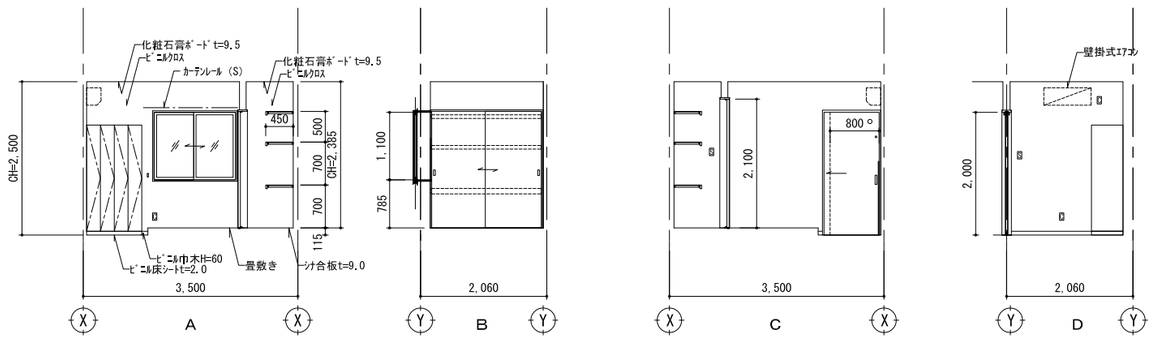
女性休憩室・更衣室（1）　1/50



給湯室　1/50

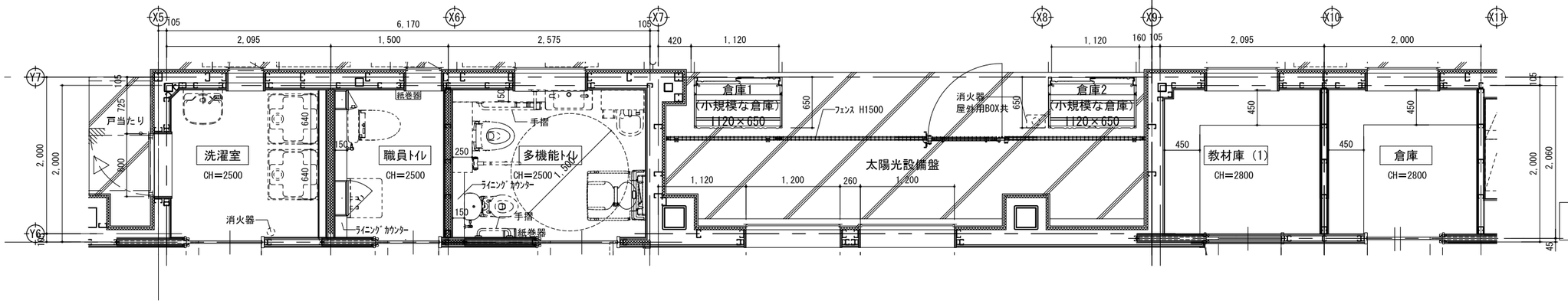


教材庫（2）　1/50

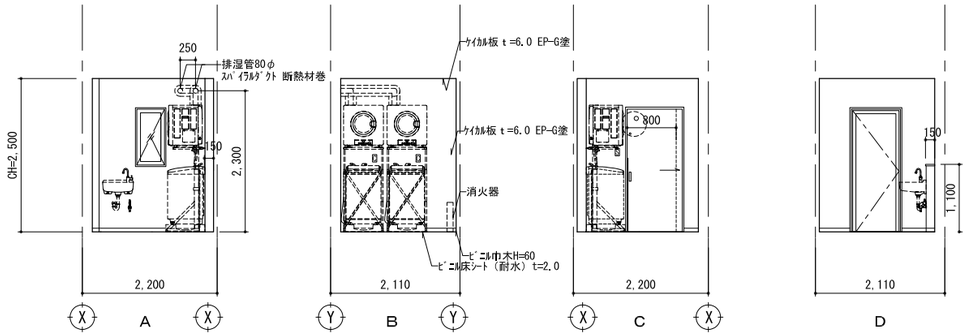


男性休憩室・更衣室（1）　1/50

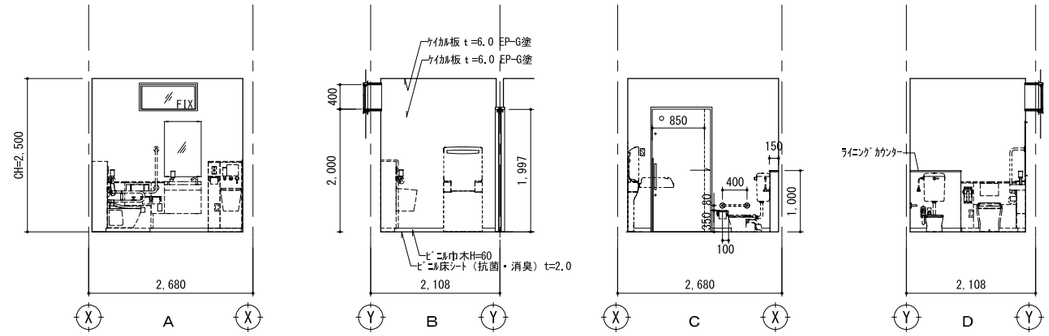
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	平面詳細図・展開図（10） 〈給湯室、教材庫（2）、女性休憩・更衣室（1）、男性休憩・更衣室（1）〉
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/30　1/50 A3 1/60　1/100
								図面番号	A－22



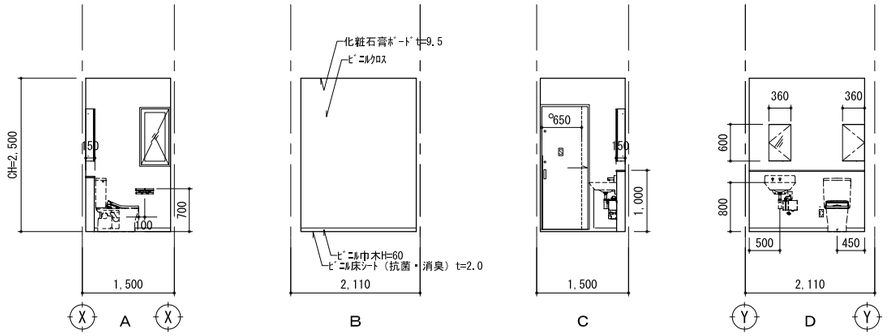
洗濯室、職員トイレ、多機能トイレ
倉庫、教材庫（1）　平面詳細図　1/30



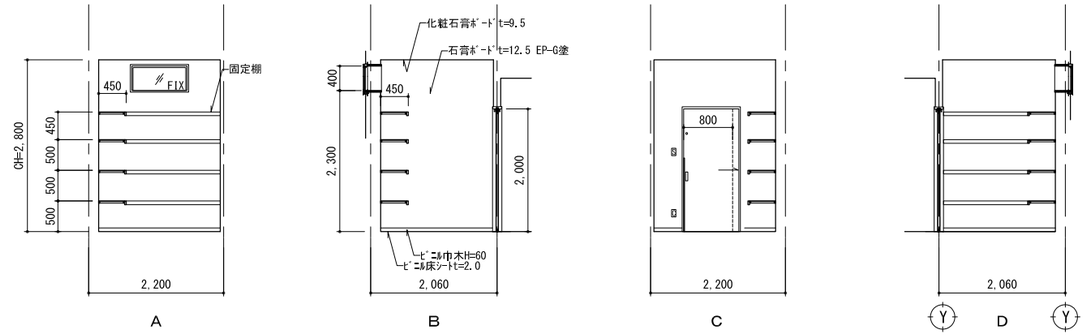
洗濯室　1/50



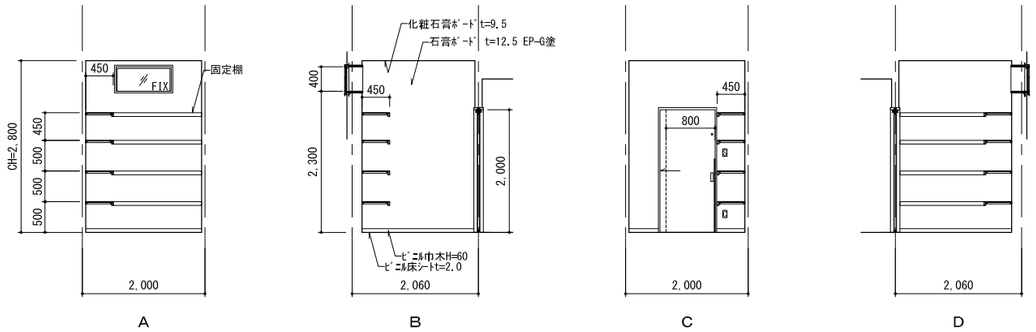
多機能トイレ　1/50



職員トイレ　1/50

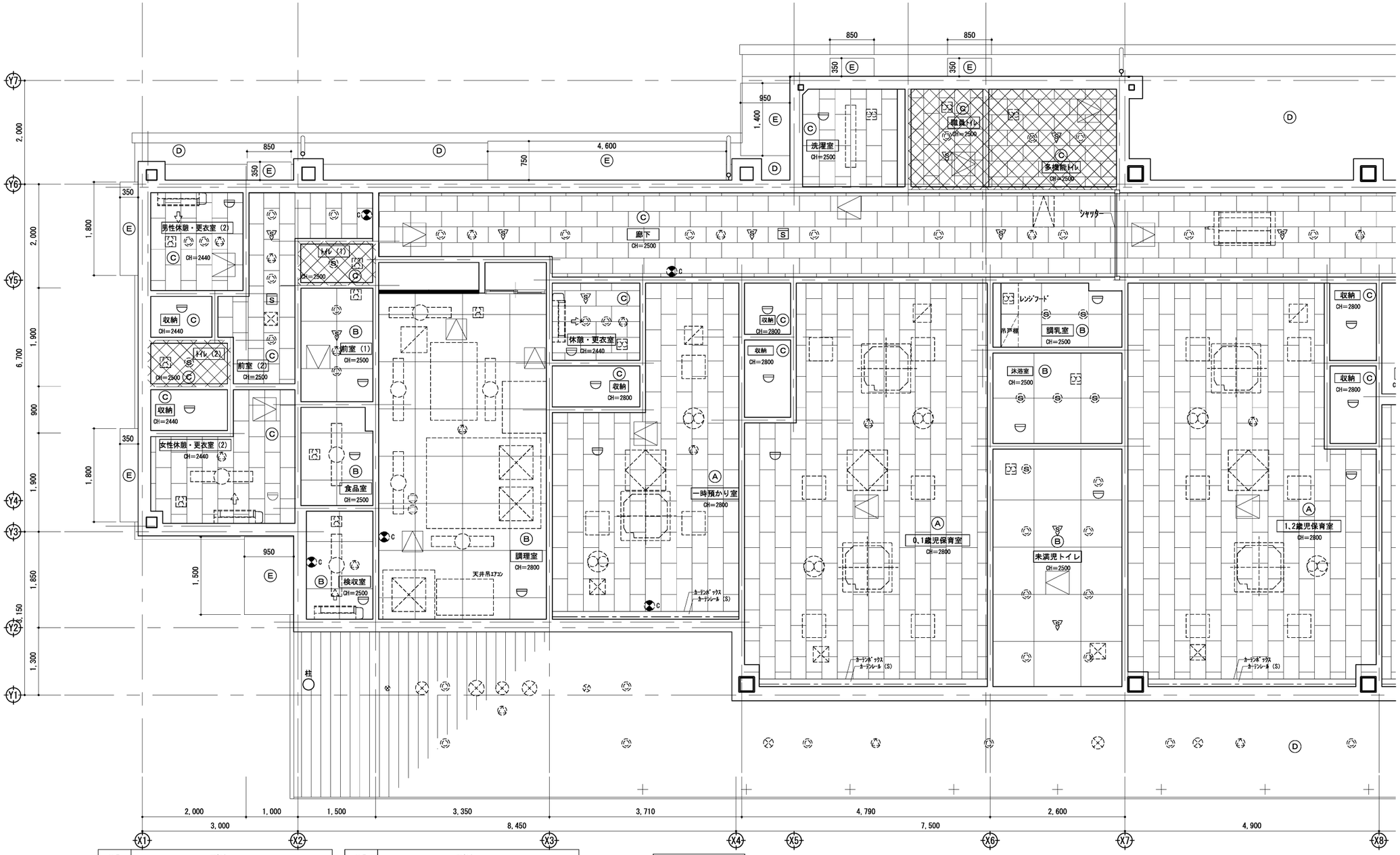


教材庫（1）　1/50



倉　庫　1/50

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	平面詳細図・展開図（11） 〈洗濯室 、職員トイレ、多機能トイレ 教材庫（1）、倉庫〉	縮尺 A1 1/30 1/50 A3 1/60 1/100	図面番号 A－23
		特記事項	特記事項	特記事項				

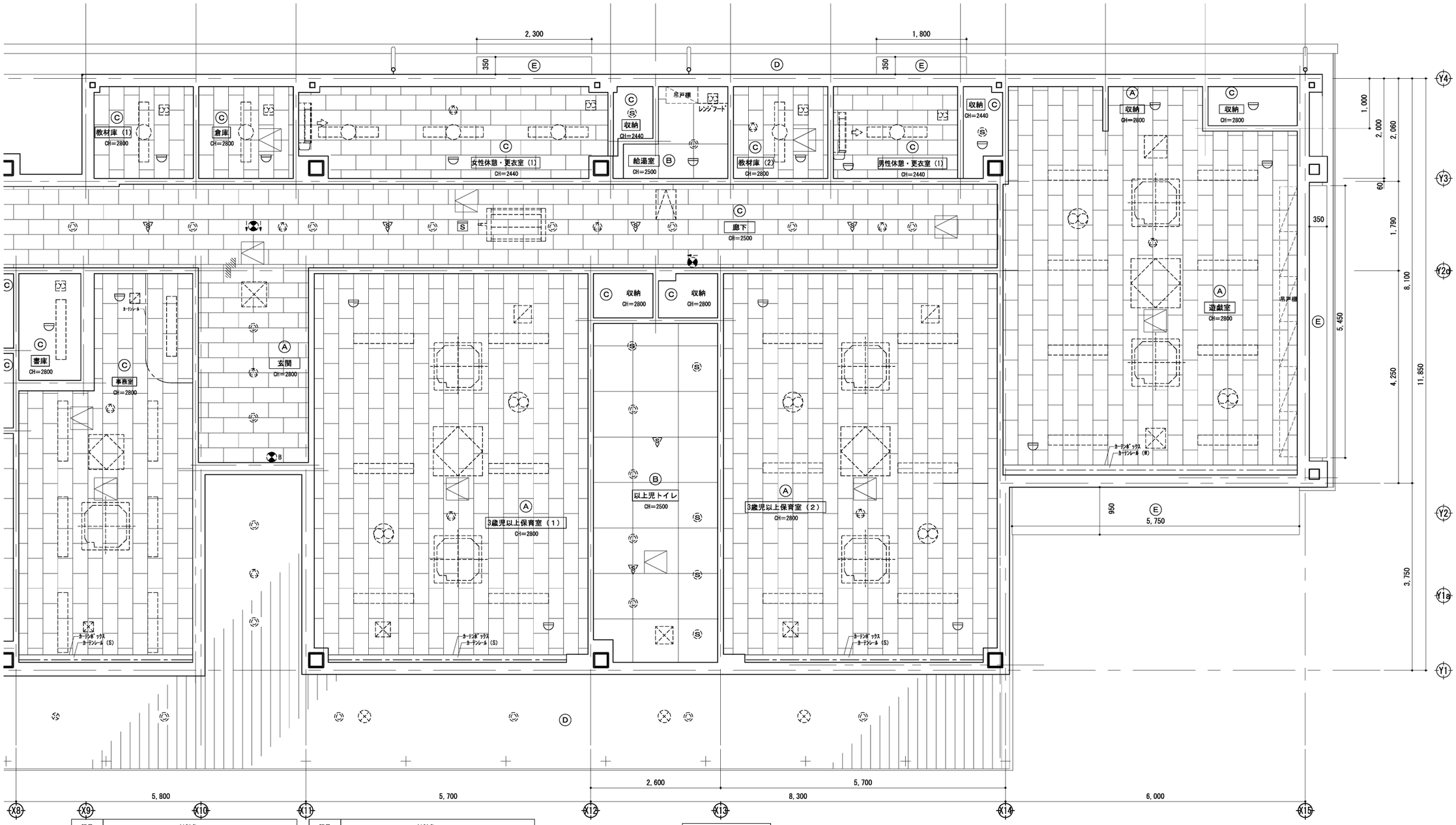


天井伏図（1）

記号	材料名
A	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t=9.0 +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5
B	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0 EP-G塗 +石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5
C	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5
D	スパンドレル
E	アルミ製庇
----	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
●	竪樋 VP管75φ
┼	丸環 @2000
▨	グラスウール24K t=100
B C	誘導灯（別途設備工事）

記号	材料名
	アルミ製天井点検口 600×600
	ストレートシロッコファン（天井内部）（別途設備工事）
	ストレートシロッコファン（別途設備工事）
S	煙感知器（別途設備工事）
	スポット型熱感知器（別途設備工事）
	天井埋込型全熱交換器（別途機械工事）　給気制気口（別途設備工事）　排気制気口（別途設備工事）
	空調設備（別途設備工事）
	天井埋込ＬＥＤ灯　天井埋込ＬＥＤ灯（スクエア型）（全て別途設備工事）
	天井直付ＬＥＤ灯　ＬＥＤダウンライト
	天井サイクルファン　ＬＥＤダウンライト（人感センサー付）
	天井スピーカー　人感センサー　コンセント

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	天井伏図（1）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/40 A3 1/80
								図面番号	A－24

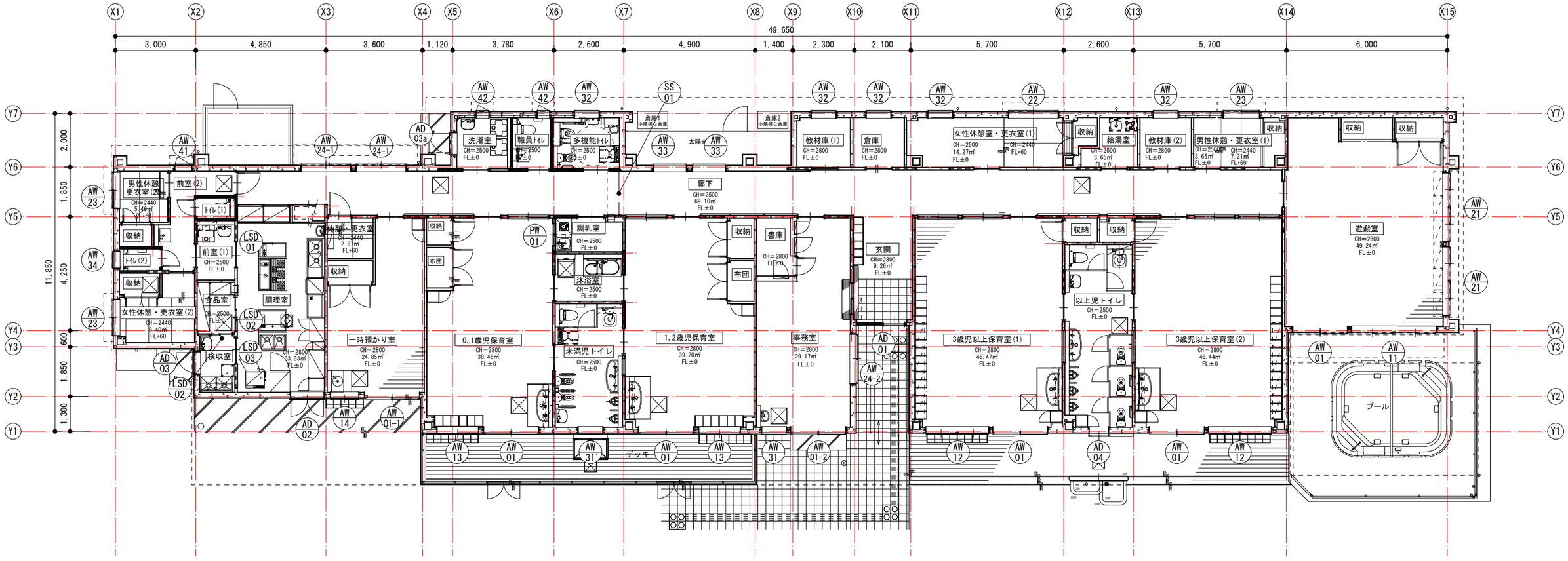


天井伏図（2）

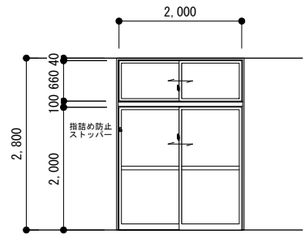
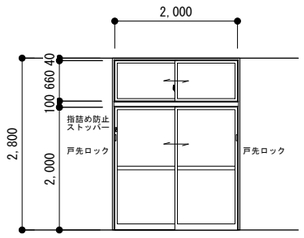
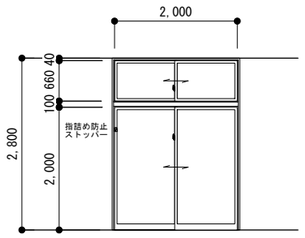
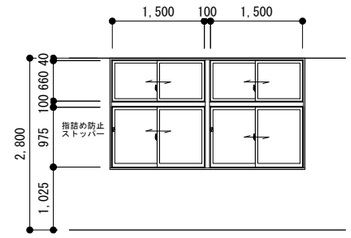
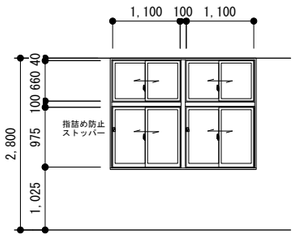
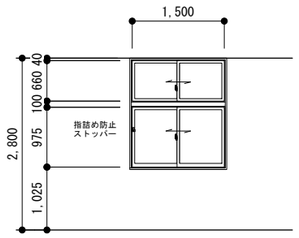
記号	材料名
Ⓐ	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 t=9.0 +石膏ボード t=12.5
Ⓑ	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0 EP-G塗 +石膏ボード t=12.5
Ⓒ	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5
Ⓓ	スパンドレル
Ⓔ	アルミ製庇
——	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
•	竪樋 VP管75φ
＋	丸環 φ2000
⊠	グラスウール24K t=100
B	C 誘導灯（別途設備工事）

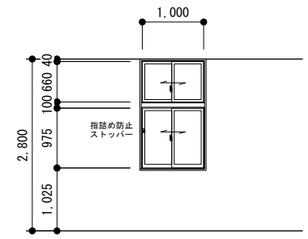
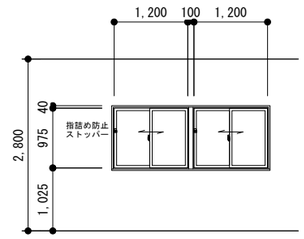
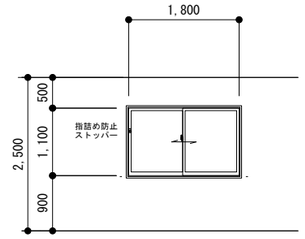
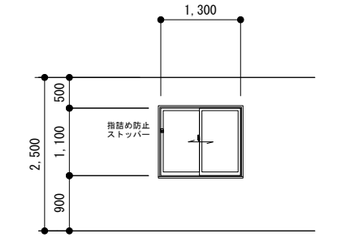
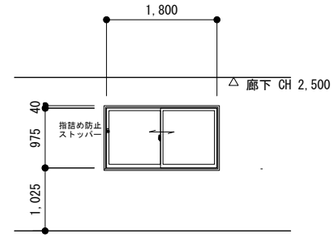
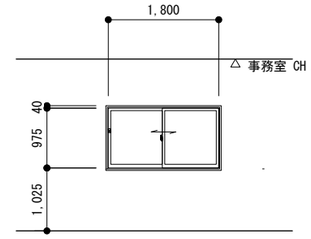
記号	材料名
	アルミ製天井点検口 600×600
	ストレートシロッコファン（天井内部）（別途設備工事）
	ストレートシロッコファン（別途設備工事）
S	煙感知器（別途設備工事）
	スポット型熱感知器（別途設備工事）
	天井埋込形全熱交換器（別途機械工事）　給気制気口（別途設備工事）　排気制気口（別途設備工事）
	空調設備（別途設備工事）
	天井埋込ＬＥＤ灯　天井埋込ＬＥＤ灯（スクエア型）（全て別途設備工事）
	天井直付ＬＥＤ灯　ＬＥＤダウンライト
	天井サイクルファン　ＬＥＤダウンライト（人感センサー付）
	天井スピーカー　人感センサー　コンセント

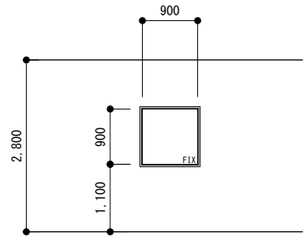
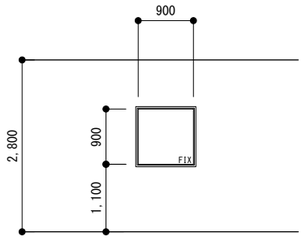
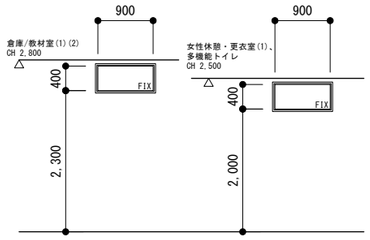
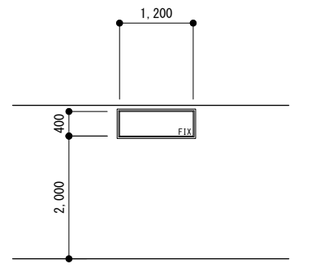
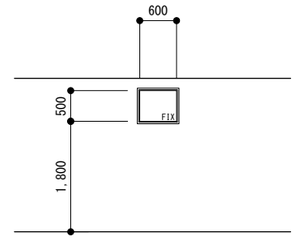
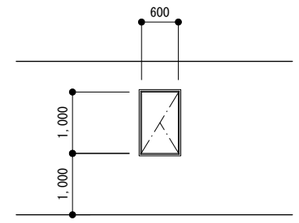
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	天井伏図（2）	縮尺	A1 1/40 A3 1/80	図面番号	A－25
	千葉市長沼原保育所新築工事	特記事項		特記事項		特記事項							



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 建具キープラン（鋼製建具）	縮尺 A1 1/300 A3 1/150	図面番号 A－26
		特記事項	特記事項	特記事項			

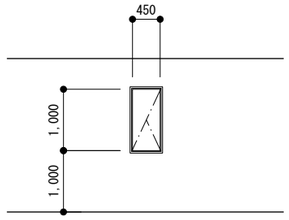
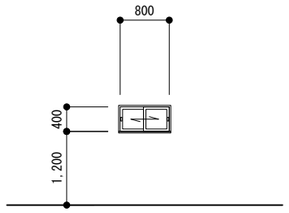
記号・数量	AW 01	AW 01-1	AW 01-2	AW 11	AW 12	AW 13
	5箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所
形状	 ※保育室・遊戯室にはサポートハンドル設置	 ※サポートハンドル設置				
設置場所	0,1歳児・1,2歳児・3歳児以上保育室(1)(2)、遊戯室	一時預かり室	事務室	遊戯室	3歳児以上保育室(1)(2)	0,1歳児・1,2歳児保育室
形式	欄間付引違掃出し窓（フラットレール）	欄間付引違掃出し窓（フラットレール）	欄間付引違掃出し窓（フラットレール）	欄間付引違窓（フラットレール）（2連）	欄間付引違窓（フラットレール）（2連）	欄間付引違窓（フラットレール）
寸法	W: 2,000 H: 2,000+欄間660 見込：70	W: 2,000 H: 2,000+欄間660 見込：70	W: 2,000 H: 2,000+欄間660 見込：70	W: 1,500×2連 H: 975+欄間660 見込：70	W: 1,100×2連 H: 975+欄間660 見込：70	W: 1,500 H: 975+欄間660 見込：70
材質・仕上	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜
ガラス	中桟より上部:Low-E-STP4+A12+STP4/下部:合せガラス6.8(FL3+L30+FL3)+A12+Low-E-STP4	中桟より上部:Low-E-STP4+A12+STP4/下部:合せガラス6.8(FL3+L30+FL3)+A12+Low-E-STP4	Low-E-STP4+A12+STP4	Low-E-STP4+A12+STP4	Low-E-STP4+A12+STP4	Low-E-STP4+A12+STP4
金物	欄間:Low-E-STP4+A12+STP4、ｸﾚｾﾝﾄ(H=FL+1,500)、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、 戸車、水切り、樹脂網戸(欄間共)、内部アングル、付属金物一式、	欄間:Low-E-STP4+A12+STP4、外:戸先ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠/内:戸先ﾛｯｸ(H=FL+1,500) 指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、水切り、内部アングル、付属金物一式	欄間:Low-E-STP4+A12+STP4、ｸﾚｾﾝﾄ(H=FL+1,500)、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、 戸車、水切り、樹脂網戸(欄間共)、内部アングル、付属金物一式、	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、水切り、 樹脂網戸(欄間共)、内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、水切り、 樹脂網戸(欄間共)、内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、水切り、 樹脂網戸(欄間共)、内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁
備考	外部アルミ額縁、木製額縁ウレタンクリア塗装	樹脂網戸(欄間共)、外部アルミ額縁、木製額縁ウレタンクリア塗装	外部アルミ額縁、木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装

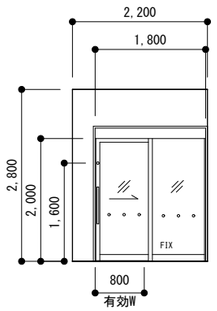
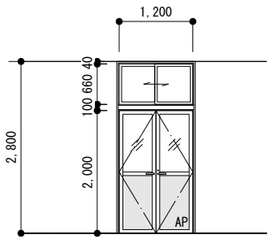
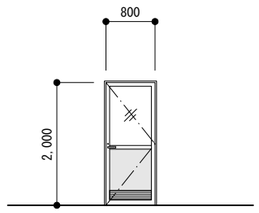
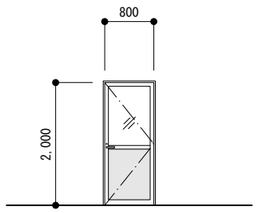
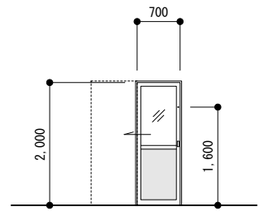
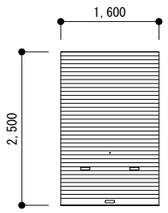
記号・数量	AW 14	AW 21	AW 22	AW 23	AW 24-1	AW 24-2
	1箇所	2箇所	1箇所	3箇所	2箇所	1箇所
						※20分遮炎（認定番号 EB-2428-7）
形状						
設置場所	一時預かり室	遊戯室	女性休憩・更衣室(1)	男性休憩・更衣室(1)、女性休憩・更衣室(2)、男性休憩・更衣室(2)	廊下	事務室
形式	欄間付引違窓（フラットレール）	引違窓（フラットレール）（2連）	引違窓（フラットレール）	引違窓（フラットレール）	引違窓（フラットレール）	引違窓(一般下枠)
寸法	W: 1,100 H: 975+欄間660 見込：70	W: 1,200×2連 H: 975 見込：70	W: 1,800 H: 1,100 見込：70	W: 1,300 H: 1,100 見込：70	W: 1,800 H: 975 見込：70	W: 1,800 H: 975 見込：70
材質・仕上	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜
ガラス	Low-E-STP4+A12+STP4	Low-E-STP4+A12+STP4	Low-E-STP4+A12+FTPt4	Low-E-STP4mm+A12+型板強化ガラスt4	型板強化ガラスt4	PW6.8+A14+Low-EFL5
金物	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、水切り、 樹脂網戸(欄間共)、内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、樹脂網戸、水切り、 内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、樹脂網戸、水切り、 内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、樹脂網戸、水切り、 内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、指詰め防止ｽﾄｯﾊﾟｰ、戸車、樹脂網戸、水切り、 内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	クレセント、戸車、樹脂網戸、水切り、 内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁
備考	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装

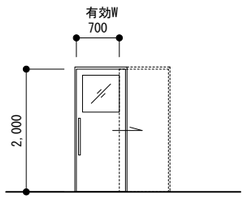
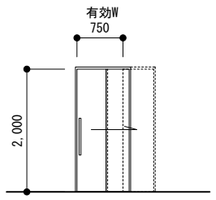
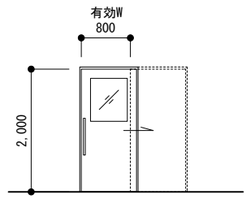
記号・数量	AW 31	AW 31'	AW 32	AW 33	AW 34	AW 41
	1箇所	1箇所	5箇所	2箇所	1箇所	1箇所
形状						
設置場所	事務室	未満児トイレ	女性休憩・更衣室(1)、教材庫(1)(2)、倉庫、多機能トイレ	廊下	トイレ(2)	前室(2)
形式	FIX窓	FIX窓	FIX窓	FIX窓	FIX窓	縦すべり出し窓
寸法	W: 900 H: 900 見込：70	W: 900 H: 900 見込：70	W: 900 H: 400 見込：70	W: 1,200 H: 400 見込：70	W: 600 H: 500 見込：70	W: 600 H: 1,000 見込：70
材質・仕上	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜
ガラス	Low-E-STP4mm+A12+STP4	型板強化ガラスt4	女性休憩・更衣室：Low-E-STP4mm+A12+型板強化ガラスt4	STP4mm	型板強化ガラスt4	型板強化ガラスt4
金物	水切り、内部アングル、付属金物一式 外部アルミ額縁	水切り、内部アングル、付属金物一式 外部アルミ額縁	上記以外：型板強化ガラスt4 水切り、内部アングル、付属金物一式、外部アルミ額縁	水切り、内部アングル、付属金物一式 外部アルミ額縁	水切り、内部アングル、付属金物一式 外部アルミ額縁	グレモンハンドル、樹脂網戸、水切り、内部アングル、付属金物一式 外部アルミ額縁
備考		木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装	木製額縁ウレタンクリア塗装

FL：フロート板ガラス　STP:学校用強化ガラス
L　：樹脂膜　FTP:型板強化ガラス

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 建具表（1）	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A－27
		特記事項	特記事項	特記事項			

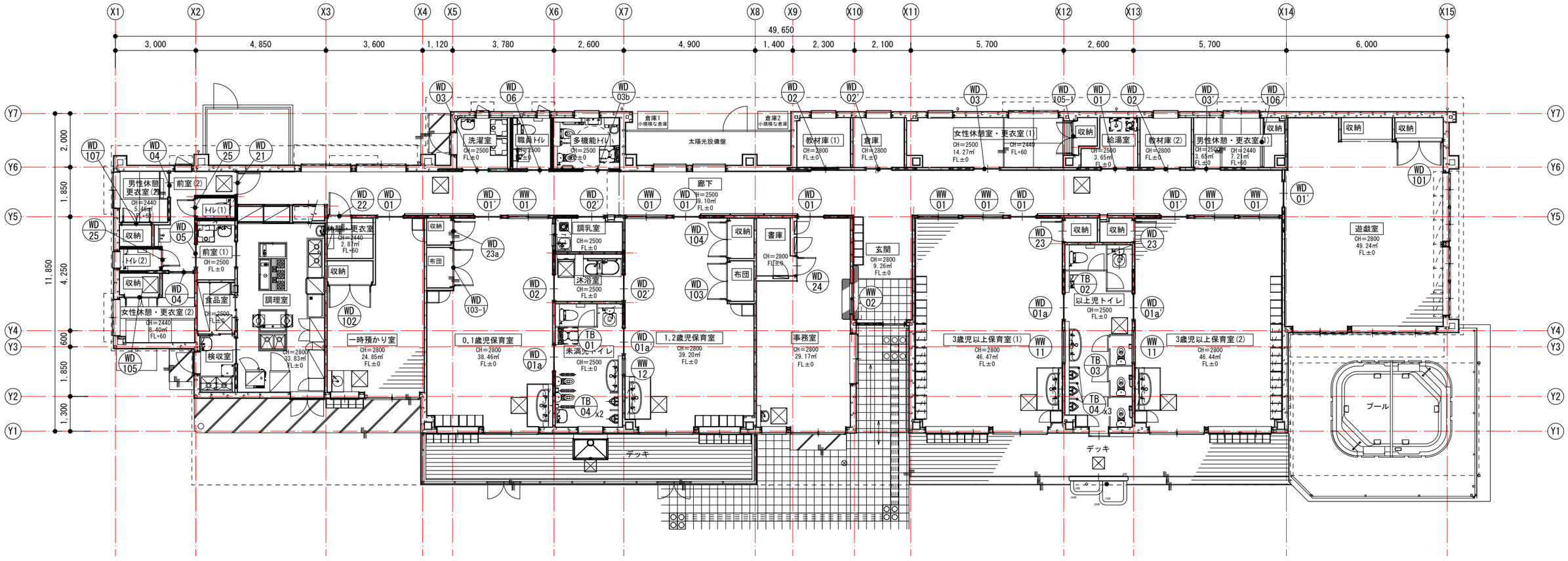
記号・数量	AW 42	2箇所	PW 01	1箇所				
形状								
設置場所	洗濯室、職員トイレ		調乳室					
形式	縦すべり出し窓		引違い					
寸法	W: 450	H: 1,000 / 見込：70	W: 800	H: 400 / 見込：36				
材質・仕上	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜		樹脂製（塩化ビニルシート木目調仕上）					
ガラス	型板強化ガラスt4		STPt4					
金物	グレモンハンドル、樹脂網戸、水切り、内部アングル、付属金物一式		引手、戸車					
	外部アルミ額縁		引き残しストッパー					
備考	木製額縁ウレタンクリア塗装							

記号・数量	AD 01	1箇所	AD 02	1箇所	AD 03	1箇所	AD 03a	1箇所	AD 04	1箇所	SS 01	1箇所
形状												
設置場所	玄関		調理室		検収室		洗濯室		以上児トイレ		廊下	
形式	セミオートドア（框戸・キックプレート付下框）		両開き框戸+欄間（引違窓）		片開き戸		片開き戸		片引き戸		鋼製シャッター（電動式）	
寸法	W: 有効 800	H: 2,000 / 見込：100	W: 1,200	H: 2,000+欄間660 / 見込：70	W: 800	H: 2,000 / 見込：70	W: 800	H: 2,000 / 見込：70	W: 有効 700	H: 2,000 / 見込：70	W: 1,600	H: 2,500 / 枠見込：70
材質・仕上	アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜		アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜		アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜		アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜		アルミ製 着色陽極酸化塗装複合皮膜		鋼製、溶融亜鉛メッキ＋塗装	
ガラス	Low-E-STP4mm+A12+STP4		Low-E-STP4mm+A12+型板強化ガラスt4、一部アルミパネル		Low-E-STP4mm+A12+型板強化ガラスt4、一部アルミパネル		型板強化ガラスt4、一部アルミパネル		型板強化ガラスt4、一部アルミパネル			
金物	電気錠、錠(外：ｼﾘﾝﾀﾞｰ･内：ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）、戸車、内部アングル、		両開き戸：錠(外：ｼﾘﾝﾀﾞｰ･内：ｻﾑﾀｰﾝ)、レバーハンドル、丁番		シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、内部アングル、		シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、内部アングル、		錠(外：ｼﾘﾝﾀﾞｰ･内：ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）、引手、内部アングル、		危害防止装置付	
	付属金物一式、大型把手、指はさみ防止機能、衝突防止シール		引違窓：クレセント、戸車、ステンレス網戸、内部アングル		付属金物一式、外部アルミ額縁、内側ステンレス網戸		付属金物一式、外部アルミ額縁		付属金物一式、外部アルミ額縁			
備考	外部アルミ額縁、内部木製額縁ウレタンクリア塗装		共通：付属金物一式、外部アルミ額縁、木製額縁ウレタンクリア塗装		木製額縁ウレタンクリア塗装、ガラリ（ステンレス網戸付）付		木製額縁ウレタンクリア塗装		木製額縁ウレタンクリア塗装		文化シャッター「セーヌ」同等品	

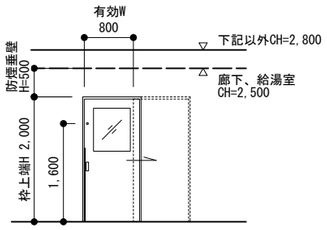
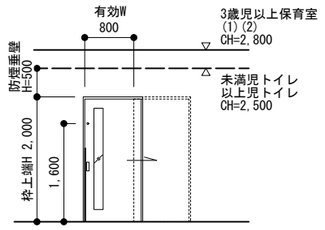
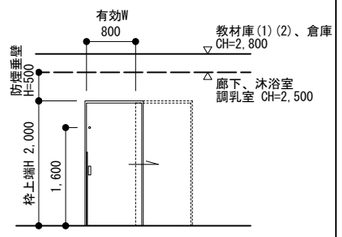
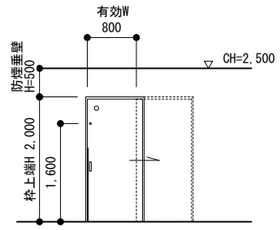
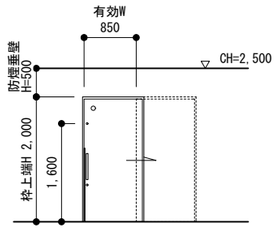
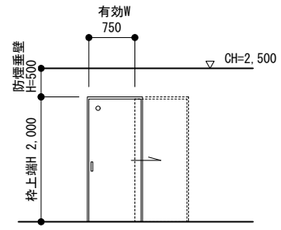
記号・数量	LSD 01	1箇所	LSD 02	2箇所	LSD 03	1箇所				
形状										
設置場所	前室(1)		食品室		検収室					
形式	片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：有	二枚片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：なし	片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：有				
寸法	W: 有効 700	H: 2,000 / 見込：40	W: 有効 750	H: 2,000 / 見込：40	W: 有効 800	H: 2,000 / 見込：40				
材質・仕上	扉：化粧鋼鈑t0.6 枠：t1 .6鋼鈑SOP		扉：化粧鋼鈑t0.6 枠：t1 .6鋼鈑SOP		扉：化粧鋼鈑t0.6 枠：t1 .6鋼鈑SOP					
ガラス	透明強化ガラスt4				透明強化ガラスt4					
金物	バータイプ引手、上下ガイドレール、		バータイプ引手、上下ガイドレール、		バータイプ引手、上下ガイドレール、					
	引き残しストッパー、付属金物一式、		引き残しストッパー、付属金物一式		引き残しストッパー、付属金物一式、					
備考										

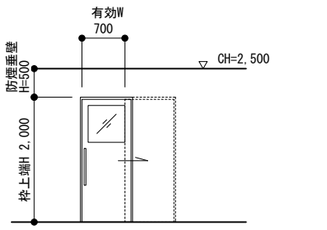
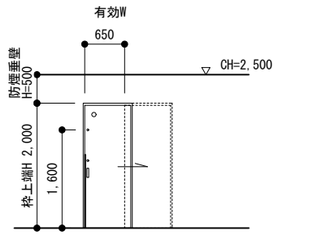
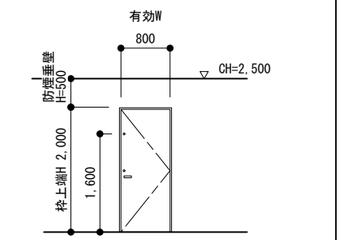
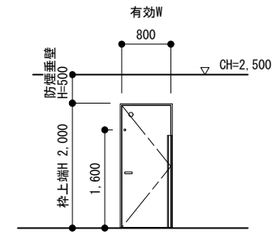
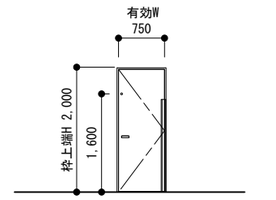
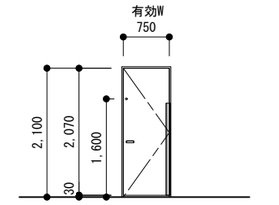
STP:学校用強化ガラス

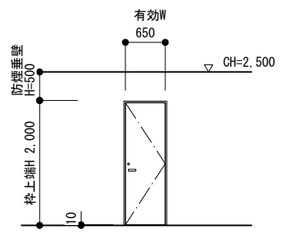
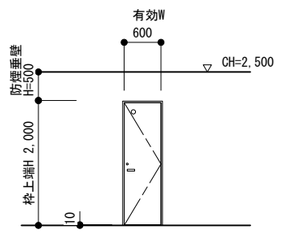
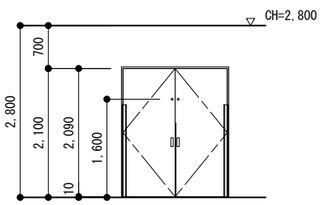
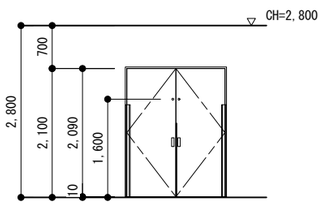
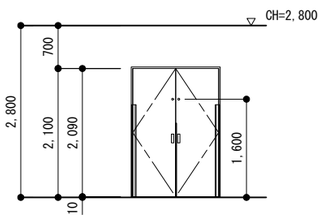
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日 / 変更年月日 令和 年 月 日 / 変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	建具表（2）	縮尺	A1 1/50 A3 1/100	図面番号	A－28



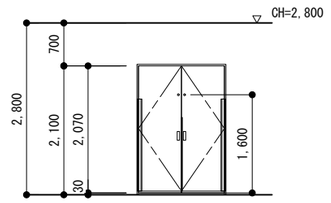
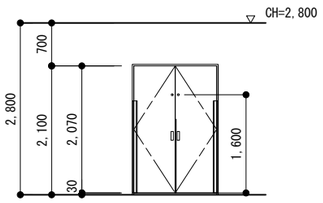
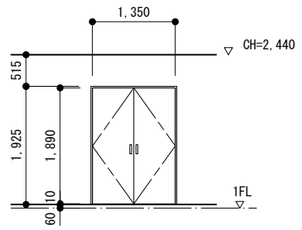
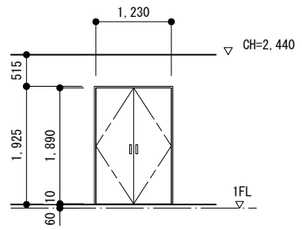
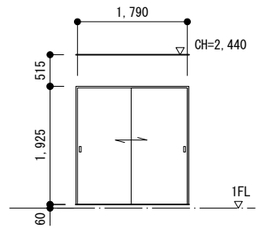
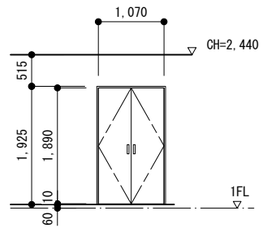
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	建具キープラン（木製建具）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/300 A3 1/150
								図面番号	A－29

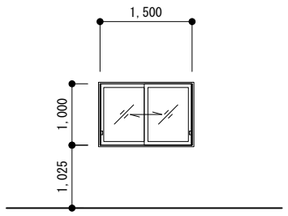
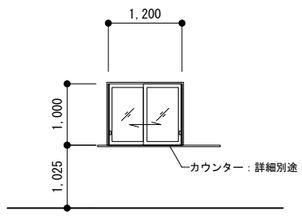
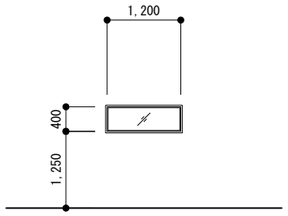
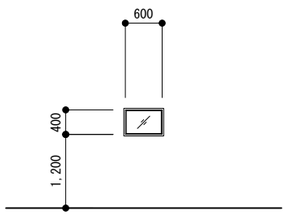
記号・数量	WD 01 / WD 01'	WD-01 5箇所	WD-01' 3箇所	WD 01a / WD 01a'	WD-01a 2箇所	WD-01a' 2箇所	WD 02 / WD 02'	WD-02 3箇所	WD-02' 3箇所	WD 03 / WD 03'	WD-03 2箇所	WD-03' 1箇所	WD 03b 1箇所	WD 04 2箇所
形状	※WD-01'はWD-01の逆勝手  ※0.1歳児保育室,3歳児以上保育室(2),遊戯室は WD 01'			※WD-01a'はWD-01aの逆勝手  ※各室1箇所ずつ逆勝手			※WD-02'はWD-02の逆勝手  ※沐浴室1箇所、調乳室、倉庫は WD 02'			※WD-03'はWD-03の逆勝手  ※男性休憩・更衣室(1)は WD 03'				
設置場所	0,1歳児・1,2歳児・3歳児以上保育室(1)(2)、遊戯室、一時預かり室、事務室、給湯室			未満児トイレ、以上児トイレ			沐浴室、調乳室、教材庫(1)(2)、倉庫			洗濯室、女性休憩・更衣室(1)、男性休憩・更衣室(1)			多機能トイレ	女性休憩・更衣室(2)、男性休憩・更衣室(2)
形式	片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：有		片引き吊戸（引込タイプ）	窓：有(縦長タイプ)		片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：なし		片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：戸先採光窓		片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：戸先採光窓
寸法	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端）	見込：36	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端）	見込：36	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端）	見込：36	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端）	見込：36	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端） 見込：36
材質・仕上	MDF+オレフィンシート貼			MDF+オレフィンシート貼			MDF+オレフィンシート貼			MDF+オレフィンシート貼			MDF+オレフィンシート貼	MDF+オレフィンシート貼
ガラス	STPt4			STPt4										
金物	錠（ｻﾑﾀｰﾝ･ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）、堀込引手、上下ガイドレール、			錠（外:ｻﾑﾀｰﾝ、内:空、H=1,600）堀込引手、上下ガイドレール、			錠(ｻﾑﾀｰﾝ・ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600)、堀込引手、上下ガイドレール、			錠(ｻﾑﾀｰﾝ・ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600)、堀込引手、上下ガイドレール、			錠(打掛表示錠、非常解錠機能付き)、バータイプ引手、上下ガイド	堀込引手、上下ガイドレール、
	引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(H=1,200)、付属金物一式			引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(H=1,200)、付属金物一式			引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(H=1,200)、付属金物一式			引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(H=1,200)、付属金物一式			引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(H=1,200)、付属金物一式	引き残しストッパー、付属金物一式、
備考													錠２（ｻﾑﾀｰﾝ・ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）	

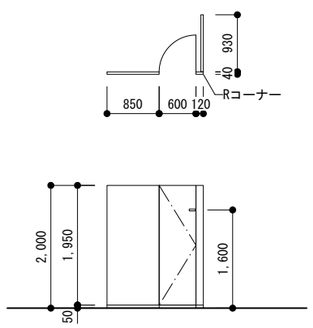
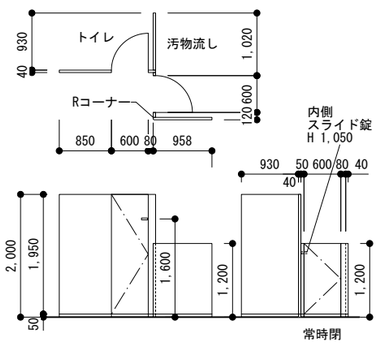
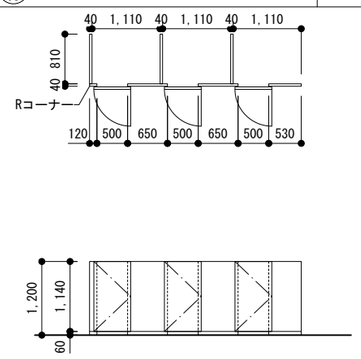
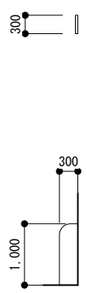
記号・数量	WD 05	1箇所	WD 06	1箇所	WD 21	1箇所	WD 22	1箇所	WD 23	2箇所	WD 23a	1箇所
形状												
設置場所	前室(1)		職員トイレ		廊下		休憩・更衣室		3歳児以上保育室(1)(2)		0,1歳児保育室	
形式	片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：有	片引き吊戸（引込タイプ）	窓 ：戸先採光窓	片開き戸	窓 ：なし	片開き戸	窓 ：戸先採光窓	片開き戸	窓 ：なし	片開き戸	窓 ：なし
寸法	W: 有効 700	H: 2,000（枠上端）	W: 有効 650	H: 2,000（枠上端） 見込：36	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端） 見込：36	W: 有効 800	H: 2,000（枠上端） 見込：36	W: 有効 750	H: 2,000（枠上端） 見込：36	W: 有効 750	H: 2,100 見込：36
材質・仕上	MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼	
ガラス	STPt4											
金物	バータイプ引手、上下ガイドレール、		錠（ｻﾑﾀｰﾝ表示錠）、堀込引手、上下ガイドレール、		錠（内:ｼﾘﾝﾀﾞｰ・外:ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）、レバーハンドル、		錠（ｻﾑﾀｰﾝ・ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）、レバーハンドル、付属金物一式		錠（外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600）、レバーハンドル、付属金物一式		錠（外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600）、レバーハンドル、付属金物一式	
	引き残しストッパー、付属金物一式、		引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(H=1,200)、付属金物一式、		付属金物一式		開き戸用指はさみガード（両面）H=1,500		開き戸用指はさみガード（両面）H=1,500		開き戸用指はさみガード（両面）H=1,500	
備考			錠２（ｻﾑﾀｰﾝ・ｻﾑﾀｰﾝ、H=1,600）		錠２（ｻﾑﾀｰﾝ・ｻﾑﾀｰﾝ）		アンダーカットH=10		アンダーカットH=10		アンダーカットH=30	

記号・数量	WD 24	1箇所	WD 25	2箇所	WD 101	1箇所	WD 102	1箇所	WD 103	1箇所		
形状											STP:学校用強化ガラス	
設置場所	書庫		トイレ(1)(2)		遊戯室		一時預かり室		1,2歳児保育室			
形式	片開き戸	窓 ：なし	片開き戸	窓 ：戸先採光窓	両開き戸	窓 ：なし	両開き戸	窓 ：なし	両開き戸	窓 ：なし		
寸法	W: 有効 650	H: 2,000（枠上端） 見込：36	W: 有効 600	H: 2,000（枠上端） 見込：36	W: 1,700	H: 2,100 見込：36	W: 1,600	H: 2,100 見込：36	W: 1,400	H: 2,100 見込：36		
材質・仕上	MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼			
ガラス												
金物	錠（外:ｼﾘﾝﾀﾞｰ・内:ｻﾑﾀｰﾝ）、レバーハンドル、付属金物一式		錠（ｻﾑﾀｰﾝ･表示錠）、レバーハンドル、付属金物一式		錠(外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600)、堀込引手、丁番、付属金物一式		錠(外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600)、堀込引手、丁番、付属金物一式		錠(外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600)、堀込引手、丁番、付属金物一式			
					開き戸用指はさみガード(両面)H=1,500、指詰め防止ゴム(H=1,200)		開き戸用指はさみガード(両面)H=1,500、指詰め防止ゴム(H=1,200)		開き戸用指はさみガード(両面)H=1,500、指詰め防止ゴム(H=1,200)			
備考	アンダーカットH=10		アンダーカットH=10		アンダーカットH=10		アンダーカットH=10		アンダーカットH=10			

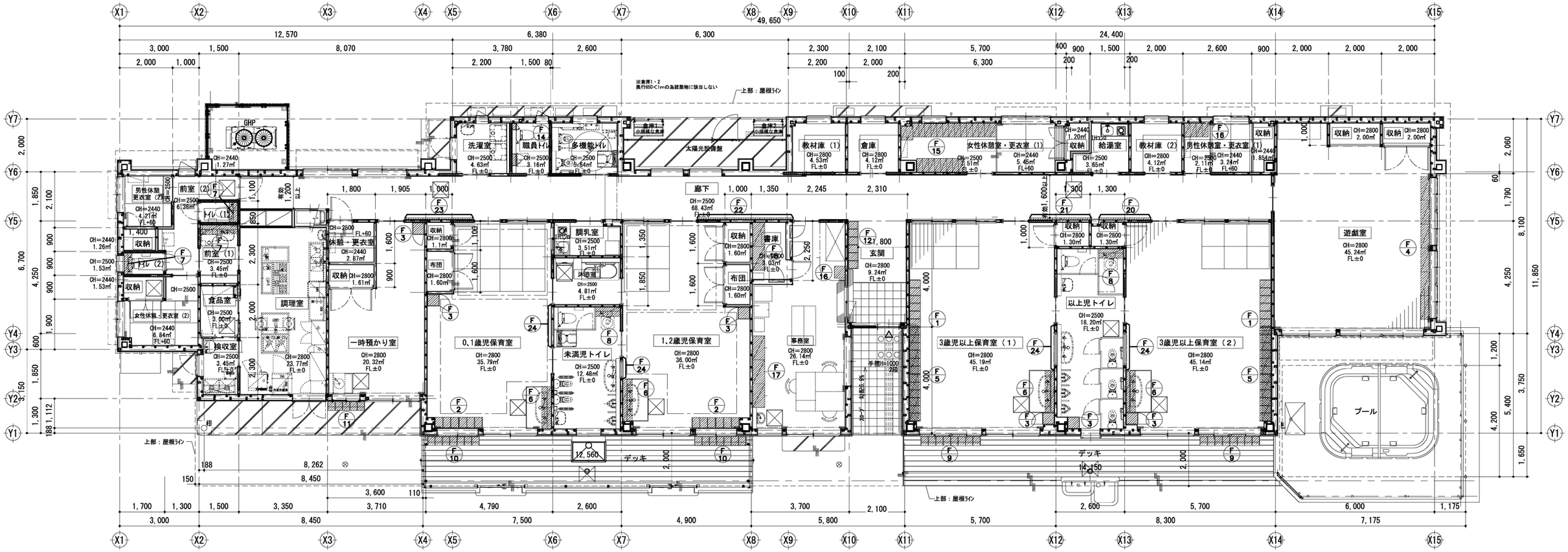
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 建具表（3）	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A－30

記号・数量	WD 103-1	1箇所	WD 104	1箇所	WD 105	1箇所	WD 105-1	1箇所	WD 106	1箇所	WD 107	1箇所
形状												
設置場所	0,1歳児保育室		1,2歳児保育室		女性休憩・更衣室(2)		女性休憩・更衣室(1)		男性休憩・更衣室(1)		男性休憩・更衣室(2)	
形式	両開き戸	窓　：なし	両開き戸	窓　：なし	両開き戸	窓　：なし	両開き戸	窓　：なし	引違い戸	窓　：なし	両開き戸	窓　：なし
寸法	W:　1,400　H:　2,100	見込：36	W:　1,350　H:　2,100	見込：36	W:　1,350　H:　2,100	見込：36	W:　1,230　H:　2,100	見込：36	W:　1,790　H:　2,100	見込：36	W:　1,070　H:　2,100	見込：36
材質・仕上	MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼		MDF+オレフィンシート貼	
ガラス												
金物	錠(外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600)、堀込引手、丁番、付属金物一式		錠(外:ｻﾑﾀｰﾝ・内:空、H=1,600)、堀込引手、丁番、付属金物一式		堀込引手、丁番、付属金物一式		堀込引手、丁番、付属金物一式		堀込引手、上下ガイドレール、付属金物一式		堀込引手、丁番、付属金物一式	
	開き戸用指はさみガード(両面)H=1,500、指詰め防止ゴム(H=1,200)		開き戸用指はさみガード(両面)H=1,500、指詰め防止ゴム(H=1,200)									
備考	アンダーカットH=30		アンダーカットH=30		アンダーカットH=10		アンダーカットH=10				アンダーカットH=10	

記号・数量	WW 01	6箇所	WW 02	1箇所	WW 11	2箇所	WW 12	1箇所				
形状												
設置場所	0,1歳児保育室、1,2歳児保育室、3歳児以上保育室(1)(2)		事務室		3歳児以上保育室(1)・(2)		1,2歳児保育室					
形式	引違い框戸	窓　：なし	引違い框戸	窓　：なし	FIX窓	窓　：ー	FIX窓	窓　：ー				
寸法	W:　1,500　H:　1,000	見込：36	W:　1,200　H:　1,000	見込：36	W:　1,200　H:　400	枠見込：145	W:　600　H:　400	枠見込：145				
材質・仕上	木質系基材+オレフィンシート貼		木質系基材+オレフィンシート貼		木質系基材+オレフィンシート貼		木質系基材+オレフィンシート貼					
ガラス	透明強化ガラスt4		STPt4		STPt4		STPt4					
金物	引手、戸車、ガイドレール、付属金物一式		引手、戸車、Vレール、付属金物一式									
	引き残しストッパー、指詰め防止ゴム(戸先)		引き残しストッパー、指詰め防止ゴム（戸先）									
備考												

記号・数量	TB 01	1箇所	TB 02	1箇所	TB 03	1箇所	TB 04	5箇所				
形状							 ※以上児トイレ3箇所、未満児トイレ2箇所					STP:学校用強化ガラス
設置場所	未満児トイレ		以上児トイレ		以上児トイレ		以上児トイレ、未満児トイレ					
形式	トイレブース		トイレブース		幼児用トイレブース		幼児用トイレ間仕切					
見込	W:　600　H:　2,000	見込：40	W:　600　H:　2,000/1,200	見込：40	W:　有効500　H:　1,200	見込：40	W:　300　H:　1,000	見込：40				
材質・仕上	メラミン化粧板		メラミン化粧板		メラミン化粧板		メラミン化粧板					
ガラス												
金物	ラバトリーヒンジ、錠（内側:非常解錠付表示錠(スライドタイプ)、		ラバトリーヒンジ、錠（内側:非常解錠付表示錠(スライドタイプ)、		丁番型グラビティヒンジ、表示付打掛錠、ステンレス巾木		ステンレス巾木					
	外側:スライド錠(H=1,600))、戸当り、ステンレス巾木、ステンレス頭繋ぎ		外側:スライド錠(H=1,600))、戸当り、ステンレス巾木、ステンレス頭繋ぎ		把手、90°ストッパー、指はさみ防止、頭繋ぎなし							
備考												

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日　令和　8年　1月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	建具表（4）	縮尺	A1　1/50 A3 1/100	図面番号	A－31
		特記事項	特記事項	特記事項						



全体平面図　1：150

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	家具キープラン	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	A－32
		特記事項	特記事項	特記事項						

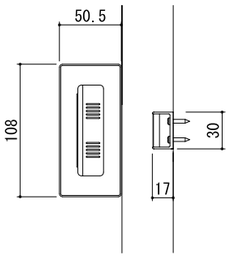
木製家具標準仕様

地球環境問題（リサイクル、温暖化等）に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。

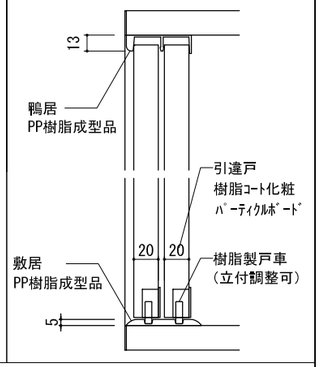
樹脂コート化粧MDF	JAS-F☆☆☆☆適合品
ポリエステル化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	JAS-F☆☆☆☆適合品　厚生労働省のＶＯＣ指定13物質を含んでいないものを使用する。
塗料	JAS-F☆☆☆☆適合品　厚生労働省のＶＯＣ指定13物質を含んでいないものを使用する。
共　通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。
	※製作家具本体は国内生産品とする。

ラッチ付引手 詳細図　S=1/5

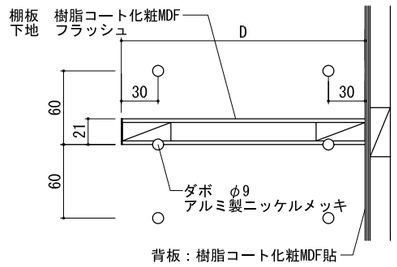
樹脂製



引違戸 詳細図　S=1/5



可動棚板 詳細図　S=1/5



※W600以上の棚板は強度を考慮し、
パーティクルボードの使用は不可とする。
また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。

Ｆ－１　園児用ロッカー1　6人用ロッカー　×　3　（参考CV-70）　計　2ヶ所　S：1/20

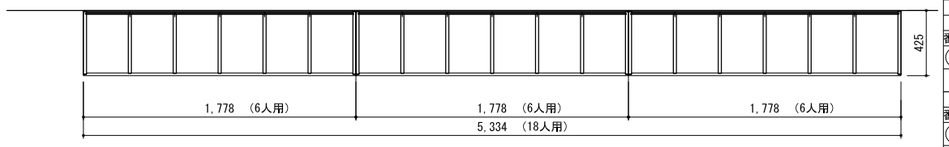
寸　法
W 5,334　×　D 425　×　H 700
使用箇所
3歳児以上保育室（1）
3歳児以上保育室（2）

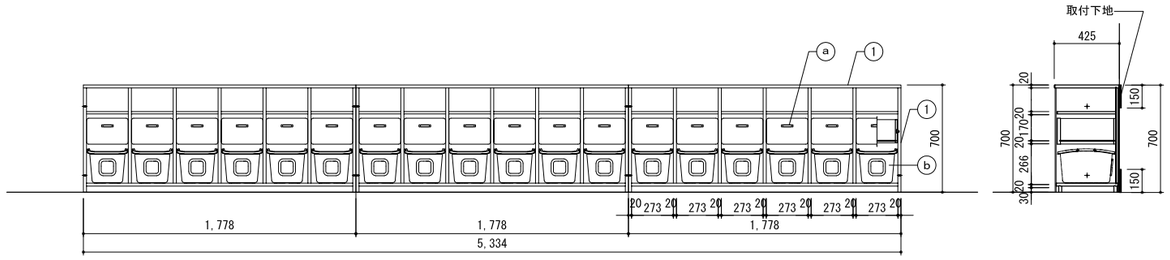
仕　様

番号	名称	材質
①	本体	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板

金　物・付属品

番号	名称	材質
ⓐ	ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ	ABS
ⓑ	かご	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ





Ｆ－２　園児用ロッカー2　9人用引出ロッカー　× 2（参考CV-90）　計　2ヶ所　S：1/20

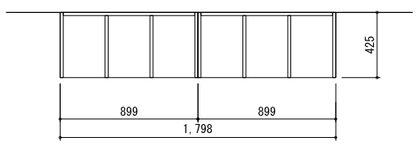
寸　法
W 1,798　×　D 425　×　H 700
使用箇所
0､1歳児保育室
1､2歳児保育室

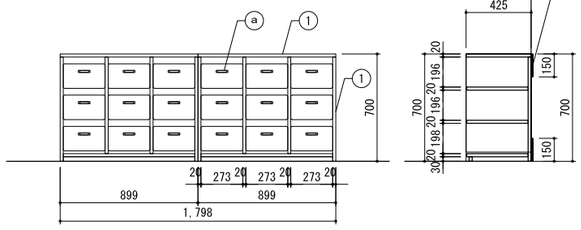
仕　様

番号	名称	材質
①	本体	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板

金　物・付属品

番号	名称	材質
ⓐ	ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ	ABS





Ｆ－３　掃除用具入れ　計　6ヶ所　S：1/20

寸　法
W 450　×　D 450　×　H 2,000
使用箇所
0､1歳児保育室　1､2歳児保育室
3歳児以上保育室（1）　3歳児以上保育室（2）
一時預かり室　以上児トイレ

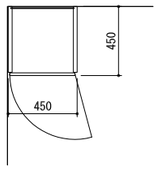
仕　様

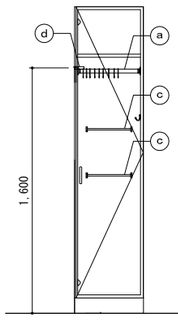
番号	名称	材質
①	本体	樹脂ｺｰﾄ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ

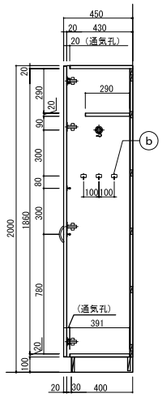
金　物・付属品

番号	名称	材質
ⓐ	ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ巻ﾊﾟｲﾌﾟ φ25（Sｶﾝ9ヶ付）
ⓑ	フック	玉付回転フック（TK-30）
ⓒ	帷巾掛け（戸裏）	ｽﾃﾝﾚｽ巻ﾊﾟｲﾌﾟ φ9.5（L350）
ⓓ	スライド錠	

※開き勝手は平面図参照







※床固定

Ｆ－４　吊戸棚　計　1ヶ所　S：1/20

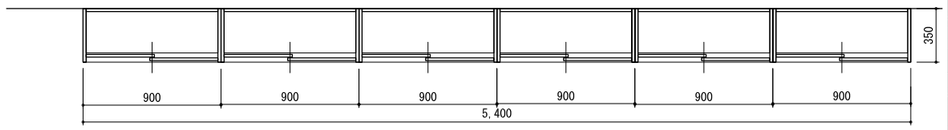
寸　法
W 5,400　×　D 350　×　H 650
使用箇所
遊戯室

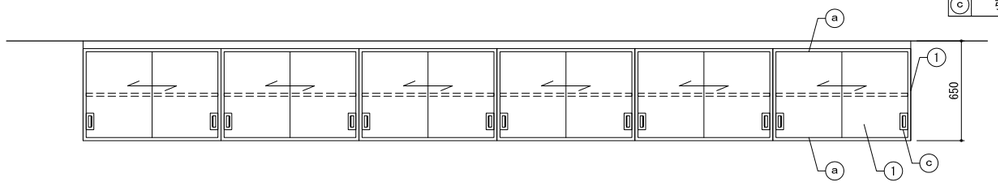
仕　様

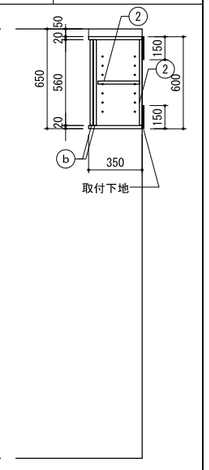
番号	名称	材質
①	本体・戸	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板
②	裏板・可動棚	ｼﾅ合板

金　物・付属品

番号	名称	材質
ⓐ	敷居	PP樹脂成型品
ⓑ	戸車	樹脂製戸車
ⓒ	引手	樹脂製ラッチ付引手

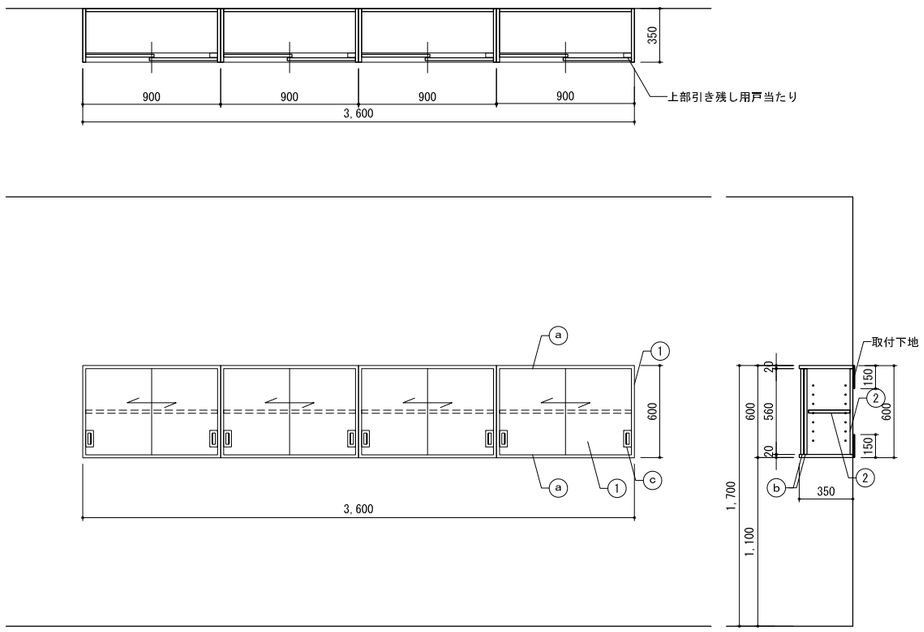






千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	変更年月日	変更年月日	図面名	縮尺	図面番号
	千葉市長沼原保育所新築工事	令和　8年　1月　日	令和　年　月　日	令和　年　月　日	家具詳細図（1）	A1　1/20 A3　1/40	Ａ－３３
		特記事項	特記事項	特記事項			

F－5　吊戸棚　計 2ヶ所　S：1/20

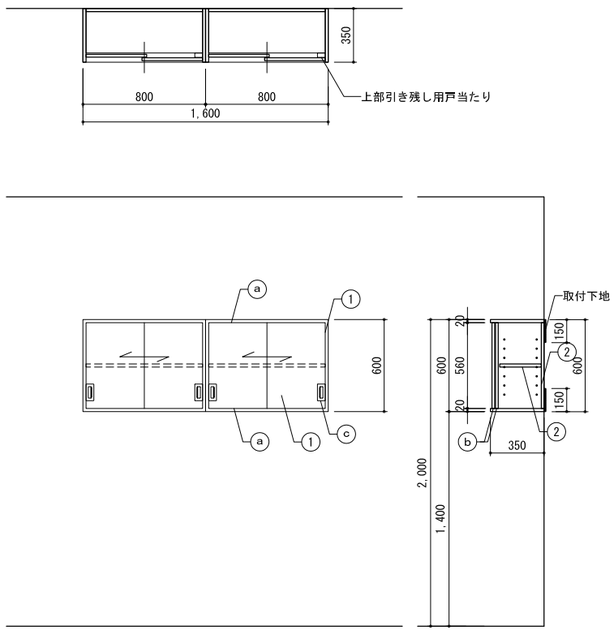


寸　法
W 3,600　×　D 350　×　H 600
使用箇所
3歳児以上保育室（1）
3歳児以上保育室（2）

仕　様		
番号	名称	材質
1	本体・戸	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板
2	裏板・可動棚	ｼﾅ合板

金　物・付属品		
番号	名称	材質
a	敷居	PP樹脂成型品
b	戸車	樹脂製戸車
c	引手	樹脂製ラッチ付引手

F－6　吊戸棚　計 4ヶ所　S：1/20

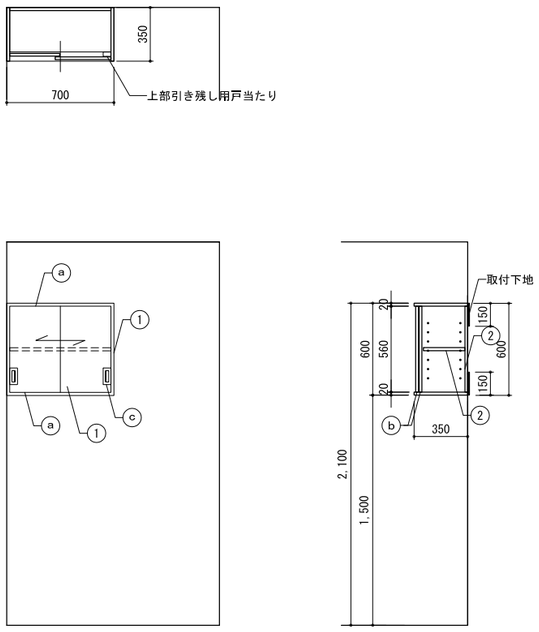


寸　法
W 1,600　×　D 350　×　H 600
使用箇所
0、1歳児保育室　1、2歳児保育室
3歳児以上保育室（1）　3歳児以上保育室（2）

仕　様		
番号	名称	材質
1	本体・戸	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板
2	裏板・可動棚	ｼﾅ合板

金　物・付属品		
番号	名称	材質
a	敷居	PP樹脂成型品
b	戸車	樹脂製戸車
c	引手	樹脂製ラッチ付引手

F－7　吊戸棚　計 3ヶ所　S：1/20

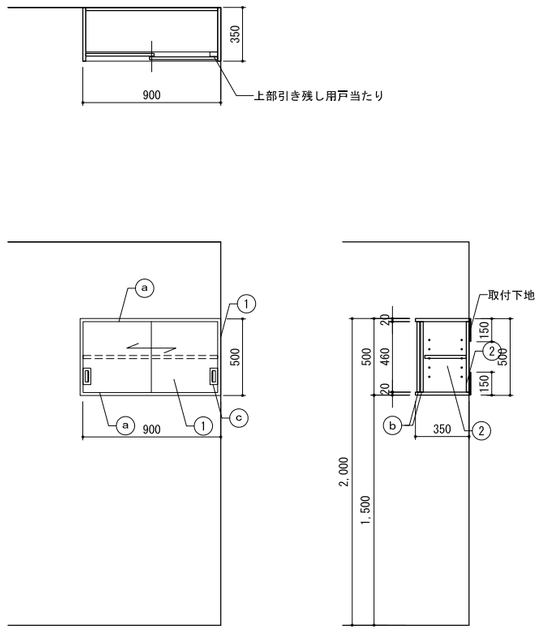


寸　法
W 700　×　D 350　×　H 600
使用箇所
前室（1）　トイレ（1）　トイレ（2）

仕　様		
番号	名称	材質
1	本体・戸	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板
2	裏板・可動棚	ｼﾅ合板

金　物・付属品		
番号	名称	材質
a	敷居	PP樹脂成型品
b	戸車	樹脂製戸車
c	引手	樹脂製ラッチ付引手

F－8　吊戸棚　計 2ヶ所　S：1/20



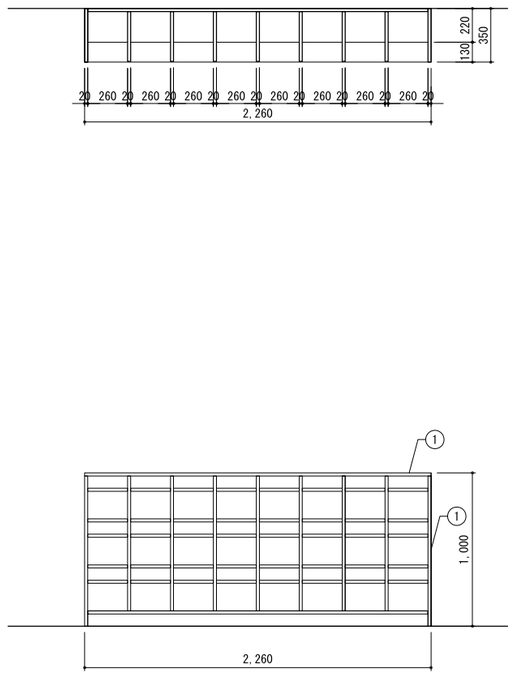
寸　法
W 900　×　D 350　×　H 500
使用箇所
未満児トイレ
以上児トイレ

仕　様		
番号	名称	材質
1	本体・戸	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板
2	裏板・可動棚	ｼﾅ合板

金　物・付属品		
番号	名称	材質
a	敷居	PP樹脂成型品
b	戸車	樹脂製戸車
c	引手	樹脂製ラッチ付引手

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	家具詳細図（2）	縮尺	A1 1/20 A3 1/40	図面番号	A－34
		特記事項		特記事項		特記事項							

F－９　屋外用下足入れ（24人分）　計　2ヶ所　S：1/20



寸　法
W 2,260　×　D 350　×　H 1,000
使用箇所
3歳児以上保育室（1）前デッキ
3歳児以上保育室（2）前デッキ

仕　様

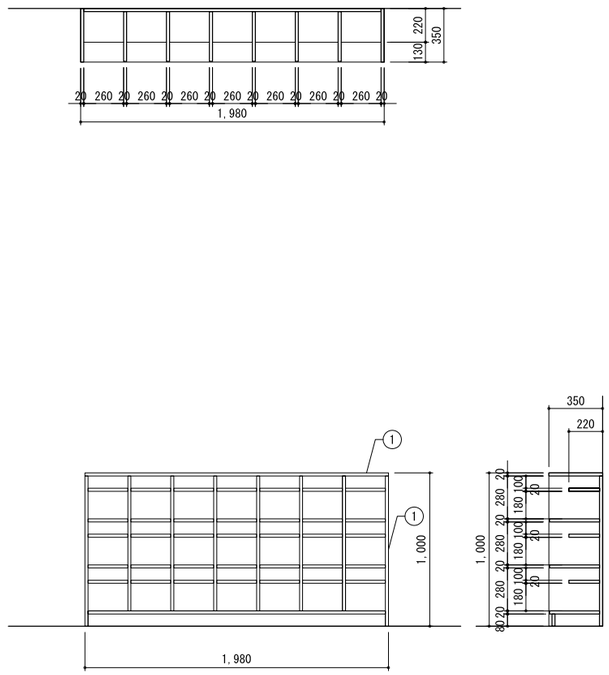
番号	名称	材質
1	本体	PVC（ポリ塩化ﾋﾞﾆﾙ）

金　物・付属品

番号	名称	材質

床固定

F－１０　屋外用下足入れ（21人分）　計　2ヶ所　S：1/20



寸　法
W 1,980　×　D 350　×　H 1,000
使用箇所
0､1歳児保育室前デッキ
1､2歳児保育室前デッキ

仕　様

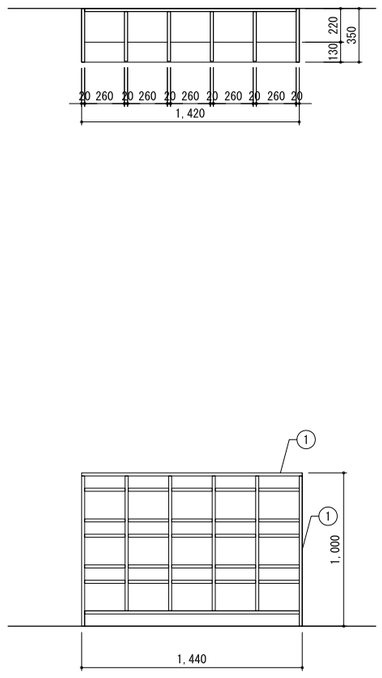
番号	名称	材質
1	本体	PVC（ポリ塩化ﾋﾞﾆﾙ）

金　物・付属品

番号	名称	材質

床固定

F－１１　屋外用下足入れ（15人分）　計　1ヶ所　S：1/20



寸　法
W 1,420　×　D 350　×　H 1,000
使用箇所
一時預かり室前

仕　様

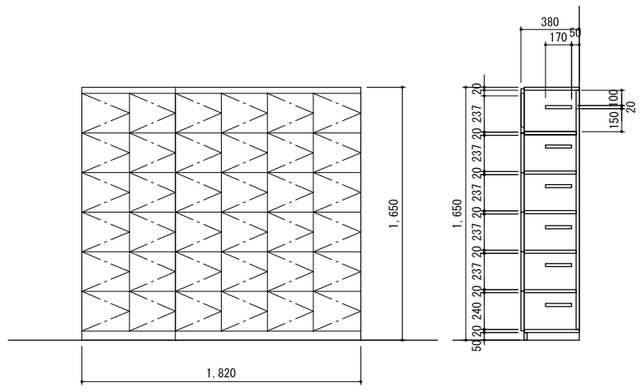
番号	名称	材質
1	本体	PVC（ポリ塩化ﾋﾞﾆﾙ）

金　物・付属品

番号	名称	材質

床固定

F－１２　職員・来客用下足入れ（36人分）　計　1ヶ所　S：1/20



寸　法
W 1,820　×　D 380　×　H 1,650
使用箇所
玄関

仕　様

番号	名称	材質
1	本体	樹脂ｺｰﾄ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ

金　物・付属品

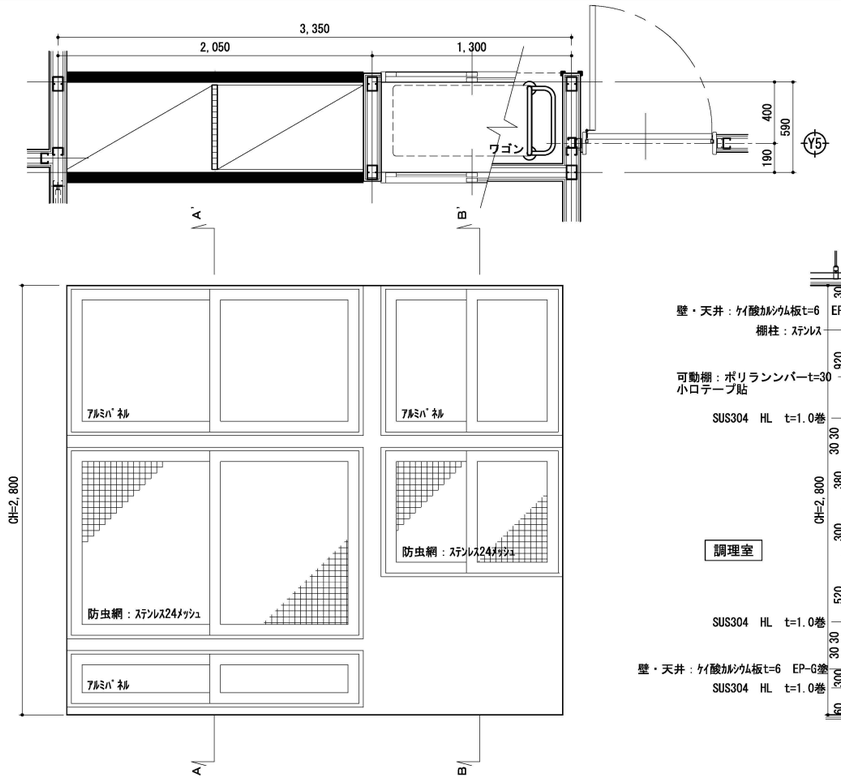
番号	名称	材質

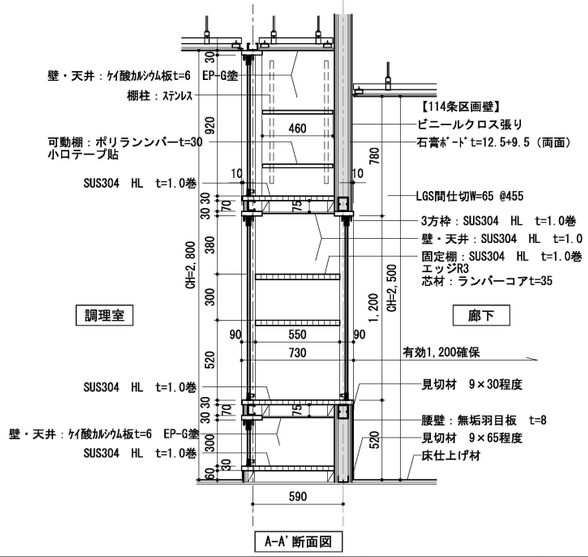
壁固定

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	家具詳細図（3）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/20　A3 1/40
								図面番号	A－３５

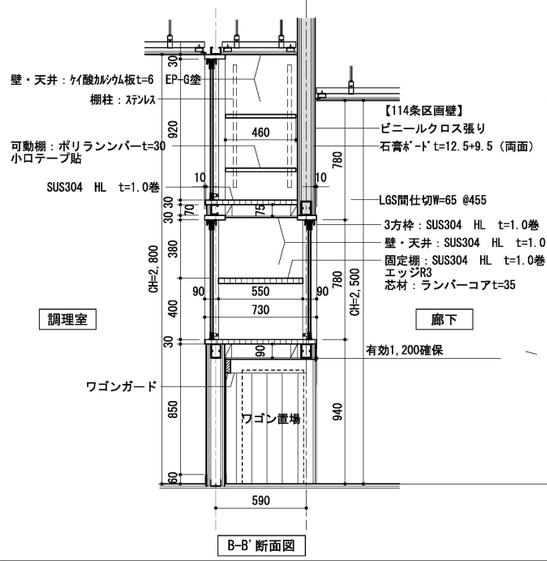
F－１３　パススルー

計　1ヶ所　S：1/20

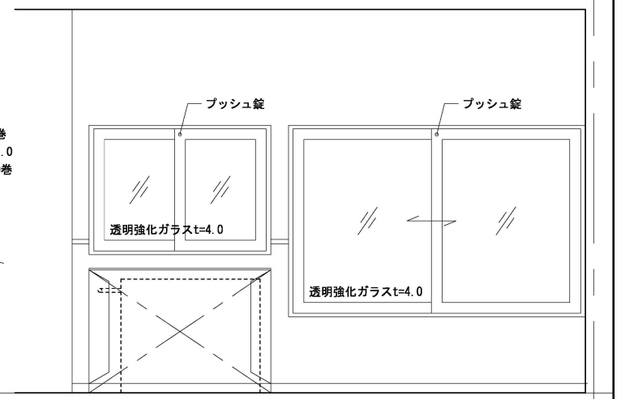




A-A'断面図



B-B'断面図



F－１４　ミラーキャビネット　＋　ウォール収納キャビネット

計　2ヶ所　S：1/20

番号	名　称	寸　法	数量	備　考	参考品番
①	ミラーキャビネット	W 360 × D 150 × H 600	1	棚板2枚	TSF-125L
②	ｳｫｰﾙ収納ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	W 360 × D 150 × H 600	1	棚板2枚	TSF-107

寸　法

使用箇所

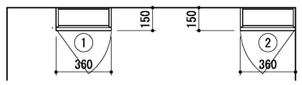
職員トイレ

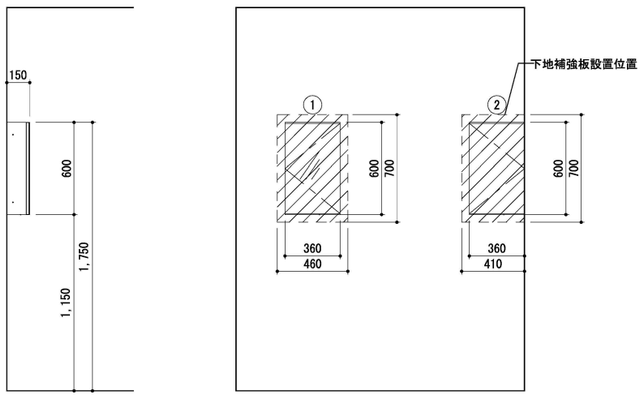
仕　様

番号	名称	材質
①	本体	木質材料（表面ｳﾚﾀﾝ化粧板）
①	本体	木質材料（表面ｳﾚﾀﾝ化粧板）

金　物・付属品

番号	名称	材質





F－１５　ロッカー

計　1ヶ所　S：1/20

寸　法

W 463 × D 515 × H 1,790　2人用（2台）
W 900 × D 515 × H 1,790　4人用（5台）

使用箇所

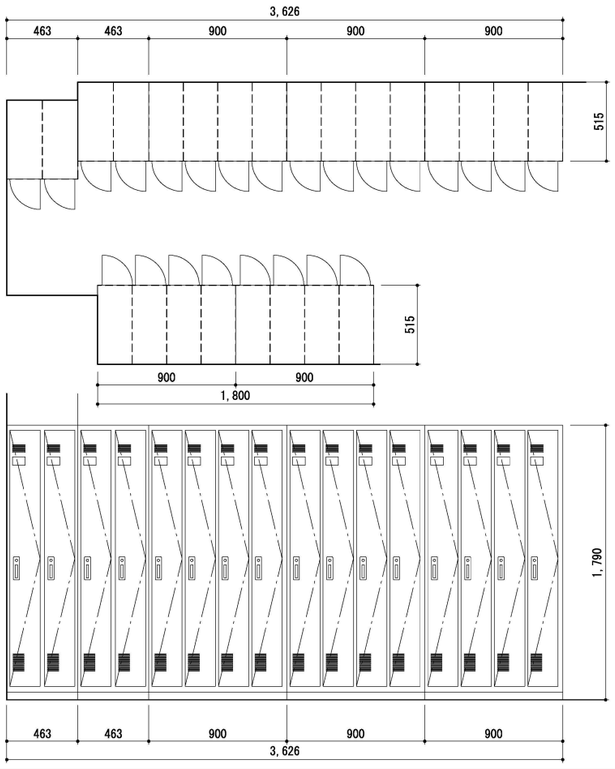
女性休憩・更衣室（1）

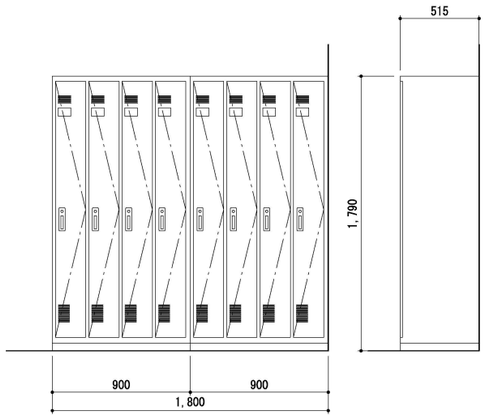
仕　様

番号	名称	材質
①	本体	ｽﾁｰﾙ製粉体塗装

金　物・付属品

番号	名称
	ﾀﾞｲﾔﾙ錠・通気口
	ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ・鏡・網棚2段・ﾌｯｸ
	ﾈｸﾀｲ掛け・傘立て・滴受け・ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ

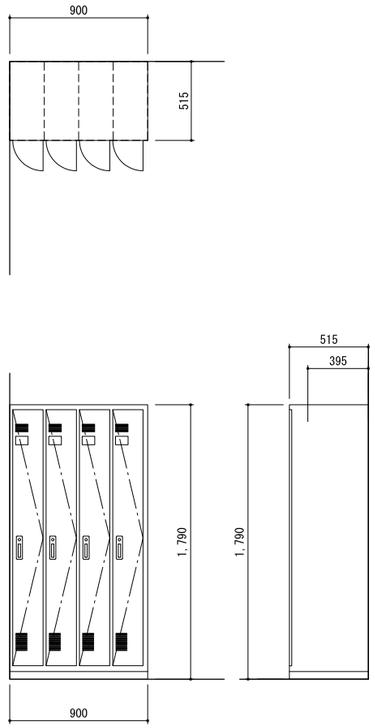




千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日　令和　8年　1月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名　家具詳細図（4）	縮尺　A1 1/20　A3 1/40	図面番号　A－36
		特記事項	特記事項	特記事項			

F－１６ ロッカー

計 1ヶ所 S：1/20



寸法
W 900 × D 515 × H 1,790 4人用（1台）

使用箇所
男性休憩・更衣室（1）

仕様

番号	名称	材質
1	本体	ｽﾁｰﾙ製粉体塗装

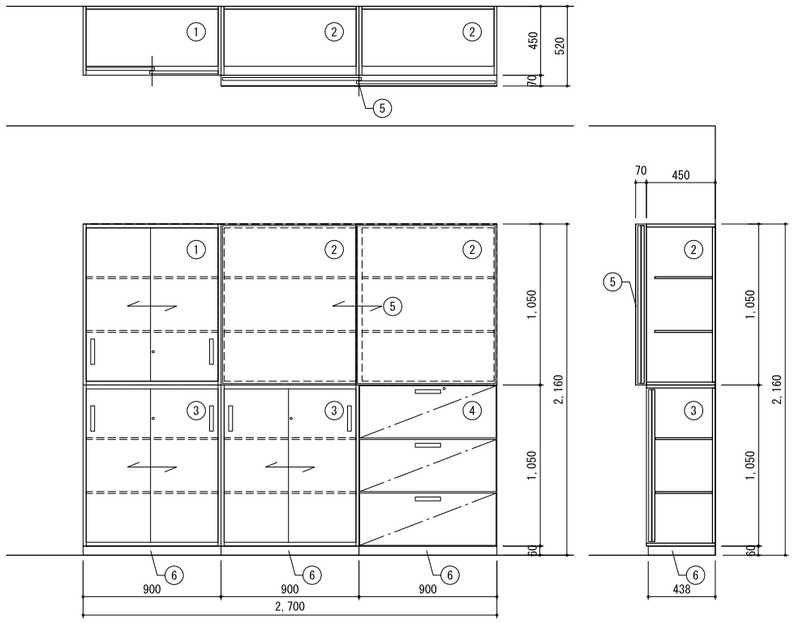
金物・付属品

番号	名称
	ﾀﾞｲﾔﾙ錠・通気口
	ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ・鏡・網棚2段・ﾌｯｸ
	ﾈｸﾀｲ掛け・傘立て・滴受け・ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ

F－１７ 書類棚

計 1ヶ所 S：1/20

番号	名称	寸法	数量	備考	参考品番
1	2枚引き違い戸（上）	W 900 × D 450 × H 1,050	1	棚板2枚・錠・ラッチ付	BWU-HU259SAWNN
2	オープン	W 900 × D 450 × H 1,050	2	棚板2枚	BWU-K59
3	2枚引き違い戸（下）	W 900 × D 450 × H 1,050	2	棚板2枚・錠・ラッチ付	BWU-HD259SAWNN
4	ラテラル3段	W 900 × D 450 × H 1,050	1	棚板2枚・錠・ラッチ付	BWU-L3A59SAWNN
5	スライドボード	W900用2連 H1,050	1	ﾎｰﾛｰ・上下ﾚｰﾙｱﾙﾐ押出材	BB-U259WN
6	ベース	W 900 × D 450 × H 60	3		BWUB-S9SAW



寸法
W 2,700 × D 450 × H 2,160

使用箇所
事務室

仕様

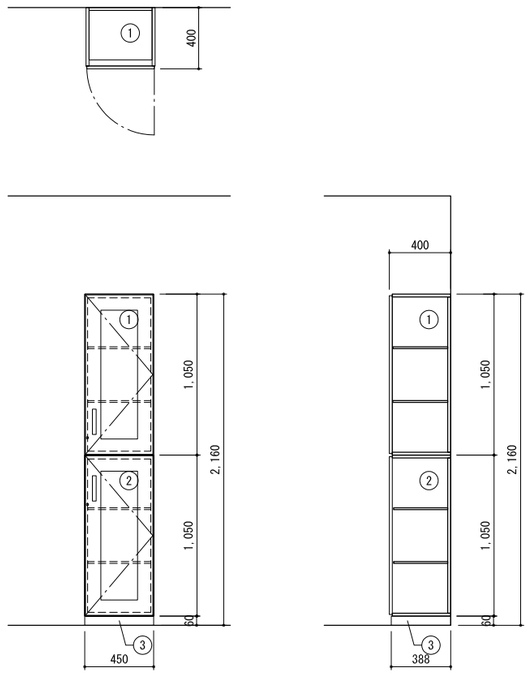
番号	名称	材質
	本体	スチール焼付塗装

金物・付属品

番号	名称	材質

F－１８ 医療用品棚

計 1ヶ所 S：1/20



寸法
W 450 × D 400 × H 2,160

使用箇所
事務室

仕様

番号	名称	材質
	本体	木製ガラス扉

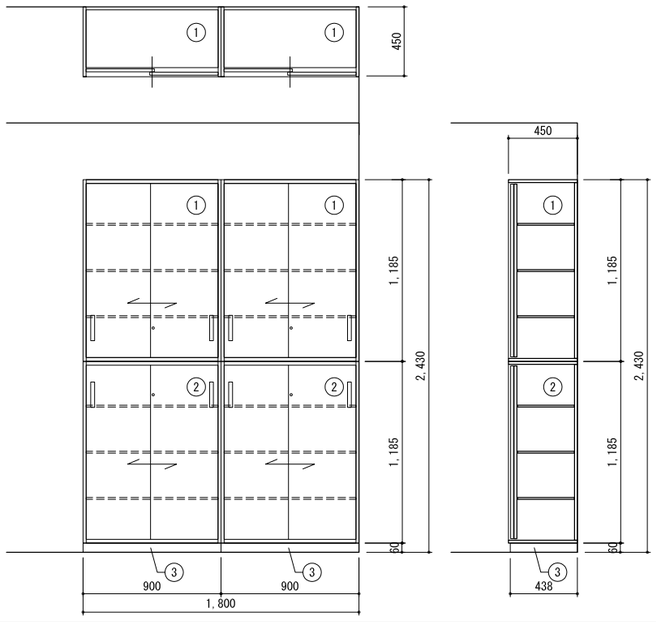
金物・付属品

番号	名称	材質
		鍵付き

F－１９ 収納

計 1ヶ所 S：1/20

番号	名称	寸法	数量	備考	参考品番
1	2枚引き違い戸（上）	W 900 × D 450 × H 1,185	2	棚板3枚・錠・ラッチ付	BWU-HU269SAWNN
2	2枚引き違い戸（下）	W 900 × D 450 × H 1,185	2	棚板3枚・錠・ラッチ付	BWU-HD269SAWNN
3	ベース	W 900 × D 450 × H 60	2		BWUB-S9SAW



寸法
W 1,800 × D 450 × H 2,430

使用箇所
書庫（事務室）

仕様

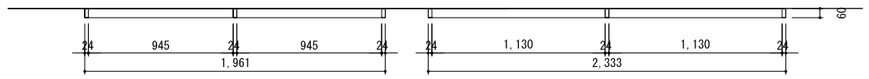
番号	名称	材質
	本体	スチール焼付塗装

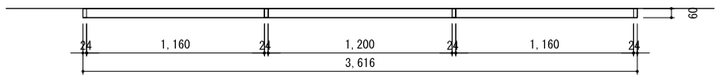
金物・付属品

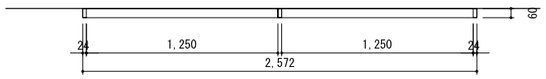
番号	名称	材質

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	家具詳細図（5）	縮尺 A1 1/20 A3 1/40	図面番号 A－３７
		特記事項	特記事項	特記事項				

F－２０～２３	ブックシェルフ	計　4ヶ所	S：1/20







寸　法					
F20	W 1,961	×	D 60	×	H 800
F21	W 2,333	×	D 60	×	H 800
F22	W 3,616	×	D 60	×	H 800
F23	W 2,572	×	D 60	×	H 800

使用箇所

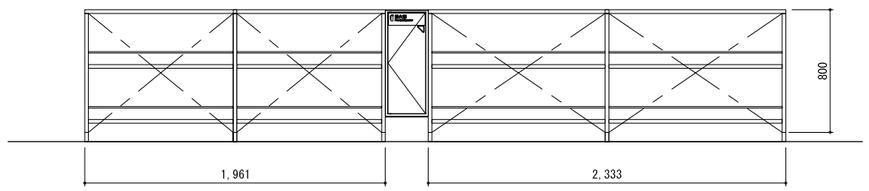
廊下

仕　様

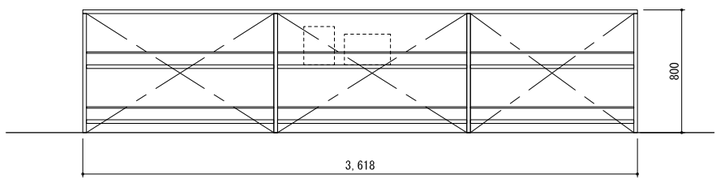
番号	名称	材質
①	本体	ﾀﾓ集成材　t=24　ｸﾘｱ塗装
②	パイプ	SUS φ13 ﾊﾟｲﾌﾟ 二重ｿｹｯﾄ

金　物・付属品

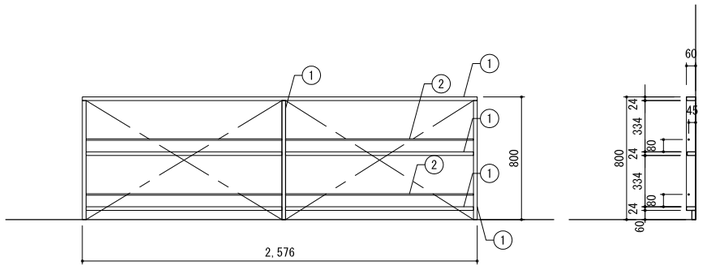
番号	名称	材質



F 20　　F 21

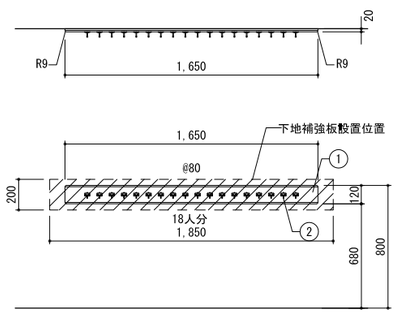


F 22

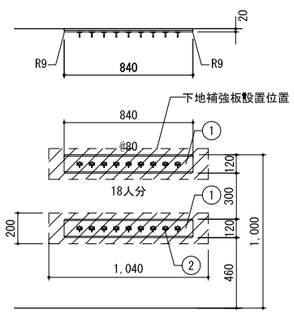


F 23

F－２４	タオル掛け	計　4ヶ所	S：1/20



【0、1歳児保育室】



【1、2歳児保育室】

寸　法

使用箇所

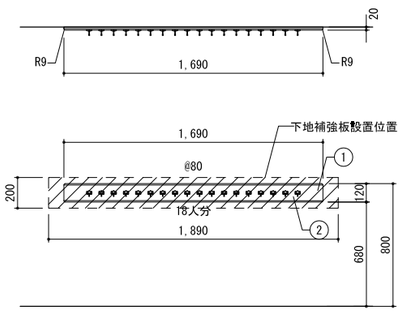
0、1歳児保育室	L	1,650
1、2歳児保育室	L	840×2段
3歳児以上保育室（1）	L	1,690
3歳児以上保育室（2）	L	1,930

仕　様

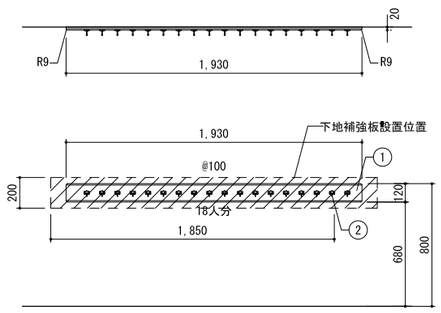
番号	名称	材質
①	本体	檜間伐台形集成材(国内産材) UC塗装仕上
②	フック	玉付回転フック(TK-30)

金　物・付属品

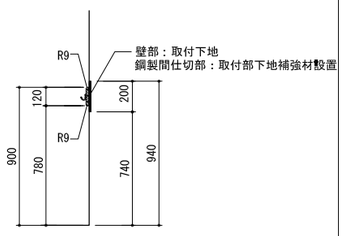
番号	名称	材質



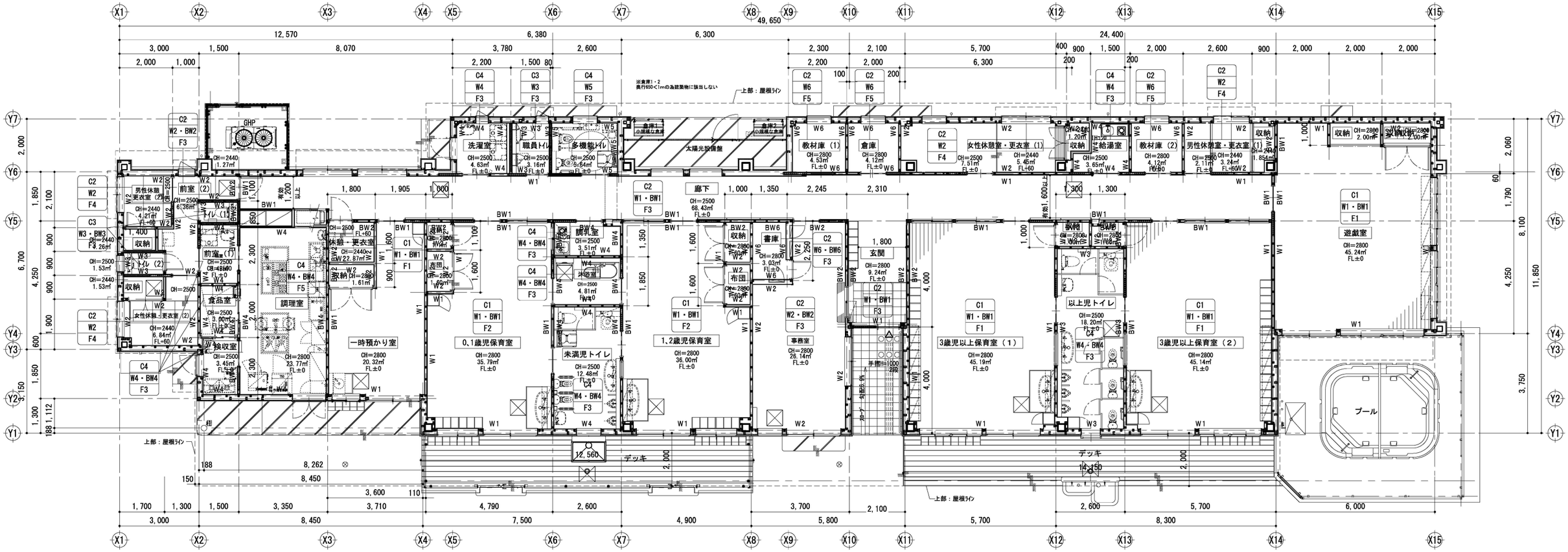
【3歳児以上保育室（1）】



【3歳児以上保育室（2）】



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	家具詳細図（6）	縮尺	A1　1/20 A3　1/40	図面番号	A－３８
		特記事項		特記事項		特記事項							



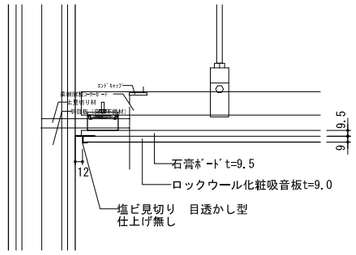
全体平面図　1：150

【凡例】

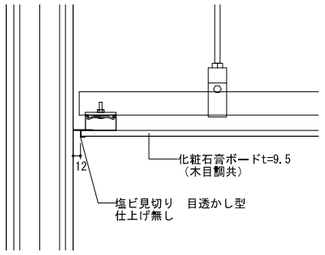
C1	天井仕上
W1・BW1	壁仕上
F1	床仕上

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	仕上キープラン	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	A－39
			特記事項		特記事項		特記事項							

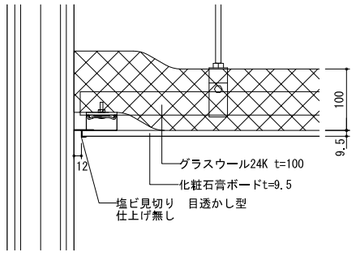
C１ ロックウール化粧吸音板 S：1/5



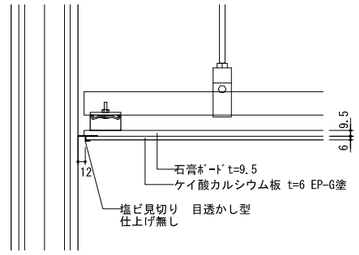
C２ 化粧石膏ボード S：1/5



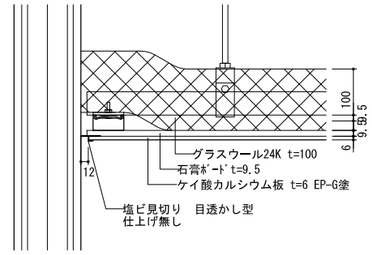
C３ 化粧石膏ボード+GW S：1/5



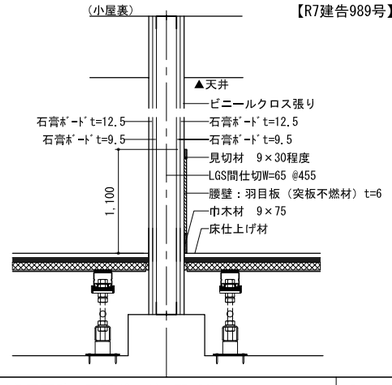
C４ ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G塗 S：1/5



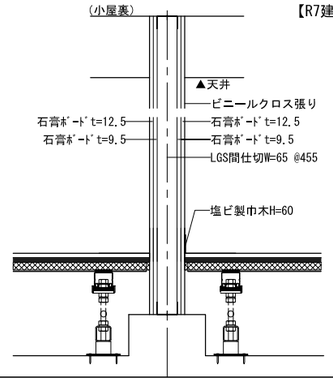
C５ ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G塗+GW S：1/5



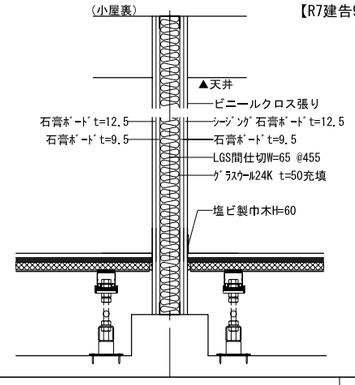
BW１ 114条区画壁　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ+腰壁（化粧天然木羽目板） S：1/10



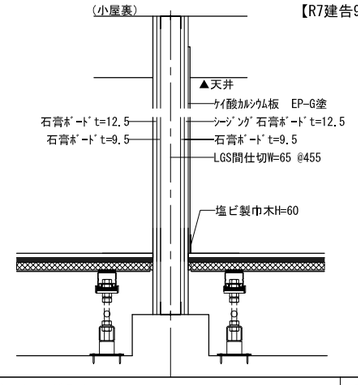
BW２ 114条区画壁　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ S：1/10



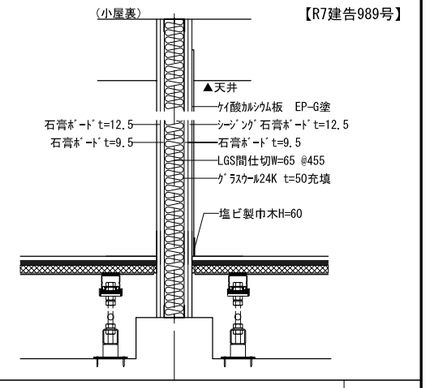
BW３ 114条区画壁　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ S：1/10



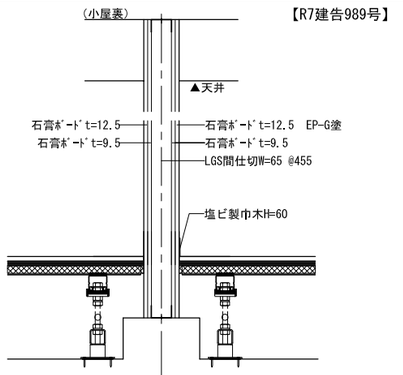
BW４ 114条区画壁　ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　EP-G塗 S：1/10



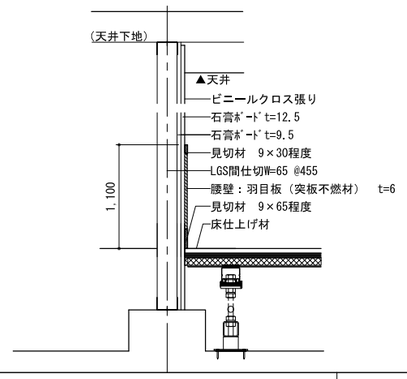
BW５ 114条区画壁　ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　EP-G塗+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ S：1/10



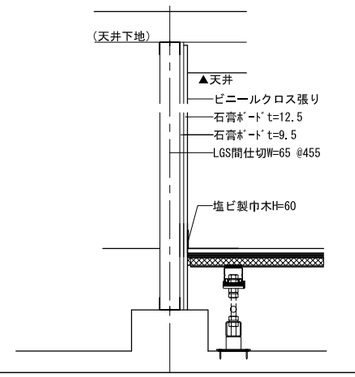
BW６ 114条区画壁　石膏ボード　EP-G塗 S：1/10



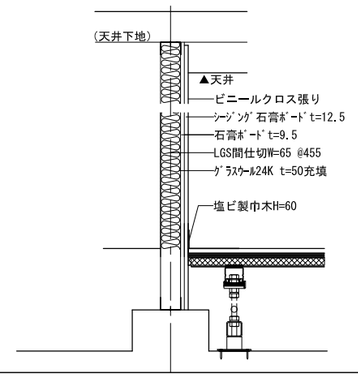
W１ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ+腰壁（化粧天然木羽目板） S：1/10



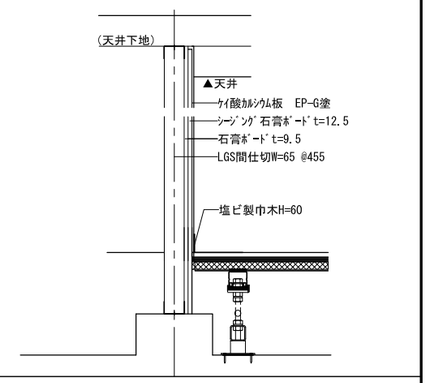
W２ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ S：1/10



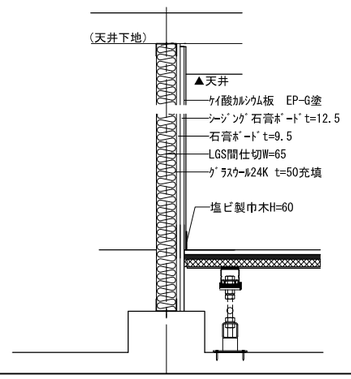
W３ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ S：1/10



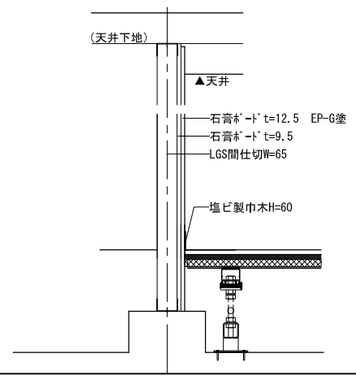
W４ ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　EP-G塗 S：1/10



W５ ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　EP-G塗+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ S：1/10

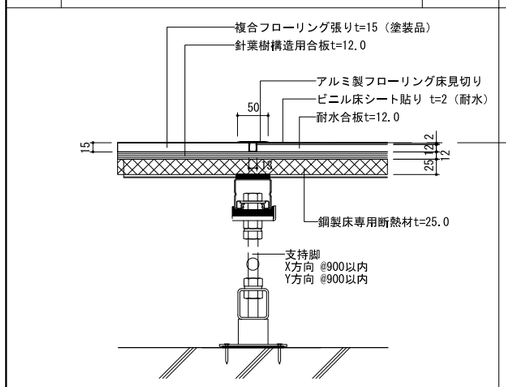


W６ 石膏ボード　EP-G塗 S：1/10

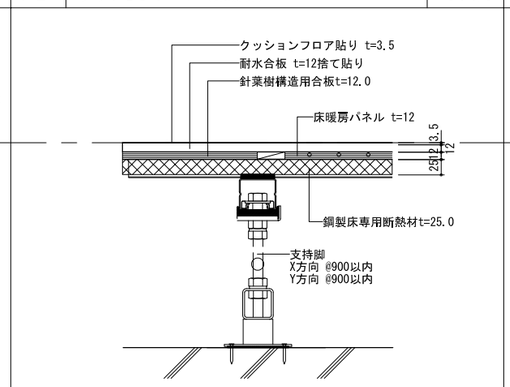


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日　令和　8年　1月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部分詳細図（1）	縮尺 A1　1/10・1/5 A3　1/10・1/20	図面番号 A－４０

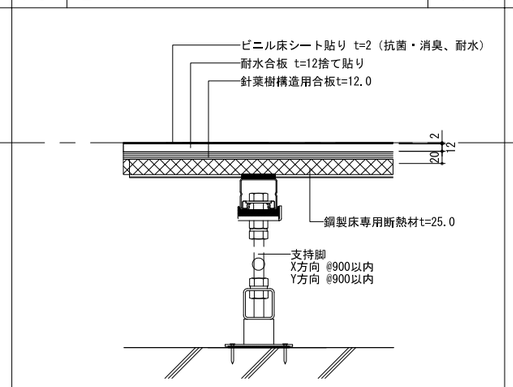
F１ 複合フローリング+ビニル床シート S：1/5



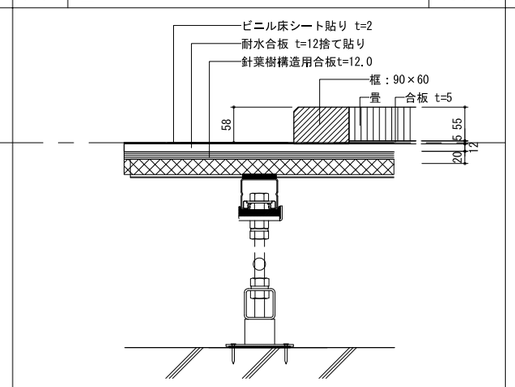
F２ クッションフロア（床暖房） S：1/5



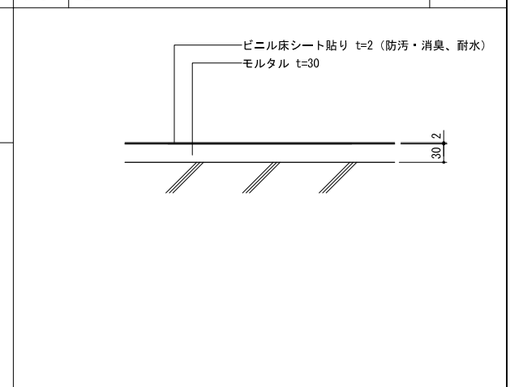
F３ ビニル床シート S：1/5



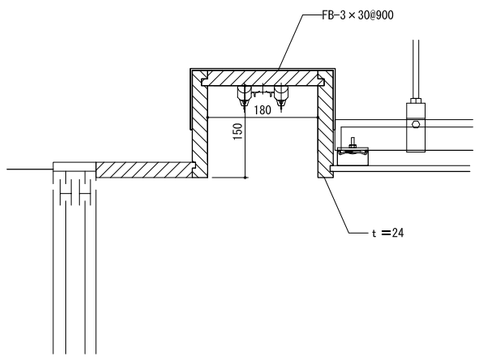
F４ 畳 S：1/5



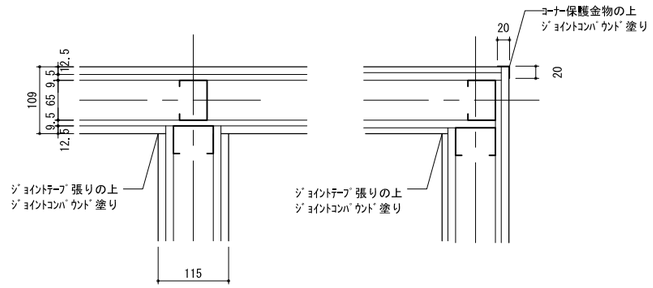
F５ ビニル床シート S：1/5



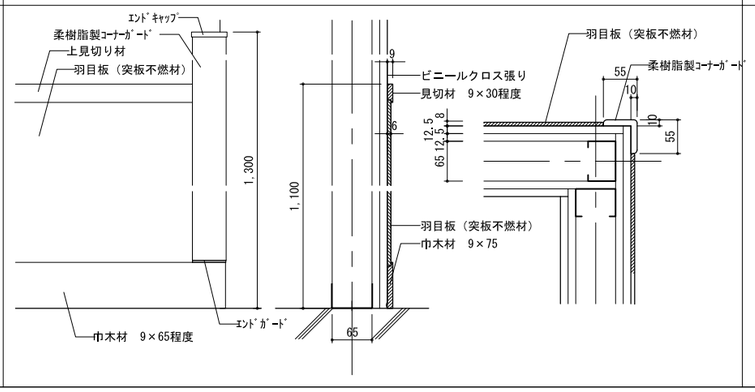
カーテンレール S：1/5



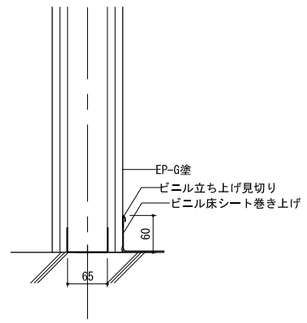
LGS下地納まり S：1/5



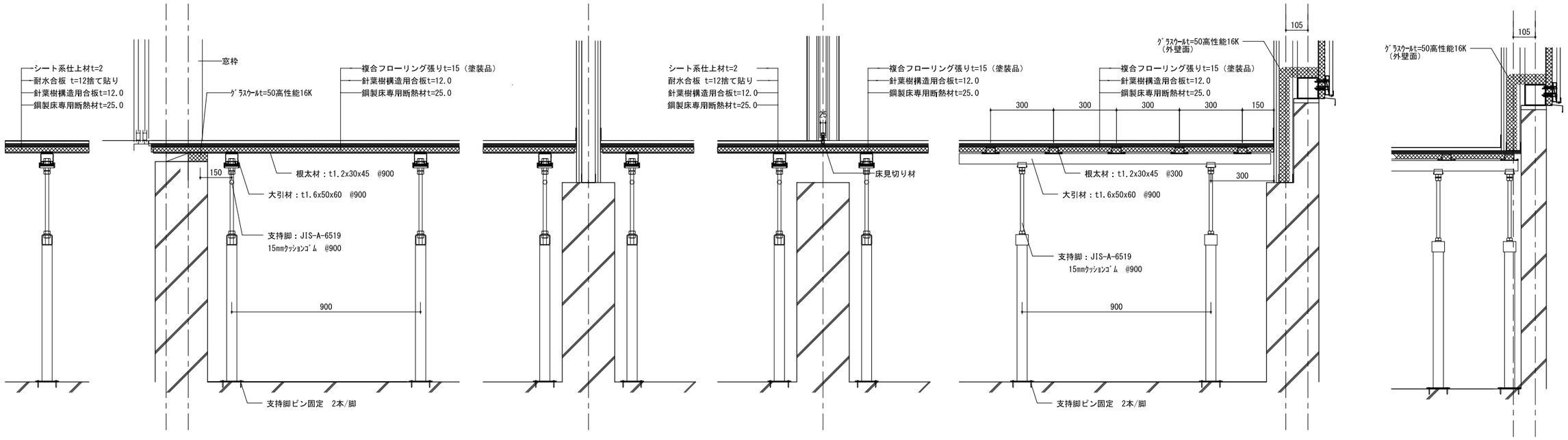
木製見切材 S：1/5



ビニル床シート巻き上げ巾木（調理室） S：1/5

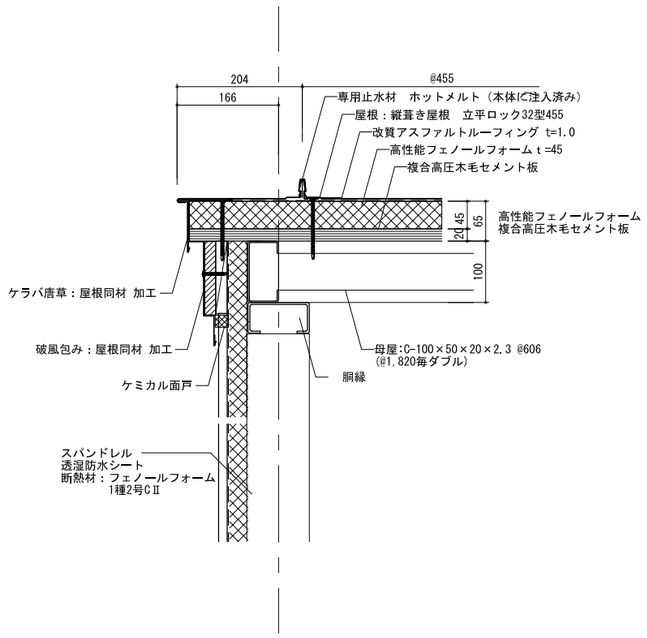


鋼製床基本詳細図

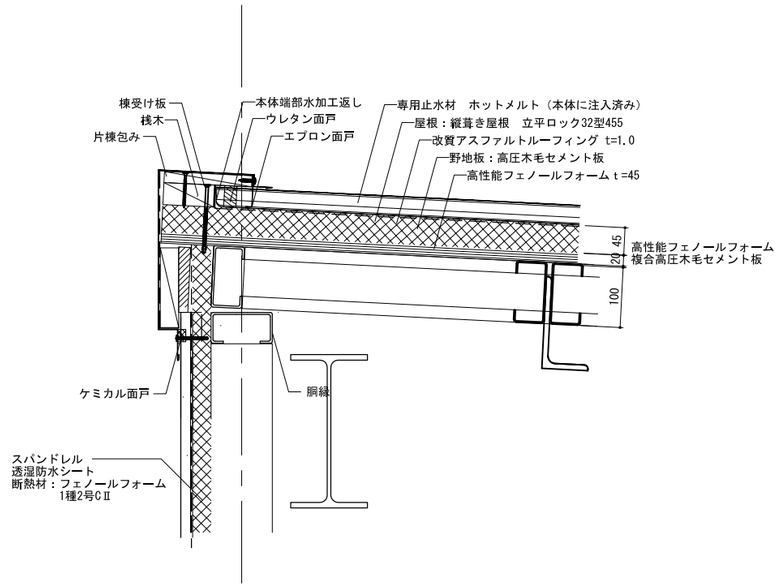


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 部分詳細図（2）	縮尺 A1 1/10・1/5 A3 1/10・1/20	図面番号 A－41
		特記事項	特記事項	特記事項			

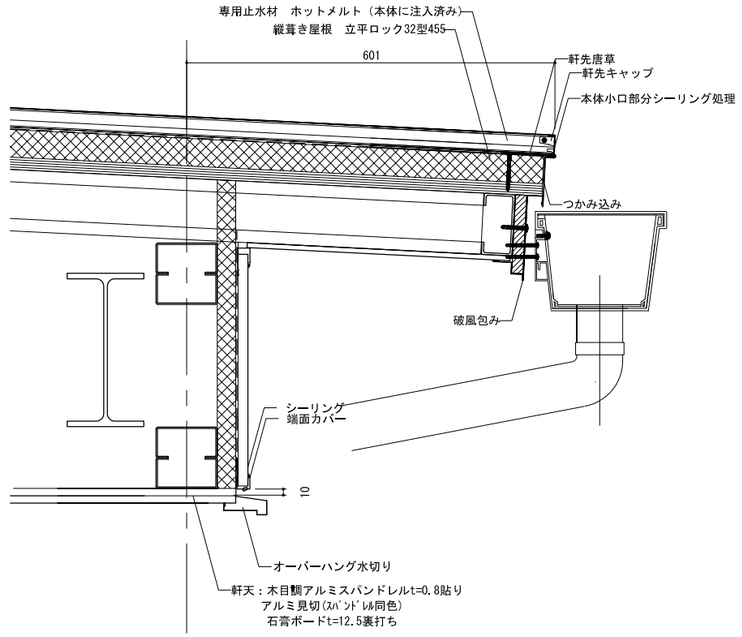
ケラバ詳細図　S：1/5



棟詳細図　S：1/5

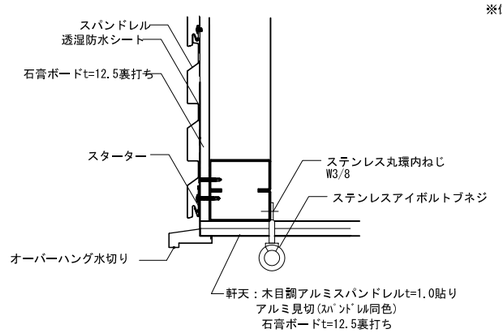


軒先詳細図　S：1/5

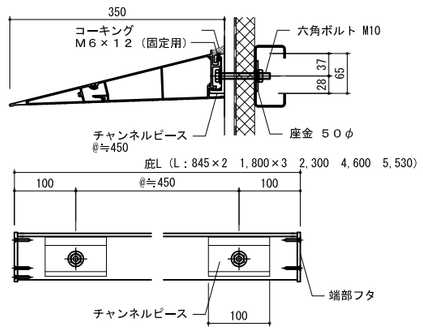


丸環（軒天）17箇所　S：1/5

※位置については天井伏図参照



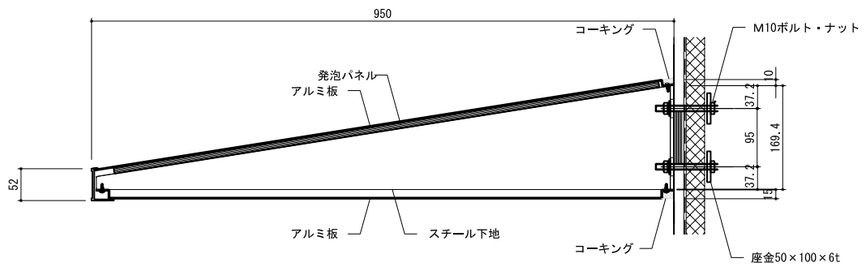
庇　D350（参考AF73）　S：1/5

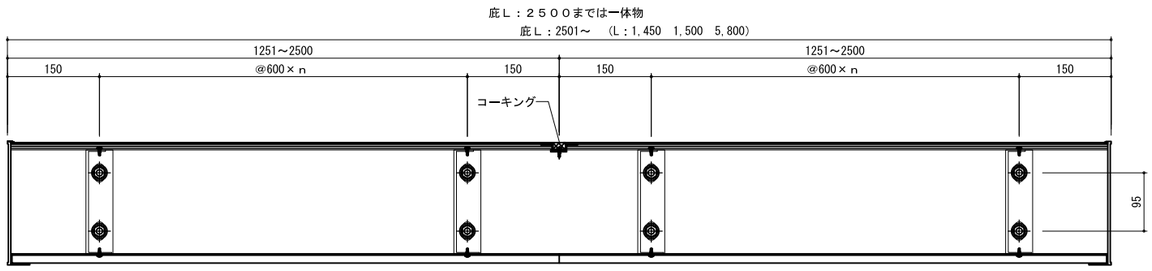


【仕様】
材質：アルミ押出形材
端部樹脂成型

長さL	×	箇所数
845	×	2
1,800	×	3
2,300	×	1
4,600	×	1
5,530	×	1

庇　D980（参考AF95）　S：1/5



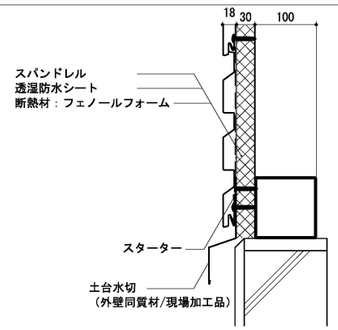


【仕様】
材質：アルミ押出形材
端部樹脂成型

長さL	×	箇所数
1,450	×	1
1,500	×	1
5,800	×	1

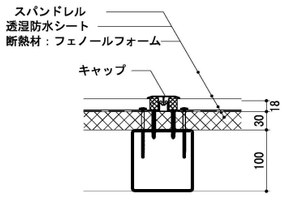
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 部分詳細図（3）	縮尺 A1 1/5 A3 1/10	図面番号 A－42
		特記事項	特記事項	特記事項			

スパンドレル（横張り）　土台部　S：1/5

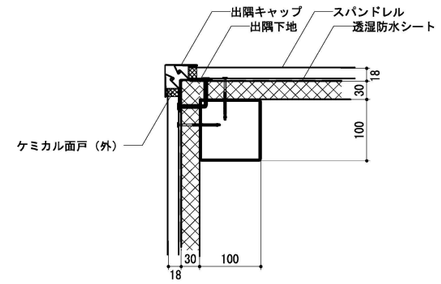


※ビス種、長さについては外壁材・断熱材施工要領による（以下共通）

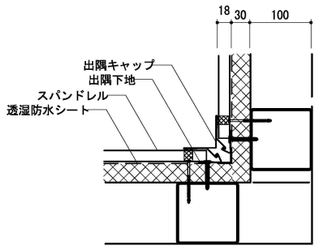
スパンドレル（横張り）　目地部　S：1/5



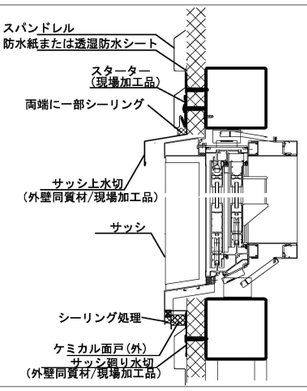
スパンドレル（横張り）　出隅部　S：1/5



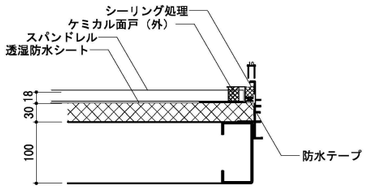
スパンドレル（横張り）　入隅部　S：1/5



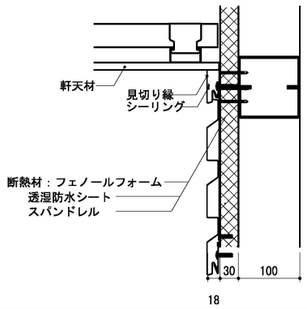
スパンドレル（横張り）　開口部（縦断面）　S：1/5



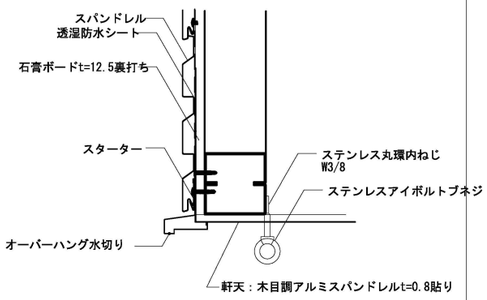
スパンドレル（横張り）　開口部（横断面）　S：1/5



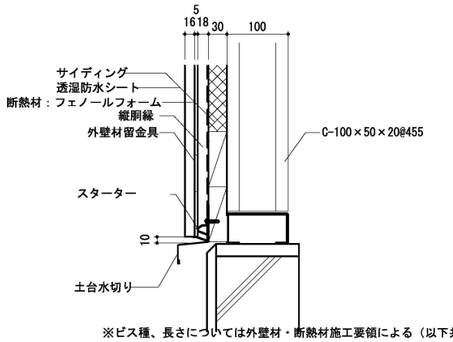
スパンドレル（横張り）　軒天部　S：1/5



スパンドレル（横張り）　オーバーハング水切り　S：1/5

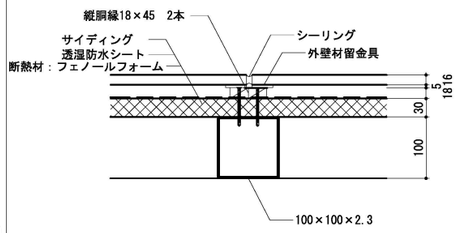


窯業系サイディング（横張り）　土台部　S：1/5

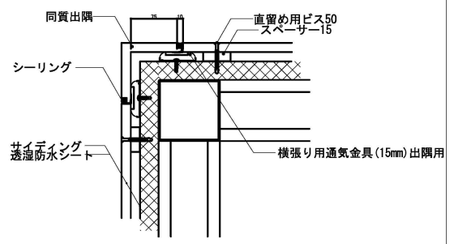


※ビス種、長さについては外壁材・断熱材施工要領による（以下共通）

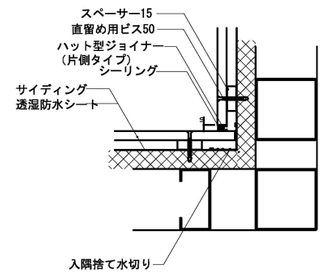
窯業系サイディング（横張り）　目地部　S：1/5



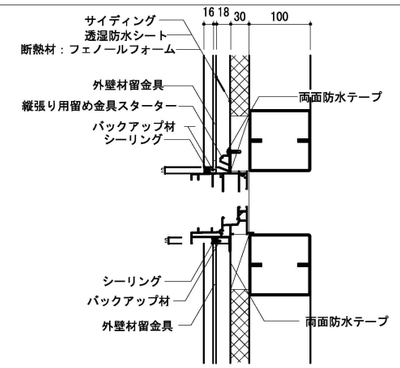
窯業系サイディング（縦張り）　出隅部　S：1/5



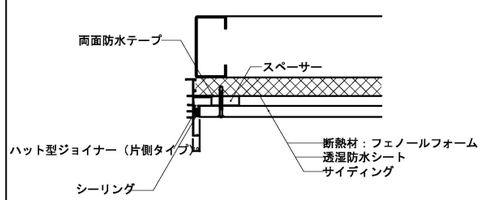
窯業系サイディング（縦張り）　入隅部　S：1/5



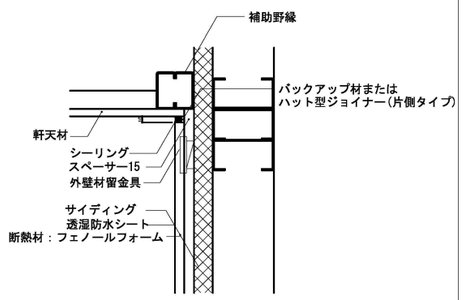
窯業系サイディング（横張り）　開口部（縦断面）　S：1/5



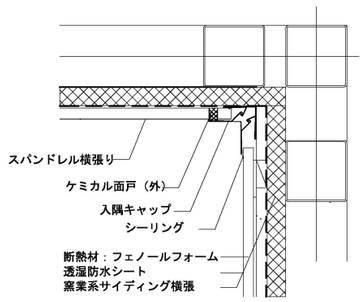
窯業系サイディング（横張り）　開口部（横断面）　S：1/5



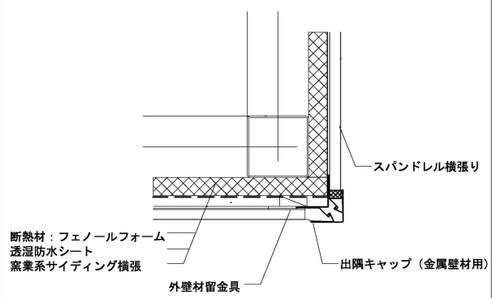
窯業系サイディング（横張り）　軒天部　S：1/5



スパンドレル-窯業系サイディング切り替え部（入隅）　S：1/5

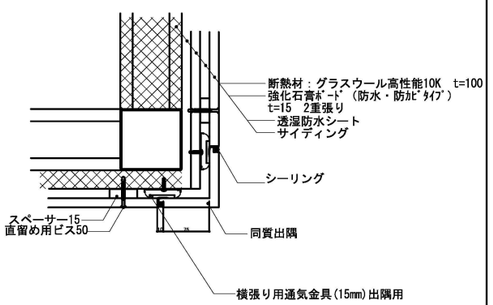


スパンドレル-窯業系サイディング切り替え部（出隅）　S：1/5



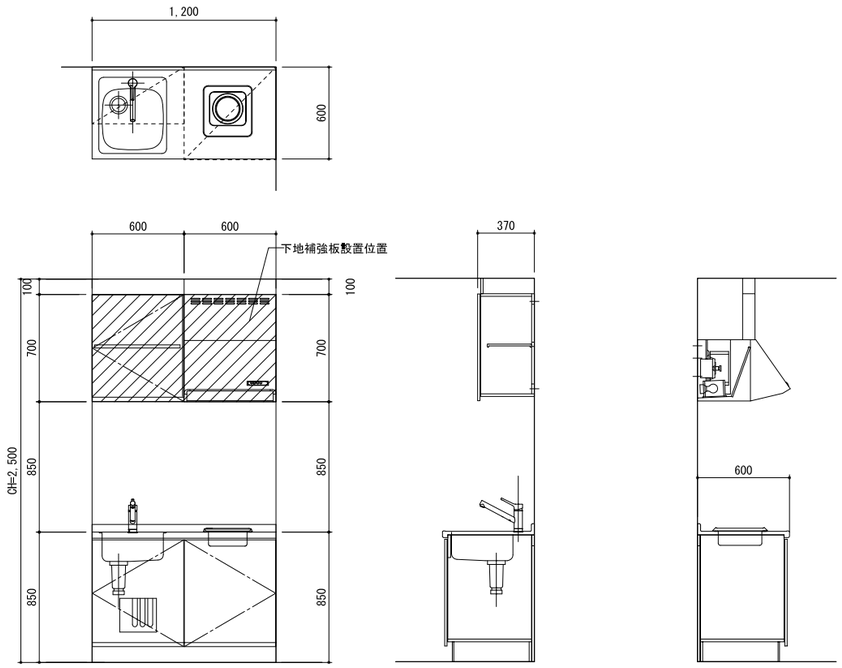
窯業系サイディング（横張り）【耐火壁】　S：1/5

FP060NE-0251-1 (3)



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	部分詳細図（4）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1　1/5 A3　1/10
								図面番号	A－43

ミニキッチン（参考：ｔｉｏ　W1200）給湯室・調乳室　　給湯室・調乳室　計　2ヶ所　S：1/20

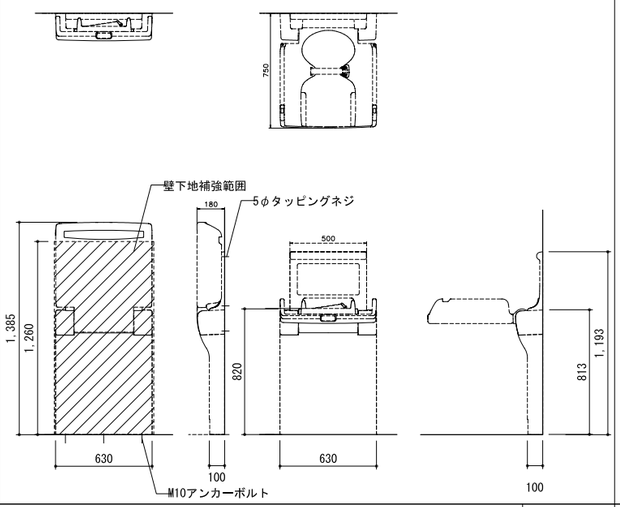


【仕様】
ワークトップ：ステンレス
水栓：シングルレバー混合水栓
加熱機器：ＩＨ1口コンロ
レンジフード：シロッコファンタイプ
吊り戸：Ｈ700不燃仕様（耐震ラッチ）
手元灯
天井フィラー・エンドパネル

おむつ交換台（参考：OK-F11CW）　沐浴室・未満児トイレ　計　3ヶ所　S：1/20

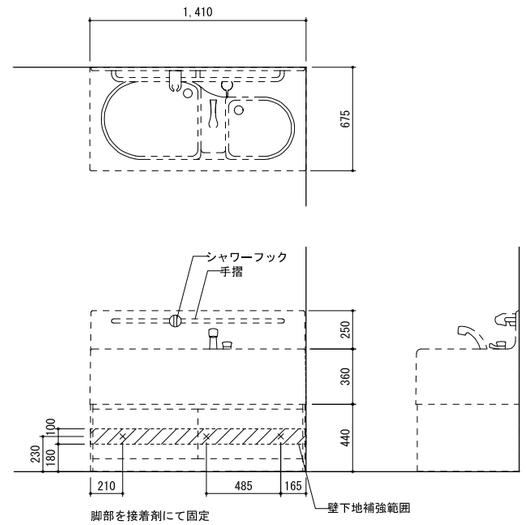
※下地のみ建築工事

【仕様】
フレーム：鋼（防錆処理）
樹脂：ABS/POM
シートクッション：張り材　PVC
下部収納



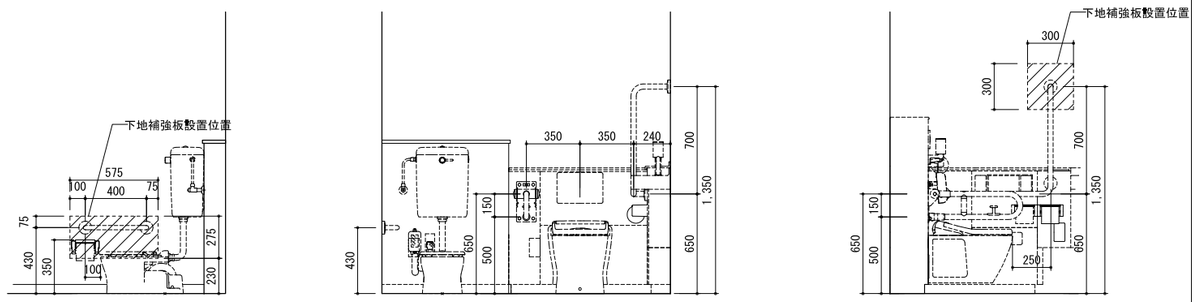
幼児用バス（参考：PFS1400CBN）　沐浴室　計　1ヶ所　S：1/20

【仕様】
FRP2層浴槽
シャワー混合水栓
シャワーフック・手摺
下部収納



多機能トイレ　手摺　　多機能トイレ　計　1ヶ所　S：1/20

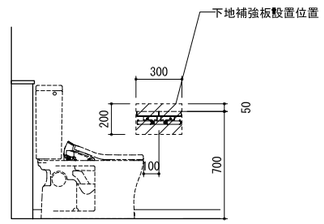
※下地のみ建築工事



※以上児トイレ手摺も同じ

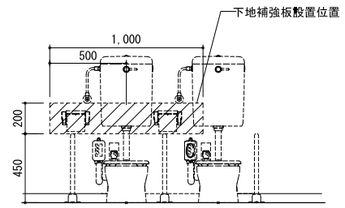
紙巻き器　S：1/20

※下地のみ建築工事

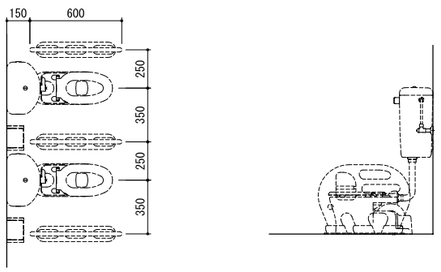


紙巻き器　S：1/20

※下地のみ建築工事

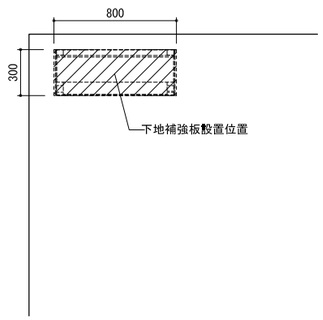


未満児用トイレ　手摺　　未満児トイレ　計　3ヶ所　S：1/20

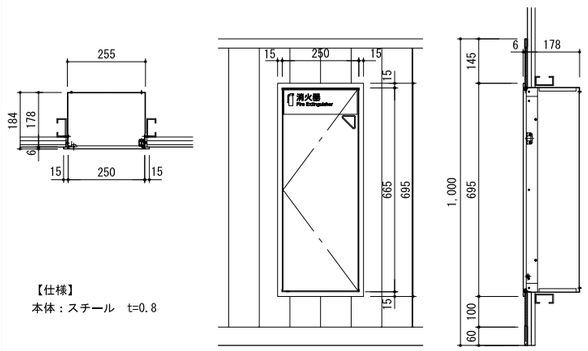


壁掛けｴｱｺﾝ　計　4ヶ所　S：1/20

※下地のみ建築工事



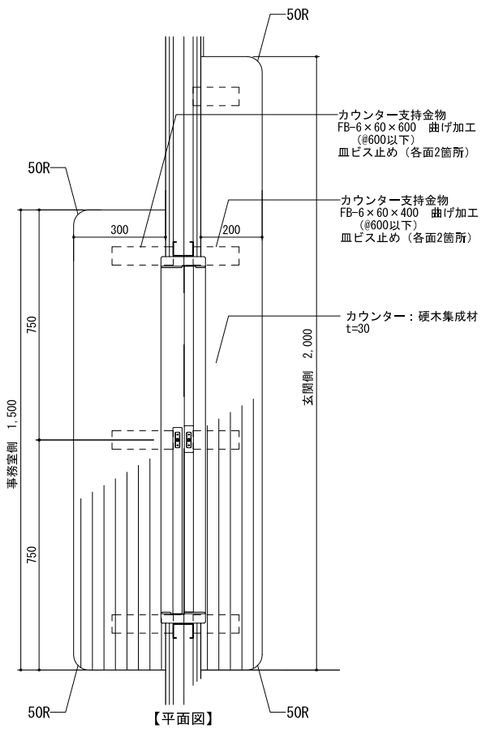
消火器BOX（参考：UFB-1F-2740N-PWH）　S：1/10



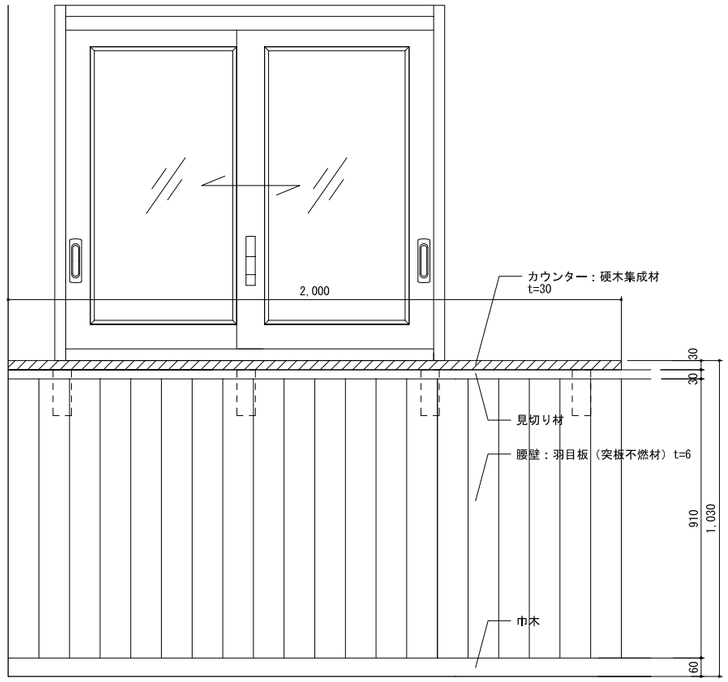
【仕様】
本体：スチール　t=0.8

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	部分詳細図（5）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1 1/10　A3 1/20
								図面番号	A－44

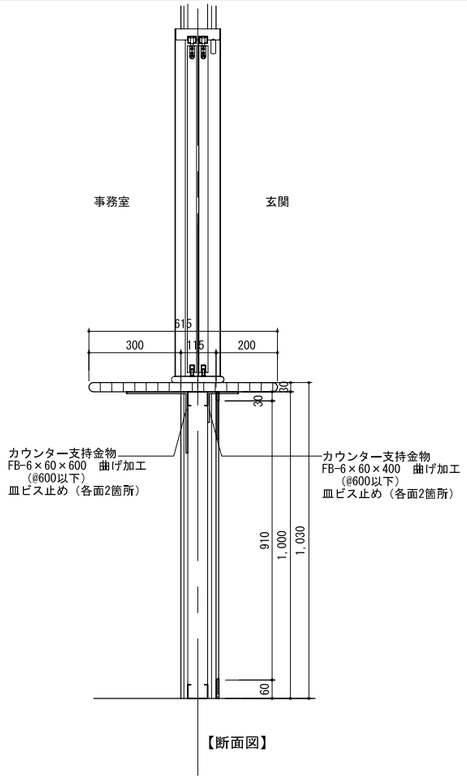
受付カウンター



【平面図】

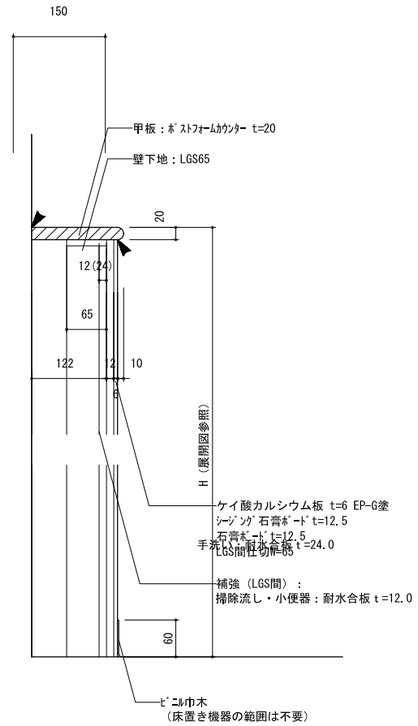


【玄関側矢視図】

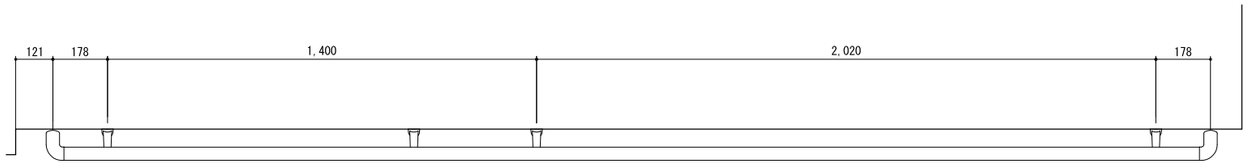


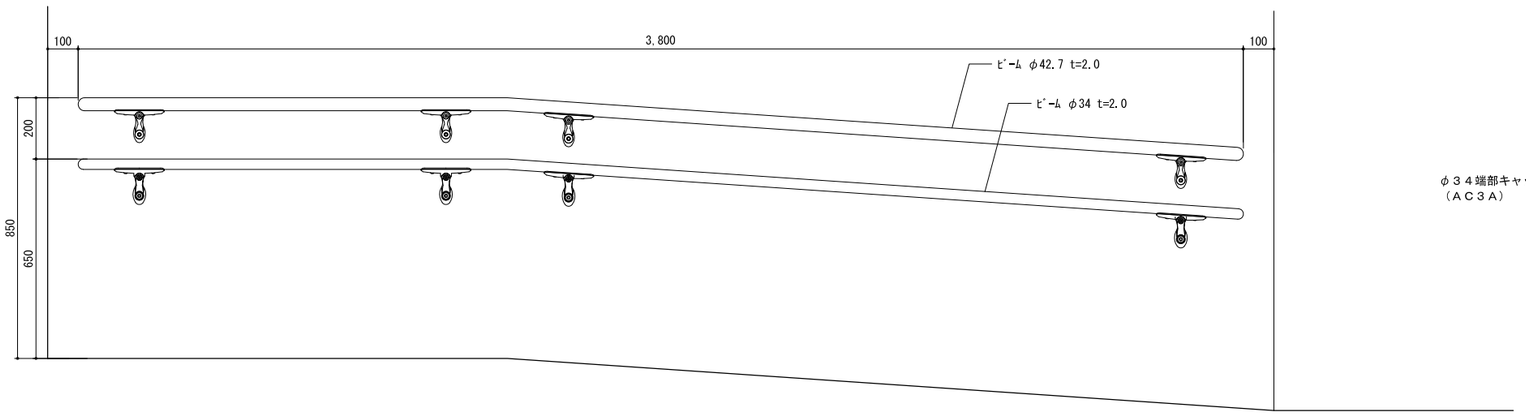
【断面図】

ライニング詳細図　S：1/5

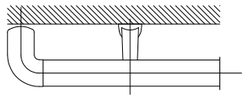


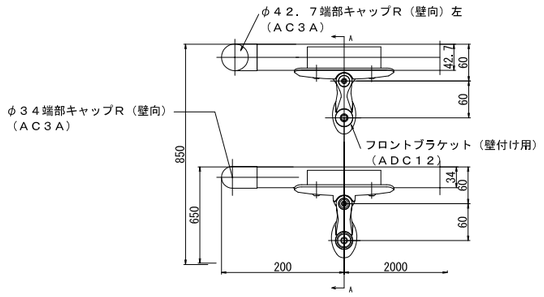
エントランス手摺　S：1/10

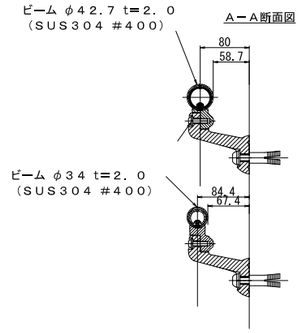




端部ビーム（壁向）組付詳細図

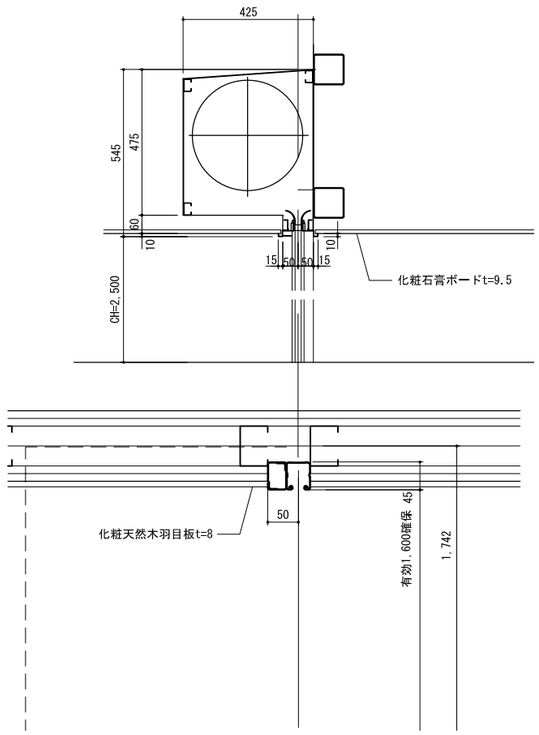




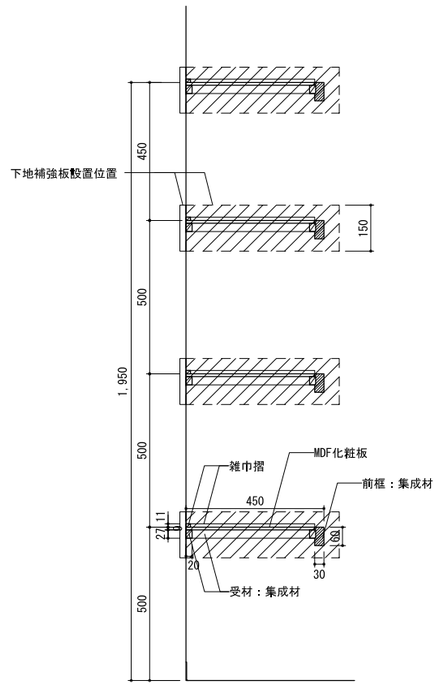


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	部分詳細図（6）	縮尺	A1 1/10 A3 1/20	図面番号 A－45
		特記事項	特記事項	特記事項					

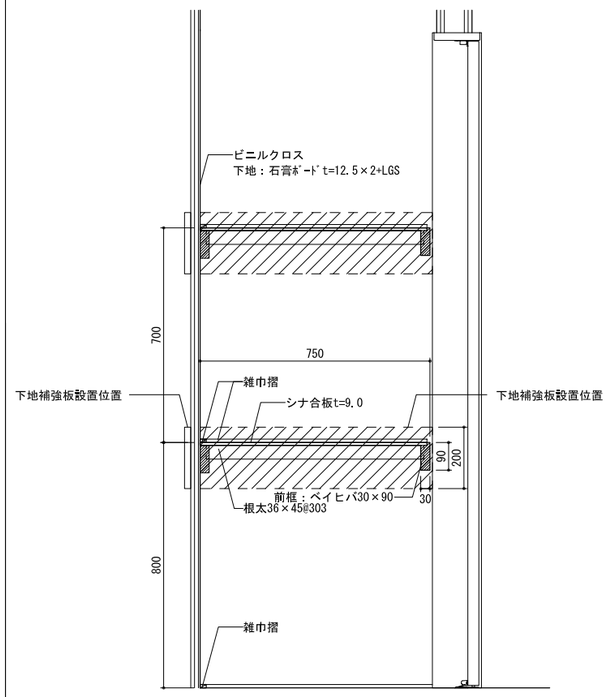
管理用シャッター　S：1/10・1/20



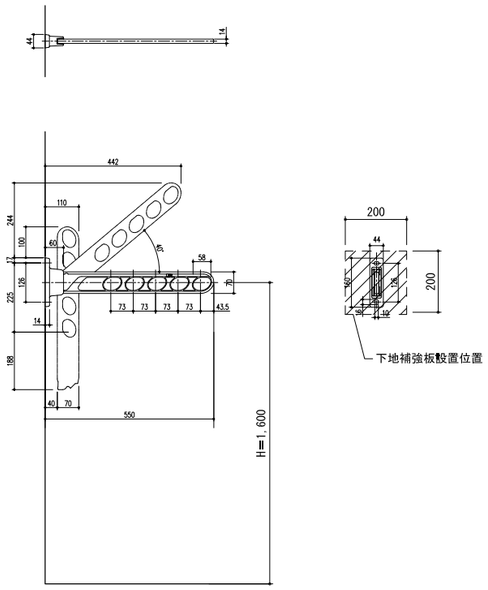
固定棚　倉庫・教材庫（1）・（2）　計 3ヶ所　S：1/10



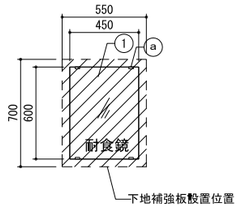
中棚（布団入）　S：1/10



物干し金物　計 3本　S：1/10



鏡　S：1/20



※取付高さは展開図参照

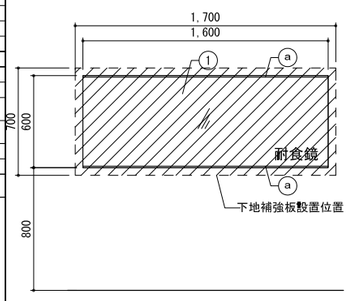
寸法			
W 450	×	t 5	× H 600

使用箇所
事務室
未満児トイレ
以上児トイレ
前室（2）
一時預かり室

仕様		
番号	名称	材質
①	本体	耐食鏡

金物・付属品		
番号	名称	材質
ⓐ	取付金具	

鏡　S：1/20



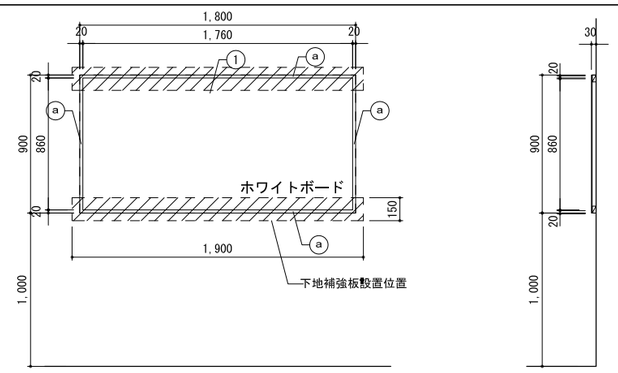
寸法			
W 1,600	×	t 5	× H 600

使用箇所
0,1歳児保育室
1,2歳児保育室
3歳児以上保育室（1）
3歳児以上保育室（2）

仕様		
番号	名称	材質
①	本体	耐食鏡

金物・付属品		
番号	名称	材質
ⓐ	取付金具	上下フレーム

ホワイトボード　S：1/20



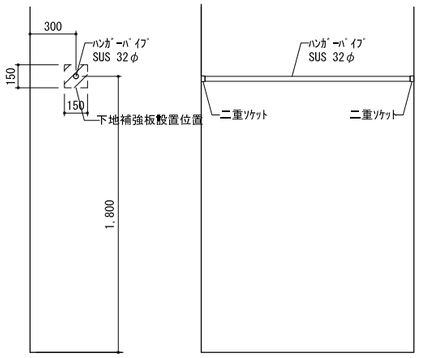
寸法			
A	W 1,800 ×	t 30 ×	H 800 ×2
B	W 1,800 ×	t 30 ×	H 800

使用箇所	
A	0,1歳児保育室
	1,2歳児保育室
	3歳児以上保育室（1）
	3歳児以上保育室（2）
	一時預かり室
B	廊下

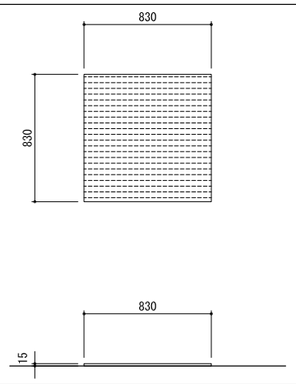
仕様		
番号	名称	材質
①	本体	スチールホーロー

金物・付属品		
番号	名称	材質
ⓐ	枠	アルミ製

ハンガーパイプ（前室1）　S：1/20



置き畳（床暖房対応）　S：1/20



寸法			
W 830	×	t 15	× H 830

使用箇所	
0,1歳児保育室	12枚
1,2歳児保育室	6枚
3歳児以上保育室（1）	6枚
3歳児以上保育室（2）	6枚

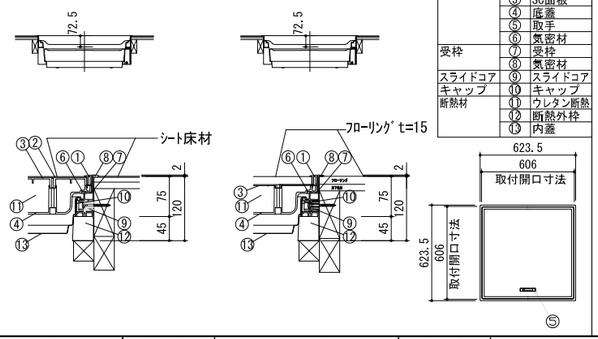
仕様		
番号	名称	材質
	畳表	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ
	芯材	中密度木質繊維圧縮版（F☆☆☆☆）
	滑り止め	ポリエチレン

金物・付属品		
番号	名称	材質

※床暖房対応

高気密型　床下点検口　計 13ヶ所　S：1/20

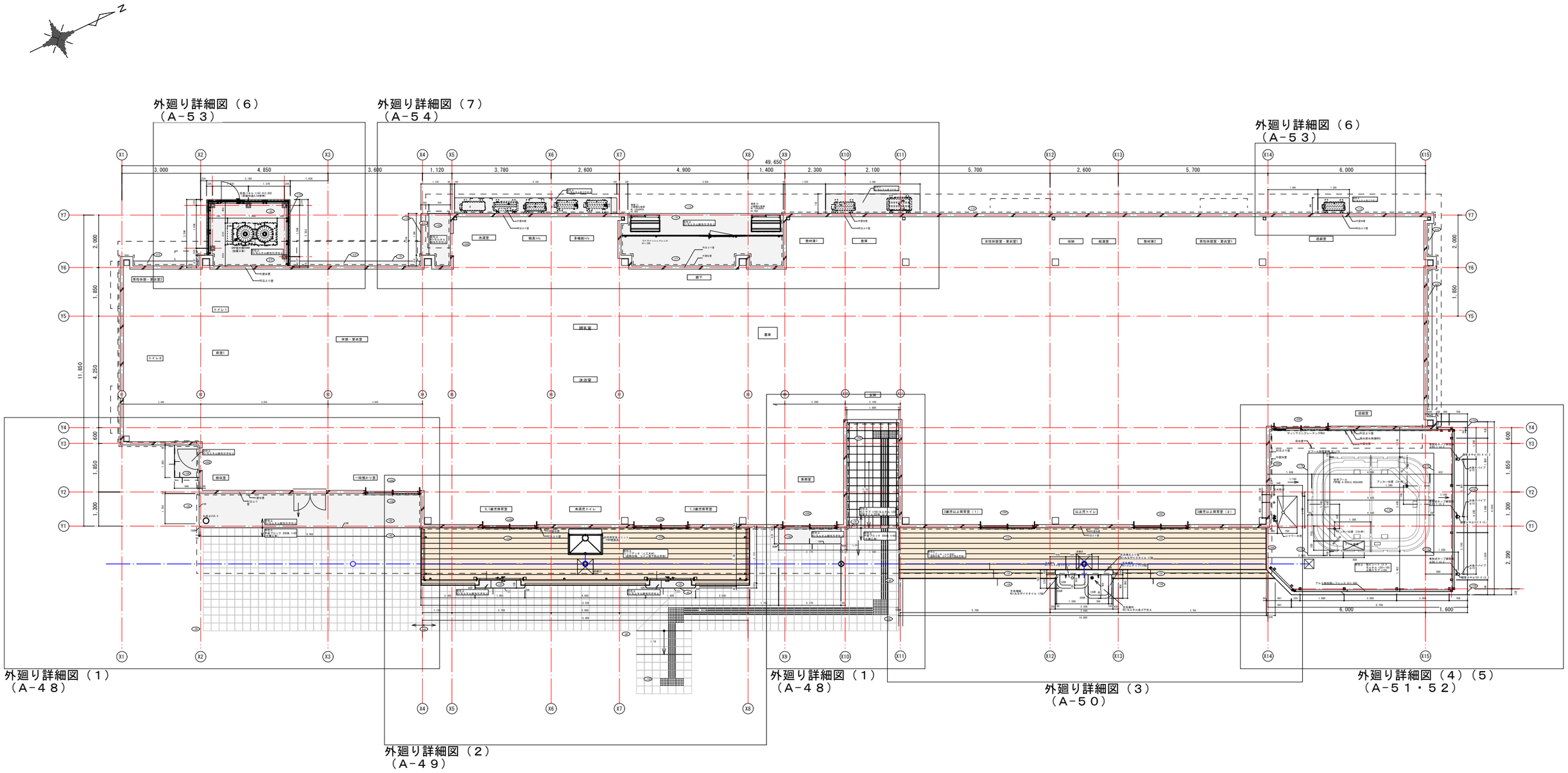
【シート床材合わせタイプ】　【ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合わせタイプ】



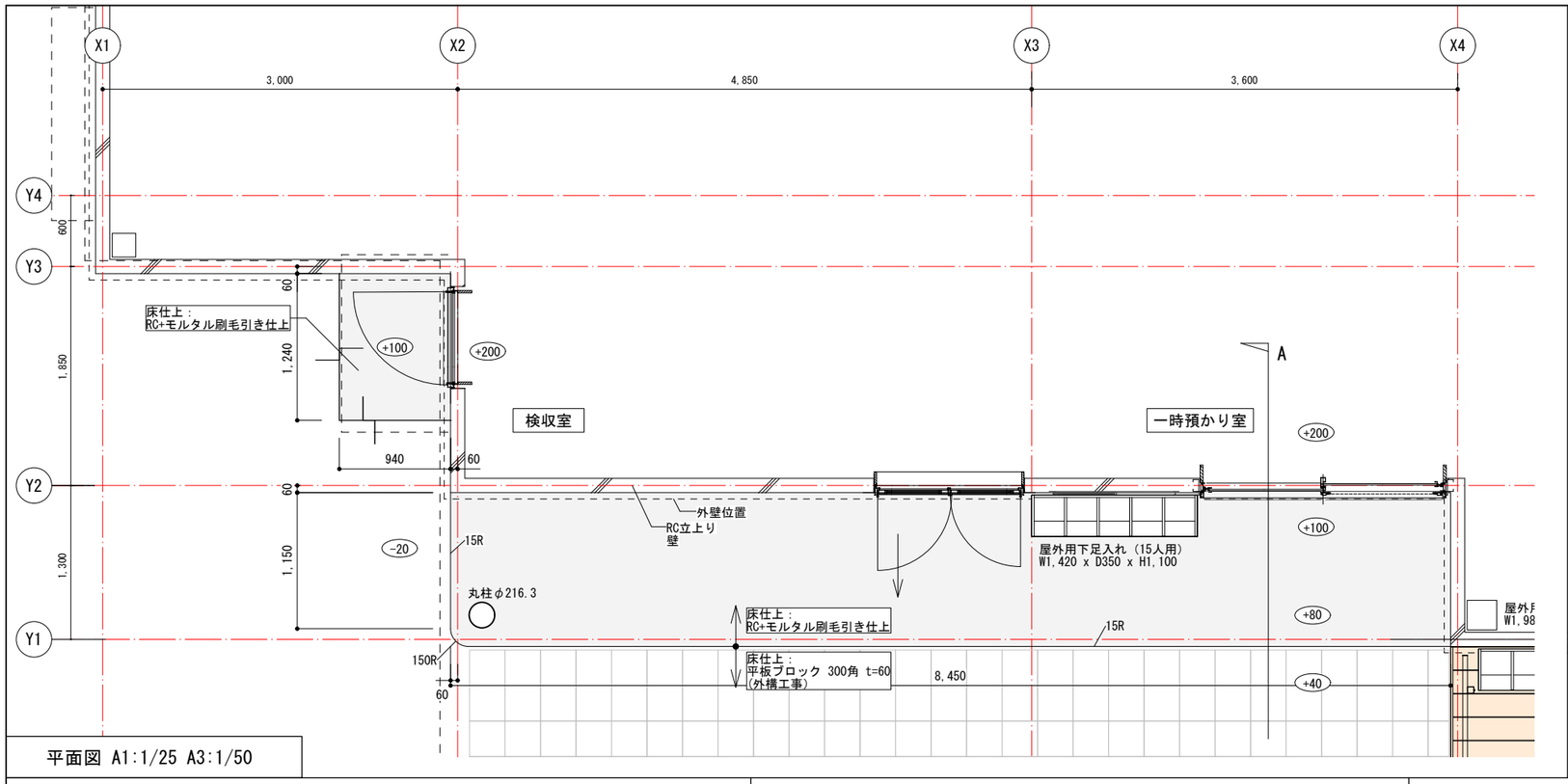
名称	番号	部品名称
蓋	①	縁材
	②	床仕上材
	③	SC面板
	④	底蓋
	⑤	取手
	⑥	気密材
受枠	⑦	受枠
	⑧	気密材
スライドコア	⑨	スライドコア
キャップ	⑩	キャップ
断熱材	⑪	ウレタン断熱
	⑫	断熱外枠
	⑬	内蓋

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名
			特記事項		特記事項		特記事項		部分詳細図（7）

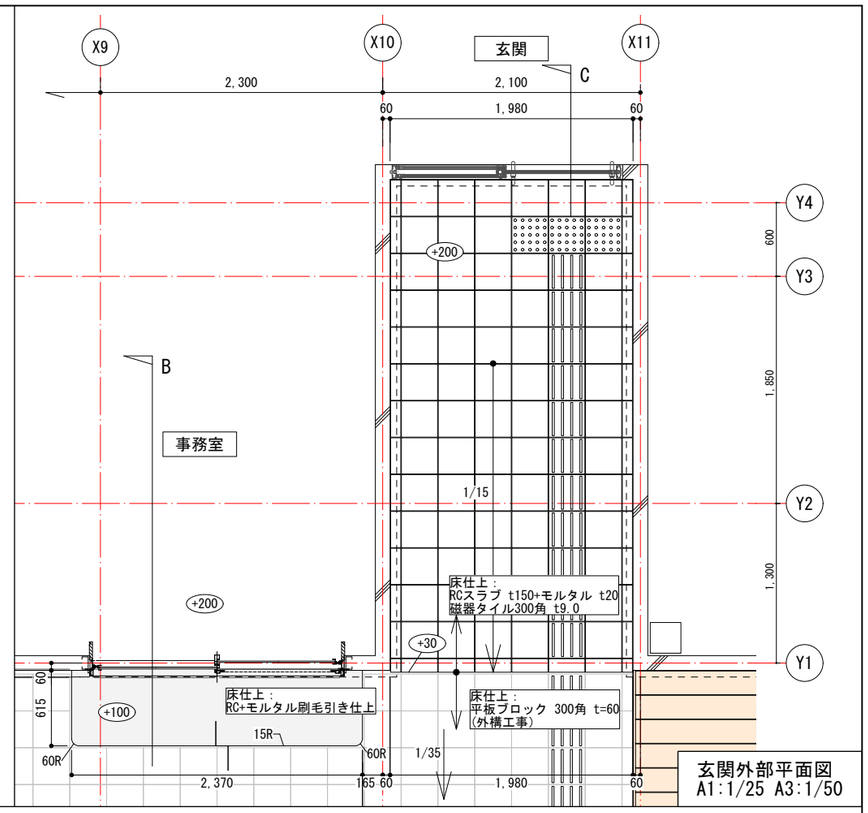
縮尺	図面番号
A1 1/10 A3 1/20	A－46



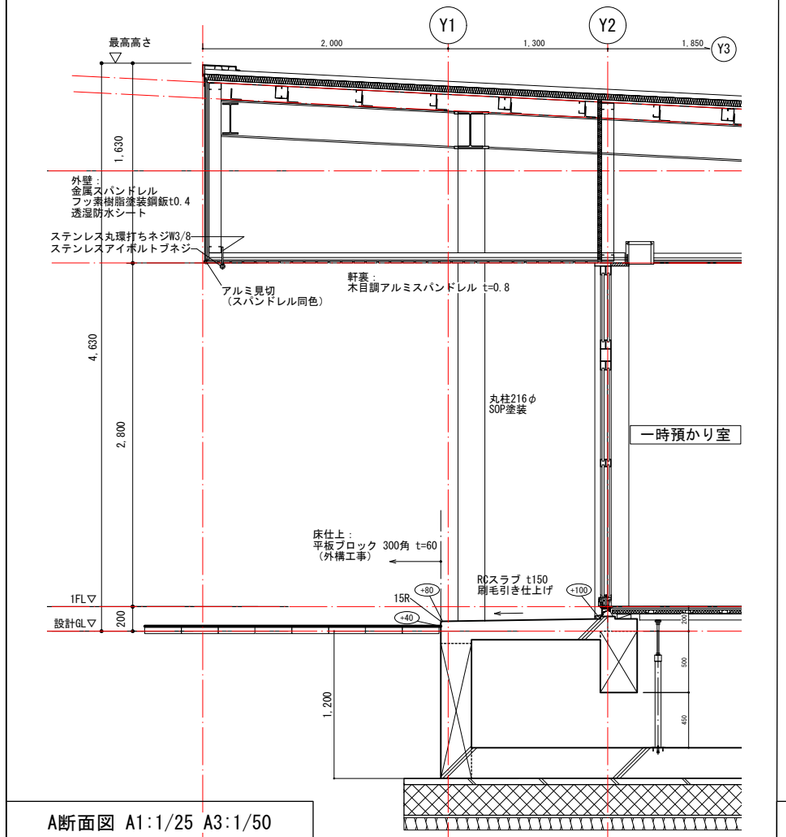
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	外廻り平面図・詳細図キープラン	縮尺	A1 1/75 A3 1/150	図面番号	Ａ－４７
		特記事項	特記事項	特記事項						



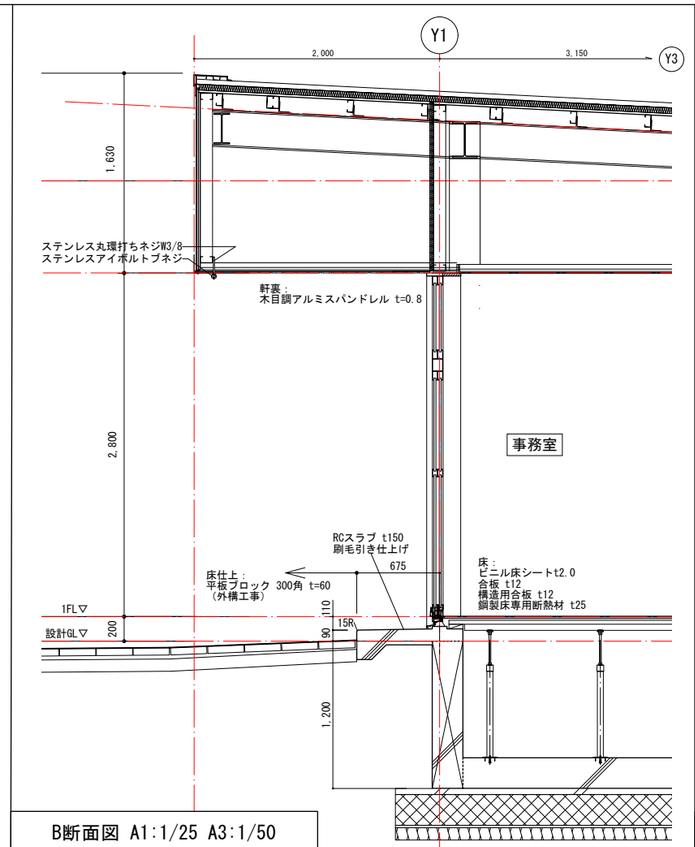
平面図 A1:1/25 A3:1/50



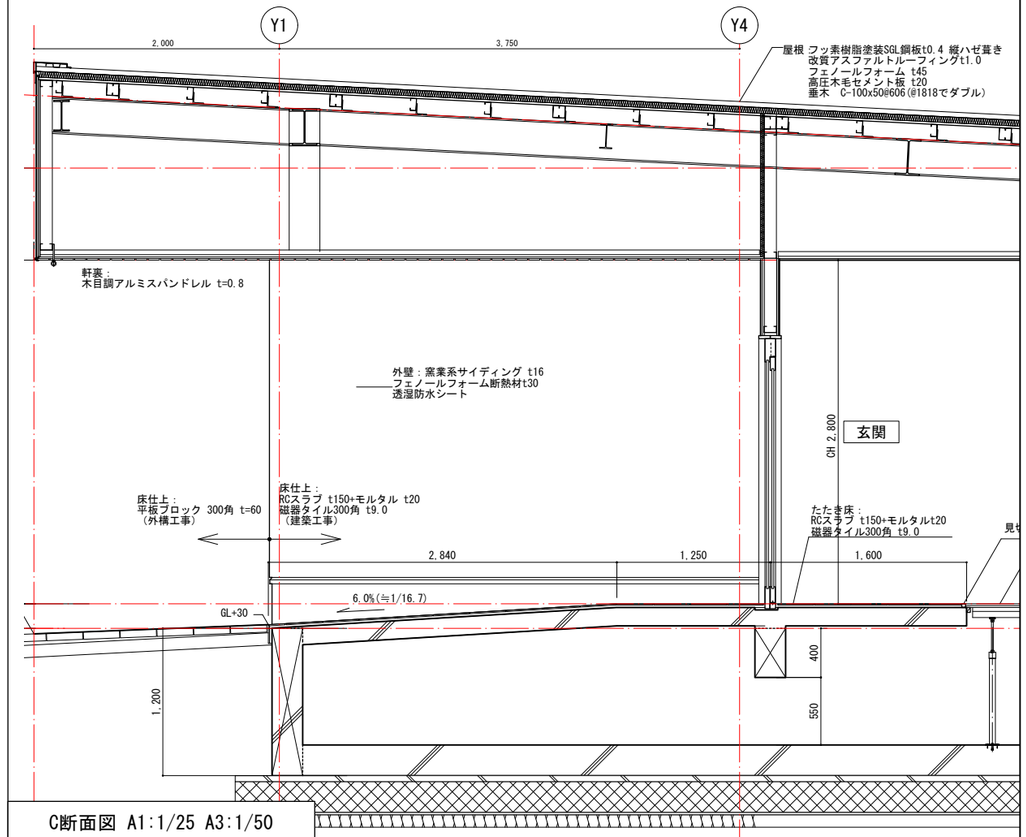
玄関外部平面図
A1:1/25 A3:1/50



A断面図 A1:1/25 A3:1/50

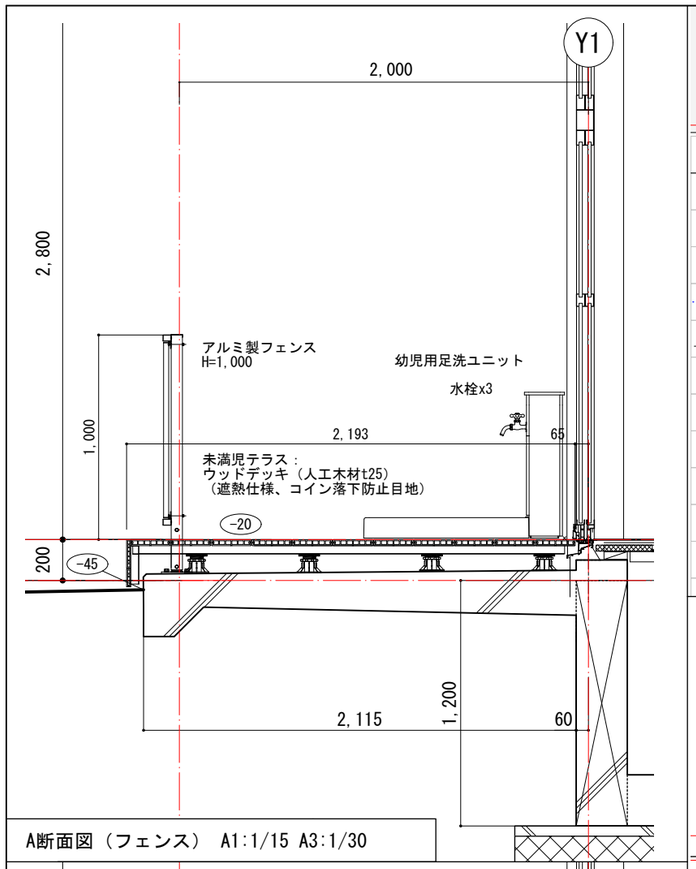


B断面図 A1:1/25 A3:1/50

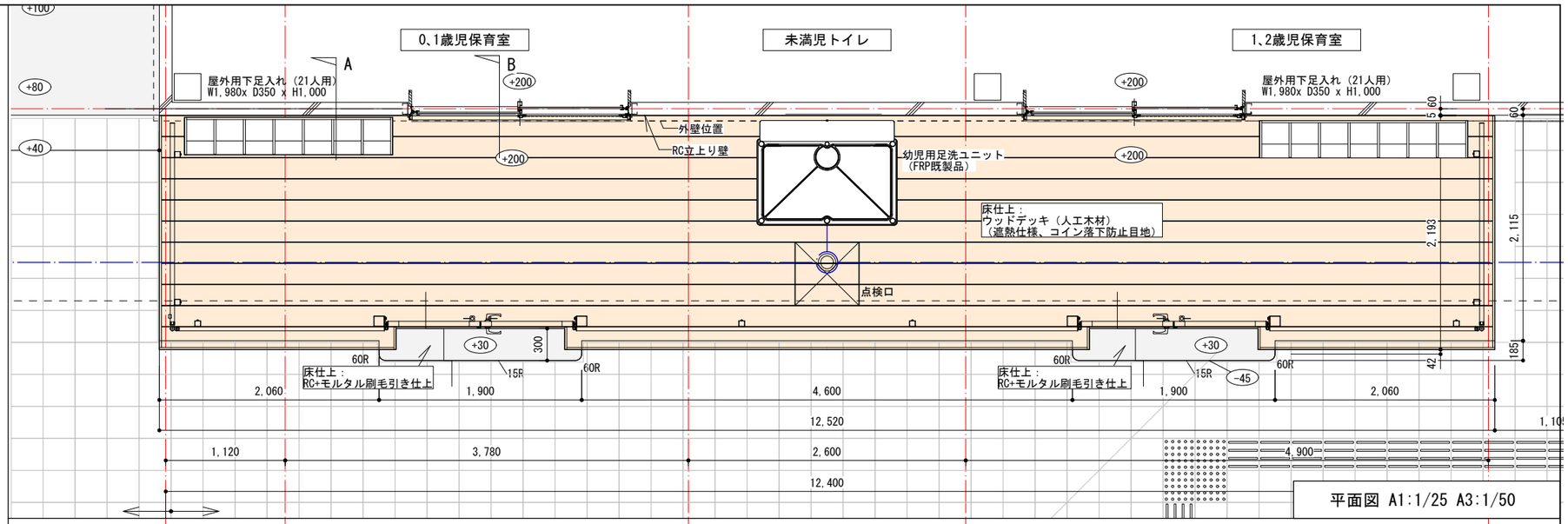


C断面図 A1:1/25 A3:1/50

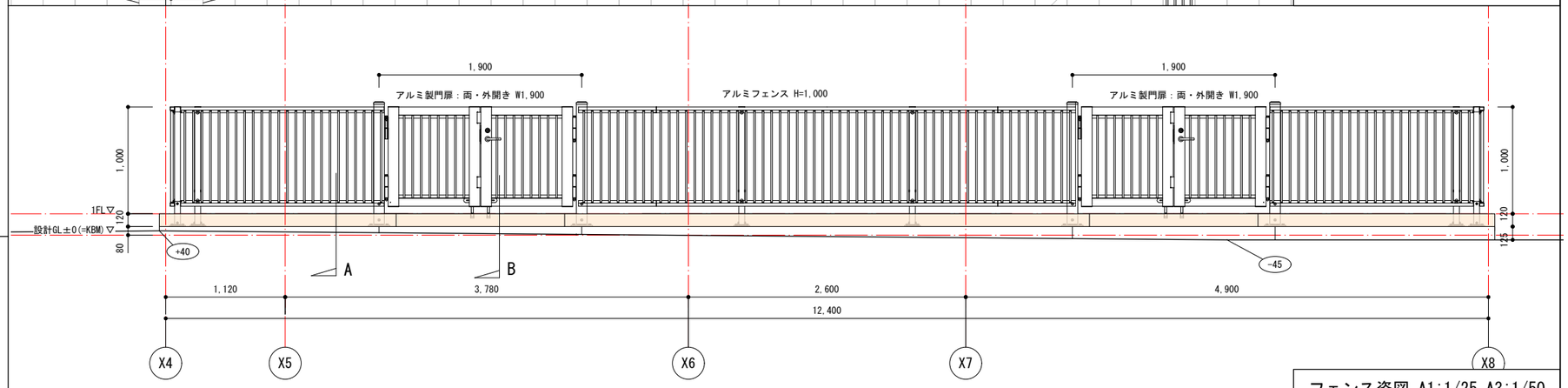
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 外廻り詳細図(1)	縮尺 A1 1/25 A3 1/50	図面番号 A－48



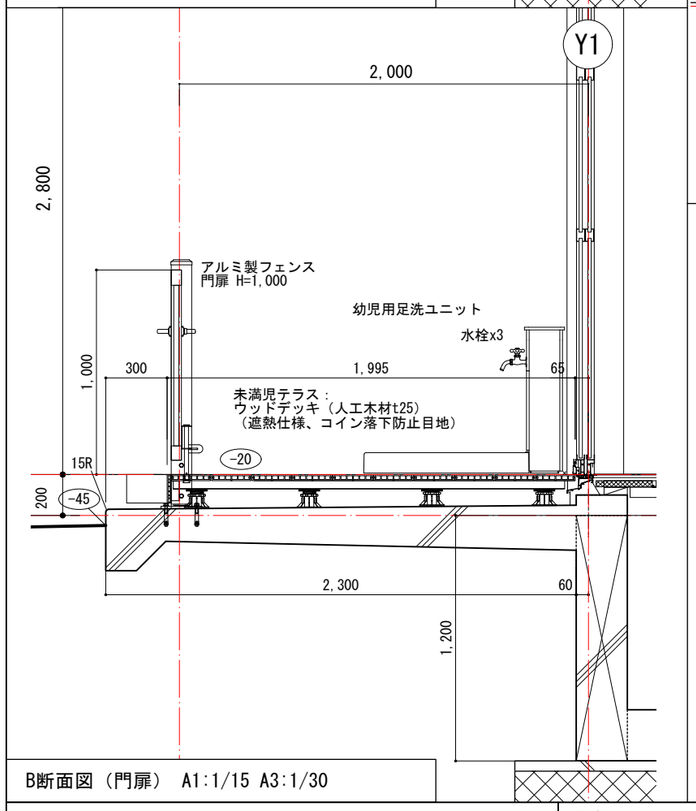
A断面図（フェンス） A1:1/15 A3:1/30



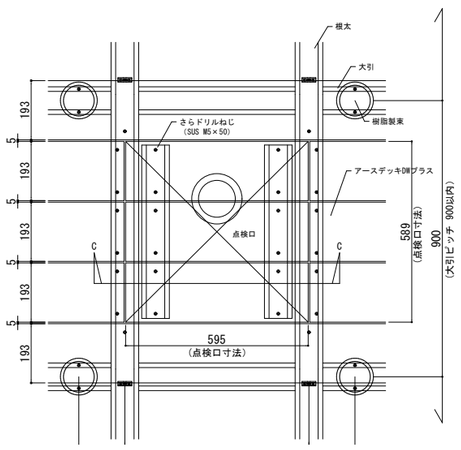
平面図 A1:1/25 A3:1/50

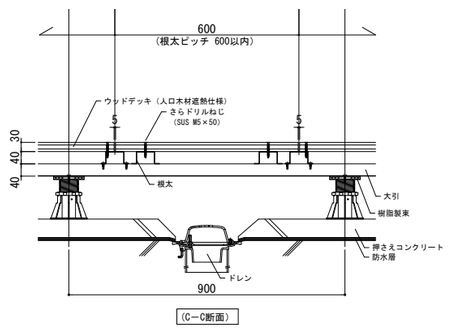


フェンス姿図 A1:1/25 A3:1/50

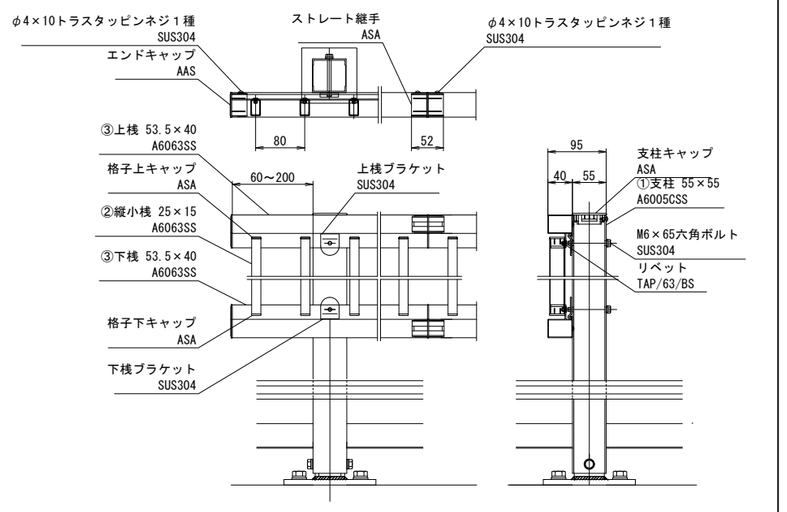


B断面図（門扉） A1:1/15 A3:1/30





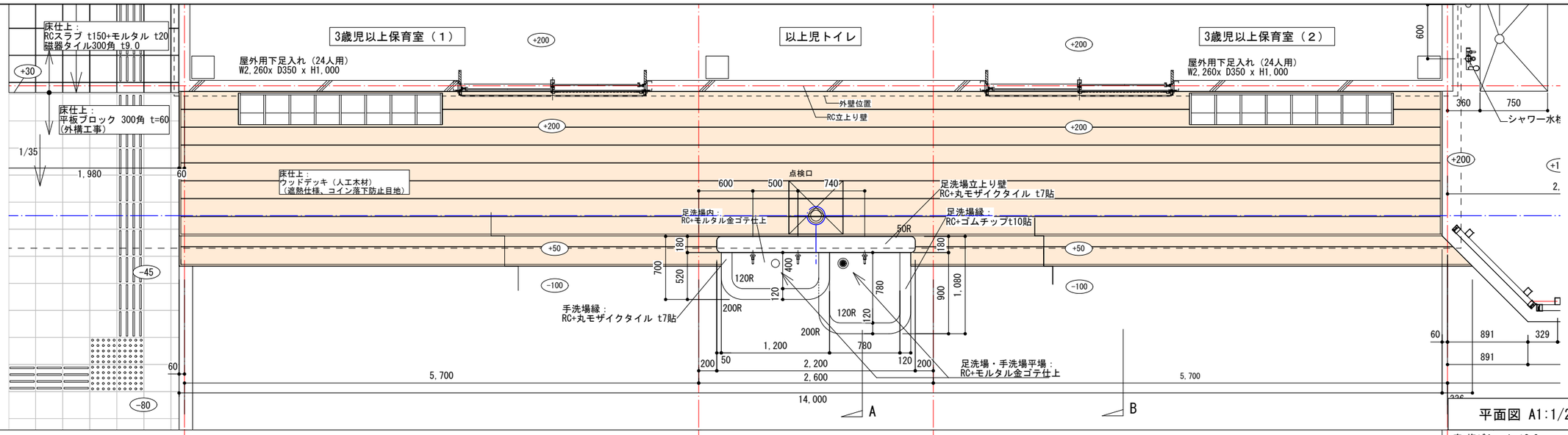
点検口詳細図【参考図】 A1:1/10 A3:1/20



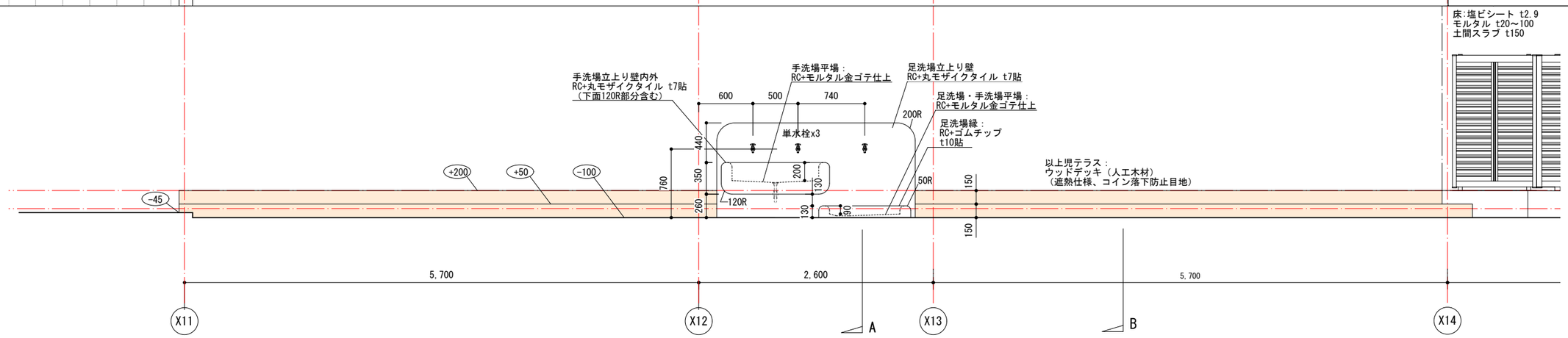
フェンス支柱詳細図【参考図】A1:1/5 A3:1/10

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名
			特記事項		特記事項		特記事項		外廻り詳細図(2)

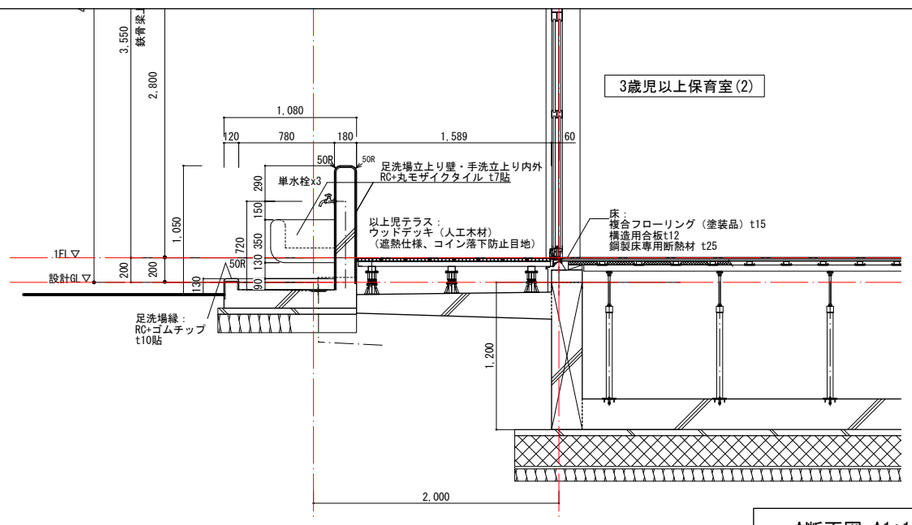
縮尺	図面番号
A1 1/25,1/15,1/10,1/5 A3 1/50,1/30,1/20,1/10	A－４９



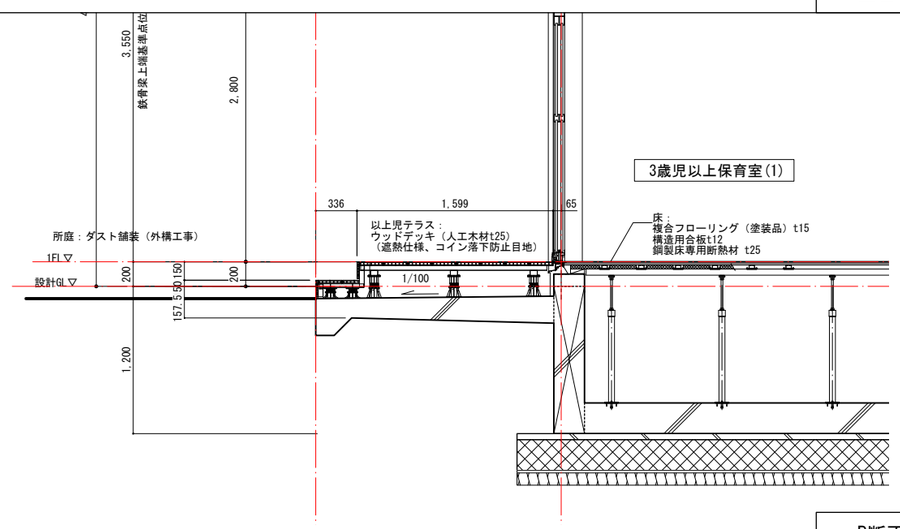
平面図 A1:1/25 A3:1/50



立面図 A1:1/25 A3:1/50

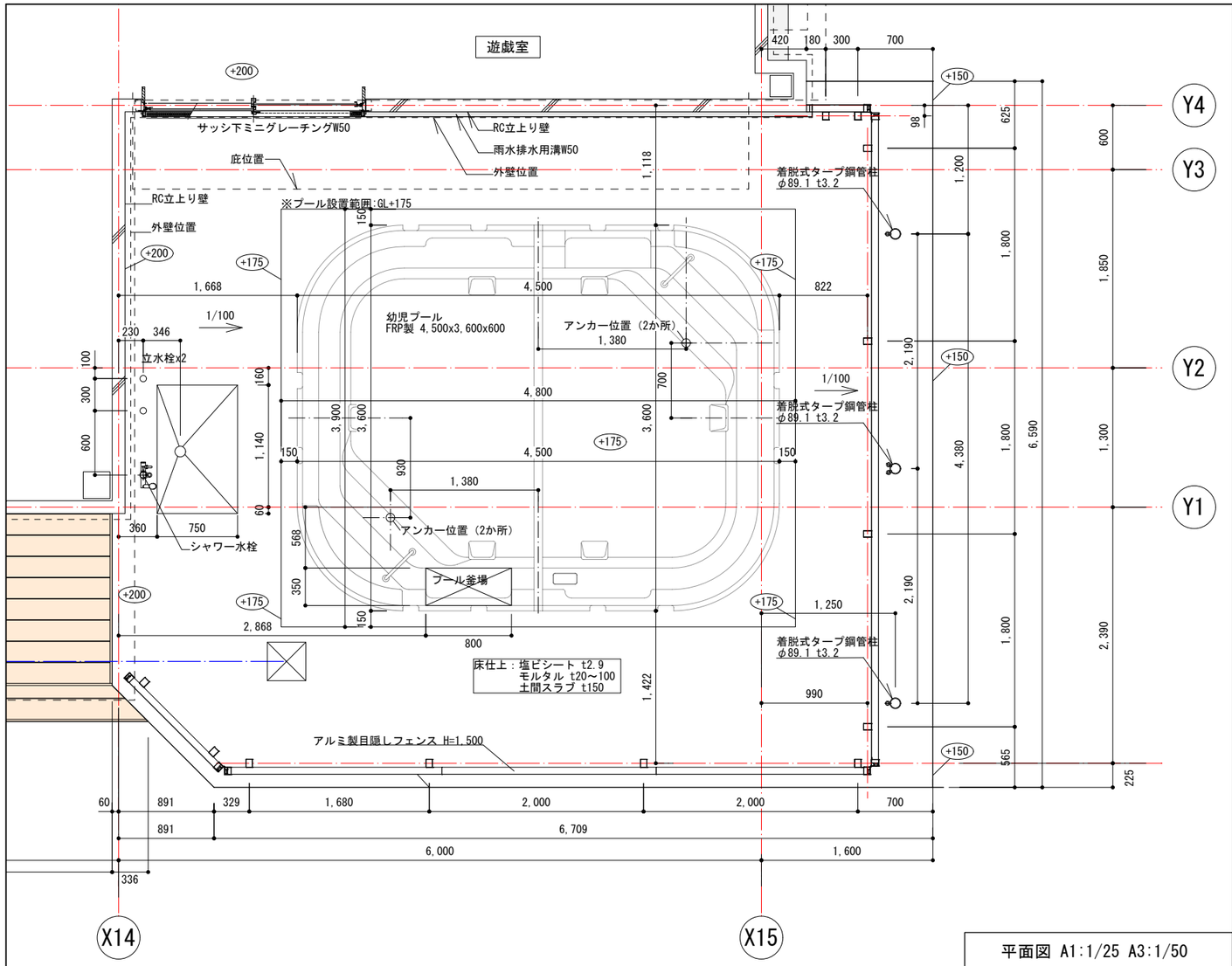


A断面図 A1:1/25 A3:1/50

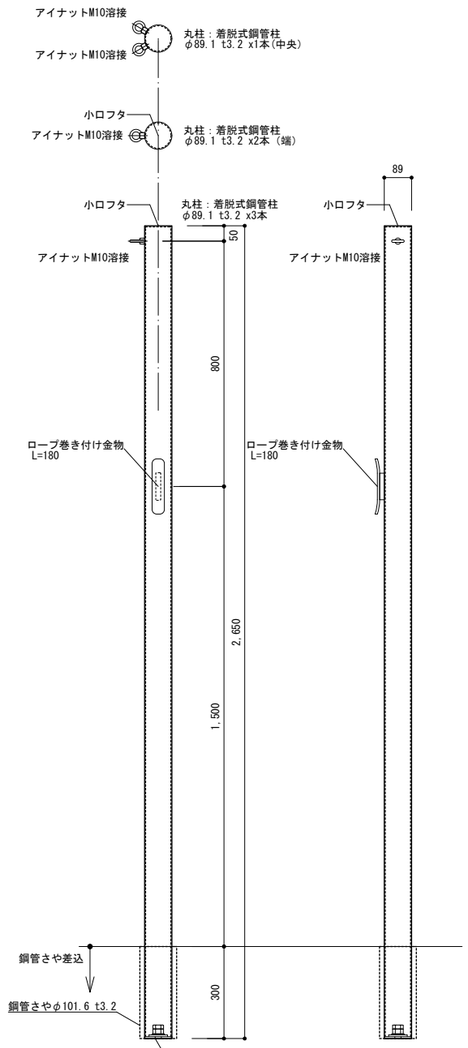


B断面図 A1:1/25 A3:1/50

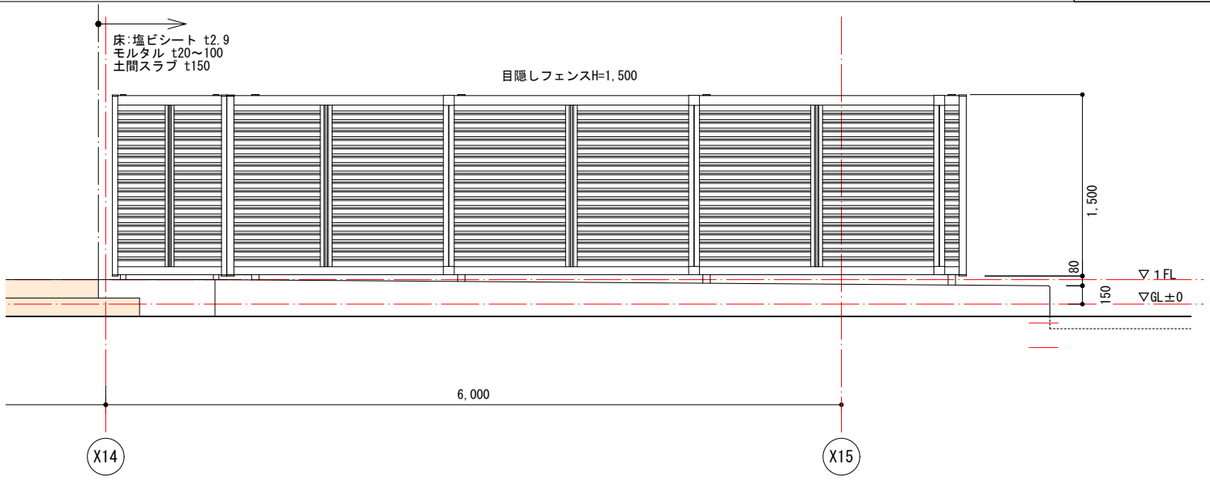
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 外廻り詳細図(3)	縮尺 A1 1/25 A3 1/50	図面番号 A－５０
		特記事項	特記事項	特記事項			



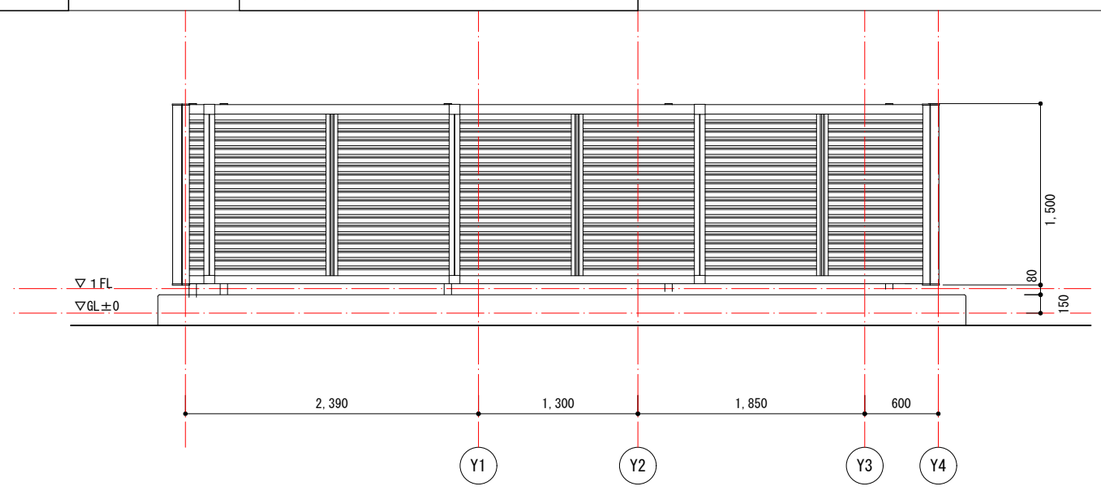
平面図 A1:1/25 A3:1/50



脱着式鋼管柱詳細 A1:1/10 A3:1/20

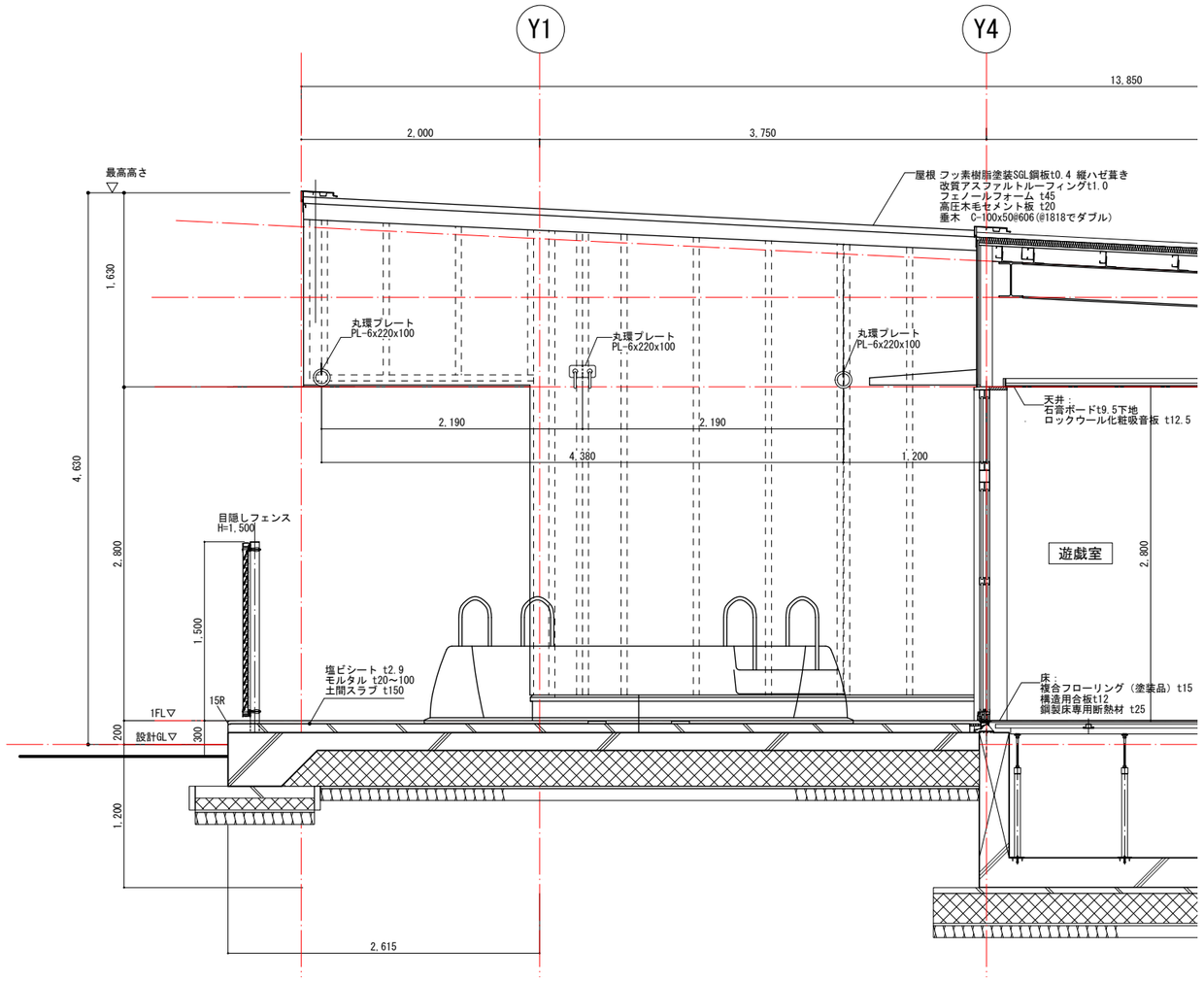


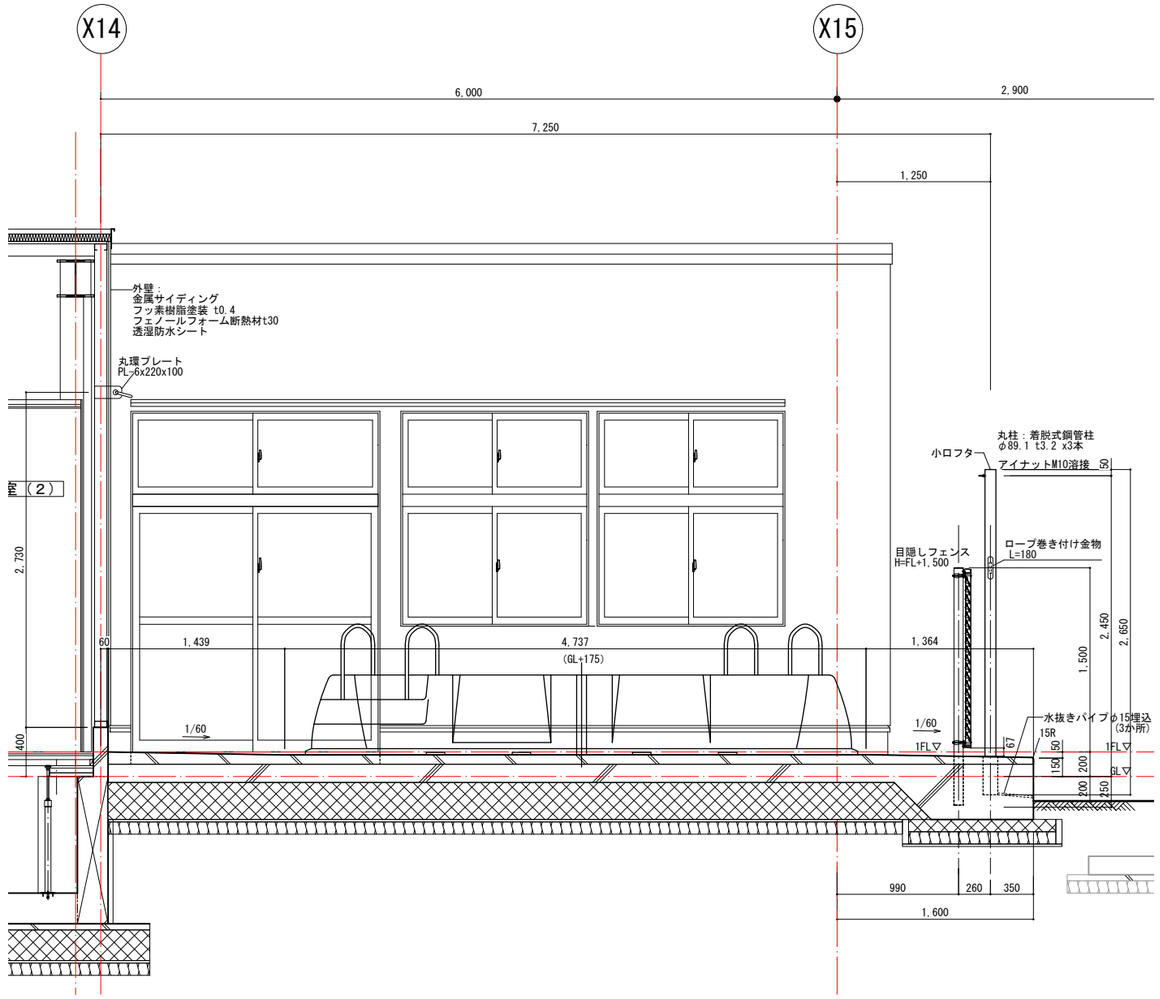
目隠しフェンス東側姿図 A1:1/25 A3:1/50

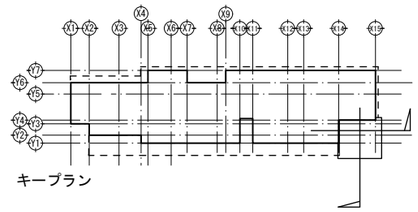


目隠しフェンス北側姿図 A1:1/25 A3:1/50

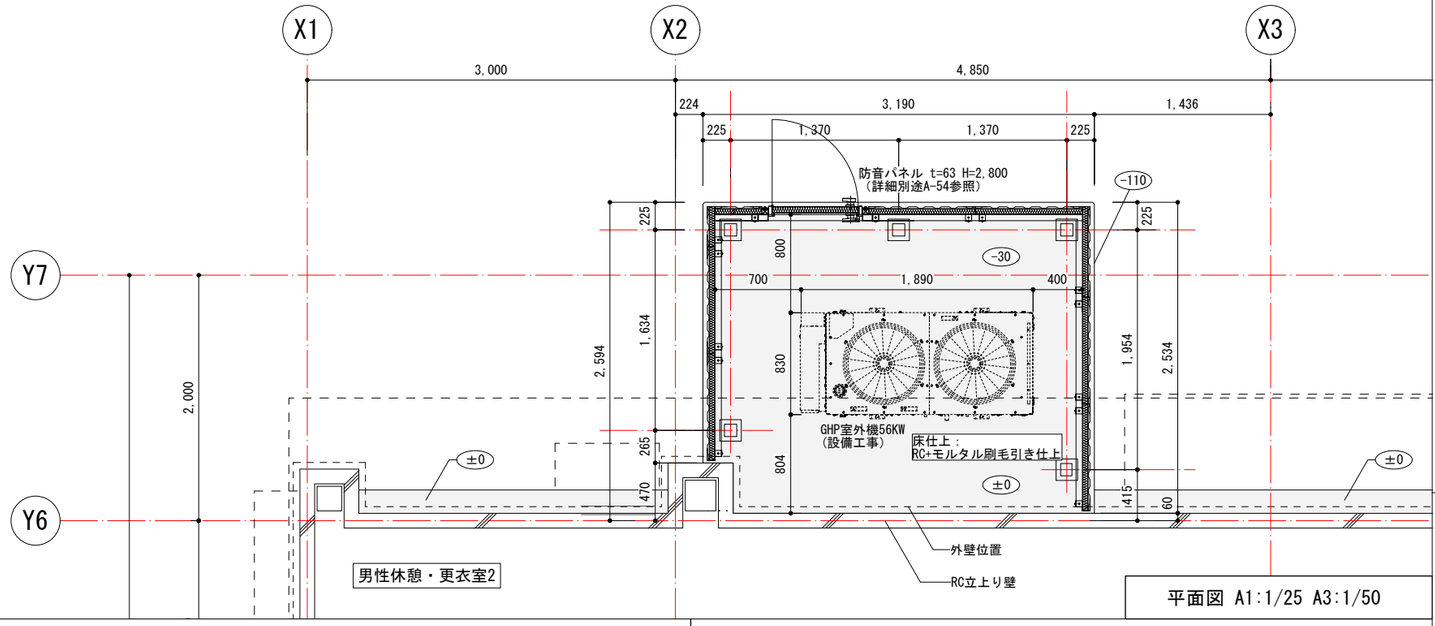
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 外廻り詳細図(4)	縮尺 A1 1/25 1/10 A3 1/50 1/20	図面番号 A－5 1
		特記事項	特記事項	特記事項			



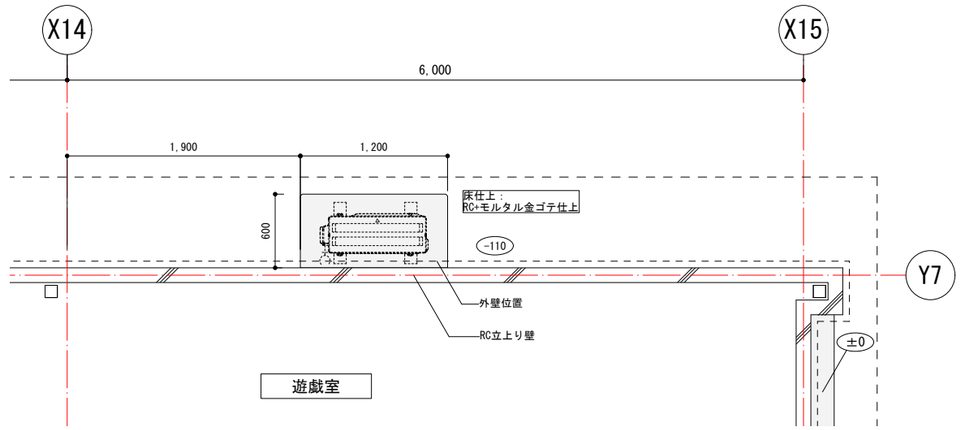




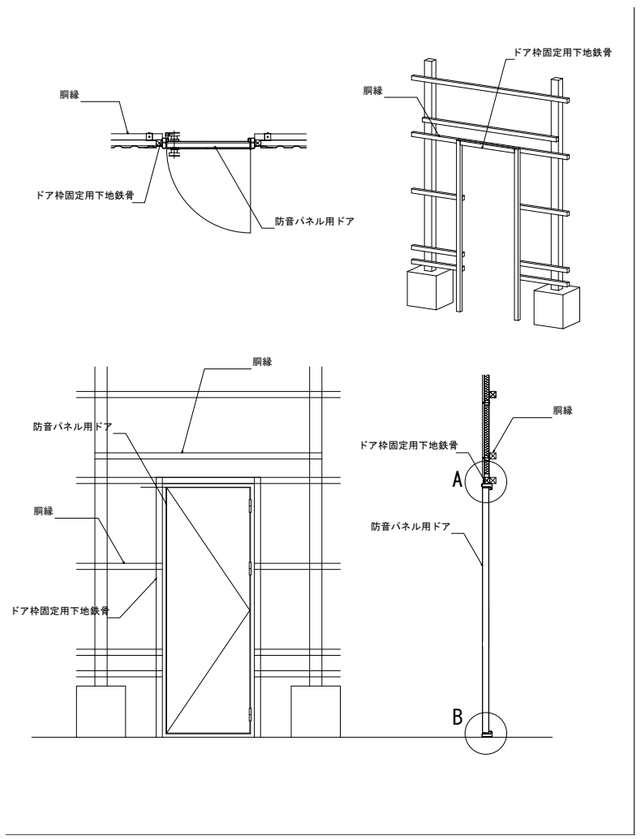
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	外廻り詳細図(5)	縮尺	A1 1/25 A3 1/50	図面番号 A－52
		特記事項	特記事項	特記事項					



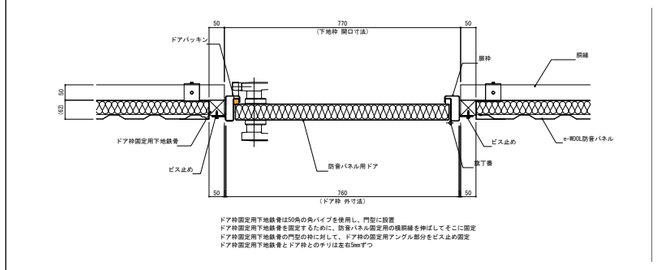
平面図 A1:1/25 A3:1/50



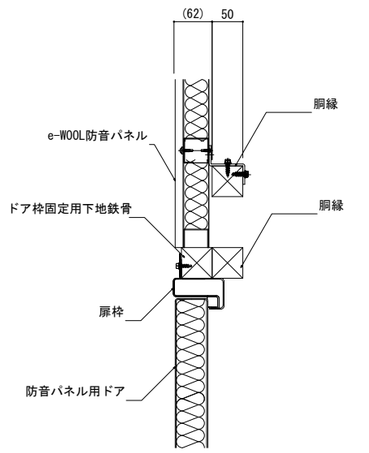
平面図 A1:1/25 A3:1/50



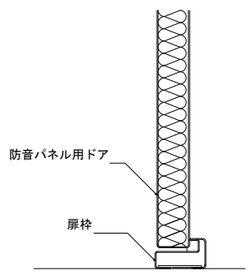
防音パネル　片開きドア姿図【参考図】 A1:1/25 A3:1/50



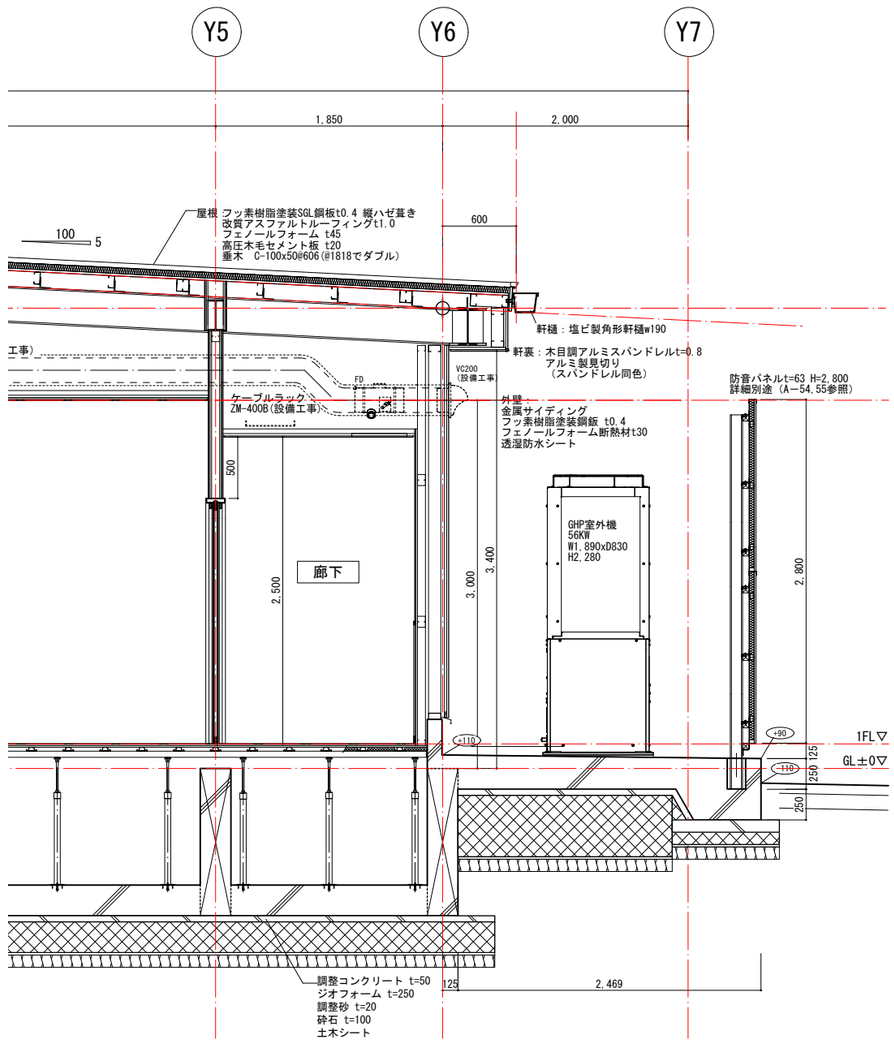
防音パネル　片開きドア　平面図 A1:1/10 A3:1/20



A部詳細図 A1:1/5 A3:1/10

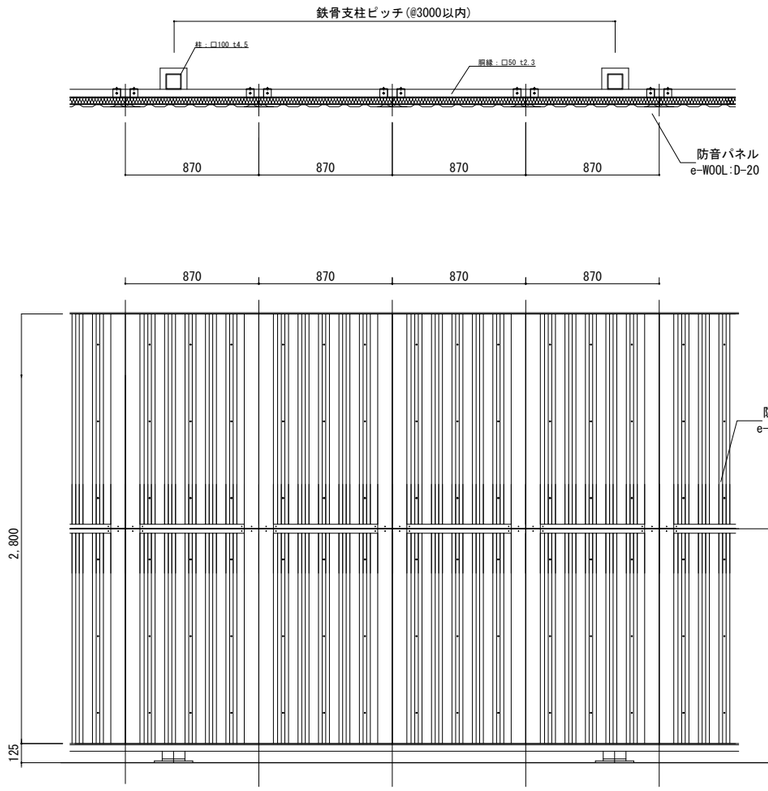


B部詳細図 A1:1/5 A3:1/10



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	外廻り詳細図(6)	縮尺	A1 1/25,1/10,1/5 A3 1/50,1/20,1/10	図面番号 A－53
		特記事項	特記事項	特記事項					

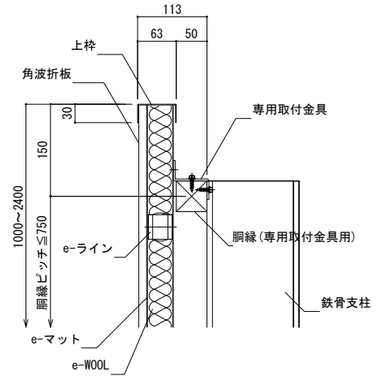
防音パネル 基本納まり図　S=1:20



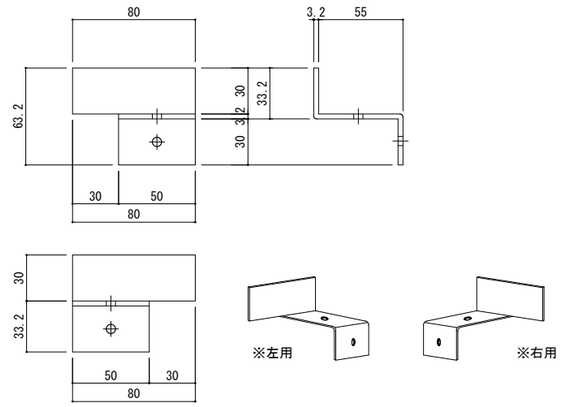
割付図作成時の注意事項
・以下の場合、別途加工費が掛かります。
一枚当たりの寸法
W:870mm（規格 W寸法以外）
H:1000mm未満
但し、以下の条件については除外します
W:コーナー部分
H:防音パネル用ドアの上部
・割付図作成時は、以下の寸法で行ってください。
一枚当たりの寸法
W:300～810mm・870mm(※811mm～869mm 制作不可)
H:1000mm～2400mm
・胴縁ピッチは各現場により異なります。
設計耐風圧計算を行なってピッチを算出して下さい。
ただし、上部と下部の胴縁については以下の条件で
設置してください。(防音パネル1枚につき)
上部：防音パネル天端から-150mmの位置
下部：受け下地天端+150mm
・専用取付金具は、差し込み式のため自重を受けるもの
ではありません。
・防音パネルの自重を受けるために、受下地を必ず設置
してください。

防音パネル 上部断面　S=1:5

防音パネル上部の胴縁は防音パネル天端-150mmの位置に設置してください。

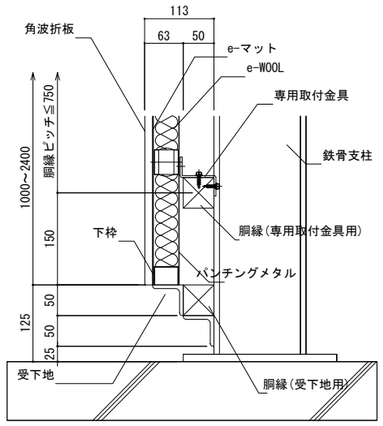


取付金具 詳細図　S=1:2



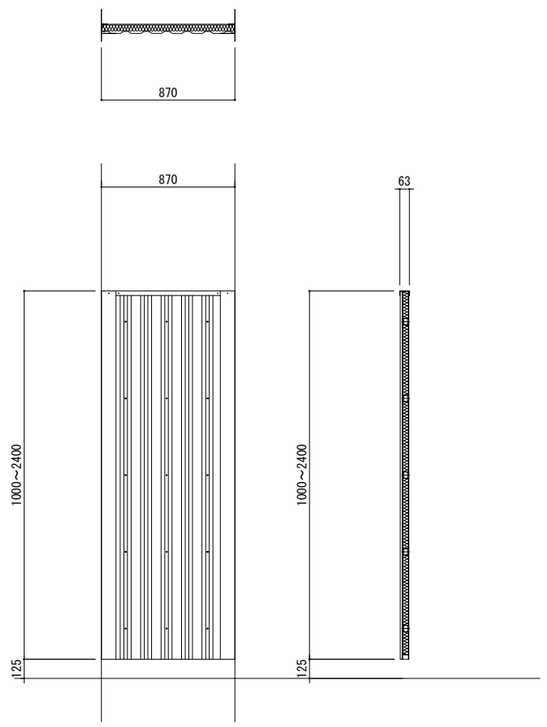
防音パネル下部 断面詳細図　S=1:5

防音パネル下部の胴縁は受下地天端+150mmの位置に設置してください。



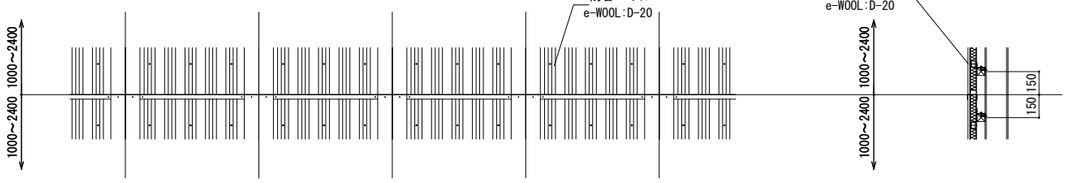
専用取付金具は、差し込み式のため自重を受けるものではありません。
e-WOOL防音パネルの自重を受けるため、受下地を必ず設置してください。
また、設置の際、受下地は通しで設置するようにしてください。

パネル 標準図　S=1:20

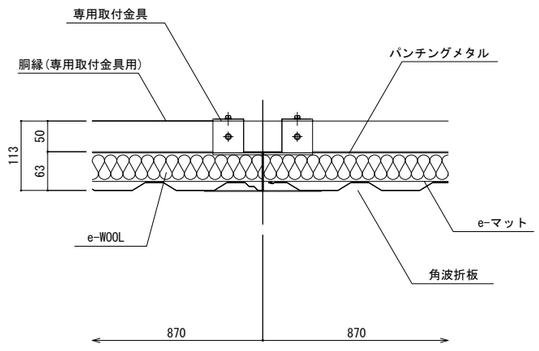


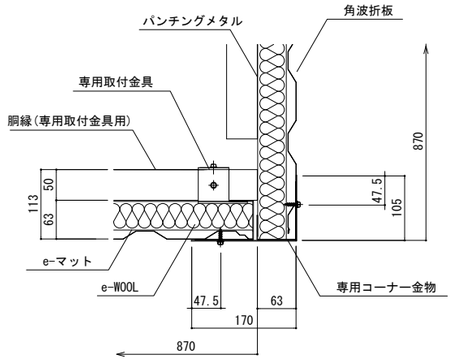
名称	材質	寸法
パネル枠（上枠/縦枠/下枠）	高耐食溶融メッキ鋼板	(t=1.2)
角波折板	ガルバリウム鋼板	(t=0.5)
パンチングメタル	溶融亜鉛メッキ鋼板	(t=0.6)
e-WOOL	ポリエステル繊維	(t=40mm/密度30±1kg/㎥)
e・ライン	溶融亜鉛メッキ鋼板 / スチレンブタジエンゴム	鋼板(t=0.8) / ゴム(t=40)
e・マット	改質アスファルト高比重鉱物質+ポリエステル不織布	(t=1.4)
専用取付金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	(t=3.2)
専用コーナー金物	溶融亜鉛メッキ鋼板	(t=1.2)
リベット（パネル枠部）	SUS	φ4 皿頭
リベット（パネル枠横部）	アルミ	φ4 皿頭
ドリルビス（角波折板側）	SUS	4×16
パッキン付座金	SUS+EPDM（エチレンプロピレンゴム）	3.5×12(t×d)
ドリルビス（パンチングメタル側）	SUS	4×13
ドリルビス（専用金具取付用）	鉄（ネジ部）+SUS（キャップ部）+EPDM（パッキン部）	6角頭 5×19

ジョイント部 平面詳細図　S=1:5

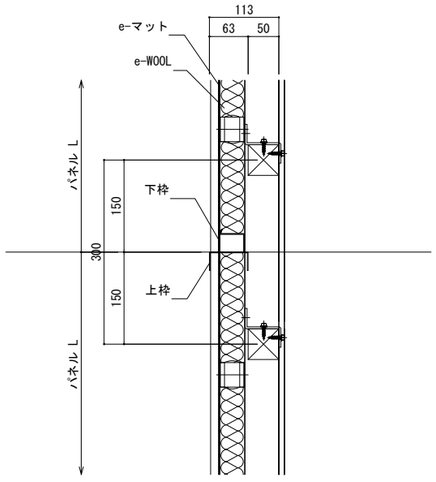


コーナー部詳細図　S=1:5

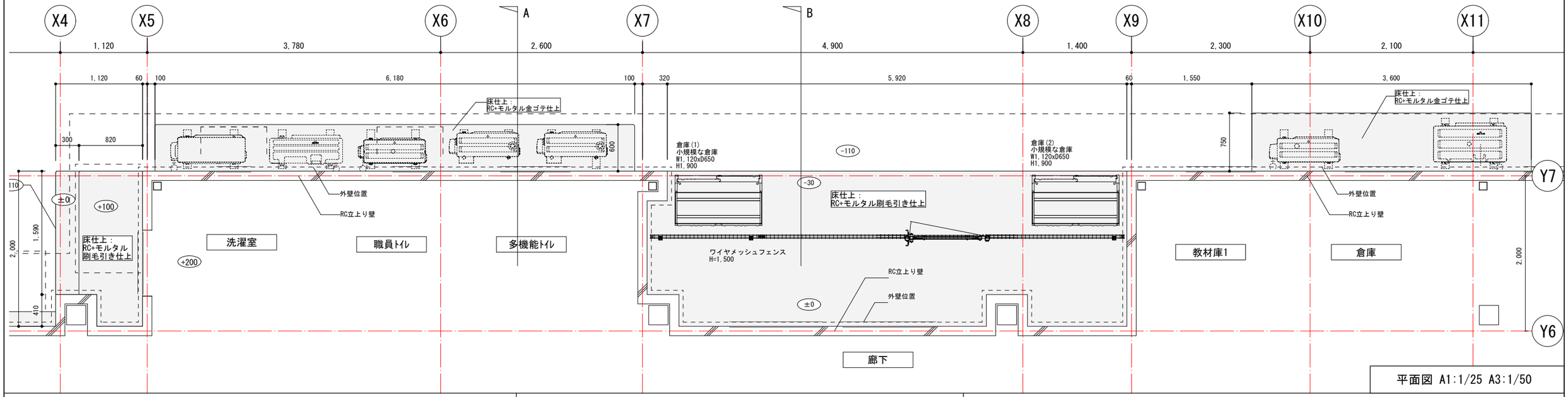




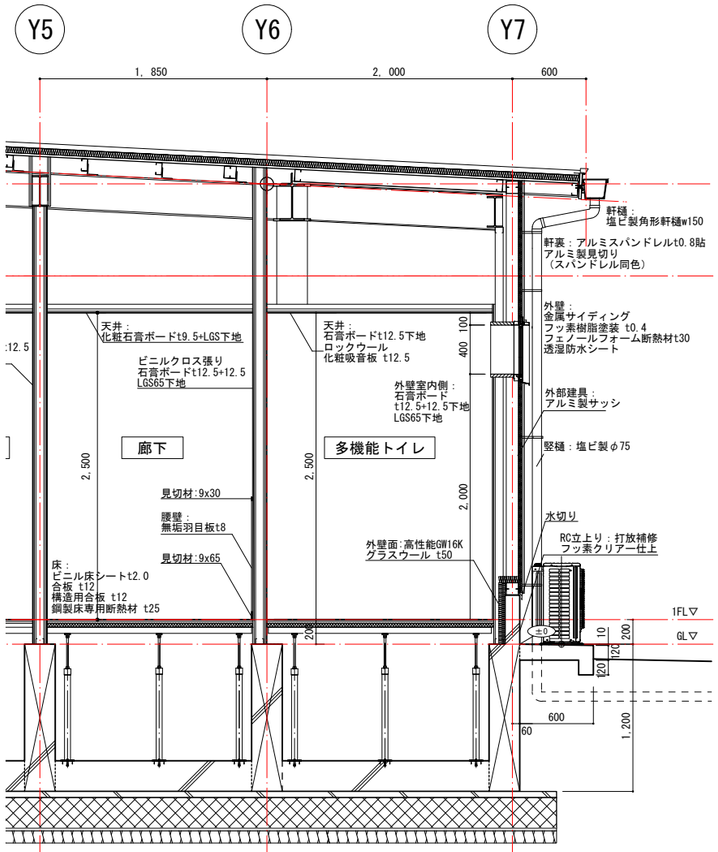
ジョイント部 断面詳細図　S=1:5



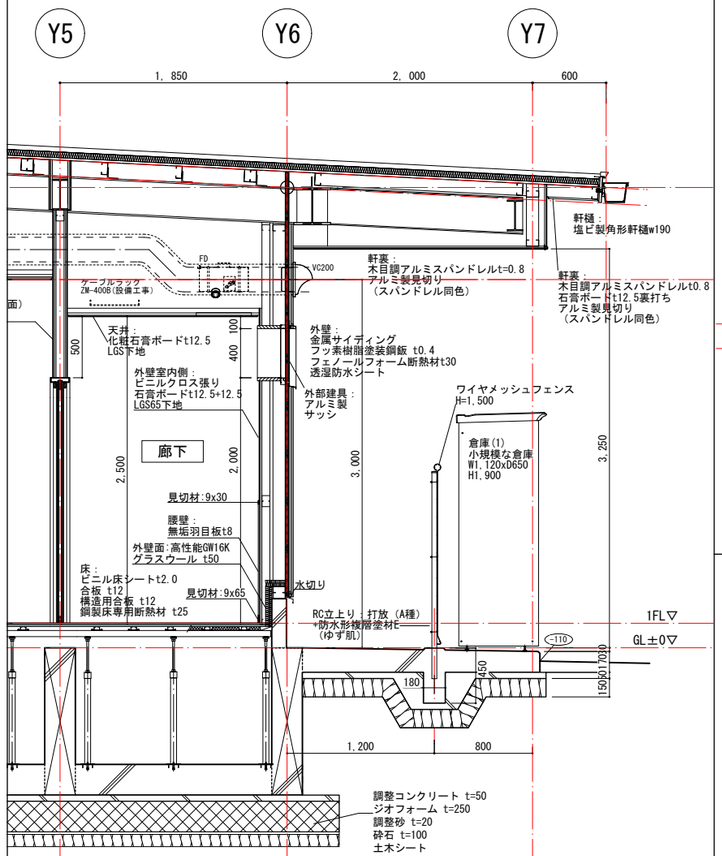
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 外廻り詳細図(7)【参考図】	縮尺 A1 1/20,1/5,1/2 A3 1/40,1/10,1/4	図面番号 A－54
		特記事項	特記事項	特記事項			



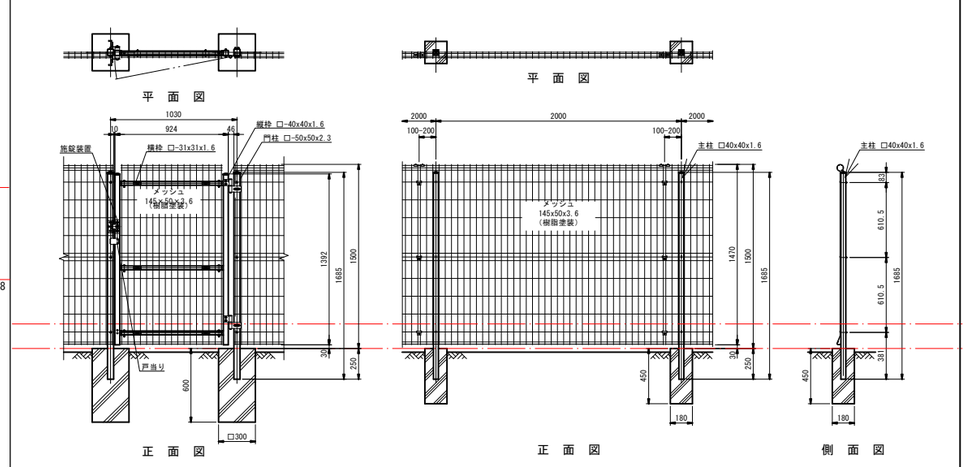
平面図 A1:1/25 A3:1/50



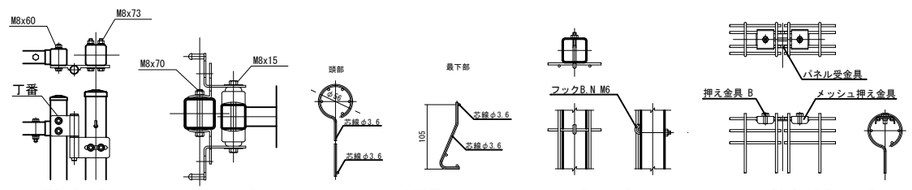
A断面図 A1:1/25 A3:1/50



B断面図 A1:1/25 A3:1/50



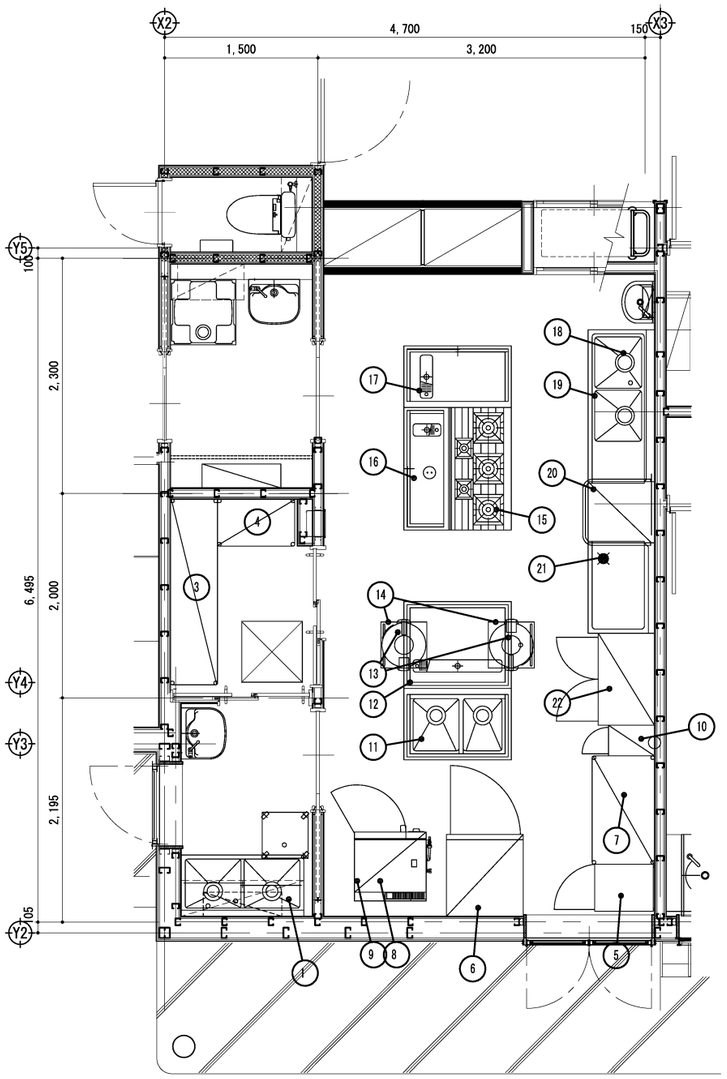
フェンス姿図（参考図） A1:1/25 A3:1/50



丁番部詳細図　片開き施錠詳細図　メッシュ断面図　パネル取付詳細図　パネル頭部継手取付詳細図

フェンス詳細図（参考図） A1:1/5 A3:1/10

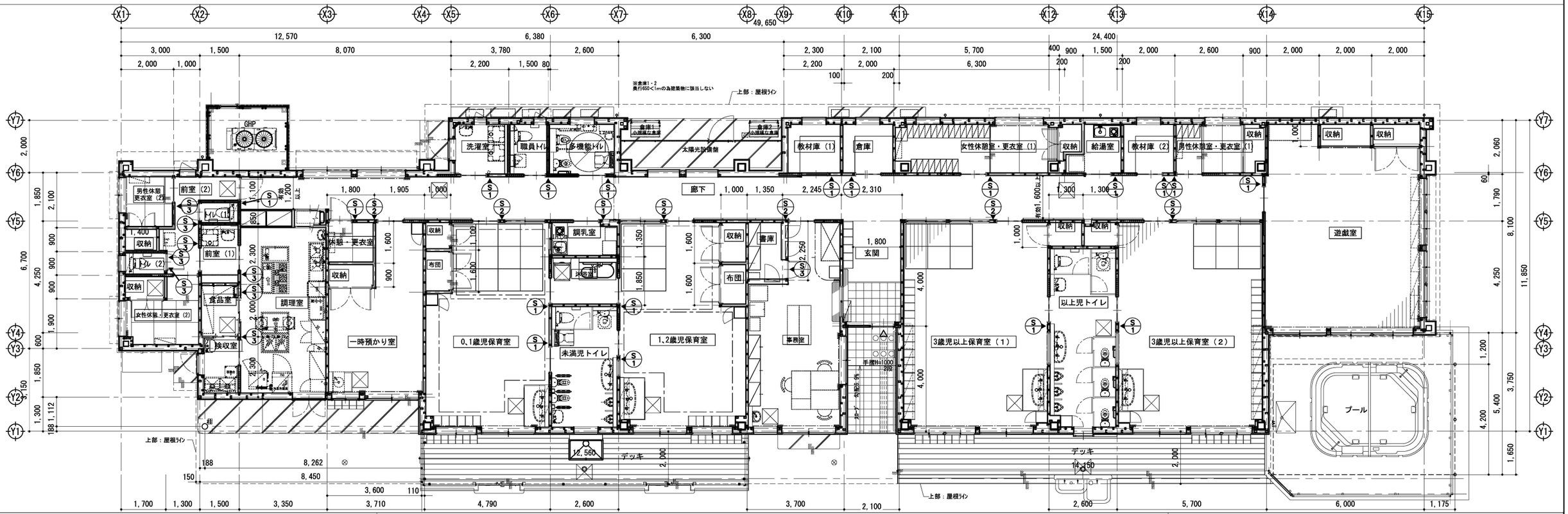
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 外廻り詳細図(8)	縮尺 A1 1/25,1/5 A3 1/50,1/10	図面番号 A－55
		特記事項	特記事項	特記事項			



No.	品名	MODEL	台数	寸法(mm) 間口	奥行	高さ	配管接続口径(A) 給水	給湯	排水	ガス(kW) 口径(A)	消費量 kW	電気(kW) 1φ 100V	1φ 200V	3φ 200V	フード	備考 KZ42-Z05A
1	二槽シンク		1	1200	600	850	15x2	15x2	50x2							
2	ラックシェルフ		1	1200	400	一段										
3	ソリッドエレファントシェルフ		1	755	460	1930										棚4段
4	ソリッドエレファントシェルフ		1	1818	460	1930										棚4段
5	検食用冷凍ストッカー	VF-K120X-KS	1	460	585	1110						0.13				117リットル
6	冷凍庫	HF-63LA3-2-KS	1	625	800	1910			40					0.28		493リットル
7	ソリッドエレファントシェルフ		1	755	610	1930										棚4段
8	卓上スチームコンベクションオーブン 2台重ね	TESC-55ML-T-KS	1	700	675	1375	15 G.V		40x2 鋼管					5.60x2	GF	5段 2/3ホテルパン×2
9	スチコン架台		1	750	600	600										
10	乾燥機付き包丁まな板殺菌庫	TNS-304SMF-KS	1	300	450	1600			25			0.28				包丁8本 まな板4枚
11	二槽シンク		1	1050	750	850	15x2	15x2	50x2							
12	水切り作業台		1	1100	1050	850			40							
13	炊飯器	RR-300CF-B-KS	2	492	423	426				8-ス 9.5φx2	5.52x2				扇	2~6リットル
14	炊飯台		2	450	450	95										
15	ガステーブル	TGTA-1232-KS	1	1200	600	850				20	50				GF	
16	調理台		1	1200	450	850										中棚1段
17	水切り調理台		1	1050	750	850			40							中棚一段
18	ラックシェルフ		1	1200	400	一段										
19	ソイルドテーブル		1	1400	650	850	15x2	15x2	50x2							
20	ドアタイプ食器洗浄機	TDWD-46R-KS	1	598	620	1420		15 G.V	40x2 耐熱管					4.70		72~120秒/ラック、窓付
21	クリーンテーブル		1	750	650	850										
22	電気式食器消毒保管庫(片面)	TNME-10-KS	1	900	550	1900			25					4.30		カゴ収納数10個
	総合設備容量										61.04	0.99	0	20.68		

参考資料：（株）関東三貴

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 調理室 機器配置図・機器表(参考図)	縮尺 A1 1/30 A3 1/60	図面番号 A－56
		特記事項	特記事項	特記事項			



S-1　　S：1/5

サイン詳細図

■サイン特記仕様

1）材料組成

アルミ……JIS－H－4100　A－6063　S－T5（アルミ押出形材）

アクリル板　　アクリル系樹脂

2）表示方法

各製品図に指定無き場合、表示方法は以下を標準とする。

ＵＶ印刷：文字高15㎜以下の和文、10㎜以下の欧文表示

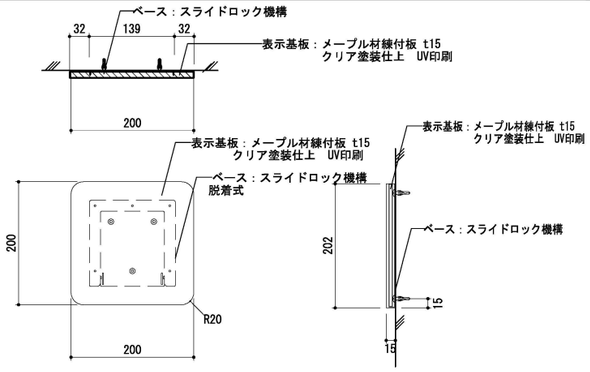
：ピクト・矢印・文字高16㎜以上の和文、11㎜以上の欧文表示

3）印刷

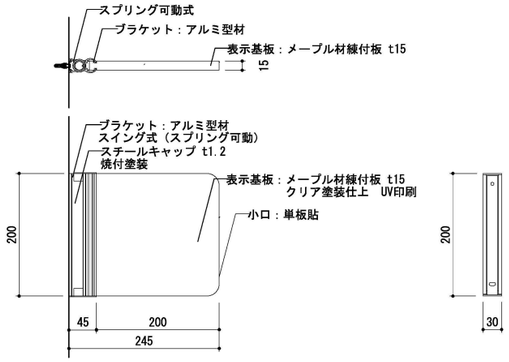
ＵＶ印刷……デザインから印刷までは、コンピューターを用いたデジタル処理にて行う。

■数量リスト

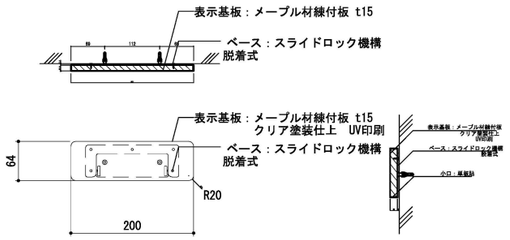
区分	凡例	形状	合計	備　考
室名札	S-1	平付　200×200	15	
室名札 ピクトサイン	S-2	突出し　200×200	6	
室名札	S-3	平付　200×64	9	



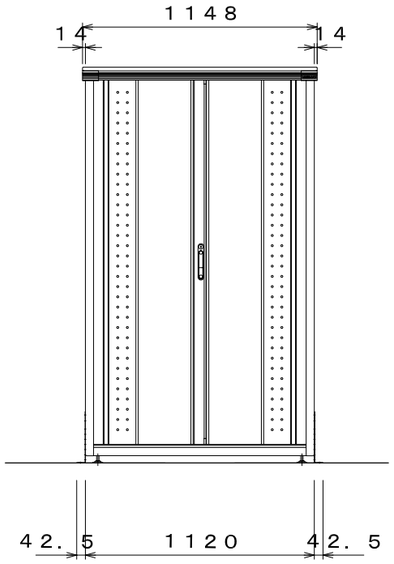
S－2　　S：1/5



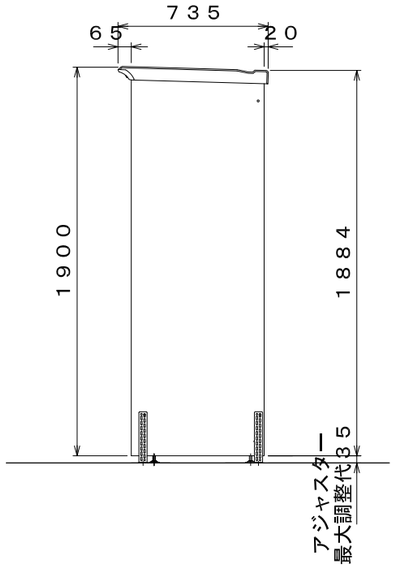
S－3　　S：1/5



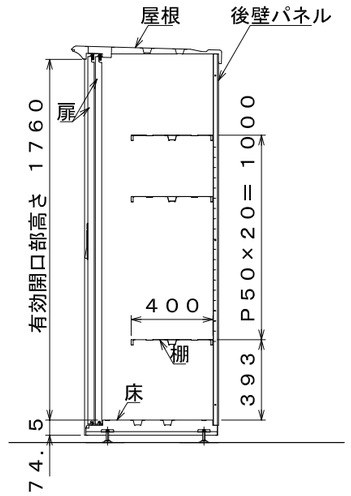
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	サインキープラン・詳細図	縮尺	A1 1/75・1/5 A3 1/150・1/10	図面番号	A－57
	千葉市長沼原保育所新築工事	特記事項		特記事項		特記事項							



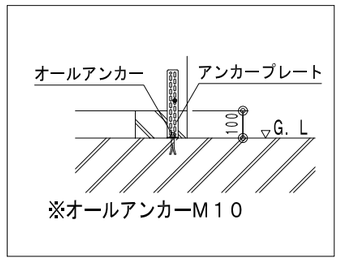
正面図

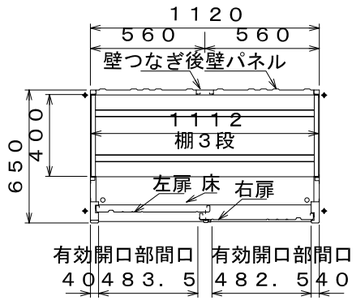


右側面図

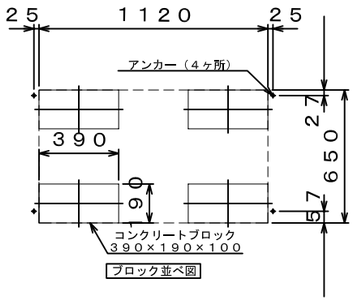


側面断面図





平面断面図

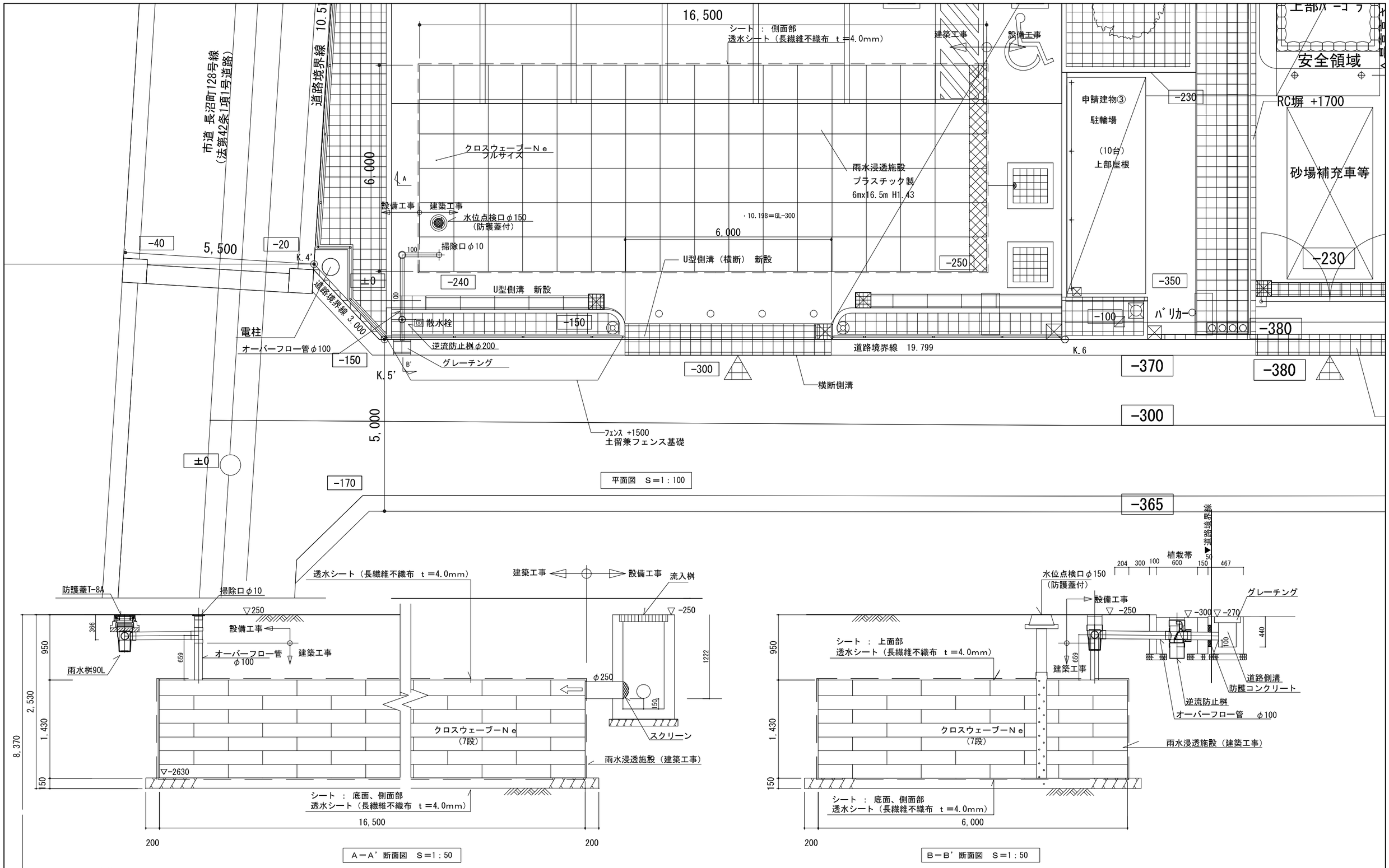


アンカー位置

仕様大要

品名	板厚	材質	仕上げ
床	ｔ０．８	亜鉛鉄板	ポリエステル系樹脂塗装
左右壁	ｔ０．５	〃	〃
後壁パネル	ｔ０．４	〃	〃
壁つなぎ	ｔ０．８	〃	〃
屋根	ｔ０．５	〃	〃
扉	ｔ０．６	〃	アクリル系樹脂塗装 (ホワイトはポリエステル系樹脂塗装)
棚（３枚）	ｔ０．４	〃	ポリエステル系樹脂塗装

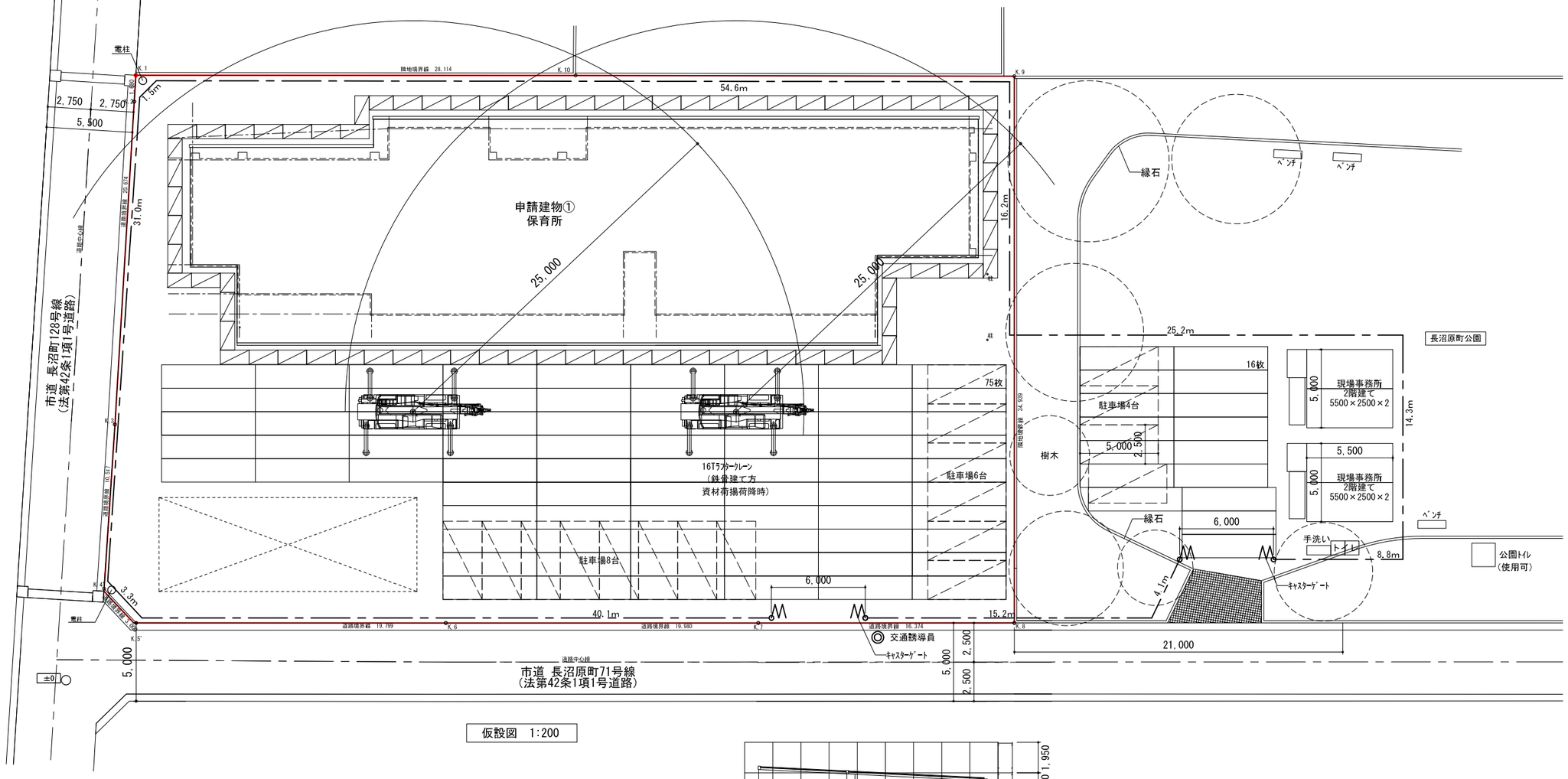
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	小規模な倉庫1、倉庫2	縮尺	A1 1/15 A3 1/30	図面番号	A－５８
			特記事項		特記事項		特記事項							



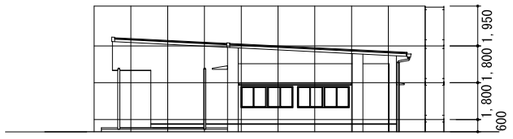
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8年 1月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	雨水浸透施設	縮尺 A1 1/50・1/25 A3 1/100・1/50	図面番号 A－59

凡例

———	仮囲い：鋼板　2.0m　214.3m
W　W	キャスターゲート W6,000×H1,800
◎	交通誘導員（必要に応じて）
□	敷鉄板敷　1,500×6,000　91枚
／	くさび緊結式足場　W900×H1,700

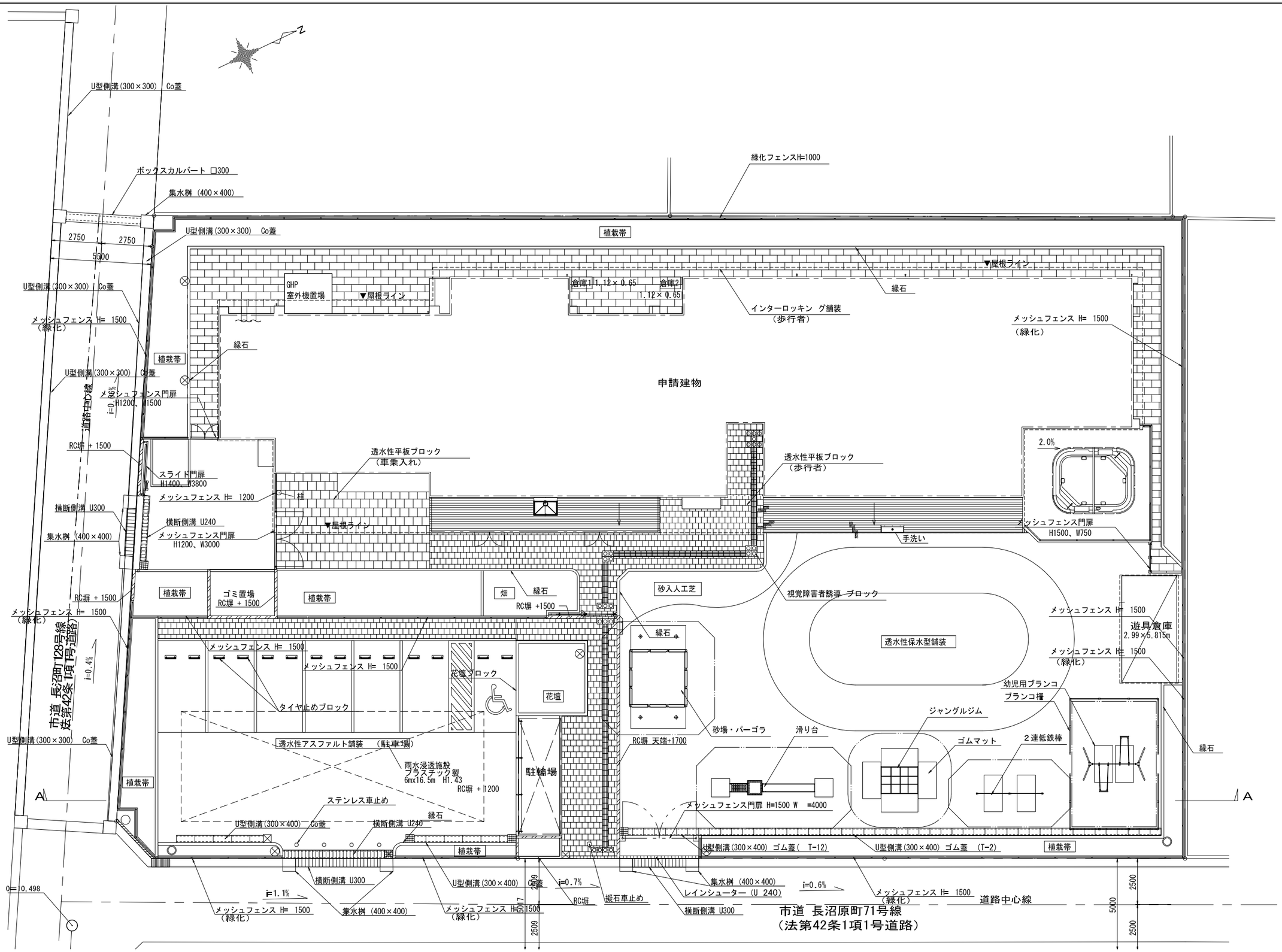


仮設図　1:200



北側立面図

千葉市都市局建築部営繕課	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和　8年　1月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	仮設計画図（参考図）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1　1/150 A3　1/300
								図面番号	A－60



千葉市都市局建築部営繕課	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8年 1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	外構図（参考図）	縮尺	A1 1/100 A3 1/200	図面番号	A－61
		特記事項		特記事項		特記事項							

構造設計特記仕様　その１

・修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

１,本仕様の適用範囲

（１）本仕様の適用範囲

本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が 18 N/mm²以上 60 N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定するSD295、SD345、SD390およびSD490の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが 60m 以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建築物の設計及び工事に適用する。

（２）仕様書等の優先順位

設計図書および仕様書の優先順位は以下による。

①特記仕様
②設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など）
③標準図（鉄筋コンクリート構造配筋標準図など）
④建築工事標準仕様書・同解説（日本建築学会）等

２，建築物の構造内容

（１）建築場所　千葉市稲毛区長沼原町７４番６

（２）工事種別

■ 新築　□ 増築　□ 改築　□　□

（３）構造設計一級建築士の関与　□ 必要　■ 必要としない

□ 法第20条第二号（ □ RC造高さ 20 m超　□ S造 4 階建以上　□ 木造高さ 13 m超 □その他）
□

（４）階数

地下 0 階　地上 1 階　塔屋 0 階
地下　階　地上　階　塔屋　階
地下　階　地上　階　塔屋　階

（５）構造種別

構造種別	該当階等	架構特徴等
□ 鉄筋コンクリート造　(RC)	基礎　階～　階	□ 免震建物
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	階～　階	□ 制震建物
■ 鉄骨造　(S)	階～　階	□ 搭状建物
□		□
□		□
□		□

（６）主要用途

□事務所　□共同住宅　□病院　□店舗　□倉庫　■ 保育所　□

（７）屋上付属物

□キュービクル　kN　□高架水槽　kN　□広告塔　kN　□煙突　m
□太陽光発電設備　□　□　□

（８）設計荷重

(a)主な積載荷重　(N/m²)

室名	床用	架構用	地震用
屋根	900	650	300
各階通路	3500	3200	2100

(b)１次設計用地震力

Co = 0.30　Z = 1.0　Rt = 1.0　K（地下）=

(c)風荷重

地表面粗度区分　Ⅲ　基準風速　Vo = 36　m/sec

(d)雪荷重

■ 垂直積雪量　30 cm　■ 設計用雪荷重　0.6 kN/m²　□

(e)特殊の荷重及び仕上材

□ エレベーター　kN　基　□ 受水槽　基　□エスカレーター
□　□　□　□

（９）構造計算ルート

Ｘ方向ルート －(1-2)　Ｙ方向ルート －(1-2)

（10）一次設計時用層間変形角

Ｘ方向　1/ 200 rad　Ｙ方向　1/ 200 rad

（11）付帯工事

□門塀　□擁壁　□駐輪場　□ 機械式駐車場　□

（12）特定天井

□有　■無

（13）屋根、床、壁

材料	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・工法
ＡＬＣ　(JIS A 5416)	厚	□壁　□床版	□スライド　□ボルト止め □ロッキング　□
□ハーフPca版　□Pca版	厚	□壁　□床版	□
折　版	Ｈ＝　厚	□屋根 □	□
デッキプレート	型式　厚	□屋根 □床版	□

３，使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（１）コンクリート（レディーミクスコンクリート JIS Q 1001、JIS Q 1011、JIS A 5308）

	適用箇所	設計基準強度 F_c=N/mm²	品質管理強度 F_q=N/mm²	スランプ cm (スランプフロー)	比重 r= kN/m³	備考
	□柱　□壁 □梁　□床版					
	□柱　□梁　□壁 □床版 □　□					
	□柱　□梁　□壁 □床版 □　□					
	□柱　□梁　□壁 □床版 □　□					
	□柱　□梁　□壁 □床版 □　□					
	□柱　□梁　□壁 □床版 □　□					
○	■床版 □ ■基礎 ■地中梁	24	24	18	23	
○	捨コンクリート	■ 15	---	15	23	
		□				
		□				
セメントの種類		■普通ポルトランドセメント　□中庸熱ポルトランドセメント □低熱ポルトランドセメント　□				
細骨材の種類		■ 砂　□ 山砂　□ 砕砂　□				
粗骨材の種類		■ 砂利　□ 砕石　□　□				
水の区分		■ 水道水　□ 地下水　□ 工業用水 □				
構造体コンクリート強度を保障する材齢		材齢　■28日　□56日　□91日　□				※
		養生　■標準　■現場水中　■現場封かん　□				※
単位水量		■ 185kg/m³以下　□ 175kg/m³以下　□				※
単位セメント量		■ 270kg/m³以上　□				※
混和材		■ AE減水剤　□ 高性能減水剤　□				※
		□　□				
空気量		■ (4.5±1.5) %　□ 3.0 %以下　□				
塩化物量		■ 0.3kg/m³以下　□　□				
水セメント比		■ 65 %以下　□ 50 %以下　□				※

※「捨コンクリート」は適用外とする

（２）コンクリートブロック（□JIS A 5406）

□A種　□B種　□C種　厚　□100　□120　□150　□190　使用箇所（□　□　）

（３）鉄　筋

鉄筋	種類	使用径 mm	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■ SD295	D16以下	剪断補強筋、スラブ筋、基礎ベース筋	■重ね継手
	■ SD345	D19以上	地中梁主筋、柱型主筋	■ガス圧接継手
	□ SD390			□溶接継手
	□ SD490			□機械式継手
	□			□
	□			□機械式定着工法
高強度せん断補強筋	□ 685			□大臣認定番号
	□ 785			MSRB-
	□ 1275			
	□			
溶接金網 (JIS G 3551)	□			
	□			

注1) SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。
注2) 各継手の使用詳細については本仕様その2の9.（2)鉄筋の項の鉄筋継手の項に■にて表示すること。

（４）鉄　骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□ SS400　□ SM400　■ SN400B	大梁	□有 ■無	JIS G 3136
■ SS400　□ SM400　□ SN400A.B.C.	小梁,鋼板	□有 ■無	JIS G 3136
□ SN490B　■ SN490C　□	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ	□有 ■無	JIS G 3160
■ STKR400　□ STKR490　□	柱	□有 ■無	JIS G 3466
■ BCR295　□ BCP235　□ BCP325	柱	□有 ■無	大臣認定品 認定番号 MSTL-
□ SSC400　□		□有 □無	JIS G 3350
■ STKN400B　□	柱	□有 ■無	JIS G 3475
溶接材料　□			JIS Z
□　□			

（５）ボルト等

■ 高力ボルト

□ F10T(JIS B1186)　■ S10T 大臣認定番号（　）　（■M16 ■M20 □M22 □M24□　）
□ 溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大臣認定番号（　）　（□M16 □M20 □M22 □M24□　）
□

□ボルト(JIS B1180)　M　M　□ 4.8(4T) □　□

■アンカーボルト(構造用アンカーボルト) ※C1,C2,C3はベースパック仕様による

□ SS400　M　L＝　mm　ナット（□シングル、□ダブル）
■ ABR400　M 16　L＝　500 mm　ナット（□シングル、■ダブル）(JIS B 1220)
M　L＝　mm　ナット（□シングル、□ダブル）(JIS B 1220)
□　M　L＝　mm　ナット（□シングル、□ダブル）

□頭付スタッド(JIS B1198)

φ＝　L＝　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）
φ＝　L＝　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）

４，地　盤

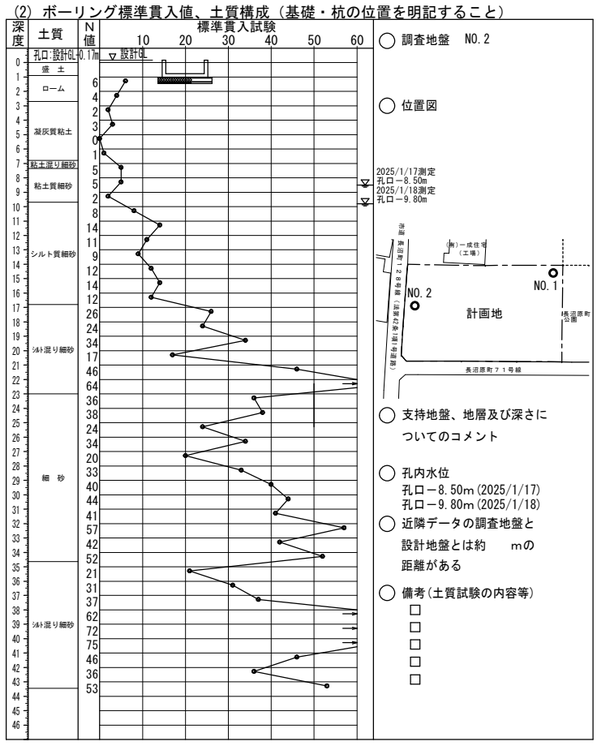
（1）地盤調査資料と調査計画

■有（■敷地内　□近隣）　□無（調査計画　□有　□無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定	○		土質試験	○		物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定	○	
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		
動的コーン貫入試験(ﾗﾝﾀﾞﾑﾊﾝﾏｰ ｲﾝﾊﾟｸﾄ)								

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2）ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

５，地業工事

（1）直接基礎　■ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　試験堀　□有　□無

深さ設計ＧＬ－1.2m、支持層－ローム層　長期許容支持力度　30 kN/㎡　載荷試験　□有　□無

（2）地盤改良　□浅層混合処理工法　□深層混合処理工法　□

深さＧＬ－　m、長期許容支持力度　kN/㎡　載荷試験 □有　□無

注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする

（3）基礎杭　支持層－

杭種	材料	施工法	備考
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートＦc=　N/mm² スランプ　cm以下 セメント量　kg/m³ 単位水量　kg/m³	□オールケーシング□拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □拡底杭　□拡頭・拡底杭 □鋼管補強杭　□ □深礎　□手堀　□機械堀	認定 第　号 年　月　日

既製杭・杭種	種類	材料	施工法	備考
□ PRC	□Ⅰ種□Ⅱ種□Ⅲ種□	鋼材□	□埋め込み	認定
□ PHC	□A種□B種□C種□	鋼材□	□打ち込み	第　号
□ 鋼管	□羽根つき鋼管杭	コンクリート□FC85	□	年　月　日
□ SC	□	コンクリート□FC105	□	

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書

試験杭　（□有　□無）　（□打ち込み　□載荷　□孔壁測定）　本

杭径 (mm)	設計支持力(kN)	杭先端の深さ(m)	本数	特記事項

６，鉄骨工事（施工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

■ 日本建築学会「JASS 6 2012版」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工字技術指針」
■ 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事管理者の承認を必要とするもの

■製作工場　■製作要領書　■工作図　■施工計画書
■ 認定または登録工場（大臣認定　S　H　Ⓜ R　J　グレード　都登録　T1　T2　T3　ランク）
■ 材料規格証明書※、または試験成績書
■鋼材　■高力ボルト　□特殊ボルト　□頭付スタッド
※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
■ 社内検査表　□　□

(3) 工事監理者が行う検査項目

（■印以外の項目の検査結果については、工事管理者に報告すること）
□現寸検査　□組立・開先検査　■製品検査　■建方検査　□

(4) 接合部の溶接は下記によること

■ 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
■ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■ 日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

■　溶接部の検査（検査結果は工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
■完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	100 % 個	100 % 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測） (注) 東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
□	超音波深傷試験	100 % 個	30 % 個	% 個	
	内質検査(注) □硬さ試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査(注) □示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
■隅肉溶接部	外観検査（※）	100 % 個	100 % 個	% 個	
第三者検査機関名		（都知事登録　号）			

第三者検査機関とは、建築主、工事管理者又は工事施工者が、受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。
注2）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること。

■ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□要　■否　高力ボルトすべり係数試験　□要　■否
■ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
■ トルシア形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとピンテールの破断を確認する。

(6) 防錆塗装

■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被服される以外の部分とする。錆止めペイントは、□ JIS K 5621、□ JIS K 5625、■ JIS K 5674、□　（フォースター F☆☆☆☆）を使用し、2 回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

■意匠図による

７．設備関係

■ 設備機器の構造および構造体への緊結部分は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 設備機器の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
■ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
■ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□ エレベーター・エスカレーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
また、地震時の層間変形に追従できること。
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ 5 cm以上を原則とする。
□
□

８．その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日　令和 8 年 1 月 日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	構造設計特記仕様　その１	縮尺	A1: --- A3: ---	図面番号 S-01

構造設計特記仕様　その２

・修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

９,鉄筋コンクリート工事

（１）コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS 5 2009 による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS 5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節(高強度コンクリート)を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。
軽量コンクリートについてはJASS 5の14節によること。

表9.1 コンクリート圧縮強度(N/mm²)に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 Fc	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS 5での区分	普通コンクリート							高強度コンクリート							

表9.2 レディーミクストコンクリートのJIS規格品

調合管理強度(N/mm²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
呼び強度(JIS規格品)	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※

※印は規格外

(b) 品質と施工

■ 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
　■標準　□長期　□超長期

■ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とする。

□ 設計基準強度が 36 N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。

■ レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。

■ 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。

■ フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が 36 N/mm²以下 33 N/mm²以上の場合スランプ21cm以下、33 N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし、設計基準強度が 36 N/mm²超 45 N/mm²未満の場合はスランプ 21cm 以下またはスランプフロー 50 cm以下、設計基準強度が 45 N/mm²以上の場合はスランプ 23 cm以下またはスランプフロー 60 cm以下とし、特記による。

■ コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として 0.3 kg/m³以下とする。

■ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として120分を限度とする。

■ コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。

■ 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。

■ 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて3日以上とする。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

ｉ）高強度コンクリート

■ 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は 28日とする。

■ 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は 91日とする。

■ 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
　① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
　② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に 3 N/mm²加えた値以上とする。

■ 調合管理強度は、以下による。

$_{H}Fm = Fc + mSn$ (N/mm²)

$_{H}Fm$ ： 高強度コンクリートの調合管理強度　(N/mm²)
Fc ： コンクリートの設計基準強度　(N/mm²)
mSn ： 高強度コンクリートの構造体強度補正値で JASS 5 による。

■ 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。

$_{H}F \geqq {}_{H}Fm + 1.73\sigma_{H}$　(N/mm²)
$_{H}F \geqq 0.85\,{}_{H}Fm + 3\sigma_{H}$　(N/mm²)

$_{H}F$ ： 高強度コンクリートの調合強度　(N/mm²)
σ_{H} ： 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差　(N/mm²)　で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、0.1(Fc＋mSn)とする。

ⅱ）普通コンクリート

■ 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として 28日とする。

■ 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。

表9.3 構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材齢 (1)	判定基準
標準養生 (2)	28 日	X ≧ Fm
コ　ア	91 日	X ≧ Fq

ただし、X ： 1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)
Fm: コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
Fq: コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

[注] (1)早い材齢において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。
(2)工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当らない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

＊ 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

＊ コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のｎ日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

■ 調合管理強度は、以下による。

Fm = Fq ＋ mSn (N/mm²)

Fm ： コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
Fq ： コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)
mSn ： 標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度と構造体コンクリートの n 日における圧縮強度の差による構造体強度補正値　(N/mm²)

■ 調合強度は標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材齢 m 日は、原則として 28 日とする。

F ≧ Fm ＋ 1.73σ　(N/mm²)
F ≧ 0.85Fm ＋ 3σ　(N/mm²)

F ： コンクリートの調合管理強度　(N/mm²)
σ ： 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差(N/mm²)で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は 2.5N/mm²、または 0.1Fm の大きい方の値とする。

(d) 検査

■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合 1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。

■ スランプの許容差は、普通コンクリートの場合、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm（呼び強度27以上で高性能AE減水剤を使用する場合は±2cm）とする。
高強度コンクリートの場合は、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが 50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。

■ **使用するコンクリートの圧縮強度及び試験方法は、標準仕様書6.5.5、6.9.2、6.9.3、6.9.4による**

■ 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごとかつ 150m³またはその端数ごとに 1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた 3台の運搬車から 1個ずつ採取した合計 3個の供試体を用いる。
高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、　標準仕様書 による。
構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c)調合および構造体コンクリート強度による。

■ コンクリートの圧縮強度試験の実施先は、(公財)千葉県建設技術センター、大学等公的機関、JNLA(工業標準化法に基づく試験事業者登録制度)による登録試験事業者又はJAB((財)日本適合性認定協会)による認定試験所とする。

（２）鉄　筋

(a) 施工

■ 鉄筋は JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼)に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子)に適合するものを用いる。

□ 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。

■ 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。

■ 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4　鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位 (注)				
		A 級	B 級	SA級		
■ 重ね継手	標準図による				■ D（ 16 ）以下	基礎,礎盤
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	□			■ D（ 19 ）以上	地中梁,柱型
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（　）以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（　）以上	

注）(1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部位の条件・仕様によること。

■ 機械式継手および圧接継手および溶接継手は、(公社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。

■ ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事管理者の承認を得て作業を行うことができる。

■ 圧接技量資格者は、(公社) 日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。

□ 機械式継手定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

継手部の検査方法
各継手工法ごとの検査は平12建告1463号による他、具体的な検査方法は、(公社) 日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表9.5 継手の検査

	継手方法	外観検査	引 張 試 験	超音波探傷試験
1	ガス圧接	□有　%	□有 □無　%　個	□有 □無　%　個
2	溶　接	□有　%	□有 □無　%　個	□有 □無　%　個
3	機 械 式	□有　%		□有 □無　%　個

ガス圧接部分の検査を超音波深傷検査によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、１回の引張試験は 5本以上とする。（１ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所で 200箇所程度とする.）

■ 鉄筋の継手の試験・検査要領は、 標準仕様書 による。

（３）最小かぶり厚さ

※「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」より

（ａ）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表9.6による。
ただし、柱及び梁の主筋にＤ２９以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表9.6　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位：mm)

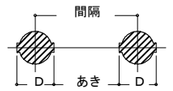
構造部分の種別				最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱，梁，耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁			＊40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ			＊60
煙突等高熱を受ける部分				60

（注）１．＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は構造図による。
２．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
３．スラブ，梁，基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
４．杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
５．塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、構造図による。

（ｂ）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに１０mmを加えた数値を標準とする。

（ｃ）鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（ｄ）鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
ただし、機械式継手の場合のあきは、構造図による。
（１）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（２）２５mm
（３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍



（Dは、鉄筋の最大外径）
図4.1　鉄筋相互のあき

（ｅ）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは（Ｄ）による。
（ｆ）貫通孔に接する鉄筋のかぶり、厚さは（ｃ）による。

（４）型　枠

■ 型枠および支保工の在置期間は、昭63年建告第1655号に基づき下表による。

表9.7　型枠存置日数　　昭和46年建設省告示第110号(昭和63年改正建設省告示第1655号)

種類	せ き 板				支　柱		
部位	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下
セメントの種類	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強度ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令(日) 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	※ 5.0N/cm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

※　JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあっては 5N/mm²以上、長期及び超長期の場合は 10N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は 10N/mm²以上。
注）１ 片持ち梁、庇、スパン 9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
注）２ 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注）３ 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４ 盛替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５ 支柱の盛替えは、小梁が終ってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。
注）６ 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注）７ 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 構造設計特記仕様　その２	縮尺 A1: --- A3: ---	図面番号 S-02
		特記事項	特記事項	特記事項			

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

１．一般事項

（1）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（2）記号

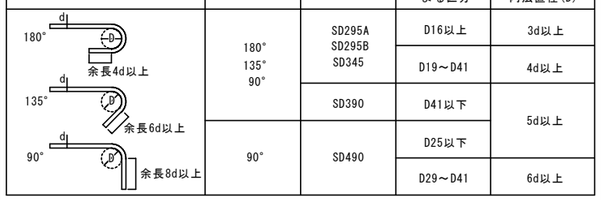
d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　（径）　　D･･･部材の成、又は鉄筋内法直径

@･･･間隔　　r･･･半径　　℄･･･中心線　　ℓo･･･部材間の内法距離　　ｈｏ･･･部材間の内法高さ

ＳＴ･･･あばら筋　　ＨＯＯＰ･･･帯筋　　Ｓ．ＨＯＯＰ･･･補強帯筋

２．鉄筋加工

（1）鉄筋の折り曲げ加工

図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180° 135° 90°	SD295A SD295B SD345	D16以上	3d以上
			D19～D41	4d以上
		SD390	D41以下	5d以上
	90°	SD490	D25以下	
			D29～D41	6d以上

［注］（１）　dは呼び名に用いた数値とする。

（２）　スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。

（３）　片持スラブ先端、壁器の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。

（４）　スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。

（５）　折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

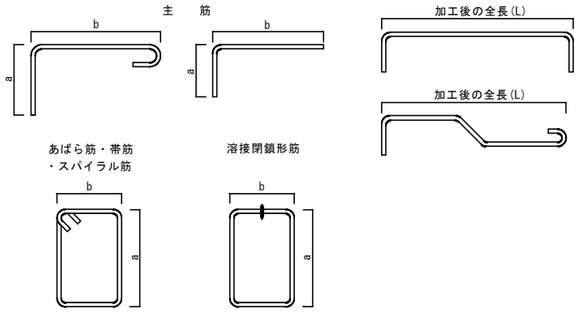
（６）　SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

（2）加工寸法の許容差

(mm)

項目			符号	許容差
各加工寸法	主筋	D25以下	a, b	± 15
		D29以上D41以下	a, b	± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a, b	± 5
加工後の全長			L	± 20

［注］（１）　各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



(5) 鉄筋のあき

異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上のうち最も大きい値。

(6) 鉄筋のフック

a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。

a. あばら筋、帯筋、および幅止メ筋

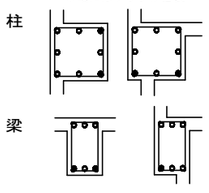
b. 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）

c. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分
　および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)

d. 単純梁の下端筋

e. その他、本配筋標準に記載する箇所

図の● 印の鉄筋の重ね継手の
末端にはフックが必要



(5) 定着長さ

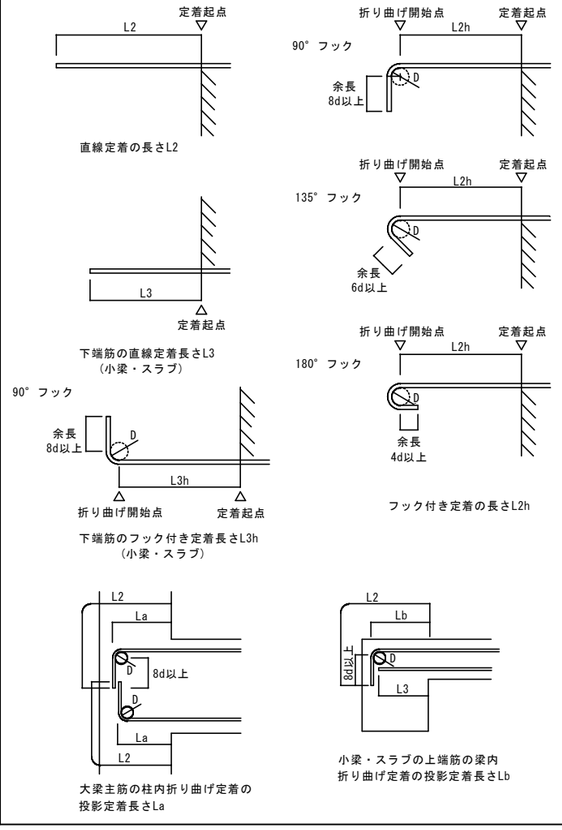
鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	定着の長さ						
		一般				小梁下端筋		スラブ下端筋
		L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La(3)	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)	L3 (フックなし)
SD295A SD295B	18	40d	30d	20d	15d	25d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24～27	30d	20d	15d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	25d	15d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d			
	21	35d	25d	20d	20d			
	24～27	35d	25d	20d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	30d	20d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d			
	24～27	40d	30d	20d	20d			
	30～36	35d	25d	20d	15d			
	39～45	35d	25d	15d	15d			
	48～60	30d	20d	15d	15d			
SD490	24～27	45d	35d	25d	—	—	—	—
	30～36	40d	30d	25d	—			
	39～45	40d	30d	20d	—			
	48～60	35d	25d	20d	—			

［注］（１）　フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。

（２）　フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。

（３）　梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするとともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。
尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。

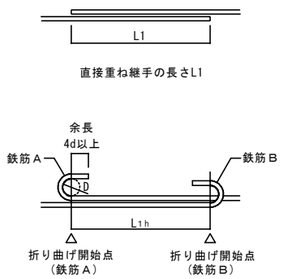
（４）　耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



(5) 継手

■重ね継手

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	55d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d



［注］（１）　表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。

（２）　直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdひよる。

（３）　フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

■継手に関する注意点

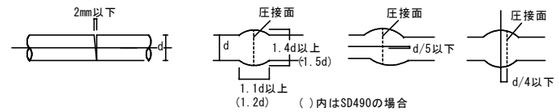
1．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。

2．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。

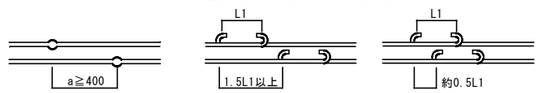
3．鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。

4．ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状(平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)



・圧接継手　　・重ね継手（下図のいずれかとする）



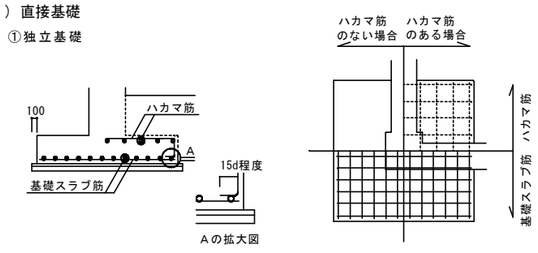
5．溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の認定等を受けたA級継手工法とする。

6．非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

３．杭・基礎　（配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること）

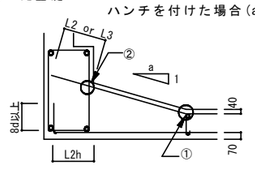
（1）直接基礎

①独立基礎



②べた基礎

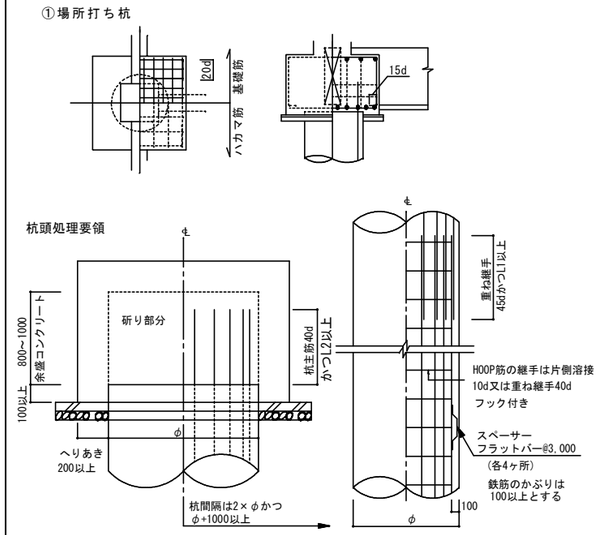
ハンチを付けた場合(a≧3)



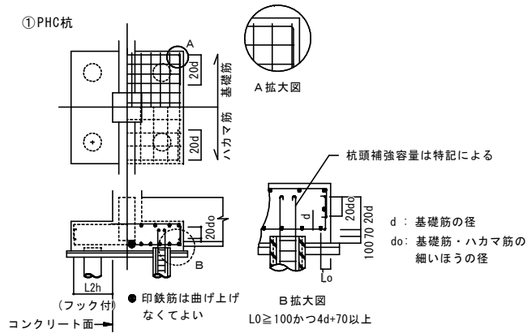
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

（2）杭基礎

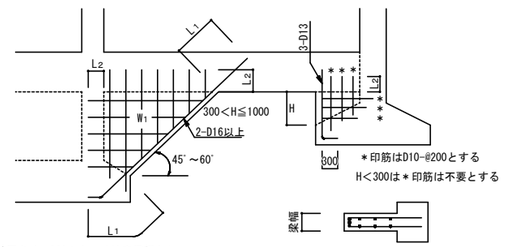
①場所打ち杭



①PHC杭



(4) 基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図(1)	縮尺	A1: --- A3: ---	図面番号	S-03
		特記事項	特記事項	特記事項						

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

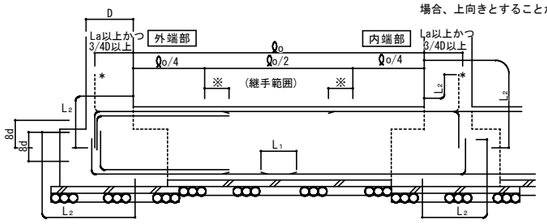
※修正箇所は下線を引くこと

４．地中梁

（１）独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)

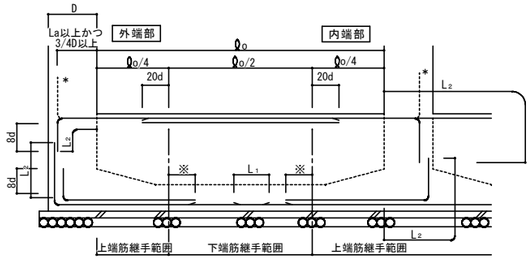
（長期荷重が支配的な場合の継手は6.(2)大梁継手位置とする）

＊上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる



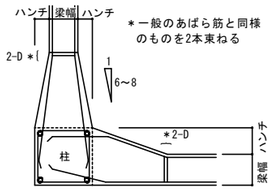
※主筋のカットオフ長さはℓo/4+15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁主の項の表6-1による

（２）布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



※主筋のカットオフ長さはℓo/4+15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁主の項の表6-1による

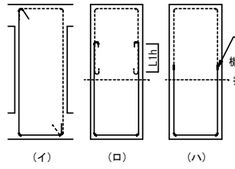
（３）水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



＊一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる

＊一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる

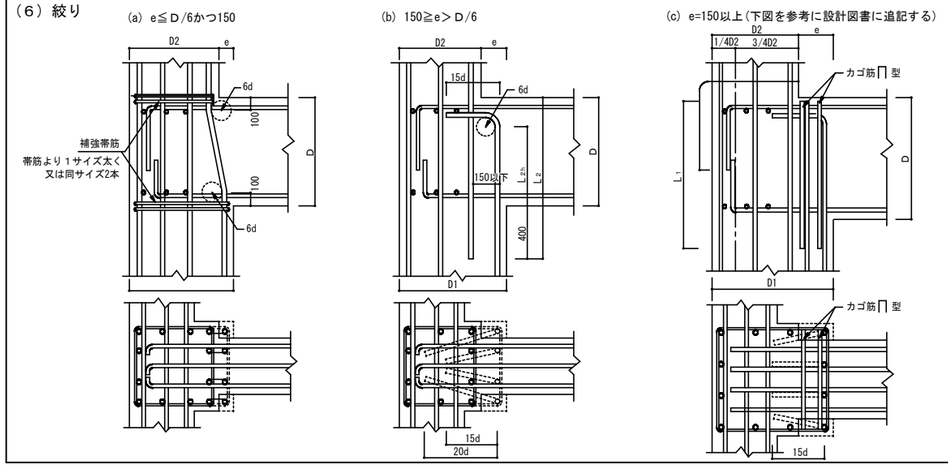
（４）せいの高い梁ののあばら筋加工要領



［注］（イ）で、 を使用してよいが、 は使用してはいけない

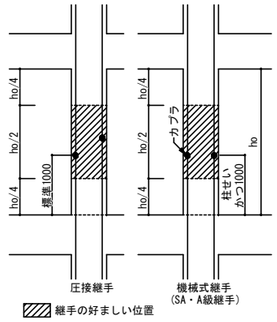
（ロ）では、あばら筋の継手は180°フック付きとする。

（６）絞り



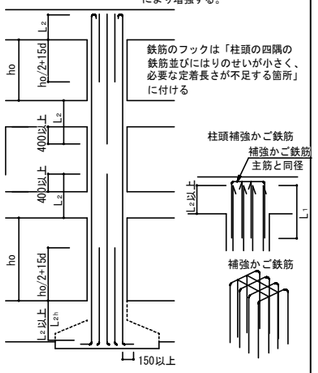
５．柱

（１）柱主筋の継手位置



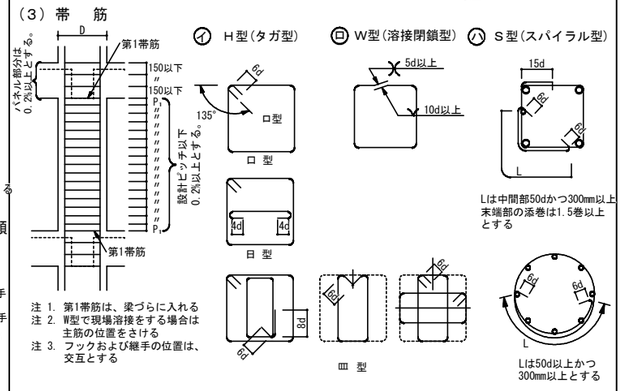
（２）柱主筋の定着

柱、梁の定着L2以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により増強する。



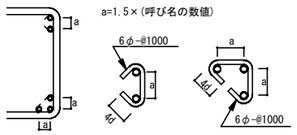
鉄筋のフックは「柱頭の四隅の鉄筋並びにはりのせいが小さく、必要な定着長さが不足する箇所」に付ける

（３）帯　筋

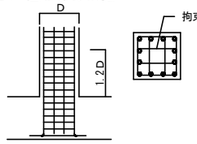


注 1. 第1帯筋は、梁づらに入れる
注 2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする

（４）寄せ筋の保持



（５）柱脚部の補強



1階柱脚の主筋は梁上から柱せいの1.2倍の範囲を拘束筋で拘束する

拘束筋は以下による

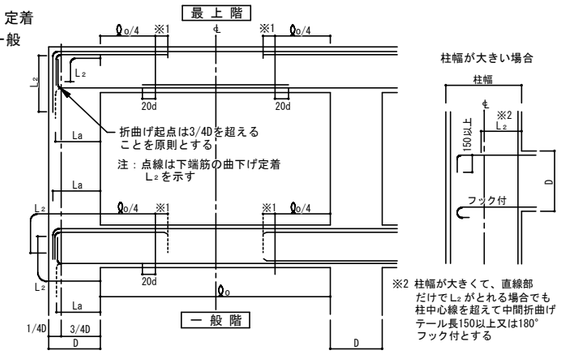
□帯筋と同径・同ピッチ、X・Y 2巻づつ

□図示による

６．大梁

（１）定着

ⓐ一般



※1 主筋のカットオフ長さはℓo/4＋15dを基本とし、特別な長さを要する部分は表6-1による

※2 柱幅が大きくて、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180°フック付とする

ⓑハンチがある場合

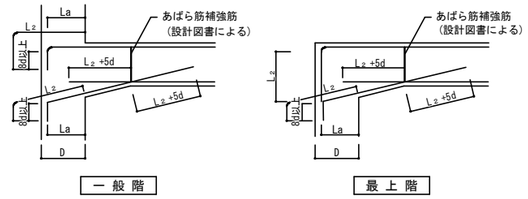
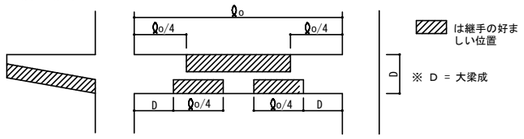


表6-1　特別なカットオフ長さを要する部材　(mm)

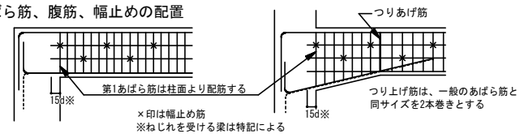
部　材　名	ℓo/4に加える長さ	部　材　名	ℓo/4に加える長さ

（２）大梁主筋の継手

（SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による）



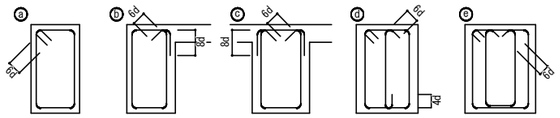
（３）あばら筋、腹筋、幅止めの配置



×印は幅止め筋
※ねじれを受ける梁は特記による

（４）あばら筋の型

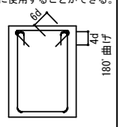
（注、床版がない場合は135°以上のフックとする）



(イ)原則としてⓐのフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁でⓑ、両側床版付(T型)梁でⓒ又はⓓとすることができる。

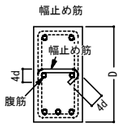
(ロ)フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

ⓕ 梁成の大きい場合やSRC造のあばら筋の納まりに使用することができる。



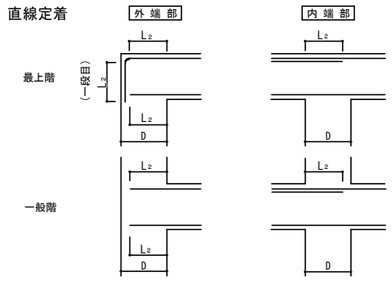
（５）幅止め筋の本数、加工

腹 筋	D＜600 不要	
	600≦D＜900	2-D10 1段
	900≦D＜1200	4-D10 2段
	1200≦D	D10@300以内
	1200以上	D13@300以内
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける	

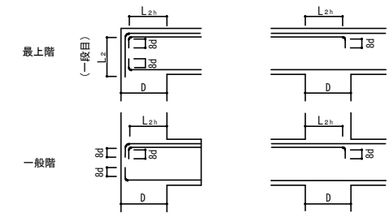


（６）梁主筋の定着

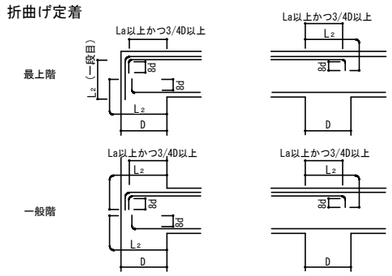
① 直線定着



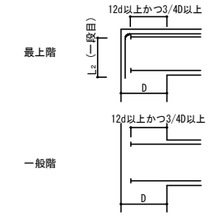
② 90° フック付直線定着



③ 折曲げ定着



④ プレート定着



※最上階 L型接合部における上端筋の一段目の定着にプレート定着を用いてはならない。

※プレート定着には性能証明等を取得した材料を用い、その工法の適用範囲と仕様を確認する。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	縮尺	A1: --- A3: ---	図面番号	S-04
		特記事項		特記事項		特記事項							

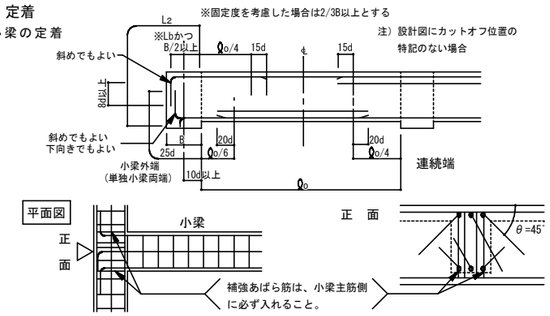
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）

※修正箇所は下線を引くこと

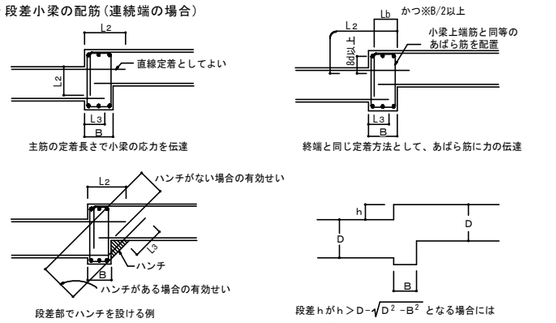
7．小梁・片持梁

（1）定着

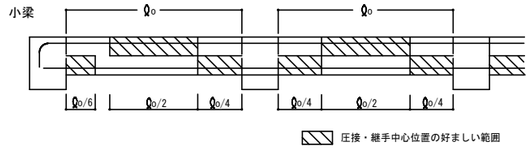
ⓐ 小梁の定着



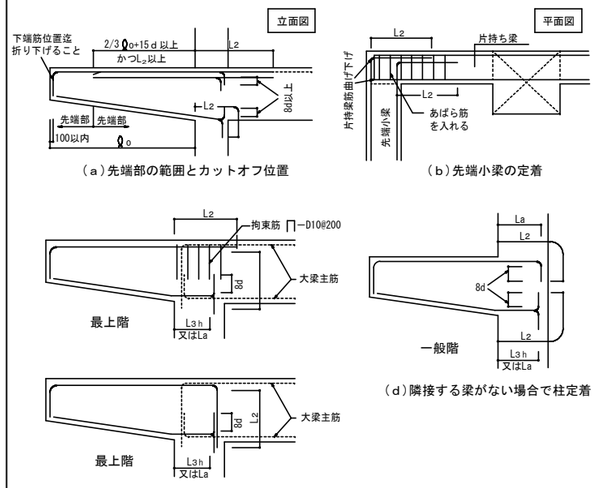
ⓑ 段差小梁の配筋（連続端の場合）



ⓒ 小梁筋の継手位置



ⓓ 片持梁の定着　注）上端筋の柱内への定着は3/4D以上とすること。



（a）先端部の範囲とカットオフ位置

（b）先端小梁の定着

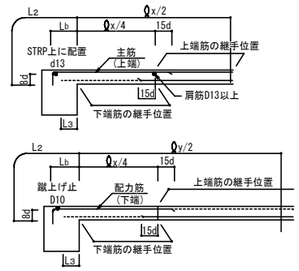
（c）隣接する梁がない場合で柱定着
又は、隣接する梁へ定着する場合

（d）隣接する梁がない場合で柱定着

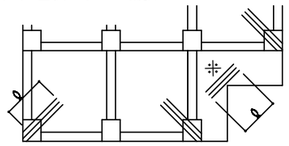
8．床　版

（1）定着および継手

一般床スラブ（四辺固定）



（2）屋根スラブの補強

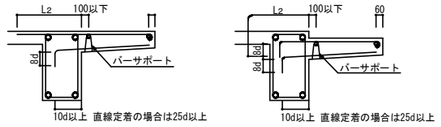


ⓐ 補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径で ℓ =1500とし、上端筋の上に配筋する。配筋の際かぶり厚に注意すること。

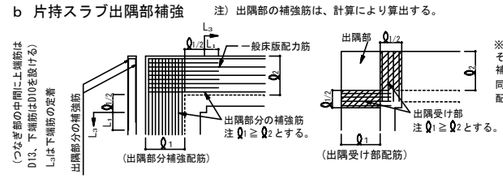
ⓑ ※の箇所（入隅）は各階補強する

（3）片持床スラブ定着及び出隅部補強

ⓐ 片持床スラブ定着

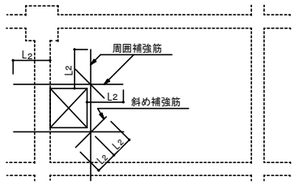


b 片持スラブ出隅部補強　注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。

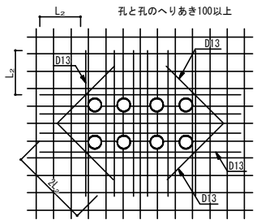


※出隅受け部補強筋は、それぞれの方向に出隅補強筋として出隅部の同本数をハッチ部分に配置する。

（4）床版開口部の補強　（開口の径500以下程度の場合）

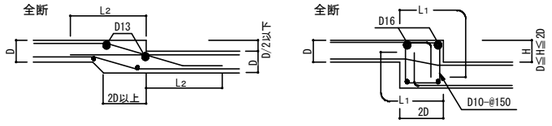


床版厚さD	周　囲	斜　め
D≦150	各2－D13	各1－D13
150＜D≦300	各2－D13	各2－D13
300＜D≦500	各2－D19	各2－D16



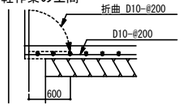
注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

（5）床版段差

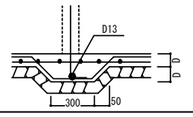


（6）土間コンクリート

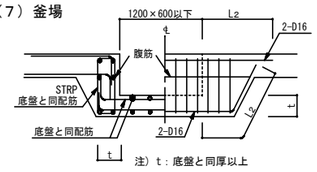
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（7）釜場



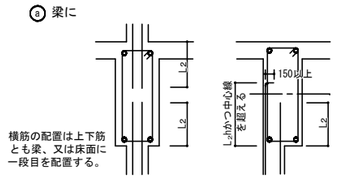
（8）打継ぎ補強（ダメ穴打断面について）

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ　長さ2L₁以上
- 無筋部分D10－@100　長さ800以上

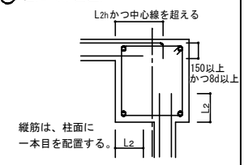
9．壁

（1）定着

ⓐ 梁に

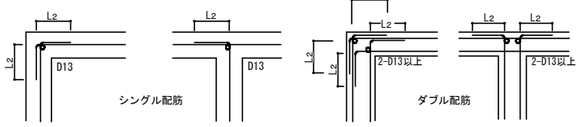


ⓑ 柱に（平面図）



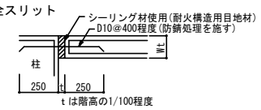
ⓒ 床に（非耐力壁とスラブが取り合う場合）

ⓓ 壁と壁（平面図）

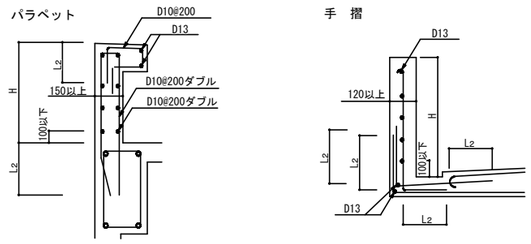


（2）スリット部（設計図に記入のあるとき）

完全スリット



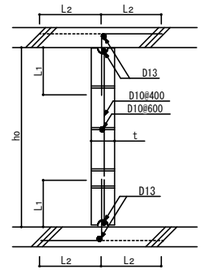
（3）手摺、パラペット



（但し、H＞８００以上の場合、設計図による）

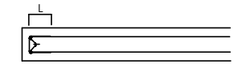
（4）コンクリートブロック帳壁

一般の場合



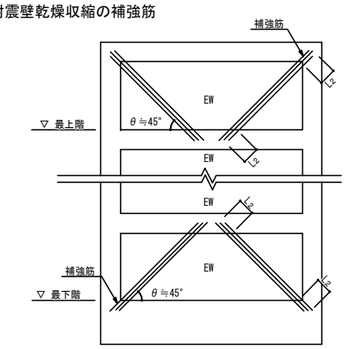
注）ho≦25 t かつ3500以下とする。但し直交方向25 t 以内に壁、又は柱がある場合は除く
注）hはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200≦h≦400
注）継手部は必ずモルタルを充填すること

（5）耐震壁端部の納まり



：鉄筋径および間隔は壁筋と同等、同ピッチ以上とし、壁筋に135°フックを設けた場合のＬは8ｄとする。
壁筋にフックを設けない場合のＬはＬ2とする。

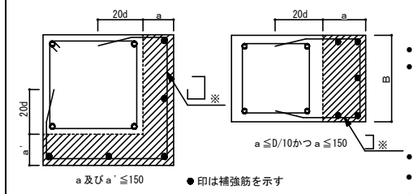
（6）連層耐震壁乾燥収縮の補強筋



注）補強筋はEW150の場合3-D13@100シングル
EW180～200の場合4-D13@100シングル
EW250以上の場合4-D16@100ダブルとする。

10．柱、梁増打コンクリート補強（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

（1）柱



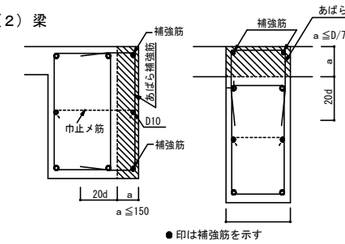
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- ハッチ部分の面積 A cm²

補強タテ筋

A＜500	500≦A＜1000
3-D16	4-D16

- 150以上の増打ちは図示による。
- 増打ち50以下は補強なし。
- ※柱HOOPと同径、同ピッチとする。

（2）梁

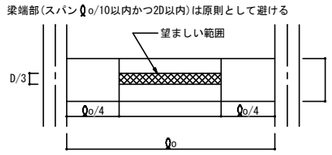


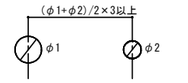
- 補強筋は、梁主筋の１段落し径（Ｄ１６以上）とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋Ｄ10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- B≧400の場合は補強筋を３本とする。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- 150以上の増打ちは図示による。
- 増打ち50以下は補強なし。

11．梁貫通孔補強　（開口補強筋については計算により確認すること）

（1）設置可能範囲

梁端部（スパンℓo/10以内かつ2D以内）は原則として避ける

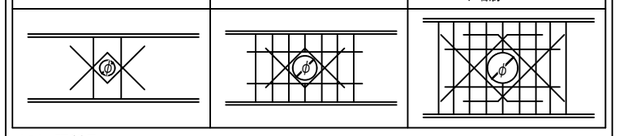




貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 鉄筋標準配筋　但しφ≦D/3とする

80≦φ≦100	100＜φ≦150	150＜φ≦250
折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13	折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13-100@ 横 筋 2-(2-D13)	折 筋 4-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13-100@ 横 筋 2-(2-D13) 上端筋 ST 2-D13 下端筋 ST 2-D13



（2）既製品　（指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

□製品名

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 鉄筋コンクリート構造 配筋標準図(3)	縮尺 A1: --- A3: ---	図面番号 S-05
		特記事項	特記事項	特記事項			

鉄骨構造標準図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと。

1.一般事項

(1) 材料及び検査

(a) 新構造設計特記仕様その１による。

(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。
但し、ベースプレートの厚さは除く。

(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。

(2) 工作一般

(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。

(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。

(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

(3) 高力ボルト接合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。

(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、50μmRz以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

(4) 溶接接合

(a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。

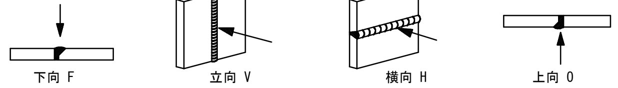
(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。

(c) 溶接機器

(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A
(ロ) アークエアーガウジング機(直流)
(ハ) サブマージアーク溶接機一式
(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ヘ) 溶接棒乾燥器

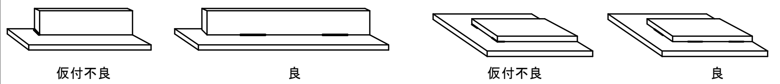
(d) 溶接方法
アーク手溶接(MC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)
ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
アークエアーガウジング(AAG)

(e) 溶接姿勢

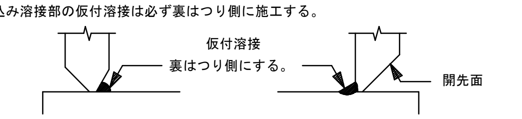


(f) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

(イ) 仮付位置
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。



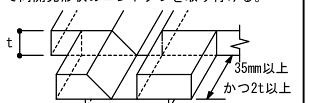
(g) 溶接施工

(イ)エンドタブ

Ⅰ)完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。

Ⅱ)エンドタブの材質は、母材と同質とする。

Ⅲ)エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、
溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
グラインダー仕上げとする。

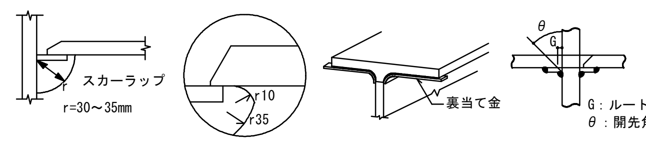


Ⅳ)プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者、又は工事監理者の承認を得る。

(ロ)裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。

(ハ)スカラップ 半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする。
但し梁成が D=150mm未満の場合はスカラップは r=20mmとする。

(ニ)ノンスカーラップ工法



(ホ)裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、アークエアガウジングを行った上で、部材に確認マークをつける

(ヘ)現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行なう

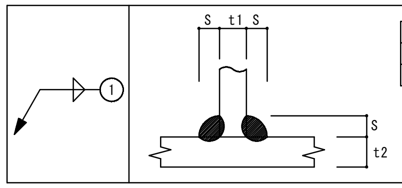
(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2.溶接規準図

(注)f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

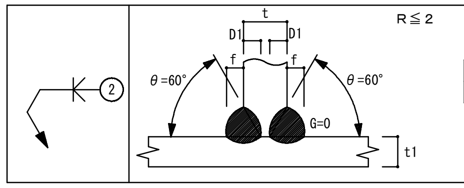
(1) 隅肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS=tとする
・tはt1、t2の小なる方とする
　余盛は(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)

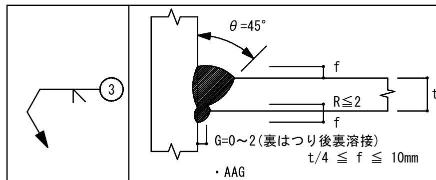


R≦2

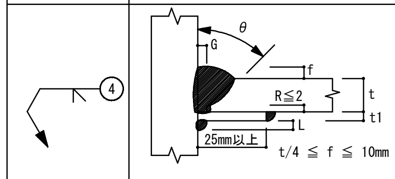
t/4 ≦ f ≦ 10mm
t≦t1

t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

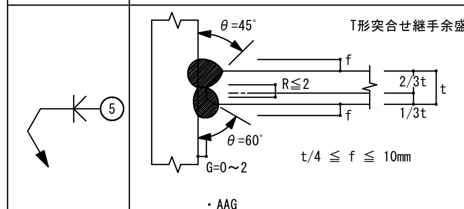
(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)



t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

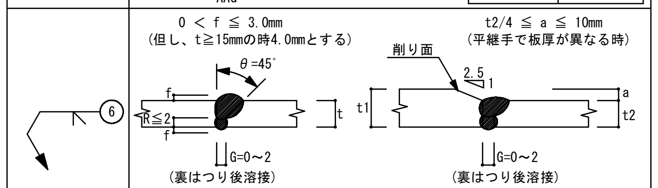


	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45	6	6	5
12≦t<16	35°	9	9	8	45	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

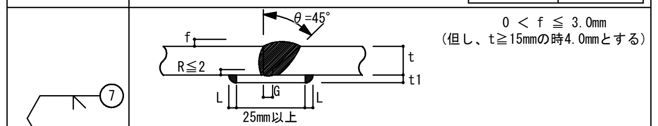


のど厚 tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
t<19	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V



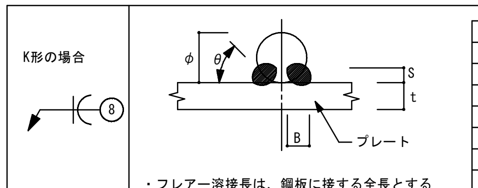
t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V



	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19<t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレアー溶接

K形の場合

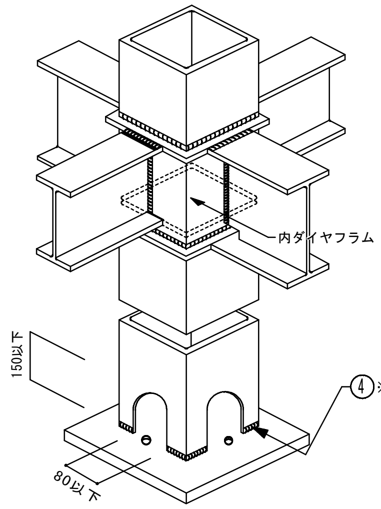


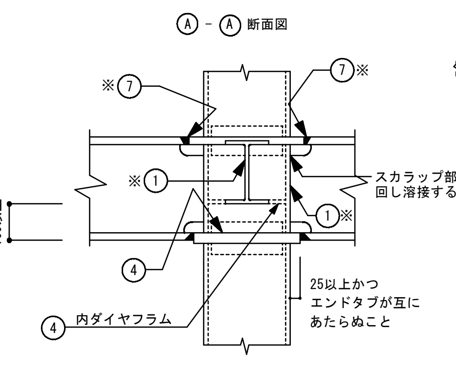
寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
　溶接棒角度θは30°～40°とする

※溶接記号番号を○の中に記入のこと

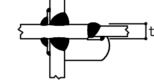
● BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

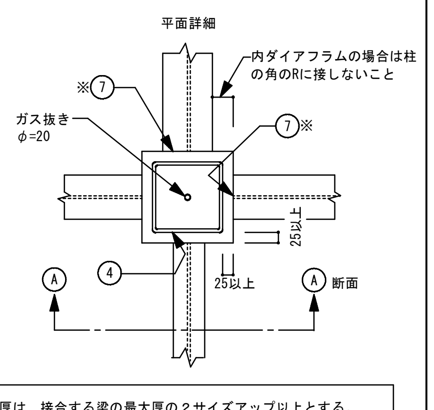




① ※ t>16mm場合の溶接は②・又は③～⑤とする。

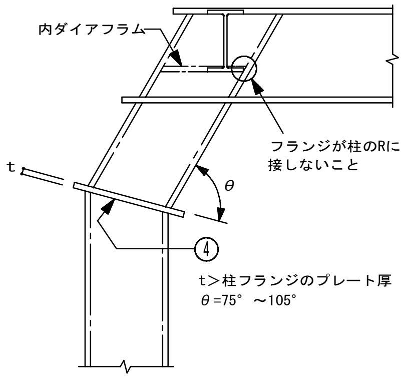
⑦ ※ はりフランジは、通しダイア
フラムの厚み(t)の内部で
溶接する事。

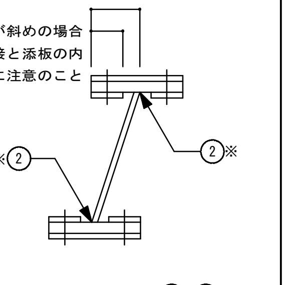




ダイアフラム厚は、接合する梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。
〈 柱材料：BCR295. BCP325を使用する場合 〉
ダイアフラムは、柱フランジ厚 16 mm未満の場合 SN490C SN490B
柱フランジ厚 16 mm以上の場合 SN490C を使用する。

●柱が途中で折れる場合、及梁成が異なる場合





② ※ t>16mm場合の溶接は、③～⑤とする。

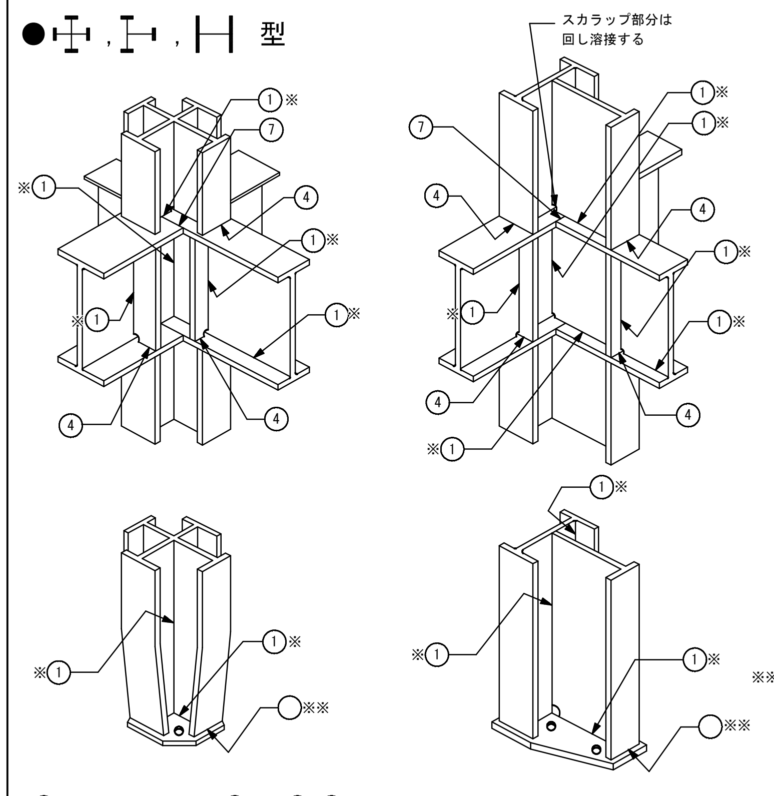
● 鋼材種別による溶接条件

溶接材料と入熱量・パス間温度

鋼材の種類	溶 接 材 料	入熱(KJ/cm)	パス間温度(℃)
400N級鋼	JIS Z 3212	40 以下	350 以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
	JIS Z 3315		
	YGW-50W、50P		
490N級鋼	JIS Z 3212	40 以下	350 以下
	YGW-11、15	30 以下	250 以下
	YGW-18、19	40 以下	350 以下
	JIS Z 3315	40 以下	350 以下
	YGW-50W、50P		

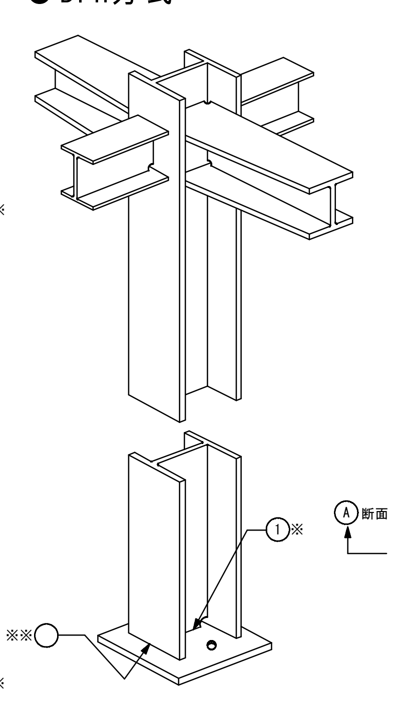
注) STKR,BCR,BCP材はJIS Z 3312、のみ使用可
「新構造設計特記仕様その1 6. 鉄骨工事(2)ロ認定または登録工場」の
グレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による。

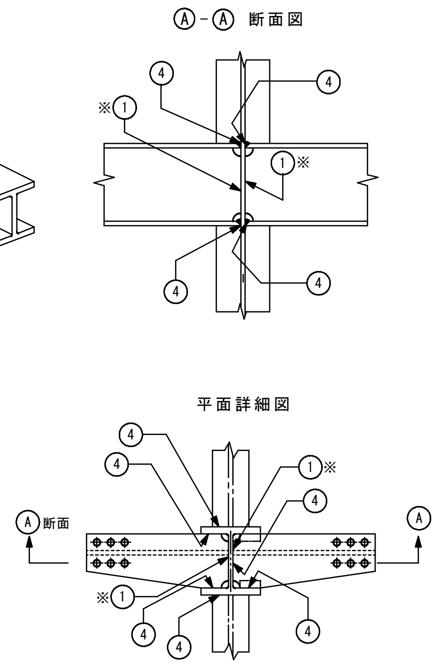
●╋，┣，┃┃ 型



① ※ t>16mm 場合の溶接は②・又は③～⑤とする。
○ ※ ※ 印は設計者が記入すること。

● B.H方式





① ※ t>16 mm場合の溶接は、③～⑤とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 鉄骨構造標準図(1)	縮尺 A1: --- A3: ---	図面番号 S-06
		特記事項	特記事項	特記事項			

鉄 骨 構 造 標 準 図 （2）

※修正箇所は下線を引くこと。

3. 継手規準図、その他

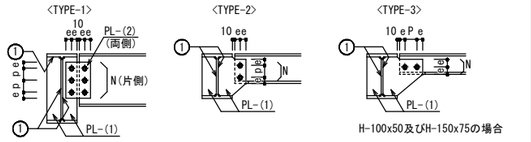
(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトピッチ(P)

ボルト穴径、最小縁端距離 (mm)

呼び径 d		ボルト穴径	最小縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ (p) 最小	標準
高力ボルト	M16	18	40	28	22	40	40	60
	M20	22	50	34	26	40	50	60
	M22	24	55	38	28	40	55	60
	M24	26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト（）内はボルトを示す	M16	21(16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25(20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27(22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29(24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M34以上	呼び径+5		9d／5	4d／3			

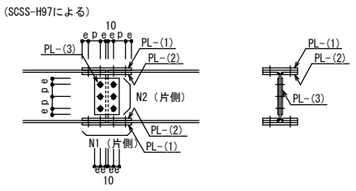
注）(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
	3	H-125x 60x 6x 8	6		2-M16
	3	H-150x 75x 5x 7	6		2-M16
	2	H-175x 90x 5x 8	6		2-M16
	2	H-200x100x5.5x 8	6		2-M16
	2	H-250x125x 6x 9	6		3-M16
	2	H-300x150x6.5x 9	9		3-M20
	2	H-350x175x 7x11	9		4-M20
	1	H-350x175x 7x11	9	6	4-M20
	2	H-400x200x 8x13	9		5-M20
	1	H-400x200x 8x13	9	9	4-M20

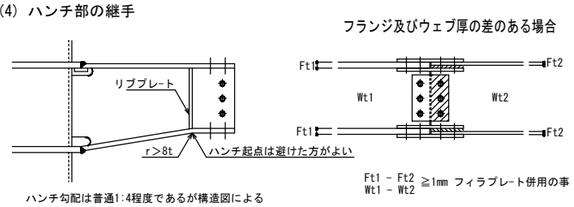
(3) 剛接合梁継手リスト (SCSS-H97による)



注）端部をBHとする場合の部材は設計図による。

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウェブ PL-(3)	N2-径

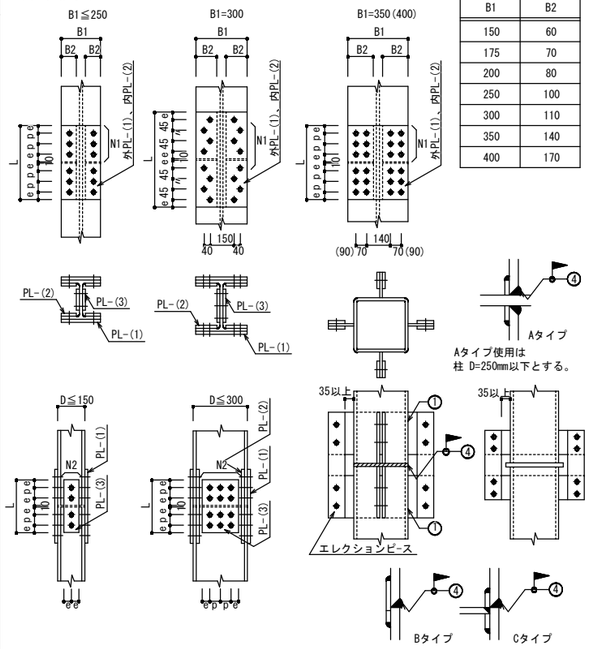
(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による
r：半径　t：板厚

Ft1 - Ft2 ≧1mm フィラプレート併用の事
Wt1 - Wt2

(5) 柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注)現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う。

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウェブ PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする… JIS A 5540…2008 / 5541…2008)

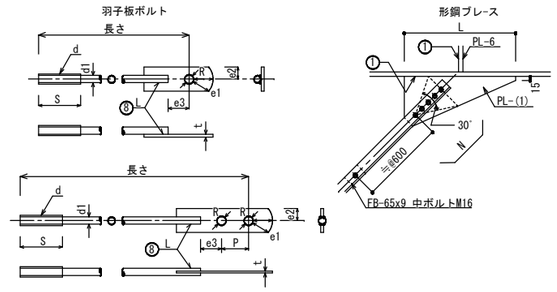
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M30
軸径 d1	最大	10.83	12.66	14.65	16.33	18.33	20.33	22.00	27.67
	最小	10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.17	21.69	27.42
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175	200
取付ボルト穴径 許容差 +0 . -0.5mm	R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5	23.5
はしあき(最小) (2)	e1	40	40	45	50	50	55	50	55
切板製 へりあき(最小)(1)	e2	28	28	28	34	34	38	38	45
切板製 板厚	t	6	6	6	9	9	9	9	12
平鋼製 へりあき(最小)(1)	e2	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5	45
平鋼製 板厚	t	5	6	6	9	9	9	9	12
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき(最小)	e3	52	52	59	66	66	73	70	83
溶接長さ(最小)	L	40	50	55	60	75	85	85	95
取付ボルト(2)	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト(F10T)							
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20	M22
	本数	1	1	1	1	1	1	2	2

注（1） e1,e2 が確保されていれば形状は自由でよい。
（2） 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする。

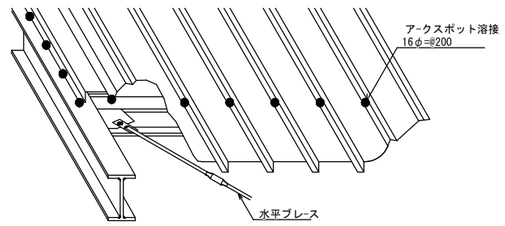
(b) 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	L

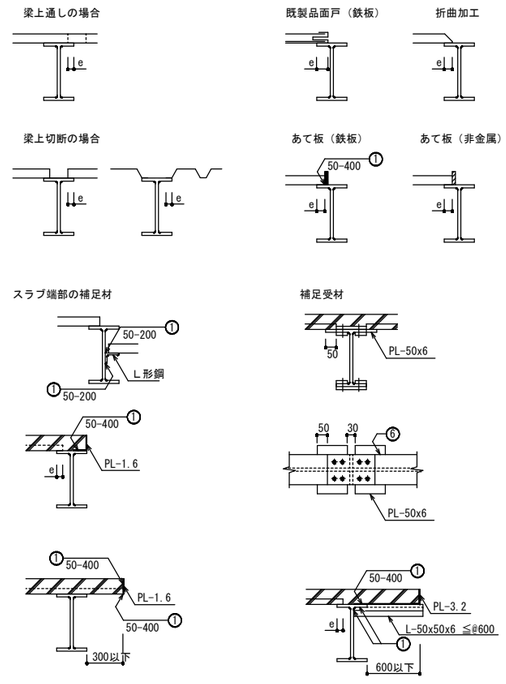


(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

梁との溶接およびコネクター

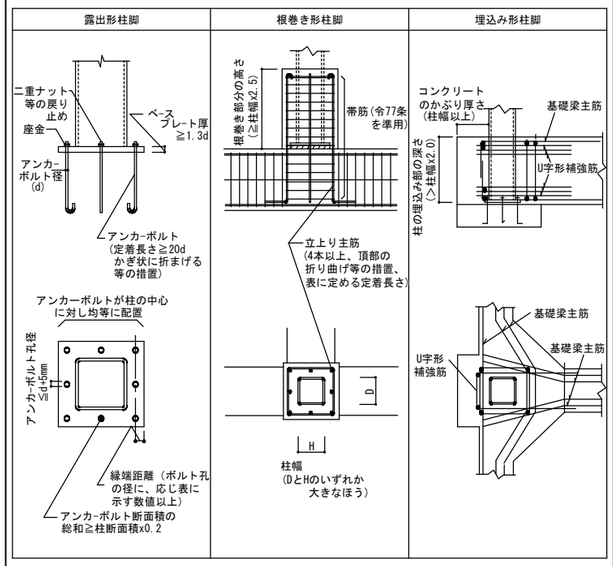


受梁へのかかり寸法及び端部処理　e≧35mm



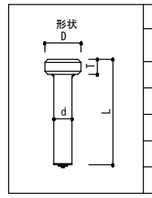
(8) 柱脚

注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造型式
※　構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220. JIS B 1221を使用する。



(9) 頭付きスタッド (JIS B 1198−2011)

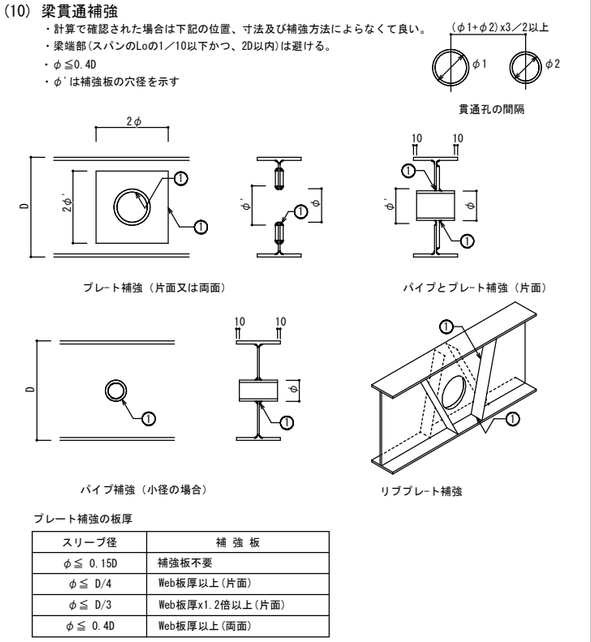
スタッド材の標準形状・寸法



スタッド材 呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13	25	8	□80 □100 □120 □
φ16mm	16	29	8	□80 □100 □120 □
φ19mm	19	32	10	□80 □100 □120 □150 □
φ22mm	22	35	10	□80 □100 □120 □150 □
φ25mm	25	41	12	□120 □150 □170 □

(10) 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下記の位置、寸法及び補強方法によらなくて良い。
・梁端部(スパンのLoの1／10以下かつ、2D以内)は避ける。
・φ≦0.4D
・φ'は補強板の穴径を示す



プレート補強の板厚

スリーブ径	補強板
φ≦ 0.15D	補強板不要
φ≦ D/4	Web板厚以上(片面)
φ≦ D/3	Web板厚x1.2倍以上(片面)
φ≦ 0.4D	Web板厚以上(両面)

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 鉄骨構造標準図(2)	縮尺 A1: --- A3: ---	図面番号 S-07
		特記事項	特記事項	特記事項			

地盤置換工法『コロンブス$^{+}$』特記仕様書

技術審査証明　BL審査証明-054

1，工法概要

本工法は、基礎下地盤を掘削し、軽量地盤（ジオフォーム）に置換え軽量地盤を構築する。
置換される土や盛土との比重差分、増加応力を軽減し建物の沈下を抑制する。
軽量地盤は、建築設計図に表記ある資料を確認し、物性の規格と数量、形状を設計されたものを使用する。
施工は、ジオフォーム施工図と施工手順書に従って関連する工事と連係して工事を行う。

使用する材料の物性、規格、強度

［表－１］軽量地盤材の物性・規格

主な効果	荷重軽減（軽量盛土・かさ上げ）			
材料名	ジオフォームＥＰＳ ブレカット品			
単位体積重量 (kg/m³)	３０	２５	２０	１６
密　度 (kg/m³) ※１	３０ ±2.0	２５ ±1.5	２０ ＋1.5 －1.0	１６ ±1.0
許容圧縮強さ (kN/m²) ※２、３	９０．０	７０．０	５０．０	３５．０

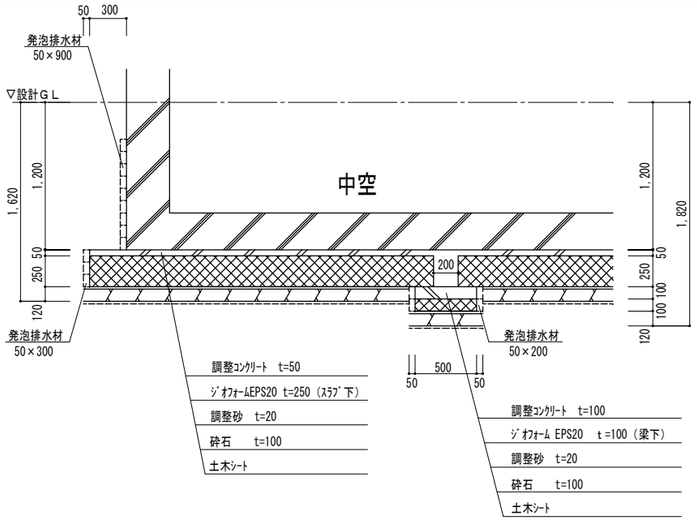
※1 試験方法 JIS K7222　※2 試験方法 JIS K7220 ※3 地震時は許容圧縮応力度の割増係数　1.5

［表－２］耐油耐薬品性

薬品の種類	反　応	薬品の種類	反　応
塩　　酸	○	無　機　塩	○
硫　　酸	○	セ　メ　ン　ト	○
硝　　酸	○	海　　水	○
水酸化ナトリウム	○	アスファルト	×※1
水酸化カリウム	○	Ｌ　Ｐ　Ｇ	○
動・植物油	○	Ｌ　Ｎ　Ｇ	○
ガ ソ リ ン	×	水性塗料	○
重　　油	△	油性塗料	×
グ リ ー ス	○	消　毒　液	△
脂肪族炭化水素	△	肥料（N、P、K）	○
芳香族炭化水素	×	除　草　剤	○※2
ハロゲン族炭化水素	×	殺　虫　剤	○※2
ケ ト ン 類	×	殺　菌　剤	○※2
エ ス テ ル 類	×	エ ー テ ル 類	○

（○：安定　△：膨潤　×：溶解　※1：粘度が低い場合　※2：希釈状態）

2，軽量地盤設計



２．２　軽量地盤材

部位	厚さ (mm)	材料名	密度 (kg/m³)	圧縮強さ (kN/m²)	使用材料
スラブ下	２５０	ジオフォームＥＰＳ	１６	３５．００	
			２０	５０．００	○
			２５	７０．００	
			３０	９０．００	
梁下	１００	ジオフォームＥＰＳ	１６	３５．００	
			２０	５０．００	○
			２５	７０．００	
			３０	９０．００	

その他材料	厚さ	強度
土木ｼｰﾄ	0.2mm以上	引張　1000N/5cm(kg)
調整コンクリート	30mm以上	FC-18

３，一般事項

工事実施前に、施工計画書を工事監理者に提出する。
施工計画書：施工業者は、敷地条件を考慮した計画の作成。
施工管理・品質管理・安全管理・工程管理を行う。

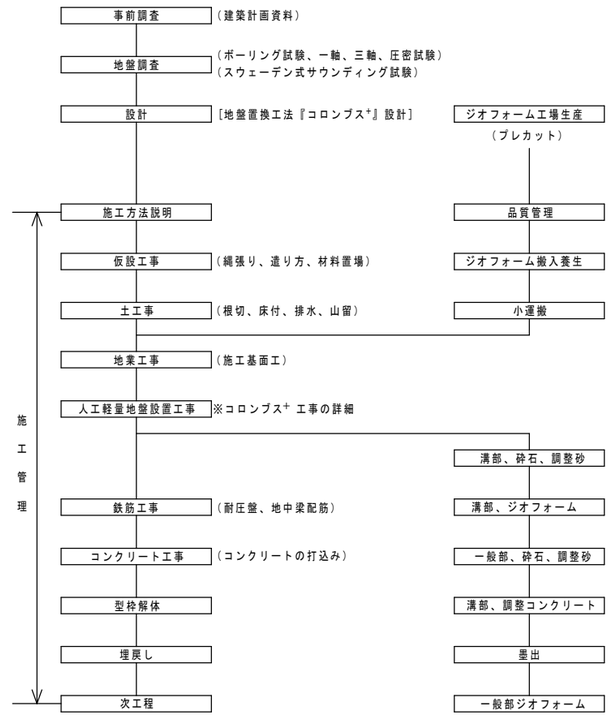
施工計画書には下記の事項を具体的に記述する。

施工計画書記述事項

記述事項	記述内容
工事概要	工事名称、工事場所、受注形態、工程表
現場組織表	施工組織をフロー形状に示す
施工方法	施工フローチャート、施工準備手順、材料搬入計画
施工管理	施工管理基準と施工管理手法、工程管理、工事写真管理
品質管理	品質検査の方法及び不適合管理方法、管理記録
安全衛生管理	安全管理体制、施工環境による留意点、重点施策等

４，施工要領

施工に関しては、［図－１］に関連フローを含めた施工フローを示す。
施工上の注意事項を［表－３］に示す。



［図－１］地盤置換工法『コロンブス$^{+}$』関連工事を含めたフロー

［表－３］施工上の注意事項

項　目	注意事項
雨天時	基面に水が浮く雨天時、降雪時の施工は作業中止とする。
排水計画	湧水、降雨などによって軽量地盤材が浮上がらないように釜場を設け排水をする。
強風時	強風時は軽量地盤材が飛散しないよう固定またはネットなどで被っておく。
火　気	施工時の火気、ストックヤードにおいての火気使用は厳禁とする。やむを得ず、使用する場合は現場責任者の許可を得る。
気　温	軽量地盤敷設気温は特に定めない。
養　生	施工が完了した区域は十分な養生を行い、軽量地盤材が損傷を受けないようにする。 ・鉄筋工事に使用するスラブ・梁下用スペーサーには十分な強度・面積を有するプレートを取付け、軽量地盤材を保護しなければならない。

５，施工管理記録

施工者は、担当検査員から『コロンブス$^{+}$』に関する、管理並びに施工方法の指導を受け、検査報告書①に記載し、担当検査員に提出する。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	地盤改良特記仕様書	縮尺	A1:--- A3:---	図面番号	S-08
		特記事項	特記事項	特記事項						

ベースパック

角形鋼管

□-150×150 ～ □-800×800 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0335-01」（2024年1月26日付）

ベースパック柱脚工法　設計施工標準図

1／3

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

●本標準図は1／3～3／3で構成されている。 ※3／3は省略

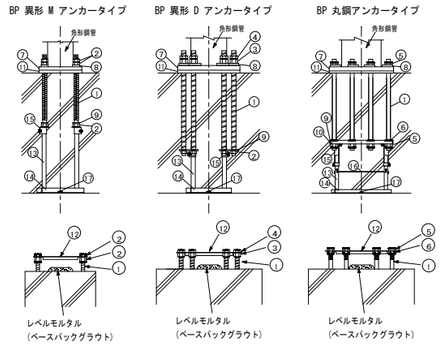
岡部株式会社　TEL：03（3624）5336

旭化成建材株式会社　TEL：03（3296）3515

2025年11月作成

1．工法概要

1．1 構成部材

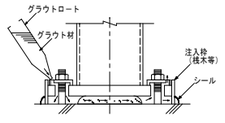


①アンカーボルト
②BP M ナット
③BP D ナット
④BP D ナット(S)
⑤BP 丸鋼ナット
⑥BP 位置決めナット
⑦ベースプレート
⑧BP 注入座金
⑨BP 定着板/BP 連結定着板
⑩BP 定着ベルト
⑪ベースパックグラウト
⑫テンプレート
⑬フレームポスト
⑭フレームベース
⑮BP 受け金物
⑯振れ止め金物
⑰ステコンアンカー

(注)上記①～⑪の構成部材はベースパック構成部品として供給される。

(注)上記⑫～⑰は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1．2 柱脚の定着方法概要



2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
	SHC400	
295	BCR295	○
	JBCR295	
	TSC295	
325	BCP325	
	STKR490	
	SHC490	
	BSH325	
365	UBCR365	
385	JBCR385	
	BCP385	

3．構成部材・寸法

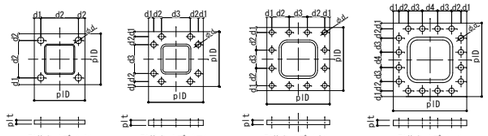
3．1 ベースプレート

●材質

SN490B【JIS G 3136】、TMCP385B【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

●形状寸法

仕様毎の各寸法は、「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」に記載の値とする。

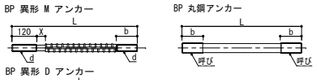


3．2 アンカー用ボルトセット

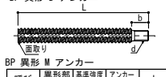
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

3．2．1 アンカーボルト

BP 異形 M アンカー　BP 丸鋼アンカー



BP 異形 D アンカー



BP 異形 M アンカー　単位 mm

呼び	異形部呼び	基準強度(N/mm²)	アンカーボルト本数	L	X	b
M027	D29	490	4	650	45	128
M030	D32	490	4	695	45	133
			8	665		50
M033	D35	490	4	690, 735	45	95, 140
			8	700		50
M036	D38	490	4	770	60	130
			8	830		50
M039	D41	490	4	770, 810	60	98, 135

BP 異形 D アンカー　単位 mm

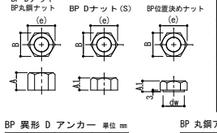
呼び	基準強度(N/mm²)	L	b	端部ねじd
D35H	490	875	55	M30
D38H	490	1030	60	M33
D41H	490	1085	60	M36
D51L	390	1110	70	M45
D51H	490	1220		

BP 丸鋼アンカー　単位 mm

呼び	基準強度(N/mm²)	L	b
M48	600	1100	140
M52	600	1195	155
M56	600	1275, 1395	160
M60	600	1350, 1475	170
M64	600	1430, 1495	175

3．2．2 ナット

BP Mナット
端部ナット
BP Dナット
BP丸鋼ナット



BP 異形 M アンカー(BP Mナット)
BP 異形 D アンカー(端部ナット)　単位 mm

呼び	ナット呼び	A	B	(e)
M027	M27	22	41	47
M030	M30	24	46	53
D35H				
M033	M33	26	50	58
D38H				
M036	M36	29	55	64
D41H				
M039	M39	31	60	69
D51L	M45	36	70	81
D51H				

BP 異形 D アンカー　単位 mm

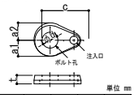
呼び	BPナット	BPナット(S)	B	(e)
	A	A1		
D35H	42	28	60	69
D38H	45	30	65	75
D41H	48	32	70	80
D51L D51H	60	40	80	92

BP 丸鋼アンカー　単位 mm

呼び	BP丸鋼ナット	BP位置決めナット	B	(e)	dw
	A	A1			
M48	38	29	75	87	59
M52	42	31	80	92	59
M56	45	34	85	98	74
M60	48	36	90	104	74
M64	51	38	95	110	74

3．2．3 BP 注入座金

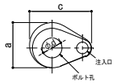
BP 異形 M アンカー



単位 mm

記号	a1	a2	c	t	Φd
PM27	32	42	101	18	28
PM30	32	42	101	18	31
PM33	35	45	110	18	34
PM36	35	45	110	18	37
PM39	38	48	118	18	40

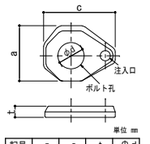
BP 異形 D アンカー



単位 mm

記号	a	c	t	Φd
PE35	86	118	18	40
PE38	90	125	22	43
PE41	96	128	22	46
PE51	116	147	22	58

BP 丸鋼アンカー



単位 mm

記号	a	c	t	Φd
PA48	102	133	22	49
PA52	110	140	22	53
PA56	116	147	22	58
PA60	122	153	22	61
PA64	128	159	22	65

3．3 定着部材

3．3．1 BP 定着ベルト

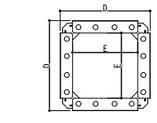
BP 異形 D アンカー12本仕様　単位 mm

ベースパック記号	D	E
35-25F3	565	365
35-19F4, 35-22F4	575	375
40-22F3, 40-16F4	625	425
40-25F3, 40-19F4, 40-22F4	630	430
45-19F3, 45-16F4	675	475
45-22F3, 45-19F4	680	480
45-25F3	700	500
45-28F3, 45-22F4, 45-25F4	714	514
50-19F3	730	530
50-22F3	750	550
50-25F3, 50-28F3, 50-32F3 50-36F3, 50-19F4, 50-22F4 50-25F4, 50-28F4	774	574
55-19F3	790	590
55-22F3, 55-25F3, 55-28F3 55-19F4, 55-22F4	814	614

BP 丸鋼アンカー12本仕様　単位 mm

ベースパック記号	D	E
55-32F3, 55-25F4	885	625
55-36F3, 55-40F3, 55-28F4, 55-32F4	899	639
60-19F3	895	695
60-22F3, 60-19F4	905	645
60-25F3	915	655
60-28F3, 60-22F4	925	665
60-32F3, 60-25F4	939	679
60-36F3, 60-40F3, 60-28F4, 60-32F4	953	663
65-22F3	935	675
65-25F3	975	715
65-28F3, 65-22F4, 65-25F4	989	729
65-32F3, 65-36F3, 65-28F4	1003	713
70-22F3	1015	755
70-25F3, 70-22F4	1029	769
70-28F3	1049	789
70-32F3, 70-25F4	1063	773
75-22F3, 75-25F3	1089	829
75-28F3, 75-22F4	1103	813

BP 丸鋼アンカー16本仕様

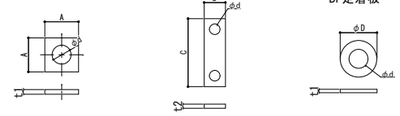


単位 mm

ベースパック記号	D	E
65-40F3, 65-32F4	1047	757
70-36F3, 70-28F4	1097	807
70-40F3, 70-32F4	1105	795
75-32F3, 75-25F4	1177	887
75-36F3, 75-40F3, 75-28F4, 75-32F4	1215	905
80-25F3	1178	918
80-28F3	1197	907
80-32F3, 80-36F3, 80-25F4, 80-28F4	1265	955

3．3．2 BP 定着板

アンカーボルト4本タイプ BP定着板　アンカーボルト8本タイプ BP連結定着板　アンカーボルト 12、16本タイプ BP定着板



BP 異形 Mアンカー　単位 mm

呼び	BP定着板(4本タイプ)				BP連結定着板			
	A	Φd	t1	B	C	Φd	t2
MD27	55	28	9				
MD30	55	31	9	50	163	31	6
MD33	60	34	9	61	174	34	6
MD36	65	37	12	67	180	37	6
MD39	80	40	12	–	–	–	–

BP 異形 Dアンカー　単位 mm

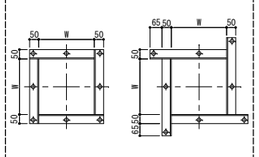
呼び	BP連結定着板				BP定着板(12本タイプ)		
	B	C	Φd	t2	ΦD	Φd	t1
D35H	61	195	31	12	–		–
D38H	65	199	34	12	65	34	6
D41H	72	206	37	12	70	37	6
D51L, D51H	–	–			84	46	9

BP 丸鋼アンカー　単位 mm

呼び	BP定着板(12本タイプ)			BP定着板(16本タイプ)		
	ΦD	Φd	t1	ΦD	Φd	t1
M48	95	60	6	–	–	–
M52	95	60	9	–	–	–
M56	105	75	12	118	75	12
M60	119	75	16	137	75	16
M64	133	75	16	145	75	22

3．4 フレームベース

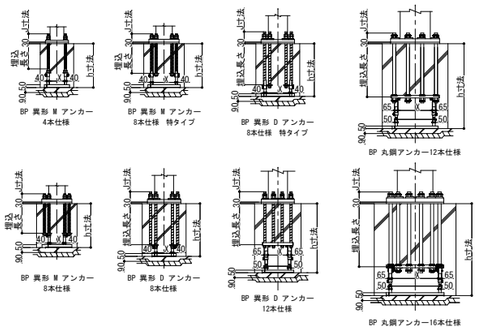
wは3.5に記載のフレームベース内法寸法とする。



3．5 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。

据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は「ベースパック柱脚工法設計施工標準図2／3、3／3」に記載の値とする。



単位 mm

ベースパック記号	フレームベース内法寸法W 標準	特タイプ	フレームポスト間寸法X 標準	特タイプ
15-12F2	250	–	170	–
17-12F2	280	–	200	–
20-09F2	310	–	230	–
20-12F2	310	–	230	–
25-09F2	360	–	280	–
25-12F2	370	–	290	–
25-16F2	222	385	142	305
30-09F2	420	–	340	–
30-12F2	300	447	220	367
30-16F2	288	459	208	379
30-19F2	318	489	238	409
35-12F2	337	500	257	420
35-16F2	367	530	287	450
35-19F2	344	513	264	433
35-22F3	339	518	259	438
35-25F3	476	–	367	–
40-16F3	414	583	334	503
40-19F3	409	588	329	508
40-22F3	536	–	427	–
40-25F3	541	–	432	–
45-16F3	459	638	379	558
45-19F3	596	–	477	–
45-22F3	591	–	482	–
45-25F3	611	–	502	–
45-28F3	608	–	499	–
50-19F3	641	–	532	–
50-22F3	661	–	552	–
50-25F3	668	–	559	–
50-28F3	668	–	559	–
50-32F3	668	–	559	–
50-36F3	668	–	559	–
55-19F3	701	–	592	–
55-22F3	708	–	599	–
55-25F3	708	–	599	–

単位 mm

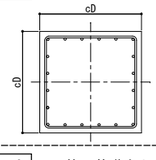
ベースパック記号	フレームベース内法寸法W 標準	特タイプ	フレームポスト間寸法X 標準	特タイプ
55-28F3	708	–	599	–
55-32F3	737	–	628	–
55-36F3	737	–	628	–
55-40F3	737	–	628	–
60-19F3	785	–	676	–
60-22F3	757	–	648	–
60-25F3	767	–	658	–
60-28F3	777	–	668	–
60-32F3	777	–	668	–
60-36F3	771	–	662	–
60-40F3	771	–	662	–
65-22F3	787	–	678	–
65-25F3	827	–	718	–
65-28F3	827	–	718	–
65-32F3	821	–	712	–
65-36F3	821	–	712	–
65-40F3	955	–	846	–
70-22F3	867	–	758	–
70-25F3	867	–	758	–
70-28F3	887	–	778	–
70-32F3	881	–	772	–
70-36F3	1005	–	896	–
70-40F3	1005	–	896	–
75-22F3	927	–	818	–
75-25F3	927	–	818	–
75-28F3	921	–	812	–
75-32F3	1085	–	976	–
75-36F3	1115	–	1006	–
75-40F3	1115	–	1006	–
80-25F3	1105	–	996	–
80-28F3	1105	–	996	–
80-32F3	1165	–	1056	–
80-36F3	1165	–	1056	–

単位 mm

ベースパック記号	フレームベース内法寸法W 標準	特タイプ	フレームポスト間寸法X 標準	特タイプ
35-16F4	339	518	259	438
35-19F4	486	–	377	–
35-22F4	486	–	377	–
40-16F4	536	–	427	–
40-19F4	541	–	432	–
40-22F4	541	–	432	–
45-16F4	586	–	477	–
45-19F4	591	–	482	–
45-22F4	608	–	499	–
45-25F4	608	–	499	–
50-19F4	658	–	559	–
50-22F4	668	–	559	–
50-25F4	668	–	559	–
50-28F4	668	–	559	–
55-19F4	708	–	599	–
55-22F4	708	–	599	–
55-25F4	737	–	628	–
55-28F4	737	–	628	–
55-32F4	737	–	628	–
60-19F4	757	–	648	–
60-22F4	777	–	668	–
60-25F4	777	–	668	–
60-28F4	771	–	662	–
60-32F4	771	–	662	–
65-22F4	827	–	718	–
65-25F4	827	–	718	–
65-28F4	821	–	712	–
65-32F4	955	–	846	–
70-22F4	867	–	758	–
70-25F4	881	–	772	–
70-28F4	1005	–	896	–
70-32F4	1005	–	896	–
75-22F4	921	–	812	–
75-25F4	1085	–	976	–
75-28F4	1115	–	1006	–
75-32F4	1115	–	1006	–
80-25F4	1165	–	1056	–
80-28F4	1165	–	1056	–

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質



●コンクリート

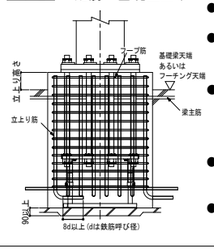
普通コンクリートとし、設計基準強度は36N/mm²を上限とする。設計基準強度の下限は「ベースパック柱脚工法設計施工標準図2／3、3／3」に記載の値とする。

●鉄筋

立上り筋：SD295(D16)、SD345(D19,D22,D25)、SD390(D29)

フープ筋：SD295

4．2 配筋・基礎立上り



●立上り筋の下部折り曲げは8d以上とする。

●立上り筋の下部折り曲げは梁下端筋より下方に配筋する。

● 立上り高さは、50mm以下とする。
ただし、BP丸鋼アンカータイプは200mm以下とする。

●立上り筋の頂部にはフックをもうけなくてよい。

●柱型頂部のフープ筋（トップフープ）は、基礎梁主筋より上方へ配置する。

4．3 特記事項

4.1及び4.2によらない場合は下記による。

採用

□ 鉄筋コンクリート柱として設計

□ 立上り筋に頂部フックが必要

□ 立上り筋の下部折り曲げ不要

5．工場製作（溶接）

■組立

●ベースプレートの中心に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）

●完全溶込み溶接とする。
（JASS6 鉄骨工事による）

■ベースプレートの予熱

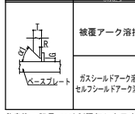
●気温（鋼材表面温度）が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。
その他必要に応じて適切な予熱をする。

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
探傷は柱側から行う。

■不良溶接部の補正：有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。

■施工管理：7.本工法の施工及び施工管理参照。

完全溶込み溶接の開先標準（JASS6 鉄骨工事 2018年版より）

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度α1(°) 標準値	開先角度α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α：35		

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

溶接方法	鋼種	板厚（mm） t＜32	32≦t≦50	50＜t≦85
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50℃	—
CO_2ガスシールドアーク溶接※1	SN490B	予熱なし	予熱なし	—
低水素系被覆アーク溶接	TMCP385B※2	—	50℃	50℃
CO_2ガスシールドアーク溶接※1	TMCP385B※2	—	予熱なし	予熱なし

※1 フラックス入りワイヤによる炭酸ガスシールドアーク溶接の予熱温度は、被覆アーク溶接（低水素）に準じる。

※2 「建築構造用TMCP鋼材溶接施工指針(2021)に準拠し、TMCP385Bは上記予熱温度の適用に当たり、各メーカーのy形溶接割れ試験(JIS Z 3158による)の実績または溶接施工指針を確認している。

6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨てコンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルトの据付け

●4本及び8本タイプのアンカーボルトの据付けは、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立を行う。
12本及び16タイプのアンカーボルトの据付けは、予め捨てコン上にセットされたフレーム上に、定着部材・アンカーボルト・テンプレート等でアンカーユニットを組立て、フレームに固定する。

●フレームベースは、ステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心位置と地墨等の柱心を合致させることにより行う。標準許容差は下図による。

6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーフレームもしくはアンカーユニットおよびフレームとの取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

●レベルモルタル施工は、ベースパックグラウト（グラウト材）を使用し、大きさは下図による。

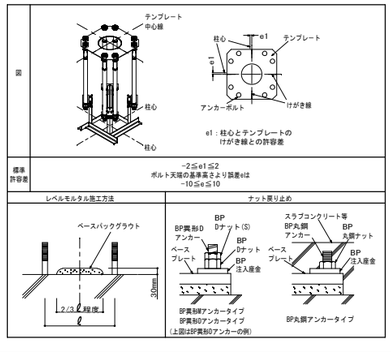
6．5 アンカーボルトの本締め（戻り止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、BP 異形 M アンカー、BP 異形 D アンカータイプはダブルナットを標準とする。
BP 丸鋼アンカータイプはBP 丸鋼ナットによるシングルナットを標準とし、コンクリートに埋込む等の戻り止め処置を行う。

6．6 ベースパックグラウト（グラウト材）の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋（25kg）に対して、計量カップで4.0～4.6ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。



7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6．2アンカーボルトの据付けおよび6．6ベースパックグラウト（グラウト材）の注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作作業者に属する鉄骨制作管理技術者等による。

ベースパック	角形鋼管 □-150×150 ～ □-800×800 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0335-01」（2024年1月26日付）

ベースパック柱脚工法　設計施工標準図　2／3

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図は１／３～３／３で構成されている。 ※３／３は省略

岡部株式会社 TEL:03（3624）5336　旭化成建材株式会社 TEL:03（3296）3515

2025年9月作成

採用		RC柱	ベースパック	柱		ベースプレート									アンカーボルト			コンクリート柱型（側・隅柱、中柱用）※2																コンクリート柱型（独立柱用）※2										最低	J寸法
柱符号	数量	として設計※1	記号	外径	板厚	材質	形状	寸法							本数	呼び	埋込長さ	Fc	標準断面	柱型拡幅上限※3		フープ筋	立上り筋本数										Fc	標準断面	柱型拡幅上限※3		フープ筋	立上り筋本数					h寸法	
							タイプ	plD	plt	d1	d2	d3	d4	φd				下限値	寸法cD	断面寸法	片側拡幅量		側・隅柱用※4					中柱用※5					下限値	寸法cD	断面寸法	片側拡幅量								
																							D16	D19	D22	D25	D29	D16	D19	D22	D25	D29						D16	D19	D22	D25	D29		
			mm	mm			mm	mm		mm	mm	mm	mm	mm			mm	N/mm²	mm	mm	mm	(SD295)	(SD295)	(SD345)	(SD345)	(SD345)	(SD390)	(SD295)	(SD345)	(SD345)	(SD345)	(SD390)	N/mm²	mm	mm	mm	(SD295)	(SD295)	(SD345)	(SD345)	(SD345)	(SD390)	mm	mm
		□	15-12F2	□150	≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	–	–	45	4	MD27	357	21	500	–	–	D13@100	12	–	–	–	–	12	–	–	–	–	21	500	–	–	D13@100	12	–	–	–	–	550	135
		□	17-12F2	□175	≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	–	–	45	4	MD30	397	21	530	–	–	D13@100	12	–	–	–	–	12	–	–	–	–	21	530	–	–	D13@100	12	–	–	–	–	600	135
C1	4	□	20-09F2	□200	≦9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	–	–	45	4	MD30	397	21	560	–	–	D13@100	16	12	–	–	–	16	12	–	–	–	21	560	–	–	D13@100	16	12	–	–	–	600	135
		□	20-12F2	□200	≦12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	–	–	50	4	MD33	430	21	560	–	–	D13@100	16	12	–	–	–	16	12	–	–	–	21	560	–	–	D13@100	16	12	–	–	–	600	135
C2	13	□	25-09F2	□250	≦9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	–	–	55	4	MD36	460	21	610	–	–	D13@100	–	16	12	12	–	–	12	12	12	–	21	610	–	–	D13@100	–	16	12	12	–	650	150
		□	25-12F2	□250	≦12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	–	–	55	4	MD39	495	21	630	–	–	D13@100	–	16	12	12	–	–	12	12	12	–	21	630	–	–	D13@100	–	20	12	12	–	650	150
		□	25-16F2	□250	≦16	SN490B	(ロ)	450	32	50	80	190	–	50	8	MD33	485	21	650	–	–	D13@100	–	–	–	20	–	–	20	16	12	–	21	730	–	–	D13@100	–	–	24	16	–	610	135
		□	30-09F2	□300	≦9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	–	–	55	4	MD39	495	21	680	–	–	D13@100	–	16	12	12	–	–	16	12	12	–	21	680	–	–	D13@100	–	–	12	12	–	650	150
		□	30-12F2	□300	≦12	SN490B	(ロ)	520	32	50	80	260	–	50	8	MD30	450	21	700	720	10	D13@100	–	–	16	16	–	–	16	12	12	–	21	710	720	5	D13@100	–	–	24	16	–	570	135
		□	30-16F2	□300	≦16	SN490B	(ロ)	520	40	50	80	260	–	55	8	MD36	600	21	730	–	–	D13@100	–	–	–	20	–	–	24	16	16	–	21	770	–	–	D13@100	–	–	–	24	–	720	150
		□	30-19F2	□300	≦19	SN490B	(ロ)	550	50	50	80	290	–	55	8	MD36	600	21	760	–	–	D13@100	–	–	–	20	–	–	24	16	16	–	21	790	–	–	D13@100	–	–	–	24	–	720	150
		□	35-12F2	□350	≦12	SN490B	(ロ)	580	36	50	95	290	–	55	8	D35H	620	21	810	–	–	D13@100	–	–	–	20	–	–	–	20	16	–	21	840	–	–	D13@100	–	–	–	28	–	750	170
		□	35-16F2	□350	≦16	SN490B	(ロ)	610	45	50	95	320	–	55	8	D35H	620	21	830	–	–	D13@100	–	–	–	20	–	–	–	20	16	–	21	870	–	–	D13@100	–	–	–	28	–	750	170
		□	35-19F2	□350	≦19	SN490B	(ロ)	610	45	60	95	300	–	60	8	D38H	750	21	820	1090	135	D13@100	–	–	24	20	–	–	–	20	16	–	21	880	1090	105	D13@100	–	–	–	20	–	880	190
		□	35-22F3	□350	≦22	TMCP385B	(ロ)	610	45	60	95	300	–	65	8	D41H	800	21	850	1090	120	D13@100	–	–	24	20	–	–	–	24	20	–	21	910	1090	90	D13@100	–	–	24	20	–	930	195
		□	35-25F3	□350	≦25	TMCP385B	(ホ)	600	50	60	160	160	–	60	12	D38H	750	21	850	1080	115	D16@100	–	–	24	20	–	–	–	24	20	–	21	910	1080	85	D16@100	–	–	28	20	–	1090	190
		□	40-16F3	□400	≦16	TMCP385B	(ロ)	670	45	55	95	370	–	60	8	D38H	750	21	870	1160	145	D13@100	–	–	24	20	–	–	–	24	20	–	21	910	1160	125	D13@100	–	–	24	20	–	880	190
		□	40-19F3	□400	≦19	TMCP385B	(ロ)	680	50	60	95	370	–	65	8	D41H	800	21	900	1160	130	D13@100	–	–	28	20	–	–	–	28	20	–	21	950	1160	105	D13@100	–	–	28	20	–	930	195
		□	40-22F3	□400	≦22	TMCP385B	(ホ)	650	55	55	160	220	–	60	12	D38H	750	21	920	1140	110	D16@100	–	–	28	20	–	–	–	28	20	–	21	970	1140	85	D16@100	–	–	28	24	–	1090	190
		□	40-25F3	□400	≦25	TMCP385B	(ホ)	670	55	65	160	220	–	65	12	D41H	800	21	970	1140	85	D16@100	–	–	32	24	–	–	–	32	24	–	21	1000	1140	70	D16@100	–	–	32	24	–	1140	195
		□	45-16F3	□450	≦16	TMCP385B	(ロ)	740	45	65	95	420	–	65	8	D41H	800	21	950	1210	130	D16@100	–	–	24	20	–	–	–	24	20	–	21	950	1210	130	D16@100	–	–	28	20	–	930	195
		□	45-19F3	□450	≦19	TMCP385B	(ホ)	710	45	60	160	270	–	60	12	D38H	750	21	1000	1190	95	D16@100	–	–	28	24	–	–	–	28	20	–	21	1020	1190	85	D16@100	–	–	28	24	–	1090	190
		□	45-22F3	□450	≦22	TMCP385B	(ホ)	710	50	60	160	270	–	65	12	D41H	800	21	1010	1190	90	D16@100	–	–	32	24	–	–	–	32	24	–	21	1080	1190	55	D16@100	–	–	32	28	–	1140	195
		□	45-25F3	□450	≦25	TMCP385B	(ホ)	750	55	70	160	290	–	65	12	D41H	800	24	1020	1210	95	D16@100	–	–	32	28	–	–	–	32	28	–	24	1080	1210	65	D16@100	–	–	36	28	–	1140	195
		□	45-28F3	□450	≦28	TMCP385B	(ホ)	750	55	70	200	210	–	75	12	D51L	790	24	1020	1210	95	▦D16@100	–	–	36	28	–	–	–	36	28	–	24	1080	1210	65	▦D16@100	–	–	36	28	–	1130	220
		□	50-19F3	□500	≦19	TMCP385B	(ホ)	760	50	60	160	320	–	65	12	D41H	800	24	1040	1240	100	D16@100	–	–	36	28	–	–	–	36	28	20	24	1090	1240	75	D16@100	–	–	36	28	–	1140	195
		□	50-22F3	□500	≦22	TMCP385B	(ホ)	810	55	75	160	340	–	65	12	D41H	800	24	1060	1260	100	D16@100	–	–	36	28	–	–	–	36	28	20	24	1100	1260	80	D16@100	–	–	36	28	–	1140	195
		□	50-25F3	□500	≦25	TMCP385B	(ホ)	810	55	70	200	270	–	75	12	D51L	790	24	1070	1270	100	▦D16@100	–	–	40	28	–	–	–	40	28	20	24	1100	1270	85	▦D16@100	–	–	40	32	–	1130	220
		□	50-28F3	□500	≦28	TMCP385B	(ホ)	810	60	70	200	270	–	75	12	D51H	890	24	1180	1270	45	▦D16@100	–	–	48	36	24	–	–	48	36	24	24	1180	1270	45	▦D16@100	–	–	48	36	–	1230	230
		□	50-32F3	□500	≦32	TMCP385B	(ホ)	810	60	70	200	270	–	75	12	D51H	890	24	1180	1270	45	▦D16@100	–	–	48	36	24	–	–	48	36	24	24	1180	1270	45	▦D16@100	–	–	48	36	28	1230	230
		□	50-36F3	□500	≦36	TMCP385B	(ホ)	840	65	85	200	270	–	75	12	D51H	890	24	1200	1270	35	▦D16@100	–	–	48	36	24	–	–	48	36	24	24	1200	1270	35	▦D16@100	–	–	48	36	28	1230	230
		□	55-19F3	□550	≦19	TMCP385B	(ホ)	850	50	75	160	380	–	65	12	D41H	800	24	1100	1300	100	D16@100	–	–	36	28	–	–	–	36	28	20	24	1140	1300	80	D16@100	–	–	36	28	–	1140	195
		□	55-22F3	□550	≦22	TMCP385B	(ホ)	850	55	70	200	310	–	75	12	D51L	790	24	1100	1310	105	▦D16@100	–	–	40	32	–	–	–	40	32	24	24	1140	1310	85	▦D16@100	–	–	40	32	–	1130	220
		□	55-25F3	□550	≦25	TMCP385B	(ホ)	850	60	70	200	310	–	75	12	D51H	890	24	1180	1310	65	▦D16@100	–	–	48	40	–	–	–	48	40	28	24	1250	1310	30	▦D16@100	–	–	48	40	28	1230	230
		□	55-28F3	□550	≦28	TMCP385B	(ホ)	850	60	70	200	310	–	75	12	D51H	890	24	1200	1310	55	▦D16@100	–	–	48	40	28	–	–	48	40	28	24	1250	1310	30	▦D16@100	–	–	48	40	28	1230	230
		□	55-32F3	□550	≦32	TMCP385B	(ホ)	900	65	70	250	260	–	75	12	M56	970	24	1200	1360	80	▦D16@100	–	–	–	40	28	–	–	–	40	28	24	1250	1360	55	▦D16@100	–	–	–	40	28	1360	170
		□	55-36F3	□550	≦36	TMCP385B	(ホ)	900	70	70	250	260	–	80	12	M60	1030	24	1280	1360	40	▦D16@100	–	–	–	48	36	–	–	–	48	36	24	1320	1360	20	▦D16@100	–	–	–	48	36	1430	180
		□	55-40F3	□550	≦40	TMCP385B	(ホ)	900	70	70	250	260	–	80	12	M60	1030	24	1300	1360	30	▦D16@100	–	–	–	48	36	–	–	–	48	36	24	1320	1360	20	▦D16@100	–	–	–	48	36	1430	180
		□	60-19F3	□600	≦19	TMCP385B	(ホ)	920	55	65	210	370	–	70	12	M48	830	24	1200	1390	95	▦D16@100	–	–	–	32	24	–	–	–	32	24	24	1200	1390	95	▦D16@100	–	–	–	36	28	1220	150
		□	60-22F3	□600	≦22	TMCP385B	(ホ)	920	60	65	210	370	–	75	12	M52	900	24	1200	1390	95	▦D16@100	–	–	–	40	28	–	–	–	40	28	24	1230	1390	80	▦D16@100	–	–	–	40	28	1290	165
		□	60-25F3	□600	≦25	TMCP385B	(ホ)	940	65	70	250	300	–	75	12	M52	900	24	1250	1400	75	▦D16@100	–	–	–	40	28	–	–	–	40	28	24	1250	1400	75	▦D16@100	–	–	–	40	28	1290	165
		□	60-28F3	□600	≦28	TMCP385B	(ホ)	940	65	70	250	300	–	75	12	M56	970	24	1250	1400	75	▦D16@100	–	–	–	44	32	–	–	–	44	32	24	1250	1400	75	▦D16@100	–	–	–	44	32	1360	170
		□	60-32F3	□600	≦32	TMCP385B	(ホ)	940	70	70	250	300	–	80	12	M60	1030	24	1320	1400	40	▦D16@100	–	–	–	52	36	–	–	–	52	36	24	1340	1400	30	▦D16@100	–	–	–	52	36	1430	180
		□	60-36F3	□600	≦36	TMCP385B	(ホ)	950	75	75	250	300	–	85	12	M64	1100	24	1380	1400	10	▦D16@100	–	–	–	56	40	–	–	–	56	40	24	1400	–	–	▦D16@100	–	–	–	56	40	1500	185
		□	60-40F3	□600	≦40	TMCP385B	(ホ)	980	75	90	250	300	–	85	12	M64	1100	24	1400	–	–	▦D16@100	–	–	–	56	40	–	–	–	56	40	24	1400	–	–	▦D16@100	–	–	–	56	40	1500	185
		□	65-22F3	□650	≦22	TMCP385B	(ホ)	960	60	70	210	400	–	75	12	M52	900	24	1350	1420	35	▦D16@100	–	–	–	36	24	–	–	–	36	24	24	1350	1420	35	▦D16@100	–	–	–	36	28	1290	165
		□	65-25F3	□650	≦25	TMCP385B	(ホ)	1000	65	75	250	350	–	75	12	M56	970	24	1350	1450	50	▦D16@100	–	–	–	44	32	–	–	–	44	32	24	1350	1450	50	▦D16@100	–	–	–	44	32	1360	170
		□	65-28F3	□650	≦28	TMCP385B	(ホ)	1000	70	75	250	350	–	80	12	M60	1030	24	1350	1450	50	▦D16@100	–	–	–	52	36	–	–	–	52	36	24	1400	1450	25	▦D16@100	–	–	–	52	36	1430	180
		□	65-32F3	□650	≦32	TMCP385B	(ホ)	1000	75	75	250	350	–	85	12	M64	1100	24	1400	1450	25	▦D16@100	–	–	–	60	40	–	–	–	60	40	24	1440	1450	5	▦D16@100	–	–	–	60	40	1500	185
		□	65-36F3	□650	≦36	TMCP385B	(ホ)	1050	80	100	250	350	–	85	12	M64	1100	24	1450	–	–	▦D16@100	–	–	–	60	40	–	–	–	60	40	24	1450	–	–	▦D16@100	–	–	–	60	40	1500	185
		□	65-40F3	□650	≦40	TMCP385B	(ヘ)	1050	75	80	135	200	220	80	16	M60	1150	24	1490	–	–	▦D16@100	–	–	–	64	44	–	–	–	64	44	24	1500	–	–	▦D16@100	–	–	–	64	44	1380	185
		□	70-22F3	□700	≦22	TMCP385B	(ホ)	1030	65	70	250	390	–	75	12	M56	970	24	1350	1490	70	▦D16@100	–	–	–	44	32	–	–	–	44	32	24	1350	1490	70	▦D16@100	–	–	–	48	32	1360	170
		□	70-25F3	□700	≦25	TMCP385B	(ホ)	1050	70	80	250	390	–	80	12	M60	1030	24	1430	1490	30	▦D16@100	–	–	–	52	36	–	–	–	52	36	24	1480	1490	5	▦D16@100	–	–	–	52	36	1430	180
		□	70-28F3	□700	≦28	TMCP385B	(ホ)	1090	75	90	250	410	–	80	12	M60	1030	24	1450	1510	30	▦D16@100	–	–	–	52	36	–	–	–	52	36	24	1510	–	–	▦D16@100	–	–	–	52	36	1430	180
		□	70-32F3	□700	≦32	TMCP385B	(ホ)	1090	75	90	250	410	–	85	12	M64	1100	24	1500	1510	5	▦D16@100	–	–	–	60	40	–	–	–	60	40	24	1560	–	–	▦D16@100	–	–	–	60	40	1500	185
		□	70-36F3	□700	≦36	TMCP385B	(ヘ)	1100	75	80	135	210	250	80	16	M60	1150	24	1550	–	–	▦D16@100	–	–	–	64	44	–	–	–	64	44	24	1610	–	–	▦D16@100	–	–	–	64	44	1380	185
		□	70-40F3	□700	≦40	TMCP385B	(ヘ)	1100	80	80	135	210	250	85	16	M64	1150	27	1740	–	–	▦D16@100	–	–	–	68	48	–	–	–	68	48	27	1840	–	–	▦D16@100	–	–	–	68	48	1450	200
		□	75-22F3	□750	≦22	TMCP385B	(ホ)	1100	70	75	250	450	–	80	12	M60	1030	24	1500	1550	25	▦D16@100	–	–	–	56	40	–	–	–	56	40	24	1510	1550	20	▦D16@100	–	–	–	56	40	1430	180
		□	75-25F3	□750	≦25	TMCP385B	(ホ)	1100	70	75	250	450	–	80	12	M60	1030	24	1500	1550	25	▦D16@100	–	–	–	56	40	–	–	–	56	40	24	1510	1550	20	▦D16@100	–	–	–	56	40	1430	180
		□	75-28F3	□750	≦28	TMCP385B	(ホ)	1100	75	75	250	450	–	85	12	M64	1100	24	1550	–	–	▦D16@100	–	–	–	60	44	–	–	–	60	44	24	1580	–	–	▦D16@100	–	–	–	60	44	1500	185
		□	75-32F3	□750	≦32	TMCP385B	(ヘ)	1200	75	90	135	250	250	80	16	M60	1150	24	1600	1620	10	▦D16@100	–	–	–	68	48	–	–	–	68	48	24	1670	–	–	▦D16@100	–	–	–	68	48	1380	185
		□	75-36F3	□750	≦36	TMCP385B	(ヘ)	1250	85	100	135	260	260	85	16	M64	1150	27	1840	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	48	–	–	–	72	48	27	1890	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	48	1450	200
		□	75-40F3	□750	≦40	TMCP385B	(ヘ)	1250	85	100	135	260	260	85	16	M64	1150	27	1840	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	48	–	–	–	72	48	27	1890	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	48	1450	200
		□	80-25F3	□800	≦25	TMCP385B	(ヘ)	1220	70	90	135	250	270	75	16	M56	1080	24	1550	1640	45	▦D16@100	–	–	–	60	40	–	–	–	60	40	24	1560	1640	40	▦D16@100	–	–	–	60	44	1310	180
		□	80-28F3	□800	≦28	TMCP385B	(ヘ)	1220	70	90	135	250	270	80	16	M60	1150	24	1630	1640	5	▦D16@100	–	–	–	68	48	–	–	–	68	48	24	1700	–	–	▦D16@100	–	–	–	68	48	1380	185
		□	80-32F3	□800	≦32	TMCP385B	(ヘ)	1300	85	100	135	270	290	85	16	M64	1150	27	1920	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	52	–	–	–	72	52	27	1940	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	52	1450	200
		□	80-36F3	□800	≦36	TMCP385B	(ヘ)	1300	85	100	135	270	290	85	16	M64	1150	27	1920	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	52	–	–	–	72	52	27	1940	–	–	▦D16@100	–	–	–	72	52	1450	200

※1 コンクリート柱型をRC柱として設計する場合は、独立柱用の仕様を下回らないこと。
※2 立上り高さが50mm以下（BP丸鋼アンカータイプの場合は200mm以下）の場合に適用できる。
　ただし、いずれの場合でも、ブレースが接合する方向の立上り高さが50mmを超える場合には適用できない。
※3 柱型は、補強鉄筋(鉄筋径、本数、ピッチ及び強度)が上表の通りであることを条件に、柱型拡幅上限まで拡幅することができる。
　なお、断面寸法は柱心と柱型心が一致する場合の最大値であり、方向別の拡幅上限は片側拡幅量以内とする。
※4 基礎梁が直交する2方向から取り付き、かつ立上げ部段差が50mm以下（BP丸鋼アンカータイプの場合は200mm以下）の場合は側・隅柱用を選択できる。
　ただし、□350以上においては側・隅柱であっても、取り付く基礎梁内のスタラップ筋の径がD13より小さくなる場合は、独立柱用による。
※5 基礎梁が4方向から取り付き、かつ立上げ部段差が50mm以下（BP丸鋼アンカータイプの場合は200mm以下）の場合は中柱用を選択できる。
　ただし、中柱であっても、取り付く基礎梁内のスタラップ筋がD13より小さくなる場合、もしくはピッチが200mmを超える場合は、独立柱用による。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 ベースパック柱脚工法 設計施工標準図[角形鋼管(2)]	縮尺 A1: --- A3: ---	図面番号 S-10

円形鋼管用
ベースパック

円形鋼管
F値235N/mm² φ190～φ812 用
F値325N/mm²以下 φ190～φ812 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-19」（令和6年6月21日付）

ベースパック柱脚工法 設計施工標準図 1/2

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図は1/2～2/2で構成されている。

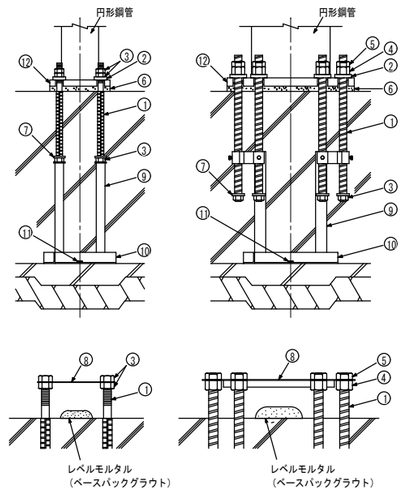
岡部株式会社
TEL03（3624）5336

旭化成建材株式会社
TEL03（3296）3515

2024年10月作成

1．工法概要

1．1 構成部材

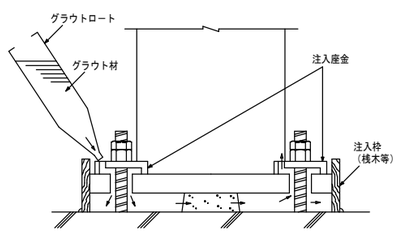


（Mアンカーボルト）　（Dアンカーボルト）

①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④Dナット
⑤Dナット(S)
⑥ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦定着座金
⑧テンプレート
⑨フレームポスト
⑩フレームベース
⑪ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑫ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～⑪は現場状況により仕様が異なる場合がある。
(注)アンカーボルト12本の場合はつなぎプレートが取り付く。

1．2 柱脚の定着方法概要



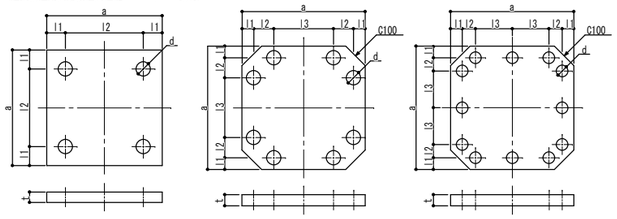
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	STK400	
	STKN400	○（B種）
325	STK490	
	STKN490	

3．構成部材・寸法

3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】
TMCP325B 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
TMCP385B 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
BT-HT440B-SP 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
（建築構造用高溶接性高性能５９０N/mm² 鋼材）

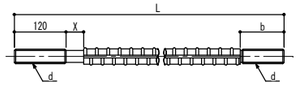


形状（イ）　形状（ハ）　形状（ニ）

3．2 アンカーボルト【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

●Mアンカーボルト

i）アンカーフレーム Aタイプ の場合

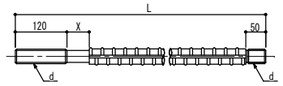


単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	基準強度 (N/mm²)
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合

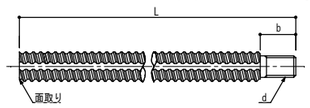


単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L	X	基準強度 (N/mm²)
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490

●Dアンカーボルト

iii）アンカーフレーム Cタイプ・Dタイプ の場合

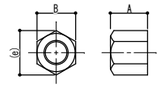


単位 mm

呼び	L	b	端部ねじd	基準強度(N/mm²)
D38	850	46	M33	390
D41	900	49	M36	390
D41H	995	49	M36	490
D51	1110	57	M45	390
D51H	1215	57	M45	490

3．3 Mナット・Dナット

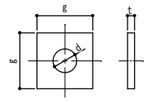
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



単位 mm

	呼び	A	B	(e)
Mナット	M30	24	46	53
	M33	26	50	58
	M36	29	55	64
	M45	36	70	81
Dナット	D38	45	65	75
	D41	48	70	80
	D51	60	80	92
Dナット(S)	D38	30	65	75
	D41	32	70	80
	D51	40	80	92

3．4 定着座金



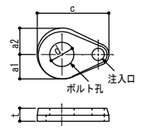
単位 mm

適用アンカーボルト	g	t	d	材質
M30	55	9	31	SS400
M33	60	9	34	
D38	65	12	37	
D41, D41H	70	12	37	SS490
D51, D51H	85	12	46	

3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料, SS490】

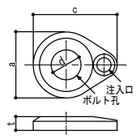
i）Mアンカーボルト用



単位 mm

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34

ii）Dアンカーボルト用

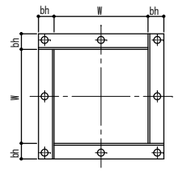


単位 mm

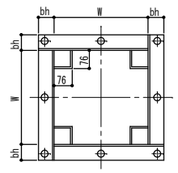
記号	適用アンカーボルト	a	c	t	d
PD38	D38	96	122	20	43
PD41	D41, D41H	100	127	20	46
PD51	D51	110	140	20	58

3．6 フレームベース

i）Aタイプ・Cタイプ



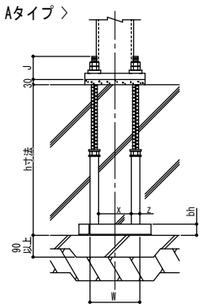
ii）Dタイプ



3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

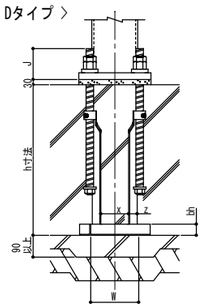
●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は「円形鋼管用ベースパック柱脚工法設計施工標準図2/2」（以下「標準図2/2」と記す）の表に記載の値とする。

〈 Aタイプ 〉



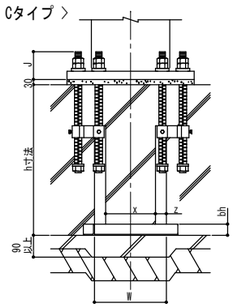
(Mアンカーボルト4本)

〈 Dタイプ 〉



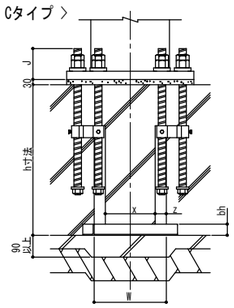
(Dアンカーボルト4本)

〈 Cタイプ 〉



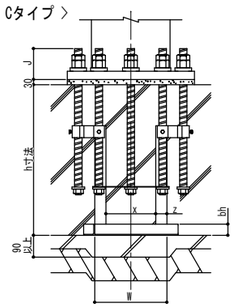
(Mアンカーボルト8本)

〈 Cタイプ 〉



(Dアンカーボルト8本)

〈 Cタイプ 〉



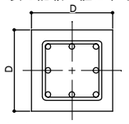
(Dアンカーボルト12本)

単位 mm

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

●形状
形状は正方形とし、寸法は「標準図2/2」表に記載の値とする。

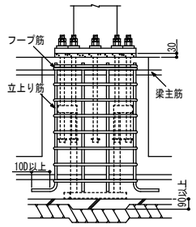


●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は「標準図2/2」表に記載の値とする。

●鉄筋
SD295(D13, D16)
SD345(D19, D22, D25)

4．2 配筋

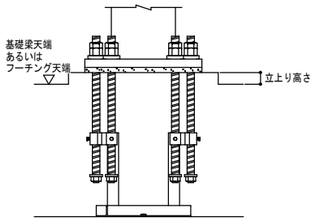
配筋仕様は「標準図2/2」の表による。



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。



4．4 特記事項

上記内容によらない場合は下記による。
採用
□ 「標準図2/2」表標準柱型寸法からの変更あり（「柱型寸法最大・最小値一覧」による）
□ 「標準図2/2」表標準配筋仕様からの変更あり
□ 立上り筋に頂部フックが必要

5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹﾀﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)
完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2018年版より）

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度α1(°) 標準値	開先角度α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	−2, +∞ (−3, +∞)	2	−2, +1 (−2, +2)	α1：45	−2.5, +∞ (−5, +∞)	下向き
			9	−2, +∞ (−3, +∞)	2	−2, +1 (−2, +2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	−2, +∞ (−3, +∞)	2	−2, +1 (−2, +2)	α1：45	−2.5, +∞ (−5, +∞)	下向き
			7	−2, +∞ (−3, +∞)	2	−2, +1 (−2, +2)	α1：35		

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温(鋼材表面温度)が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) 32≦t<40	40≦t≦50	50<t≦75
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	50 ℃	50 ℃	
	BT-HT440B-SP		予熱なし	予熱なし
	TMCP325B		25 ℃	
	TMCP385B※2		50 ℃	
CO_2ガスシールドアーク溶接※1	SN490B	予熱なし	予熱なし	
	BT-HT440B-SP		予熱なし	予熱なし
	TMCP325B		予熱なし	
	TMCP385B※2		予熱なし	

※1 フラックス入りワイヤによるCO_2ガスシールドアーク溶接の予熱温度は、低水素系被覆アーク溶接に準じる。
※2 「建築構造用TMCP鋼材溶接施工指針(2021)」に準拠し、TMTMCP385Bは上記予熱温度の適用に当たり、各メーカーのy形溶接割れ試験(JIS Z 3158による)の実績または溶接施工指針を確認している。

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名 ベースパック柱脚工法 設計施工標準図[円形鋼管(1)] / 縮尺 A1: --- A3: --- / 図面番号 S-11

円形鋼管用
ベースパック

円形鋼管
F値235N/mm² φ190～φ812 用
F値325N/mm² 以下 φ190～φ812 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-19」（令和6年6月21日付）

ベースパック柱脚工法 設計施工標準図 2/2

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図は1/2～2/2で構成されている。

岡部株式会社
TEL03（3624）5336

旭化成建材株式会社
TEL03（3296）3515

2024年10月作成

6．工事場施工

6．1 基礎工事

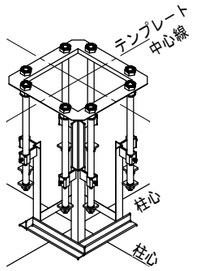
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルト据付け

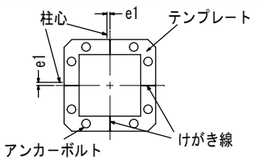
●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



図



e1 :柱心とテンプレートのけがき線との許容差

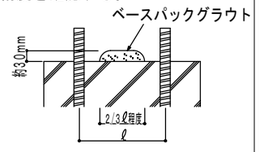
標準許容差
-2≦e1≦2
基準高さより誤差は
-3≦e≦10

6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

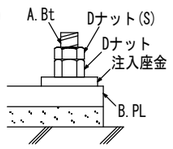
6．4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。
●Dナット(S)による弛み止めは右図による。



6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

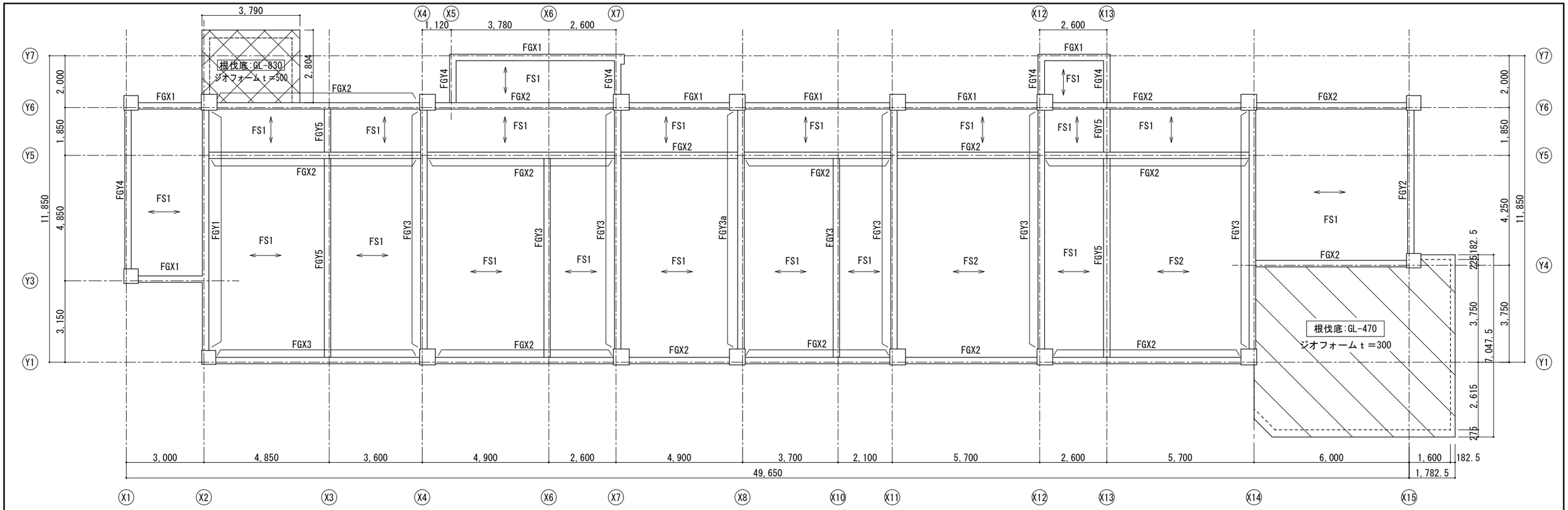
7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6．2アンカーボルト据付け及び6．6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

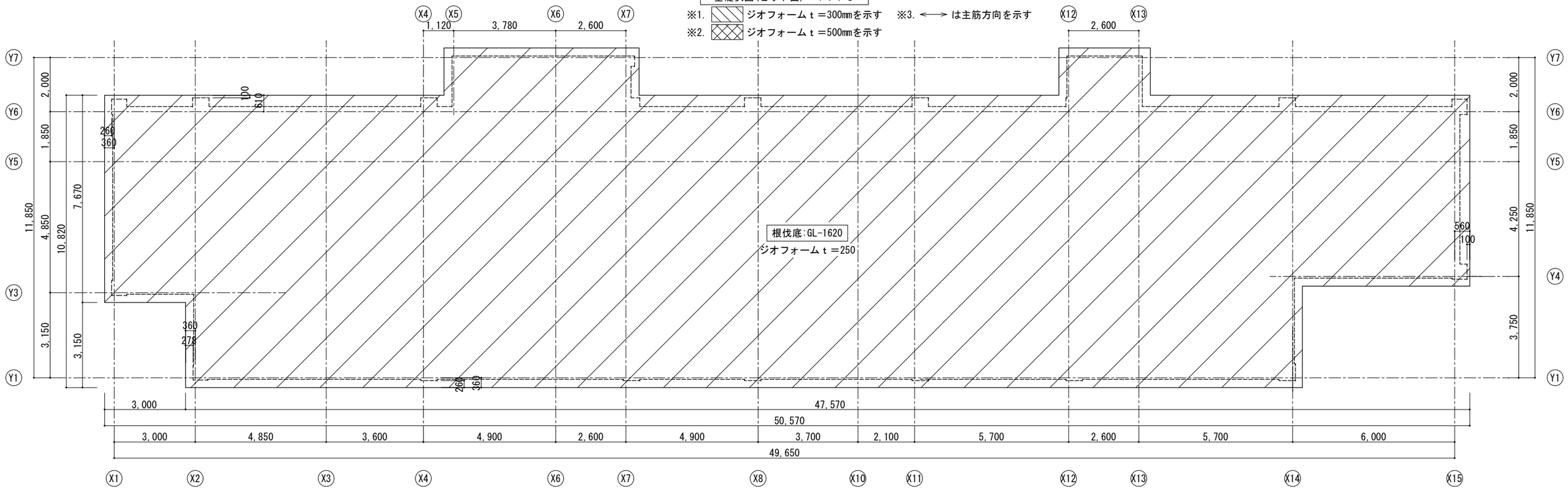
種別	採用	ベースパック記号	柱 外径(mm)	柱 板厚(mm)	ベースプレート 材質	形状	寸法(mm) a	t	l1	l2	l3	d	アンカーボルト 本数-呼び	基準強度(N/mm²)	コンクリート柱型 寸法(mm) D	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度(N/mm²)	アンカーフレームタイプ	フレームベース 寸法(mm) W	bh	フレームポスト間 寸法(mm) x	z	最低h寸法(mm)	J寸法(mm)
V2 柱材F値235用	○	216-13V2	φ190.7,φ216.3	t≦12.7	SN490B	(イ)	350	36	55	240	-	φ45	4-M30	490	540	12-D16	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		216-16V2	φ190.7,φ216.3	t≦16.0	SN490B	(イ)	350	36	55	240	-	φ50	4-M33	490	540	12-D19	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		267-13V2	φ267.4	t≦12.7	SN490B	(イ)	400	36	55	290	-	φ50	4-M33	490	590	12-D19	D13@100	21以上	A	340	50	240	50	600	135
		267-16V2	φ267.4	t≦16.0	SN490B	(イ)	420	40	65	290	-	φ60	4-D38	390	580	12-D19	D13@100	21以上	D	324	50	184	50	800	180
		318-13V2	φ300.0,φ318.5	t≦12.7	SN490B	(イ)	460	40	65	330	-	φ60	4-D38	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	180
		318-16V2	φ300.0,φ318.5	t≦16.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(イ)	460	50	65	330	-	φ65	4-D41	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	190
		318-25V2	φ300.0,φ318.5	t≦25.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	530	50	65	85	230	φ60	8-D38	390	690	12-D22	D13@100	21以上	C	280	65	150	65	800	180
		355-13V2	φ350.0,φ355.6	t≦12.7	SN490B	(ハ)	540	36	55	85	260	φ45	8-M30	490	700	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	600	135
		355-16V2	φ350.0,φ355.6	t≦16.0	SN490B	(ハ)	540	40	55	85	260	φ50	8-M33	490	710	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	650	135
		355-22V2	φ350.0,φ355.6	t≦22.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	560	50	65	85	260	φ60	8-D38	390	720	20-D19	D13@100	21以上	C	310	65	180	65	800	180
		406-13V2	φ400.0,φ406.4	t≦12.7	SN490B	(ハ)	600	40	65	85	300	φ45	8-M30	490	750	16-D19	D13@100	21以上	C	350	50	250	50	600	135
		406-19V2	φ400.0,φ406.4	t≦19.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	600	50	65	85	300	φ60	8-D38	390	760	16-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	180
		406-22V2	φ400.0,φ406.4	t≦22.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	600	50	65	85	300	φ65	8-D41	390	760	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	190
		406-25V2	φ400.0,φ406.4	t≦25.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	610	44	70	85	300	φ65	8-D41H	490	800	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	850	200
		457-13V2	φ450.0,φ457.2	t≦12.7	SN490B	(ハ)	610	40	55	85	330	φ50	8-M33	490	790	20-D19	D13@100	21以上	C	380	50	280	50	650	135
		457-19V2	φ450.0,φ457.2	t≦19.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	630	50	65	85	330	φ65	8-D41	390	800	20-D22	D13@100	21以上	C	380	65	250	65	800	190
		457-25V2	φ450.0,φ457.2	t≦25.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	740	48	65	120	185	φ60	12-D38	390	930	20-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	800	180
		457-36V2	φ450.0,φ457.2	t≦36.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	740	60	65	120	185	φ65	12-D41H	490	980	24-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	850	200
		508-14V2	φ500.0,φ508.0	t≦14.0	SN490B,TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	700	50	65	85	400	φ60	8-D38	390	860	20-D19	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	800	180
		508-22V2	φ500.0,φ508.0	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	52	65	85	400	φ65	8-D41H	490	920	24-D22	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	850	200
		508-32V2	φ500.0,φ508.0	t≦32.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	810	60	65	135	205	φ65	12-D41H	490	1000	24-D22	D13@100	21以上	C	460	65	330	65	850	200
		508-40V2	φ500.0,φ508.0	t≦40.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	830	65	75	135	205	φ75	12-D51	390	1050	28-D22	D16@100	24以上	C	470	65	340	65	950	230
		558-16V2	φ550.0,φ558.8	t≦16.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	710	48	65	85	410	φ65	8-D41H	490	900	20-D22	D13@100	24以上	C	460	65	330	65	850	200
		558-28V2	φ550.0,φ558.8	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	850	60	65	135	225	φ65	12-D41H	490	1050	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	850	200
		558-36V2	φ550.0,φ558.8	t≦36.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	870	65	75	135	225	φ75	12-D51	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-22V2	φ600.0,φ609.6	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	820	52	80	110	440	φ75	8-D51	390	1000	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	950	230
		609-28V2	φ600.0,φ609.6	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	910	60	75	155	225	φ75	12-D51	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-36V2	φ600.0,φ609.6	t≦36.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	910	65	75	155	225	φ75	12-D51	390	1150	24-D25	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		660-28V2	φ650.0,φ660.4	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	970	65	75	160	250	φ75	12-D51	390	1150	28-D22	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	950	230
		660-36V2	φ650.0,φ660.4	t≦36.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	970	70	75	160	250	φ75	12-D51H	490	1200	28-D25	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	1050	235
		711-28V2	φ700.0,φ711.2	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1030	65	75	175	265	φ75	12-D51	390	1250	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	950	230
		711-32V2	φ700.0,φ711.2	t≦32.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1030	70	75	175	265	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	1050	235
		762-25V2	φ750.0,φ762.0	t≦25.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1070	65	75	185	275	φ75	12-D51	390	1270	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	950	230
		762-28V2	φ750.0,φ762.0	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1070	70	75	185	275	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	1050	235
		812-22V2	φ800.0,φ812.8	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1150	65	75	200	300	φ75	12-D51	390	1350	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	950	230
		812-28V2	φ800.0,φ812.8	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1150	70	75	200	300	φ75	12-D51H	490	1400	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	1050	235
V3 柱材F値325以下用		216-10V3	φ190.7 φ216.3	t≦12.7 t≦9.5	SN490B	(イ)	350	36	55	240	-	φ45	4-M30	490	540	12-D16	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		216-13V3	φ216.3	t≦12.7	SN490B	(イ)	350	36	55	240	-	φ50	4-M33	490	540	12-D19	D13@100	21以上	A	290	50	190	50	600	135
		267-09V3	φ267.4	t≦9.3	SN490B	(イ)	400	36	55	290	-	φ50	4-M33	490	590	12-D19	D13@100	21以上	A	340	50	240	50	600	135
		267-13V3	φ267.4	t≦12.7	SN490B	(イ)	420	40	65	290	-	φ60	4-D38	390	580	12-D19	D13@100	21以上	D	324	50	184	50	800	180
		318-09V3	φ300.0,φ318.5	t≦9.0	SN490B	(イ)	460	40	65	330	-	φ60	4-D38	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	180
		318-13V3	φ300.0,φ318.5	t≦12.7	TMCP325B,TMCP385B	(イ)	460	50	65	330	-	φ65	4-D41	390	610	12-D19	D13@100	21以上	D	364	50	224	50	800	190
		318-19V3	φ300.0,φ318.5	t≦19.0	TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	530	50	65	85	230	φ60	8-D38	390	690	12-D22	D13@100	21以上	C	280	65	150	65	800	180
		355-10V3	φ350.0,φ355.6	t≦9.5	SN490B	(ハ)	540	36	55	85	260	φ45	8-M30	490	700	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	600	135
		355-13V3	φ350.0,φ355.6	t≦12.7	SN490B	(ハ)	540	40	55	85	260	φ50	8-M33	490	710	16-D19	D13@100	21以上	C	310	50	210	50	650	135
		355-16V3	φ350.0,φ355.6	t≦16.0	TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	560	50	65	85	260	φ60	8-D38	390	720	20-D19	D13@100	21以上	C	310	65	180	65	800	180
		406-10V3	φ400.0,φ406.4	t≦9.5	SN490B	(ハ)	600	40	65	85	300	φ45	8-M30	490	750	16-D19	D13@100	21以上	C	350	50	250	50	600	135
		406-13V3	φ400.0,φ406.4	t≦12.7	TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	600	50	65	85	300	φ60	8-D38	390	760	16-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	180
		406-16V3	φ400.0,φ406.4	t≦16.0	TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	600	50	65	85	300	φ65	8-D41	390	760	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	800	190
		406-19V3	φ400.0,φ406.4	t≦19.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	610	44	70	85	300	φ65	8-D41H	490	800	20-D19	D13@100	21以上	C	350	65	220	65	850	200
		457-10V3	φ450.0,φ457.2	t≦9.5	SN490B	(ハ)	610	40	55	85	330	φ50	8-M33	490	790	20-D19	D13@100	21以上	C	380	50	280	50	650	135
		457-13V3	φ450.0,φ457.2	t≦12.7	TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	630	50	65	85	330	φ65	8-D41	390	800	20-D22	D13@100	21以上	C	380	65	250	65	800	190
		457-19V3	φ450.0,φ457.2	t≦19.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	740	48	65	120	185	φ60	12-D38	390	930	20-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	800	180
		457-28V3	φ450.0,φ457.2	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	740	60	65	120	185	φ65	12-D41H	490	980	24-D22	D13@100	21以上	C	420	65	290	65	850	200
		508-10V3	φ500.0,φ508.0	t≦9.5	TMCP325B,TMCP385B	(ハ)	700	50	65	85	400	φ60	8-D38	390	860	20-D19	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	800	180
		508-16V3	φ500.0,φ508.0	t≦16.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	52	65	85	400	φ65	8-D41H	490	920	24-D22	D13@100	21以上	C	450	65	320	65	850	200
		508-22V3	φ500.0,φ508.0	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	810	60	65	135	205	φ65	12-D41H	490	1000	24-D22	D13@100	21以上	C	460	65	330	65	850	200
		508-32V3	φ500.0,φ508.0	t≦32.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	830	65	75	135	205	φ75	12-D51	390	1050	28-D22	D16@100	24以上	C	470	65	340	65	950	230
		558-13V3	φ550.0,φ558.8	t≦12.7	BT-HT440B-SP	(ハ)	710	48	65	85	410	φ65	8-D41H	490	900	20-D22	D13@100	24以上	C	460	65	330	65	850	200
		558-22V3	φ550.0,φ558.8	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	850	60	65	135	225	φ65	12-D41H	490	1050	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	850	200
		558-28V3	φ550.0,φ558.8	t≦28.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	870	65	75	135	225	φ75	12-D51	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-16V3	φ600.0,φ609.6	t≦16.0	BT-HT440B-SP	(ハ)	820	52	80	110	440	φ75	8-D51	390	1000	24-D22	D16@100	24以上	C	500	65	370	65	950	230
		609-22V3	φ600.0,φ609.6	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	910	60	75	155	225	φ75	12-D51	390	1100	28-D22	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		609-25V3	φ600.0,φ609.6	t≦25.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	910	65	75	155	225	φ75	12-D51	390	1150	24-D25	D16@100	24以上	C	510	65	380	65	950	230
		660-22V3	φ650.0,φ660.4	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	970	65	75	160	250	φ75	12-D51	390	1150	28-D22	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	950	230
		660-25V3	φ650.0,φ660.4	t≦25.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	970	70	75	160	250	φ75	12-D51H	490	1200	28-D25	D16@100	24以上	C	560	65	430	65	1050	235
		711-22V3	φ700.0,φ711.2	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1030	65	75	175	265	φ75	12-D51	390	1250	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	950	230
		711-25V3	φ700.0,φ711.2	t≦25.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1030	70	75	175	265	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	590	65	460	65	1050	235
		762-19V3	φ750.0,φ762.0	t≦19.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1070	65	75	185	275	φ75	12-D51	390	1270	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	950	230
		762-22V3	φ750.0,φ762.0	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1070	70	75	185	275	φ75	12-D51H	490	1300	28-D25	D16@100	24以上	C	610	65	480	65	1050	235
		812-19V3	φ800.0,φ812.8	t≦19.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1150	65	75	200	300	φ75	12-D51	390	1350	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	950	230
		812-22V3	φ800.0,φ812.8	t≦22.0	BT-HT440B-SP	(ニ)	1150	70	75	200	300	φ75	12-D51H	490	1400	32-D25	D16@100	24以上	C	660	65	530	65	1050	235



基礎伏図(ピット面)　１：７５

※1. ジオフォームｔ＝300㎜を示す　※3. ←→ は主筋方向を示す

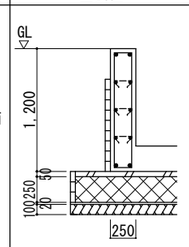
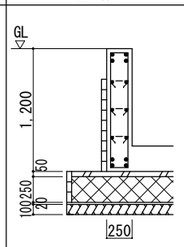
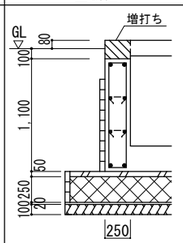
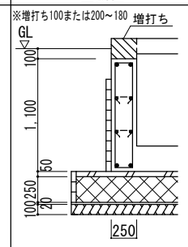
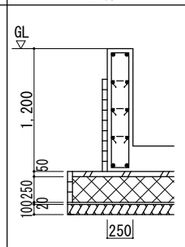
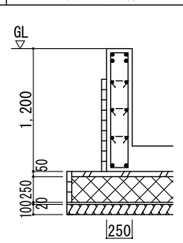
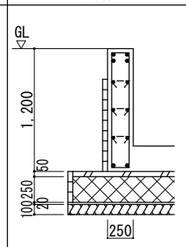
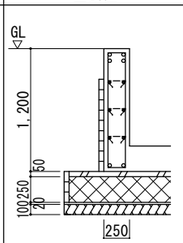
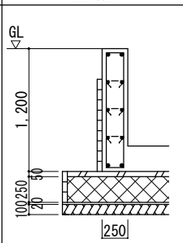
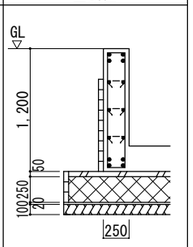
※2. ジオフォームｔ＝500㎜を示す

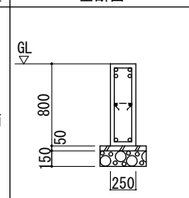
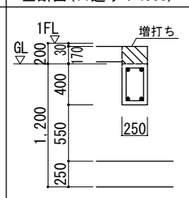
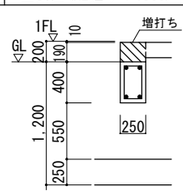
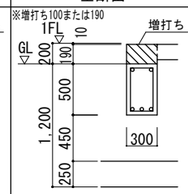
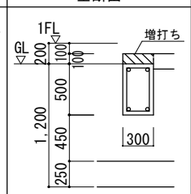
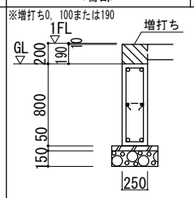
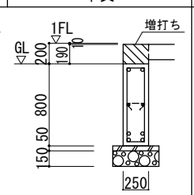
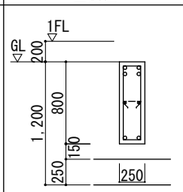
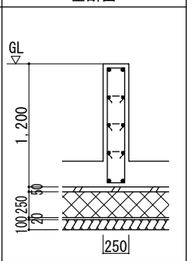


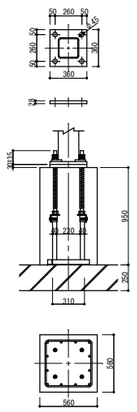
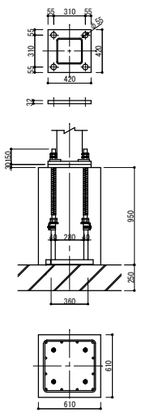
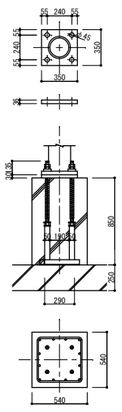
基礎伏図(ピット下)　１：７５　※1. ジオフォームｔ＝250㎜を示す

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	基礎伏図	縮尺	A1:1/ 75 A3:1/150	図面番号	S-13
		特記事項		特記事項		特記事項							

地中梁リスト 1:30

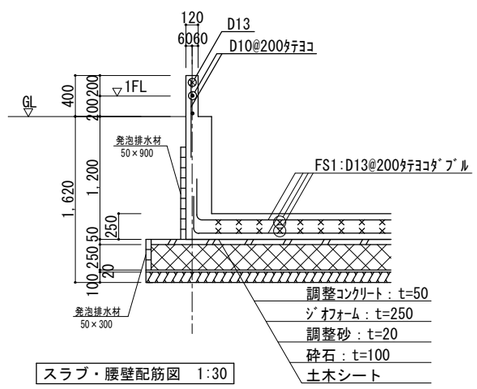
符　号	FGX1	FGX2	FGX3	FGY1	FGY2		FGY3	FGY3a	FGY4	FGY5
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	左端	中央・右端	全断面	全断面	全断面	全断面
断　面										
B×D	250x1200	250x1200	250x1100	250x1100	250x1200		250x1200	250x1200	250x1200	250x1200
上端筋	2-D19	2-D19/2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19/2-D19	2-D19/2-D19	2-D22/2-D22	2-D19	2-D19/2-D19
下端筋	2-D19	2-D19/2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D22	2-D19	2-D19/2-D19
肋　筋	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200
腹　筋	6-D10	6-D10	4-D10	4-D10	6-D10		6-D10	6-D10	6-D10	6-D10
巾止筋	D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000		D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000

符　号	FCG1	FB1		FB2	FB3	FB4		FB5	FB6
位　置	全断面	全断面(Y1通り＋4000)	全断面(X2通り＋1500)	全断面	全断面	端部	中央	全断面	全断面
断　面									
B×D	250x800	250x400		300x500	300x500	250x800		250x800	250x1200
上端筋	2-D22/2-D22	2-D19		2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22/2-D22	2-D19
下端筋	2-D22	2-D19		3-D22	2-D22	2-D22	2-D22/2-D22	2-D22	2-D19
肋　筋	□-D10@200	□-D10@200		□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200
腹　筋	2-D10	---		---	---	2-D10		2-D10	6-D10
巾止筋	D10@1000	D10@1000		D10@1000	D10@1000	D10@1000		D10@1000	D10@1000

C1		C2		C3	
ベースパック 20-09F2		ベースパック 25-09F2		ベースパック 216-13V2	
					
柱部材	□-200×200×9	柱部材	□-250×250×9	柱部材	○-216.3×8.2
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	360×360×28	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	420×420×32	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	350×350×36
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	4-M30(BPM-SD490)	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	4-M36(BPM-SD490)	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	4-M30(BPM-SD490)
ｺﾝｸﾘｰﾄ柱断面	560×560	ｺﾝｸﾘｰﾄ柱断面	610×610	ｺﾝｸﾘｰﾄ柱断面	540×540
立上り筋	12-D19(SD345)	立上り筋	12-D22(SD345)	立上り筋	12-D16 (SD295)
フープ筋	D13@100(SD295)	フープ筋	D13@100(SD295)	フープ筋	D13@100(SD295)

P1B柱型

主筋:8-D16
帯筋:□-D13@200



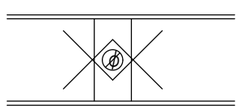
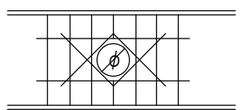
スラブ・腰壁配筋図　1:30

スラブリスト

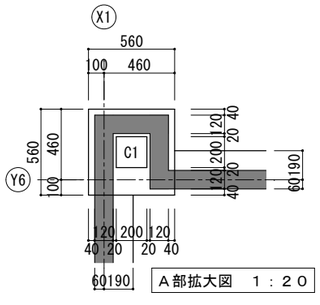
符　号	厚　さ	位置	短辺方向配筋		長辺方向配筋	
			端部	中央	端部	中央
S1	150	上	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
		下	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200
FS1	250	上	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
FS2	250	上	D13@150	D13@150	D13@200	D13@200
		下	D13@150	D13@150	D13@200	D13@200

片持ちスラブリスト

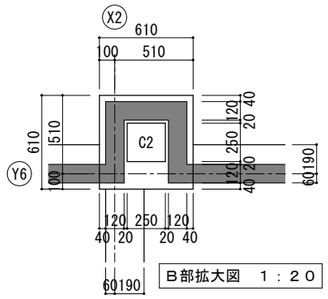
符　号	厚　さ	位置	主筋		配力筋
			元端	先端	
CS1	150	上	D13@200	D13@200	D10@200
		下	D10@200	D10@200	D10@200
CS2	200～150	上	D13@150	D13@150	D10@200
		下	D10@200	D10@200	D10@200
CS3	120	上	D10@200	D10@200	D10@200
		下	---	---	---

80≦φ≦100	100＜φ≦150
折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13	折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13-100@ 横 筋 2-(2-D13)
	

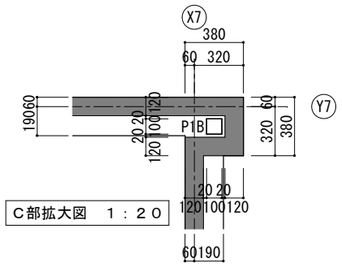
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	基礎・地中梁リスト	縮尺	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	S-14
			特記事項		特記事項		特記事項							



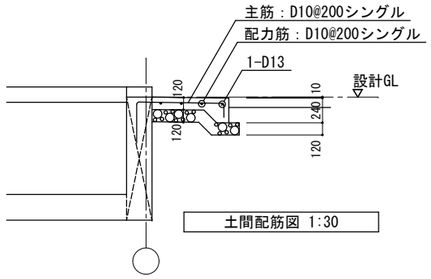
Ａ部拡大図　１：２０



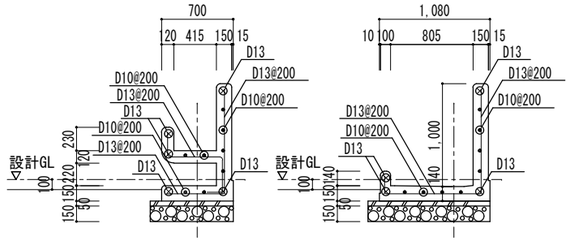
Ｂ部拡大図　１：２０



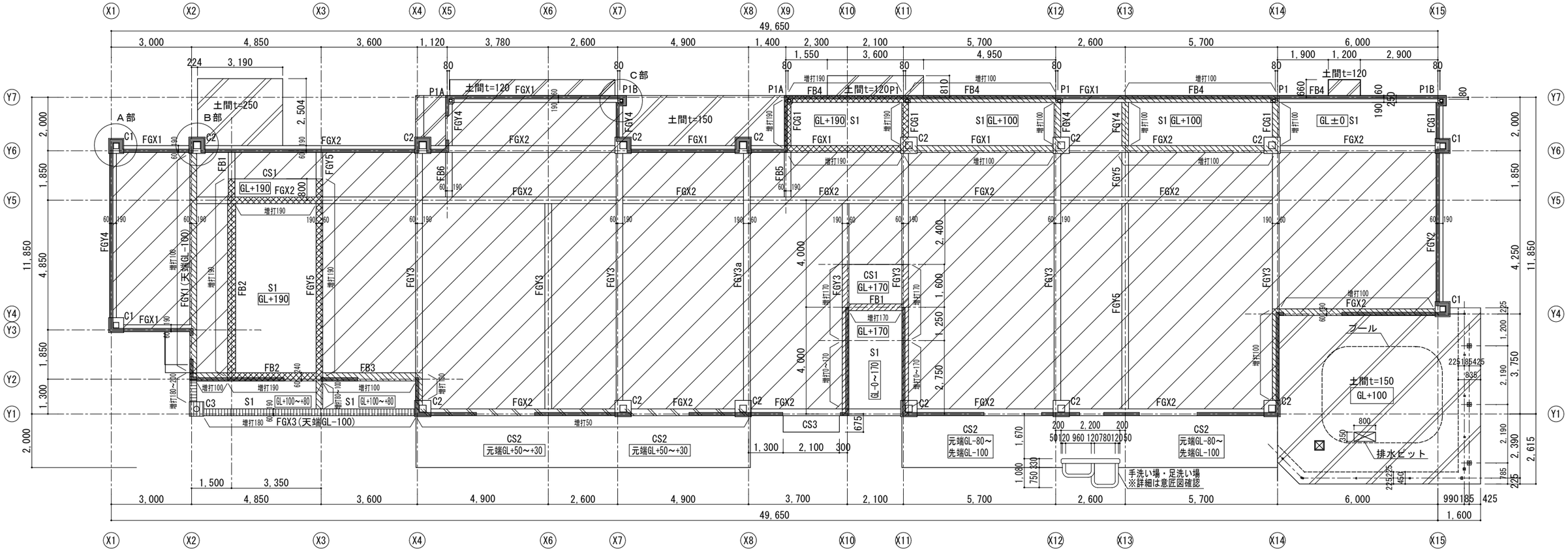
Ｃ部拡大図　１：２０



土間配筋図 1:30

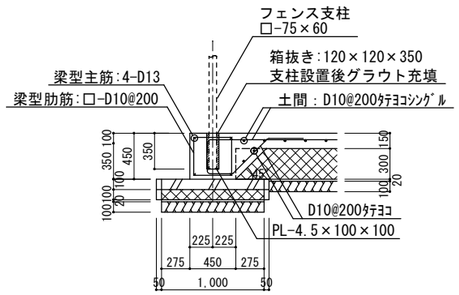


手洗い場・足洗い場配筋図 1:30

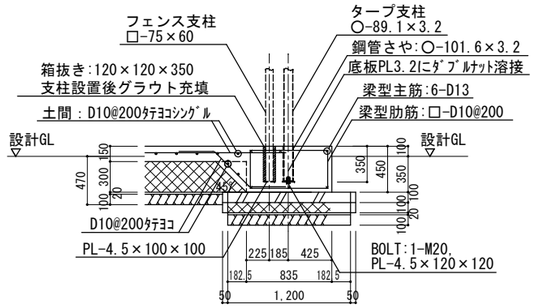


１階床梁伏図　１：７５

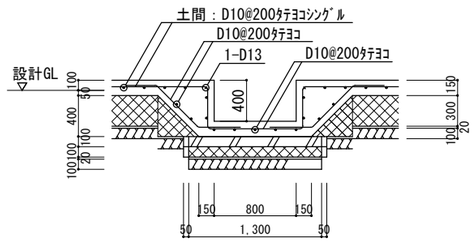
※1.特記なき地中梁天端ＧＬ±０とする
※2. 鋼製床範囲を示す
※3. 土間範囲を示す
※4. 腰壁W12を示す
※5. 地中梁増打ち（　５０mm）範囲を示す
※6. 地中梁増打ち（１００mm）範囲を示す
※7. 地中梁増打ち（１７０mm）範囲を示す
※8. 地中梁増打ち（１９０mm）範囲を示す
※9. 地中梁増打ち（２００mm）範囲を示す



支柱埋込部配筋図① 1:30

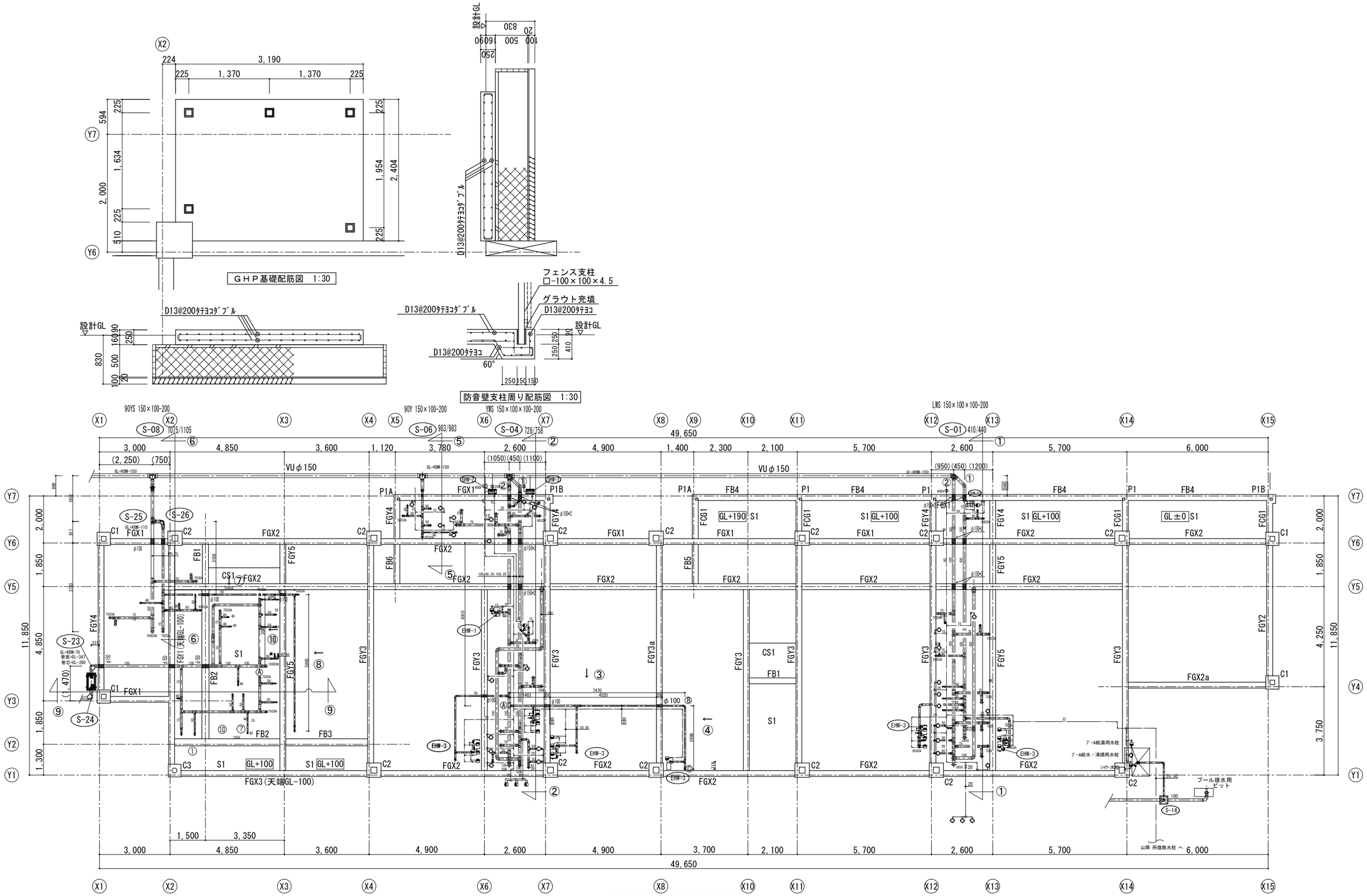


支柱埋込部配筋図② 1:30



排水ピット配筋図 1:30

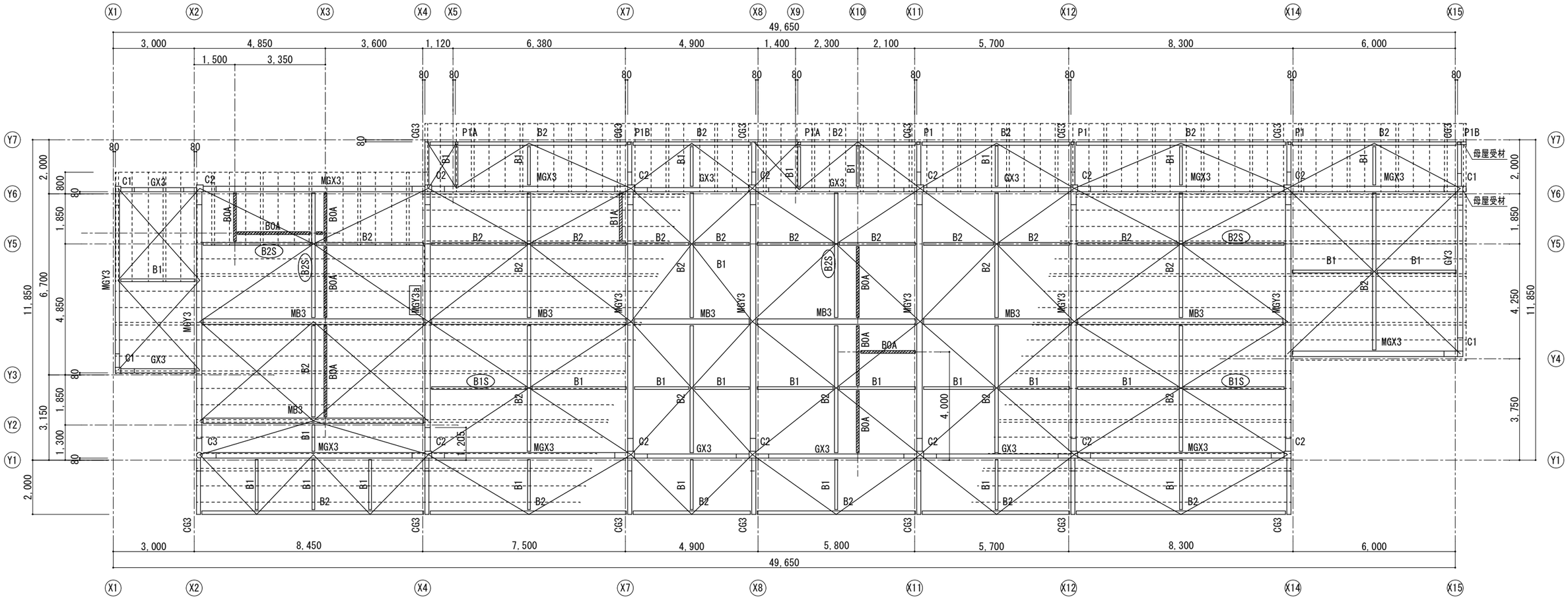
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	1階床梁伏図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-15
		特記事項	特記事項	特記事項					



１階床梁伏図　１：７５

※(　)内寸法は参考とし、設備配管用スリーブの
位置は担当者に確認の上決定すること

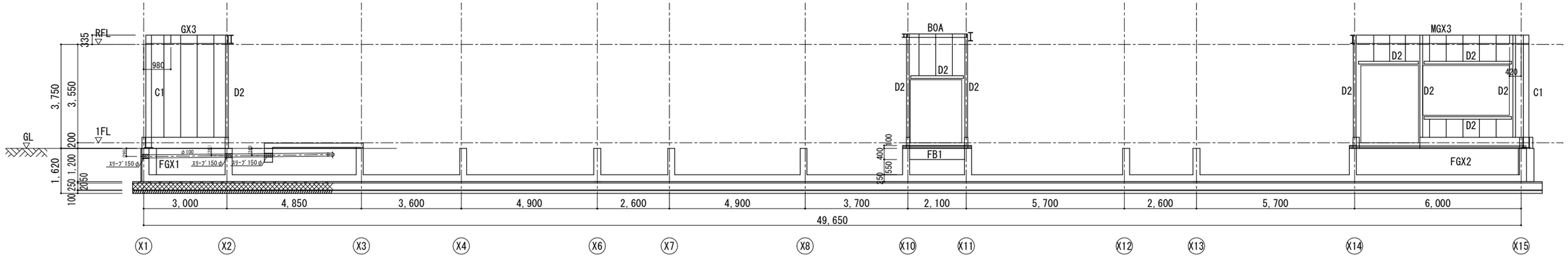
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	１階床梁伏図(ピット内配管投影図)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	S-16
	千葉市長沼原保育所新築工事	特記事項		特記事項		特記事項							



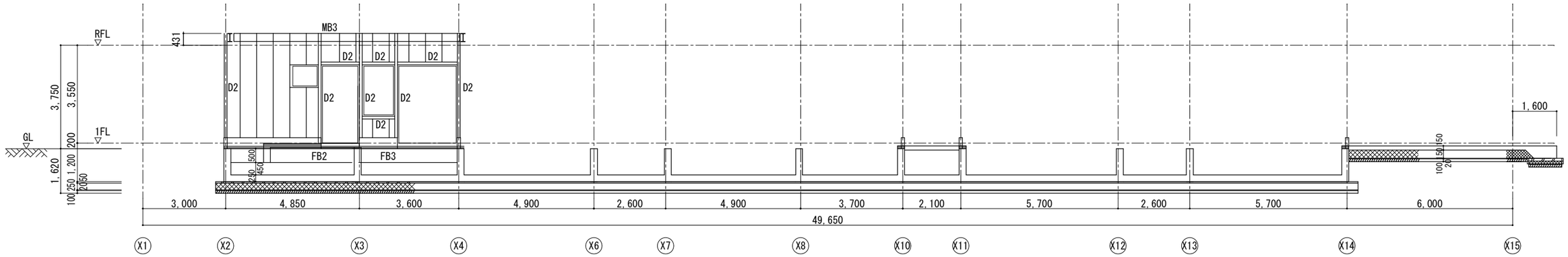
屋根伏図　１：７５

※1.特記なき屋根ブレースはＭ１６とする
※2.小梁BOA、B1A梁天端は平行に隣接する梁天端から-50mmとする
※3.-----母屋:C-100x50x20x2.3@600を示す（参考）
　　=====母屋:2C-100x50x20x2.3@1800を示す（参考）
※4.Ｘ方向の母屋はX1～X2間を除き２連続梁とする

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	屋根伏図	縮尺	A1: 1/75 A3:1/150	図面番号	S-17
	千葉市長沼原保育所新築工事	特記事項		特記事項		特記事項							

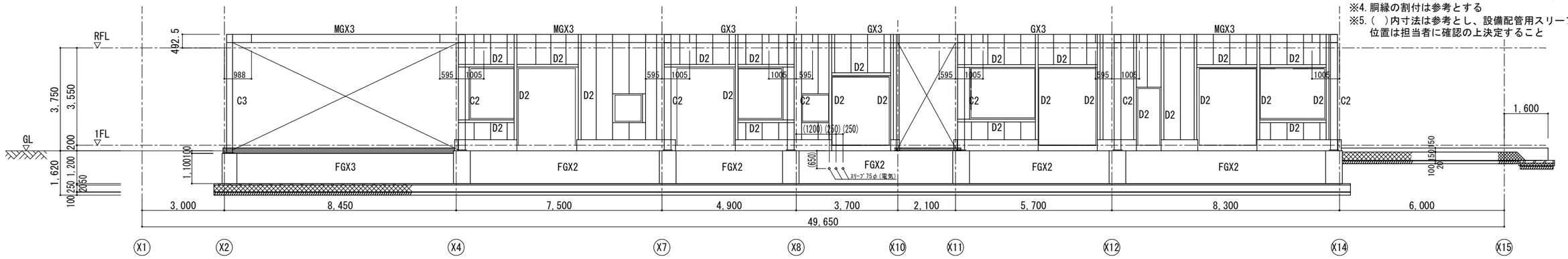


Ｙ３～Ｙ４通り軸組図　１：７５

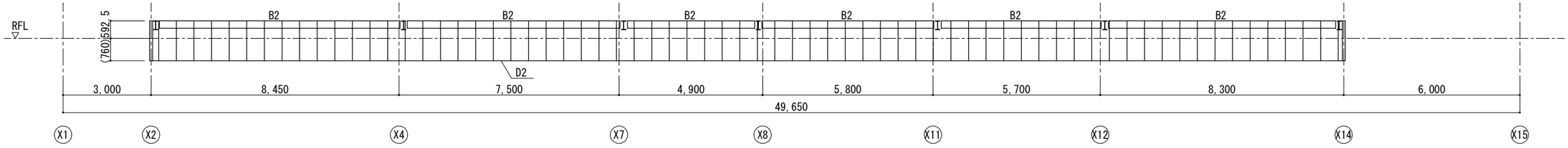


Ｙ２通り軸組図　１：７５

※1.腰壁はW12、腰壁天端FL+200とする
※2.特記なき胴縁はD1とする
※3.ベースチャンネルはC-100x50x20x2.3とする
※4.胴縁の割付は参考とする
※5.（　）内寸法は参考とし、設備配管用スリーブの位置は担当者に確認の上決定すること



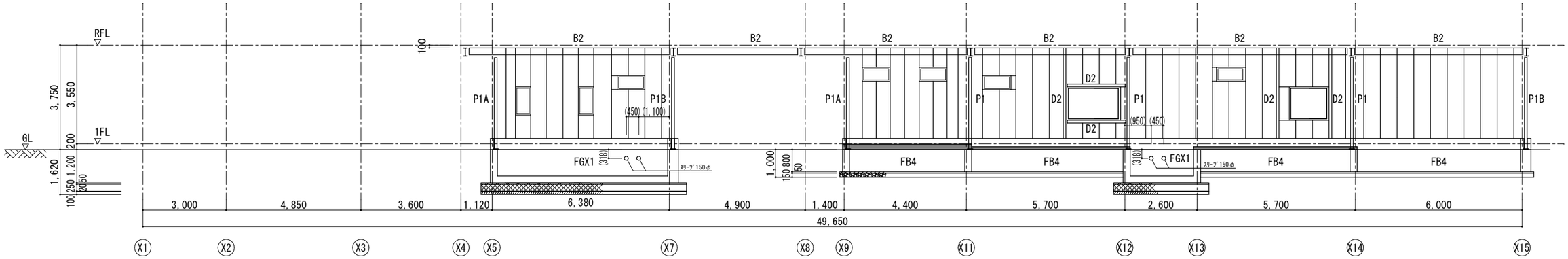
Ｙ１通り軸組図　１：７５



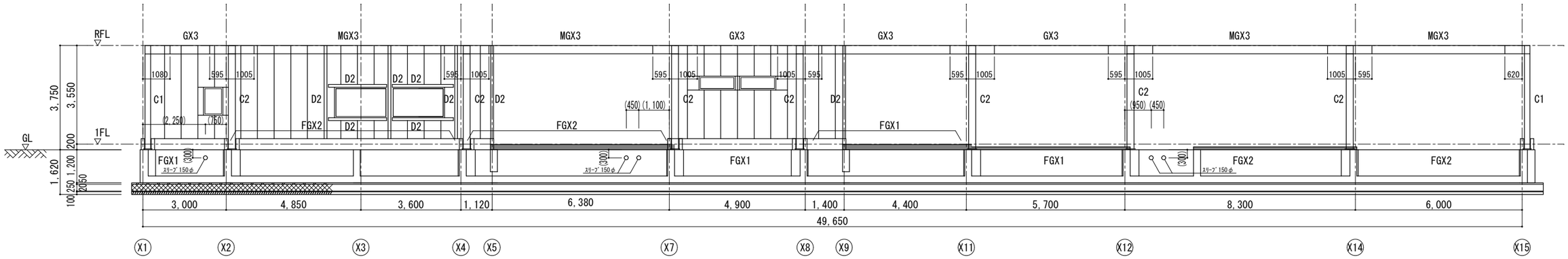
Ｙ１通り－２０００軸組図　１：７５

※タテ胴縁:C-100x50x20x2.3@600、2C-100x50x20x2.3@1800

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日　令和 8 年 1 月 日 特記事項	変更年月日　令和 年 月 日 特記事項	変更年月日　令和 年 月 日 特記事項	図面名	X方向軸組図(1)	縮尺 A1: 1/75 A3:1/150	図面番号 S-18

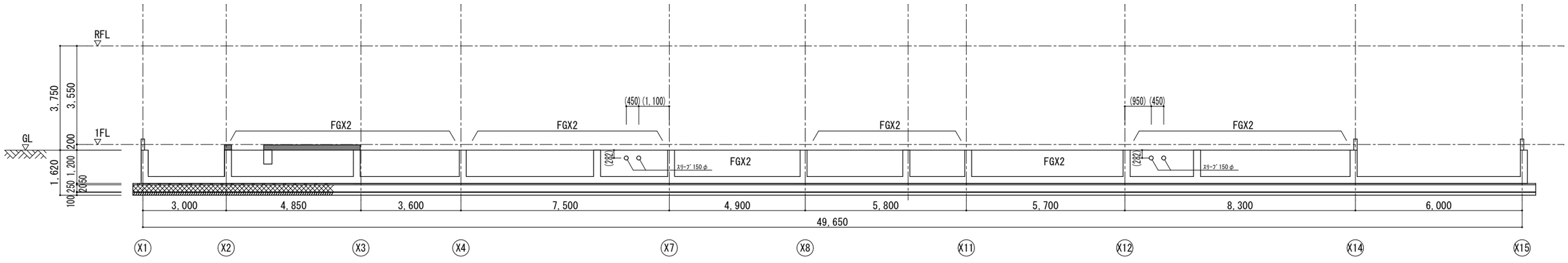


Ｙ７通り軸組図　１：７５



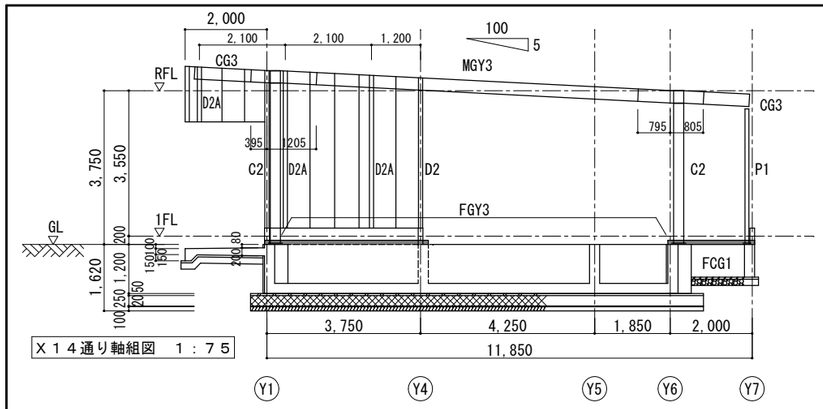
Ｙ６通り軸組図　１：７５

※1.腰壁はW12、腰壁天端FL+200とする
※2.特記なき胴縁はD1とする
※3.ベースチャンネルはC-100x50x20x2.3とする
※4.胴縁の割付は参考とする
※5.（　）内寸法は参考とし、設備配管用スリーブの
　　位置は担当者に確認の上決定すること

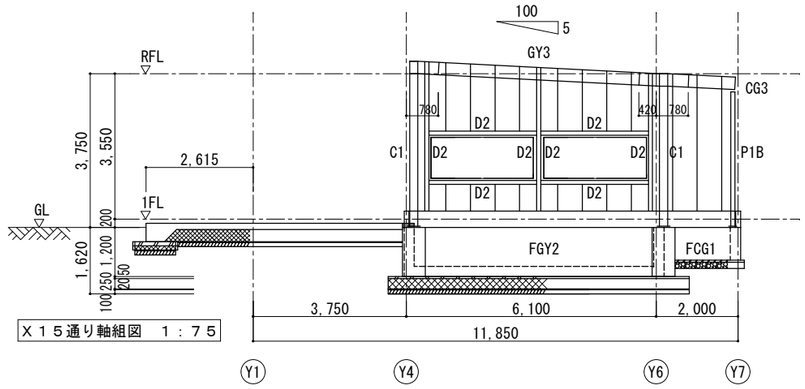


Ｙ５通り軸組図　１：７５

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	X方向軸組図(2)	縮尺 A1: 1/75 A3:1/150	図面番号 S-19
			特記事項		特記事項		特記事項					

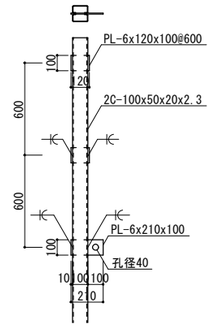


X１４通り軸組図　１：７５

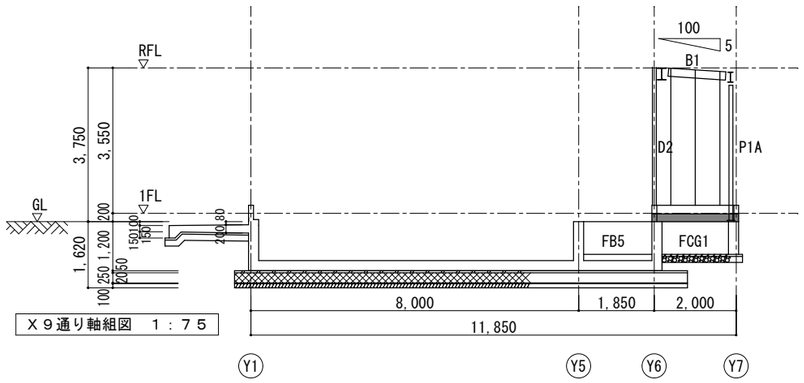


X１５通り軸組図　１：７５

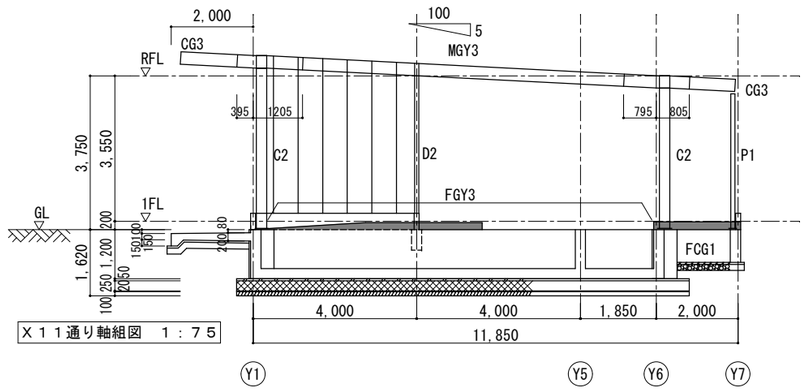
※1.腰壁はW12、腰壁天端FL+200とする
※2.特記なき胴縁はD1とする
※3.ベースチャンネルはC-100x50x20x2.3とする
※4.胴縁の割付は参考とする
※5.（　）内寸法は参考とし、設備配管用スリーブの位置は担当者に確認の上決定すること



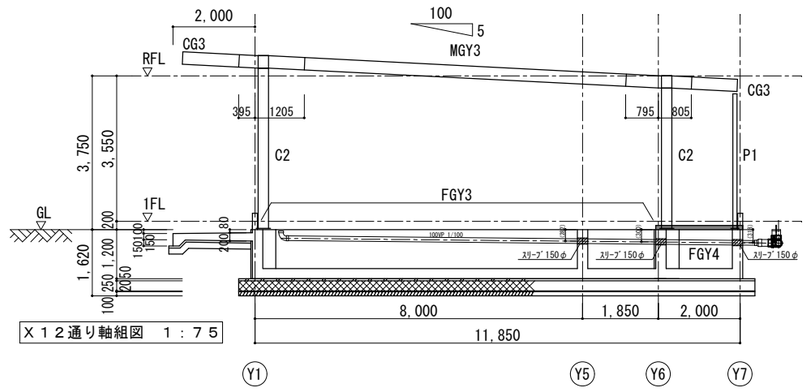
胴縁D2A(丸カン受け)詳細図　1:20



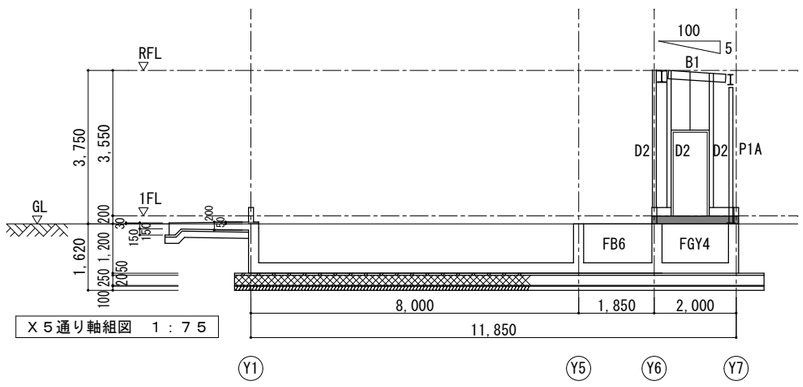
X９通り軸組図　１：７５



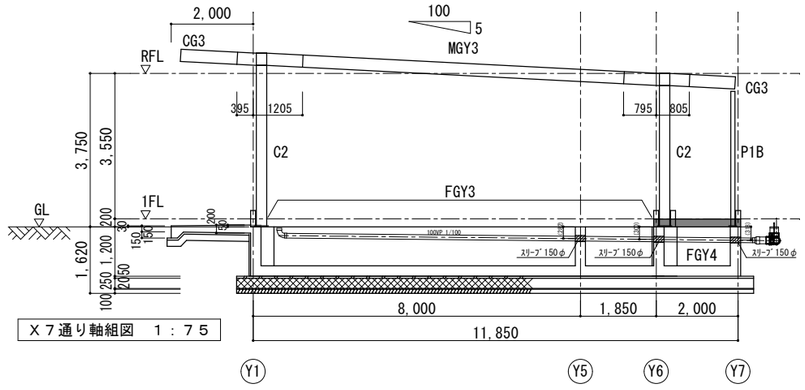
X１１通り軸組図　１：７５



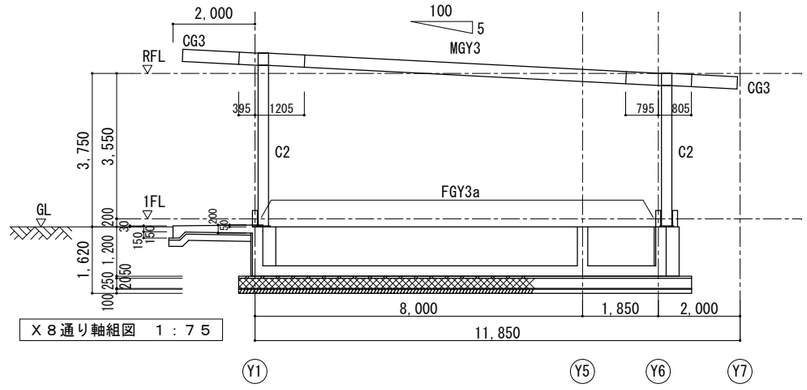
X１２通り軸組図　１：７５



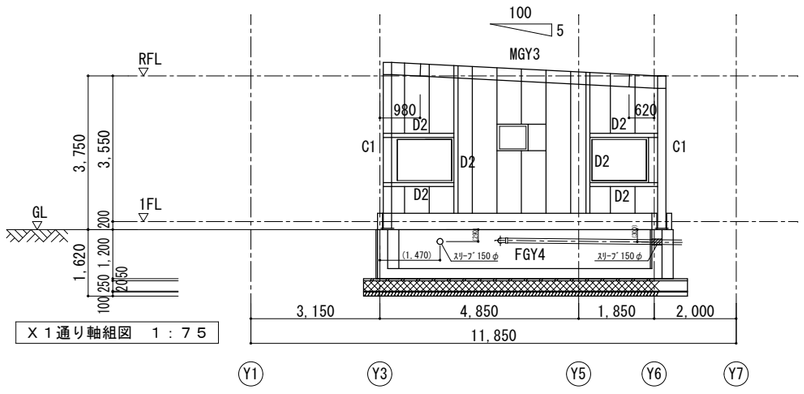
X５通り軸組図　１：７５



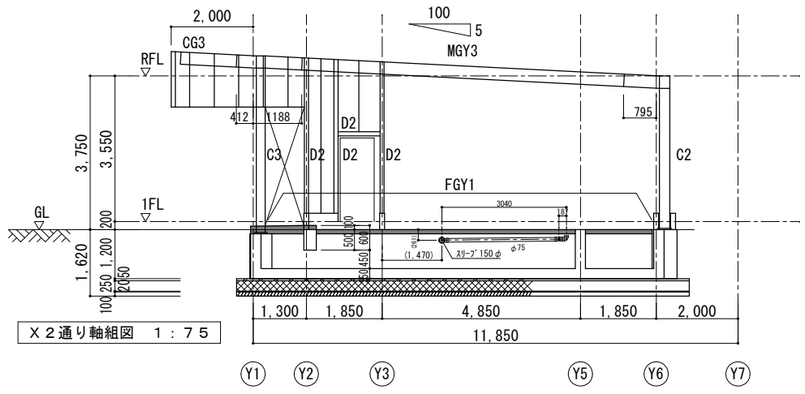
X７通り軸組図　１：７５



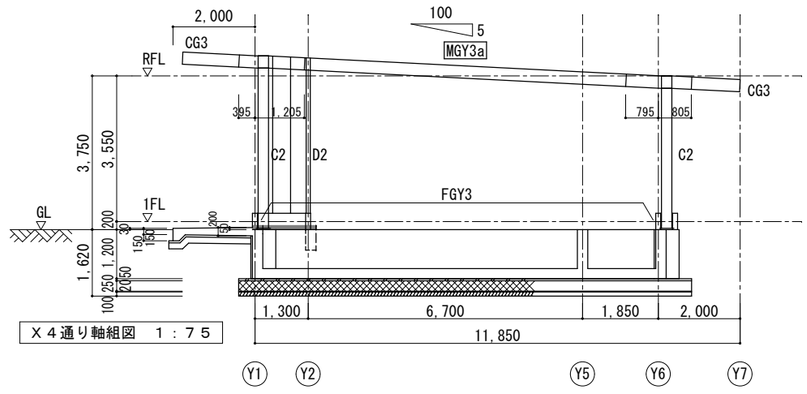
X８通り軸組図　１：７５



X１通り軸組図　１：７５



X２通り軸組図　１：７５



X４通り軸組図　１：７５

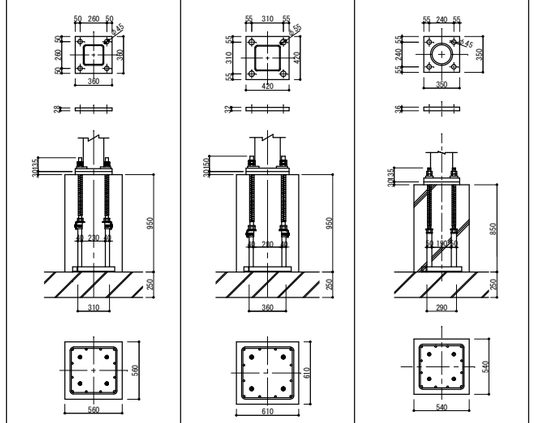
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日 令和 8 年 1 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	Y方向軸組図	縮尺 A1:1/ 75 A3:1/150	図面番号 S-20
		特記事項	特記事項	特記事項				

柱リスト 1/30

特記なき限り下記による
1. 柱材質は、BCR295とする
2. ダイヤフラムは、SN490Cとする

	符号	C1	C2	C3	P1,P1A,P1B
1階	断面	200 □ 200	250 □ 250	○ 216.3	100 □ 100
	主材	□-200x200x9	□-250x250x9	○-216.3×8.2	□-100x100x4.5
	最大有効細長比 λ=lk/i	Y3通りX1軸 λ=410.5/7.71=53.3≦200	Y1通りX4軸 λ=424.3/9.55=43.6≦200	Y1通りX2軸 λ=424.3/7.36=57.7≦200	Y7通りX7軸 λ=345/3.87=89.2≦200
柱脚	露出柱脚	ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ:20-09F2(相当品)	ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ:25-09F2(相当品)	ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ:216-13V2(相当品)	PL-16x250x150
	備考			柱材質STKN400B	柱材質STKR400

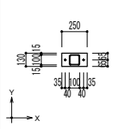
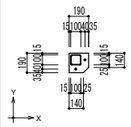
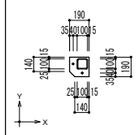
C1	C2	C3
ベースパック 20-09F2	ベースパック 25-09F2	ベースパック 216-13V2



柱部材	□-200×200×9	柱部材	□-250×250×9	柱部材	○-216.3×8.2
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	360×360×28	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	420×420×32	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	350×350×36
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	4-M30(BPM-SD490)	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	4-M36(BPM-SD490)	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	4-M30(BPM-SD490)
ｺﾝｸﾘｰﾄ柱断面	560×560	ｺﾝｸﾘｰﾄ柱断面	610×610	ｺﾝｸﾘｰﾄ柱断面	540×540
立上り筋	12-D19(SD345)	立上り筋	12-D22(SD345)	立上り筋	12-D16 (SD295)
フープ筋	D13@100(SD295)	フープ筋	D13@100(SD295)	フープ筋	D13@100(SD295)

柱脚リスト 1:30

特記なき限り下記による
1. BPL,リブPL材質はSN400Bとする
2. A.BOLTはABR400とする

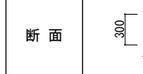
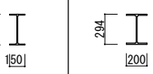
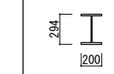
符号	P1	P1A	P1B
柱脚 断面			
主材	□-100x100x4.5	□-100x100x4.5	□-100x100x4.5
BASE.PL	PL-16x250x130	PL-16x190x190	PL-16x190x190
A.BOLT	2-M16x500L DN付	2-M16x500L DN付	2-M16x500L DN付
備考			

P1B柱型

主筋:8-D16
帯筋:□-D13@200

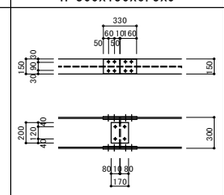
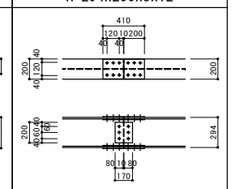
大梁リスト 1/30

特記なき限り下記による
1. 鉄骨材質は、SN400Bとする

符号	GX3,GY3	MGX3,MGY3	MGY3a	
位置	全断面	全断面	左端	中央・右端
断面				
鉄骨	H-300x150x6.5x9	H-294x200x8x12	BH-294x200x9x16	H-294x200x8x12
継手	J3	MJ3	MJ3	

継手リスト 1/30

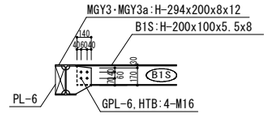
特記なき限り下記による
1. 鋼板材質は、SS400とする
2. 高力ボルトは、S10Tとする

符号		J3	MJ3
主材		H-300x150x6.5x9	H-294x200x8x12
断面			
フランジ	SPL	2SPL- 9x150x330	2SPL- 9x200x410
		4SPL- 9x 60x330	4SPL- 9x 80x410
	HTB	16-M20	24-M20
ウェブ	SPL	2SPL- 6x170x200	2SPL- 9x170x200
	HTB	4-M20	6-M20

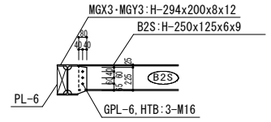
部材 リスト

特記なき限り下記による
1. 鉄骨材質は、SS400とする 3. 中BOLTはDN付きとする
2. HTBはF10Tとする

名称	採用	符号	断面	継手
小梁	○	B0A	H-125x125x6.5x9	H.T.B 2-M16 GPL-6
	○	B1,B1A	H-200x100x5.5x8	H.T.B 2-M16 GPL-6
	○	B2	H-250x125x6x9	H.T.B 2-M16 GPL-6
	○	B3	H-300x150x6.5x9	H.T.B 2-M20 GPL-9
	○	MB3	H-294x200x8x12	H.T.B 2-M20 GPL-9
片持梁	○	CG3	H-300x150x6.5x9 (SN400B)	元端溶接接合、及びJ3
屋根ブレース		M12	R12(ターンバックル付き)	H.T.B 1-M16 GPL-6
	○	M16	R16(ターンバックル付き)	H.T.B 1-M16 GPL-9
		M20	R20(ターンバックル付き)	H.T.B 1-M20 GPL-9
胴縁	○	D1	C-100x50x20x2.3@600 (SSC400)	中B 2-M12 GPL-6
	○	D2	2C-100x50x20x2.3 ※□型 (SSC400)	中B 2-M12 GPL-6
	○	ﾍﾞｰｽﾁｬﾝﾈﾙ	C-100x50x20x3.2 (SSC400)	A.BOLT 1-M12,L=180@600
外壁		W1		
床				



横補剛小梁B1S継手詳細図 1:30
※小梁側の継手はB1と同じとする



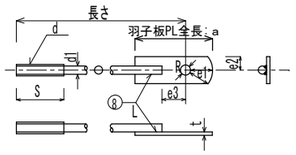
横補剛小梁B2S継手詳細図 1:30
※小梁側の継手はB2と同じとする

・鉄筋ブレース (JIS規格品とする… JIS A 5540…2008 / 5541…2008)
(a) 羽子板ボルト

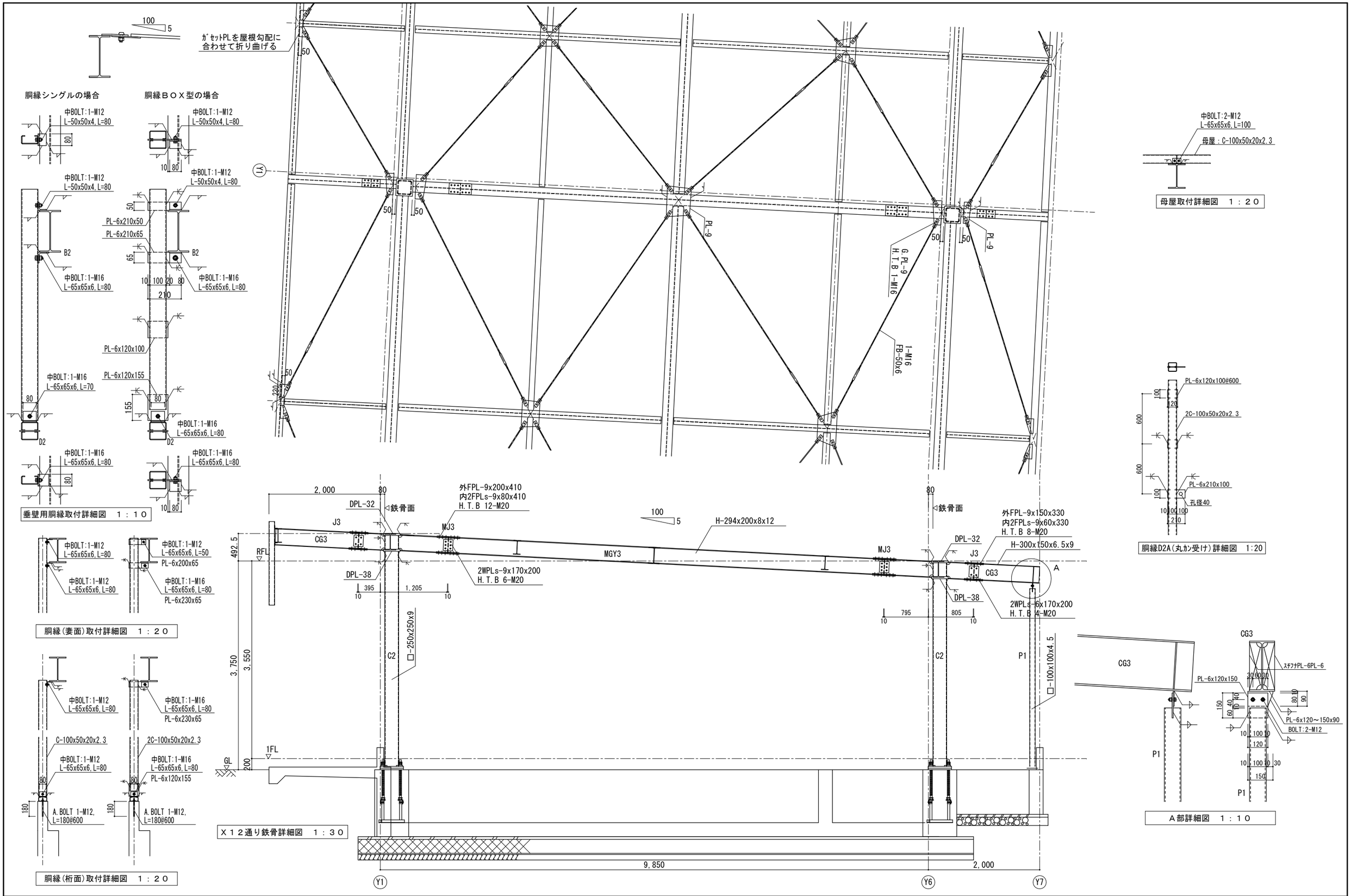
ねじの呼び (d)			M16
軸径 d1	最大		14.66
	最小		14.41
調整ねじの長さ		S	125
取付ボルト穴径 許容差 +0 , -0.5mm		R	17.0
ボルトピッチ		p	---
はしあき(最小) (2)		e1	45
切板製	へりあき(最小)(1)	e2	28
	板厚	t	6
平鋼製	へりあき(最小)(1)	e2	25.0
	板厚	t	6
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき(最小)		e3	59
溶接長さ(最小)		L	55
羽子板PL全長(参考値)		a	170
取付ボルト (2)	種類		JIS B 1186 2種高力ﾎﾞﾙﾄ(F10T)
	ねじの呼び		M16
	本数		1

注 (1) e1,e2 が確保されていれば形状は自由でよい。
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする。

羽子板ボルト形状 ・M12~M22



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	鉄骨部材リスト	縮尺	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	S-21
		特記事項		特記事項		特記事項							



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市長沼原保育所新築工事	設計年月日	令和 8 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	鉄骨詳細図
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	A1:1/30 A3:1/60
								図面番号	S-22